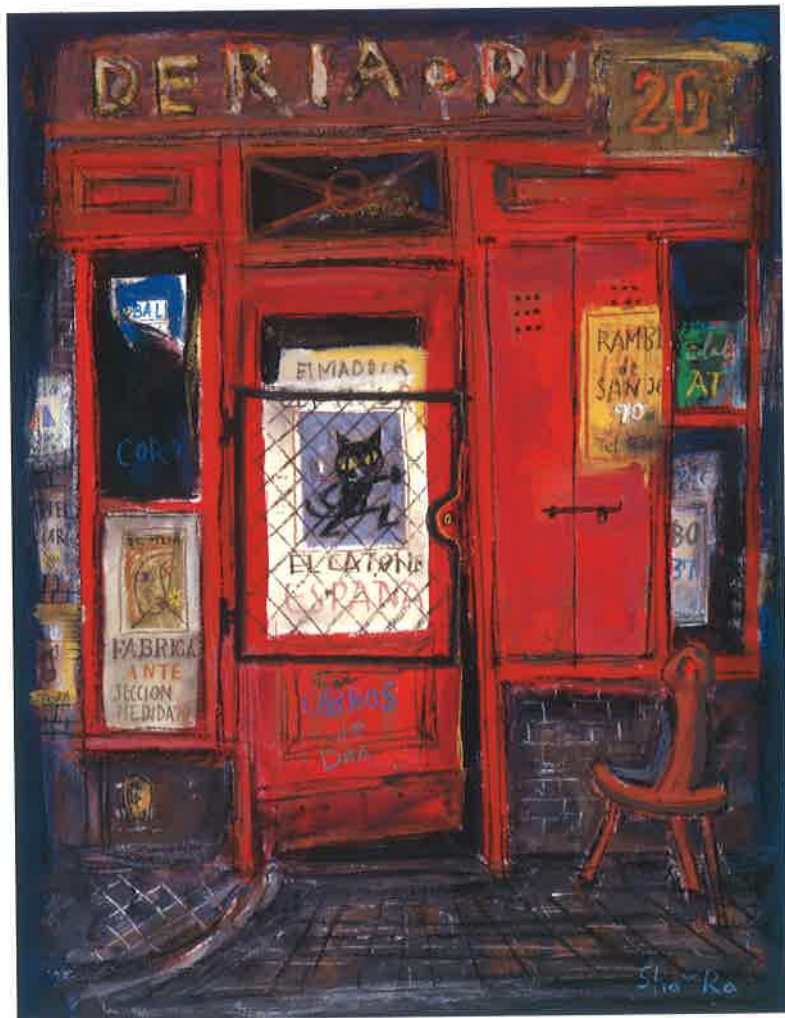


レポート課題集

1・2年次配当科目



2008

目次

レポート提出上の注意

I	レポートとは	6
II	レポートのワープロ・パソコン印字提出について	8
III	手書き用レポート用紙記入上の注意ー一般の科目	10
IV	パソコン印字用レポート用紙記入上の注意	14

1年生以上配当科目

共通基礎科目

禅のこころ	050001	18
ボランティア論	050002	20
福祉と経済	050003	24
人間と宗教	050004	27
生命の科学	050005	30
現代社会を見る眼	050006	35
法の基礎（日本国憲法を含む）	050007	38
文学入門	050008	40
歴史を見る眼	050009	43
数の世界	050010	46
コミュニケーション英語	050011	47
基礎英作文	050012	53
スポーツ（バレーボール）	050014	60
スポーツ（バーンゴルフ）	050015	62
健康科学	050016	63
人間と教育	050017	67
観光と文化	050018	69
子どもと社会	050019	72
科学的な見方・考え方	050020	74
福祉と生活	050021	79

専門科目

福祉社会学	050101	82
福祉法学	050102	87
福祉心理学	050103	89
福祉思想論	050109	92
児童福祉論	050116	94
高齢者福祉論	050117	97
障害者福祉論	050118	100
福祉ボランティア活動	050142	105
基礎演習	050145	108
教育原理	050301	109
情報処理 I	050332	112
心理学概論	050501	121
社会心理学	050514	125

資格科目

教職論	050702	130
-----	--------	-----

2年生以上配当科目

専門科目

社会福祉原論（職業指導を含む）	050104	134
地域福祉論	050105	137
医学一般	050106	140
公衆衛生学	050110	144
NPO 論	050113	147
知的障害者福祉論	050119	149
介護概論	050120	153
福祉機器論	050121	157
リハビリテーション論	050122	161
福祉計画法	050123	164

社会福祉援助技術論Ⅰ(ケースワーク) 050126…	166	障害児教育Ⅰ 050711	243
社会福祉援助技術論Ⅱ(社会福祉調査法) 050127…	169	障害児教育Ⅱ 050712	247
社会福祉援助技術演習Ⅰ 050130	171	障害児の指導法 050715	250
精神保健福祉論Ⅰ 050133	177		
精神保健福祉論Ⅱ 050134	180	資格科目	
精神保健 050136	182	高等学校教育課程の意義と編成 050703	254
精神保健福祉援助技術総論 050137…	185	福祉科の指導法 050704	258
精神保健福祉援助技術各論 050138…	188	特別活動の指導法 050705	262
福祉リスクマネジメント 050143	191	教育方法論(視聴覚教育等を含む) 050706…	264
家族法 050144	193	生徒指導論(進路指導を含む) 050707…	265
生涯発達心理学 050502	195	カウンセリング 050708	267
臨床心理学 050503	199		
環境心理学 050504	202	特講科目	
心理学実験Ⅰ 050505	204	特講・社会福祉学Ⅰ(介護保険と社会福祉士の課題) 050201…	272
心理学実験Ⅱ 050506	209	特講・社会福祉学Ⅱ(継続的ケアと地域生活モデル) 050202…	274
心理学研究法Ⅰ 050508	214	特講・社会福祉学Ⅲ(地域減災論) 050203…	275
心理学研究法Ⅱ 050509	223	特講・社会福祉学Ⅳ(精神保健福祉士のコミュニティワーク) 050204…	277
人格心理学 050511	228	特講・福祉心理学Ⅰ(表情の心理学) 050601…	279
教育心理学 050513	234	特講・福祉心理学Ⅱ(消費者行動と広告の心理学) 050602…	280
家族心理学 050515	238	特講・福祉心理学Ⅲ(カウンセリングの基礎) 050603…	281
心理アセスメント 050519	240	特講・福祉心理学Ⅳ(スクール・カウンセリング) 050604…	283
		特講・福祉心理学Ⅴ(自分さがしの心理学) 050605…	285

掲 載 順

「1年生以上配当科目」「2年生以上配当科目」に大きく2分し、そのなかを「共通基礎科目」「専門科目」「資格科目」に区分しました。各区分のなかでは科目コード順に掲載されています。

注

本年より「社会教育学科」の方のみが卒業要件単位になる科目(生涯学習概論・教育社会学など)は、掲載いたしておりません。『レポート課題集2007』をご覧ください。

科目別索引

ア行

050106	医学一般	140
050113	NPO 論	147
050322	女の民俗	2007年版

カ行

050120	介護概論	153
050903	介護実習	3・4
050701	介護実習事前事後指導	3・4
050708	カウンセリング	267
050020	科学的な見方・考え方	74
050512	学習心理学	3・4
050010	数の世界	46
050515	家族心理学	238
050144	家族法	193
050504	環境心理学	202
050018	観光と文化	69
050012	基礎英作文	53
050145	基礎演習	108
050301	教育原理	109
050306	教育史	2007年版
050904	教育実習	3・4
050710	教育実習の事前事後指導	3・4
050304	教育社会学	2007年版
050513	教育心理学	234
050706	教育方法論（視聴覚教育等を含む）	264
050702	教職論	130
050124	ケアマネジメント論	3・4
050734	軽度発達障害教育総論	3・4
050733	軽度発達障害者の心理	3・4
050016	健康科学	63
050308	現代社会と社会教育Ⅰ	2007年版
050309	現代社会と社会教育Ⅱ	2007年版
050006	現代社会を見る眼	35
050323	考古学概論	2007年版
050110	公衆衛生学	144
050108	公的扶助論	3・4
050703	高等学校教育課程の意義と編成	254
050117	高齢者福祉論	97
050115	国際福祉論	3・4
050019	子どもと社会	72
050011	コミュニケーション英語	47

050736	コミュニケーション障害教育	3・4
050326	古文書学	2007年版

サ行

050737	視覚障害教育総論	3・4
050728	肢体不自由教育	3・4
050723	肢体不自由者の心理・生理・病理	3・4
050516	児童青年心理学	3・4
050116	児童福祉論	94
050735	自閉症教育総論	3・4
050312-5	社会教育演習Ⅰ～Ⅳ	2007年版
050305	社会教育行政論	2007年版
050307	社会教育計画	2007年版
050303	社会教育史	2007年版
050514	社会心理学	125
050114	社会病理学	3・4
050130	社会福祉援助技術演習Ⅰ	171
050131	社会福祉援助技術演習Ⅱ	3・4
050901	社会福祉援助技術現場実習	3・4
050132	社会福祉援助技術現場実習指導	3・4
050126	社会福祉援助技術論Ⅰ（ケースワーク）	166
050127	社会福祉援助技術論Ⅱ（社会福祉調査法）	169
050128	社会福祉援助技術論Ⅲ	3・4
050129	社会福祉援助技術論Ⅳ	3・4
050104	社会福祉原論（職業指導を含む）	134
050111	社会福祉法制	3・4
050112	社会保険論	3・4
050107	社会保障論	3・4
050302	生涯学習概論	2007年版
050711	障害児教育Ⅰ	243
050712	障害児教育Ⅱ	247
050905	障害児教育実習	3・4
050716	障害児教育実習の事前・事後指導	3・4
050714	障害児の教育課程	3・4
050715	障害児の指導法	250
050518	障害児の心理	3・4
050713	障害児の生理・病理	3・4
050906	障害者教育実習	3・4
050740	障害者教育実習の事前・事後指導	3・4
050720	障害者教育総論	3・4
050118	障害者福祉論	100
050502	生涯発達心理学	195
050013	情報英語	2007年版

050332	情報処理Ⅰ	112
050333	情報処理Ⅱ	2007年版
050334	情報処理Ⅲ	2007年版
050331	情報処理論	2007年版
050327	史料講読	2007年版
050511	人格心理学	228
050519	心理アセスメント	240
050501	心理学概論	121
050508	心理学研究法Ⅰ	214
050509	心理学研究法Ⅱ	223
050505	心理学実験Ⅰ	204
050506	心理学実験Ⅱ	209
050507	心理学実験Ⅲ	3・4
050520	心理療法	3・4
050015	スポーツ（バーンゴルフ）	62
050014	スポーツ（バレーボール）	60
050140	精神医学	3・4
050139	精神科リハビリテーション学	3・4
050136	精神保健	182
050141	精神保健福祉援助演習	3・4
050138	精神保健福祉援助技術各論	188
050137	精神保健福祉援助技術総論	185
050902	精神保健福祉援助実習	3・4
050133	精神保健福祉論Ⅰ	177
050134	精神保健福祉論Ⅱ	180
050135	精神保健福祉論Ⅲ	3・4
050707	生徒指導論（進路指導を含む）	265
050005	生命の科学	30
050330	西洋美術史	2007年版
050324	先史考古学	2007年版
050001	禅のこころ	18
050709	総合演習	3・4
050991	卒業研究	3・4

タ行

050105	地域福祉論	137
050727	知的障害教育	3・4
050721	知的障害者の心理	3・4
050722	知的障害者の生理・病理	3・4
050119	知的障害者福祉論	149
050730	聴覚障害教育	3・4
050725	聴覚障害者の心理	3・4
050726	聴覚障害者の生理・病理	3・4
050732	重複障害教育総論	3・4

050321	東北の山岳信仰	2007年版
050705	特別活動の指導法	262
050316	図書館概論	2007年版
050201-	特講・社会福祉学Ⅰ～Ⅳ	272-277
050601-	特講・福祉心理学Ⅰ～Ⅴ	279-285

ナ行

050329	日本美術史	2007年版
050328	日本文化史	2007年版
050017	人間と教育	67
050004	人間と宗教	27
050510	認知心理学	3・4

ハ行

050317	博物館概論	2007年版
050729	病弱教育	3・4
050731	病弱教育総論	3・4
050724	病弱者の心理、生理・病理	3・4
050704	福祉科の指導法	258
050121	福祉機器論	157
050123	福祉計画法	164
050125	福祉施設管理論	3・4
050109	福祉思想論	92
050101	福祉社会学	82
050103	福祉心理学	89
050003	福祉と経済	24
050021	福祉と生活	79
050102	福祉法学	87
050142	福祉ボランティア活動	105
050143	福祉リスクマネジメント	191
050008	文学入門	40
050318	文化財概論	2007年版
050319	文化財の保護と活用	2007年版
050007	法の基礎（日本国憲法を含む）	38
050002	ボランティア論	20

マ・ラ行

050320	民俗学概論	2007年版
050122	リハビリテーション論	161
050503	臨床心理学	199
050325	歴史考古学	2007年版
050009	歴史を見る眼	43
050310	レクリエーション論	2007年版
050517	老年心理学	3・4

3・4の表記のある科目は別冊『レポート課題集2008（3・4年）』を参照してください。

2007年版の表記がある科目は「社会教育学科」の方のみが卒業要件単位になるもので、

今年度版に掲載はありません。『レポート課題集2007』を参照してください。

レポート提出上の注意

Ⅰ レポートとは

レポート作成は、通信教育の主な学習方法です。教科書と参考図書を熟読しながら、出題されたレポート課題にもとづき作成します。作成したレポートは大学あてに送付し、担当教員による添削指導を受け学習を進めます。

レポートの数

レポートは1単位につき1課題となっています。2単位の科目は2課題、4単位の科目は4課題です。スクーリングを受講してもレポート課題数は同じです。

レポートの字数

1課題あたり2,000字程度でまとめてください。最低限1,000字以上は記入してください。ただし、与えられた課題によっては1,000字では字数不足とされることもあります。

レポート用紙

レポート用紙は指定のものを使用してください（英語は別の用紙を使用します）。また、**2課題につき1冊使用**してください（例外：英語、ならびに「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ」「介護実習事前事後指導」など別途指示のある科目は1課題につき1冊使用）。

2単位の科目は1・2単位め、4単位の科目は1・2単位め、もしくは3・4単位めを1冊に記入して同時に提出します。1単位め（もしくは3単位め）は1～8ページ、2単位め（もしくは4単位め）は9～16ページに解答します。

誤字・脱字のないよう下書きを別な用紙に行い、レポート用紙に**ペンまたはボールペン（黒または青）**で清書してください。ワープロ、パソコン印字による提出は、別途許可のある科目で書式設定を守られたもの（p.8～9参照）以外は認められません。

作成のポイント

まず教科書を読み、内容を十分理解してください。そしてレポート課題に沿ってまとめますが、その課題が何を求めているか理解することも大切です。課題の要点を簡潔に要領よくまとめ、再度教科書を読み、さらに参考図書を読んで自分の言葉で表現することが大切です。教科書や参考図書の丸写しは、学習したことにはなりません。論理的に順序よく構成し、誤字脱字のない大学生のレポートとしてふさわしい内容に仕上げてください。

作成のポイントは『自立学習の手引き』『学習の手引き』の関連する章もご覧ください。

説明型レポート

「医学一般」「公衆衛生学」「障害者福祉論」「社会福祉援助技術論Ⅰ」「精神保健」「精神医学」「人格心理学」「生徒指導論」「聴覚障害者の生理・病理」「視覚障害教育総論」など一部科目の一部課題について、論述式ではなく用語や事項の説明を行う「説明型レポート」を導入しています。

「説明型レポート」では各課題ごとに指定された字数（300～500字など『レポート課題集』に記載）で解答を簡潔にまとめていただくことが必要になります（くわしくは『学習の手引き 2008』p.145）。課題欄が長くなるので、課題欄には「説明型レポート」とか「2008年度の課題に解答」のように記載してください。解答欄は、どの課題に対する解答かわかるように、それぞれの問題番号を明記してから解答を始めてください。

提出方法

「演習」「心理学研究法」「病弱者の心理、生理・病理」「肢体不自由者の心理、生理・病理」などの科目を除き、**2課題分を1冊に記入**していただきます。

また、レポートを提出する際、万が一郵便事故等でレポートが未着の場合は再提出をお願いしますので、必ず控え（コピー）をとってください。提出されたレポートは担当教員が添削し、30日ほどで返送します。

提出用・返信用とも第4種郵便料金（15円）分の切手を貼付してください。また、提出用・返信用表紙などに自分の住所・氏名等を忘れずに記入してください。

レポート提出の際の注意事項の詳細は、p.8～16をご覧ください。

成績評価

レポートの成績は、優（80点以上）、良（79～70点）、可（69～60点）、再提出（59点以下）で表示します。優・良・可が合格です。再提出の評価の場合は、教員の添削指導に従ってさらに内容の理解につとめ、新たに書き直したレポートを再提出してください。

レポートの再提出

再提出の場合も上記の要領により提出しますが、**前回（不合格レポート）の評価・指導票**を、**再提出する評価・指導票裏面の指定欄に貼付**してください。

1単位分のみ再提出の場合は、何単位めかのレポートを評価・指導票および1ページめ冒頭に明記し、1～8ページめに記入してください。

II レポートのワープロ・パソコン印字提出について

ワープロ・パソコン印字のレポート提出は、郵送のためのレポート用紙表紙も異なりますので、下記手順をよくお読みいただき、**提出のルールを守れるとお考えの方のみご利用**ください。

- (1) ワープロ・パソコン印字提出用レポート用紙表紙を入手、または購入
 - ・新入学および4年次までの進級の際の無料交付レポートをワープロ・パソコン印字提出用で入手しようとする方は、配付された用紙に必要事項を記載して返送ください。期限までにお申込みのない場合は手書き用を送付いたしますので、ご了承ください。
 - ・4年次までに進級するレポート用紙無料交付対象者は、入金する1週間前までに申し出があれば、ワープロ・パソコン印字提出用レポート用紙を送付可能です。
 - ・学年途中や5年次生以上の場合は有料交付となります。

郵送申込みの場合 『学習の手引き』巻末の購入申込み用紙＋料金分の郵便小為替・1セット10冊分300円（送料込）を送付いただければ、10日間程度でお送りさせていただきます。

通信教育部窓口の場合 購入申込み用紙＋現金30円で1冊が購入できます。
- (2) ワープロ・パソコン印字で提出する場合は、必ず下記9点をご確認のうえ郵送で提出してください。
 - ① パソコン提出が認められている科目（p.9 参照）か
 - ② **A4判白色用紙使用 文字サイズ10.5ポイント 左右40字×30行 横書 片面印刷**で（両面印刷不可）下にページ数をつけているか（余白は上下左右30ミリ）＝この書

式設定は必ずお守りください。

※設定しても、実際の印字が左右40字にならない場合は、書体（フォント）を Windows の Word の場合は MS 明朝または MS ゴシックにするとうまくいく場合もあります。

※ページ数は2単位分連番でお願いします。

- ③ 各課題の1行めに下記を記載しているか

科目名 ●単位め 学籍番号 氏名

- ④ ③の下1行あけてレポート課題を記入し、その後1行あけて解答をはじめているか

- ⑤ 適切な箇所で段落を作成し、段落の最初で改行するとともに、1字分あけてはじめているか。

- ⑥ 読み直しは行ったか

- ⑦ 表紙への貼り付け方はまちがっていないか（評価・指導票Aをめくったところが1ページめになるように。くわしくはレポート用紙評価票裏面、または本冊子 p.16を参照）。

- ⑧ 郵送の際の切手貼付や返信先住所記入、**通常の科目について2単位分まとめて提出**する（演習科目など一部例外あり）ことなどは従来と同じです。**1単位分は原則2ページ以内となりますが、3ページまでは可とします。**また、本文が1000字以上ないレポート、実験や演習など別途1課題の字数が4000字まで可能な科目を除き、**1課題が4ページ以上あるレポートは返送します。**

- ⑨ **再提出の場合は、前回（不合格レポート）の評価・指導票A裏面に貼付してください。**

- (3) レポート用紙表紙は英語用（評価が1単位分のもの）と類似していますが、英語用は演習や実習事前事後指導など以外使用できないので、ご注意ください。

- (4) インターネット上の文章などをそのまま用いることは原則としてご遠慮ください。引用扱いで用いる場合は、必ず引用のルール（『学習の手引き 2008』p.143～144）を守った上でご利用ください。

- (5) 他の方と類似レポートがあった場合は、カンニング行為とみなし、一定期間レポート提出禁止などの措置がとられますので、ご注意ください。

- (6) **上記の書式に不備がある場合、下記レポート提出許可科目以外は、すべて受付せず返送いたします。**

- (7) メールで提出する方法ではなく、あくまで郵送による提出となります。ご注意ください。

- (8) ワープロ・パソコン印字レポート提出が**不許可の科目**は下記のとおりです。

共通基礎科目 **基礎英作文、コミュニケーション英語**

福祉系2年次以上科目 **社会福祉原論（職業指導を含む）、精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ**

心理系2年次以上科目 **教育心理学**

※上記の科目以外はすべてワープロ・パソコン印字提出は可となります。

III 手書き用レポート用紙記入上の注意 — 一般の科目

英語の科目と「情報処理Ⅰ～Ⅲ」「情報処理論」「カウンセリング」および「介護実習事前事後指導」など実習事前事後指導科目・実習科目を除く一般の科目のレポート用紙の記入にあたっては、以下の点にご留意ください。

■評価指導票・整理票・受付票オモテ面

- 1) 評価指導票④に科目名を記入してください。
- 2) 整理票⑤に科目名を記入し、氏名バーコードを貼付してください。
氏名バーコードが貼付できない場合、学籍番号、氏名を記入してください。
- 3) 受付票⑥に科目名と氏名を記入してください。

若干書式の異なるレポート用紙もありますが、記入することがらは同じです。

提出する科目名を記入

教員記載欄です。何も書かないでください。

提出する科目名を記入

再提出の場合、手書きで記入

提出するレポートの該当する方を○で囲む
(再提出の場合も該当する単位を○で囲む)

自分の氏名バーコードを貼付
(バーコードが貼付できない場合、学籍番号、氏名を記入)

自分の氏名を記入

提出する科目名を記入

評価・指導票④

科目名 (本人記入) 児童福祉論		評価・指導票④	
1 or 3 単位め	再提出の場合は切り取って再提出レポートの評価・指導票裏面にはる	評点	
		履修計画 内容理解 A・B・C	
		論理構成 考察力 A・B・C	
		参考文献の正確さ A・B・C	
		引用・出典明示 A・B・C	
		発表との関連づけ A・B・C	
2 or 4 単位め		履修計画 内容理解 A・B・C	
		論理構成 考察力 A・B・C	
		参考文献の正確さ A・B・C	
		引用・出典明示 A・B・C	
		発表との関連づけ A・B・C	
受付		総合評価	総評者印 返却
		1 or 3 単位め 2 or 4 単位め	
		優 良 可 再提出 優 良 可 再提出	
(切離無効)			
科目名		福祉 歩美	
整理票⑤		児童福祉論 (再提出)	
		(科目名バーコードを所持者はバーコード貼付でも可)	
		1 or 3 単位め 2 or 4 単位め 受付 返却	
		総合評価 優 良 可 再提出 優 良 可 再提出	
(切離無効)			
本人記入	受付票⑥	科目名	氏名
		児童福祉論	福祉 歩美

■評価指導票・整理票・受付票ウラ面

- 1) 氏名・年齢・職業を記入してください。ただし、年齢・職業の記載は任意（自由）とします。
- 2) 再提出の場合は、前回（不合格レポート）の評価・指導票[A]を上欄に貼付してください。

本人記入	氏名	福祉 歩美	年齢 (記入は任意)	42 歳
	職業 (記入は任意)	特別養護老人ホーム 勤務		

■氏名バーコード貼付のお願い

- 1) レポート提出の際に、「整理票[B]」に貼り付けていただくシールです（p.10参照）。
- 2) シールが大きいので欄からはみ出しますが、できるだけきれいに貼ってください。
- 3) 氏名バーコードは、科目修了試験、スクーリングの申込みの際にも貼付をお願いいたします。

※事務処理手順の変更にともない、2005年10月以降「科目名バーコード」の貼付は不要になりました。

■提出用表紙

- 1) 科目名・差出人欄を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

提出する科目名を記入	科目名	児童福祉論			実験・演習科目の担当教員 先生
	差出人	住所	学籍番号		
自分の郵便番号、住所、氏名、学籍番号を正確に記入	住所	学籍番号		演習・実験等担当教員が複数の科目のみ、スクーリング担当教員名、ないし課題を選択した教員名を記してください。	
	住所	学籍番号			
	住所	学籍番号			
	住所	学籍番号			

■返信用表紙（提出用表紙のウラ面になります）

- 1) 返送先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

書式に不備のあった場合、および字数不足の場合、受け付けせず、返送いたしますので、ご注意ください。

■レポート用紙1ページめ (および9ページめ)

- 1) () 単位めの箇所は何単位めの課題を解答したかを記入してください。
- 2) 課題を記入してください。長い場合もできるだけ省略せず、記入してください。

解答する課題が何単位めかを記入

(/) 単位め

レポートの課題を記入

課題

「子ども虐待の現状と対策」
日本における子ども虐待の現状とその対策について述べよ。

解答欄

段落の始まりは、一マス下げる

「 」も一マス分使用する

句点 (。)
読点 (、)
は、一マス分使用する

このような場合、句読点は、次の行の最初の一マスを使わず、最後の文字と同じマスに入れる (または欄外に記す)

今年()の3月()、北九州市に住む17歳の少女が警察に保護される事件があった。()少女の証言で、同居していた保護者から暴行を受けていたことが明らかになり、全国に衝撃が走ったのは記憶に新しい。こういった事件()つまり大人が子どもに対して暴行を加える()「子ども虐待」()が近年わが国で急増している。

このような社会背景を受けて、旧厚生省は、一昨年11月に国を挙げた

(16字×11行=176字)

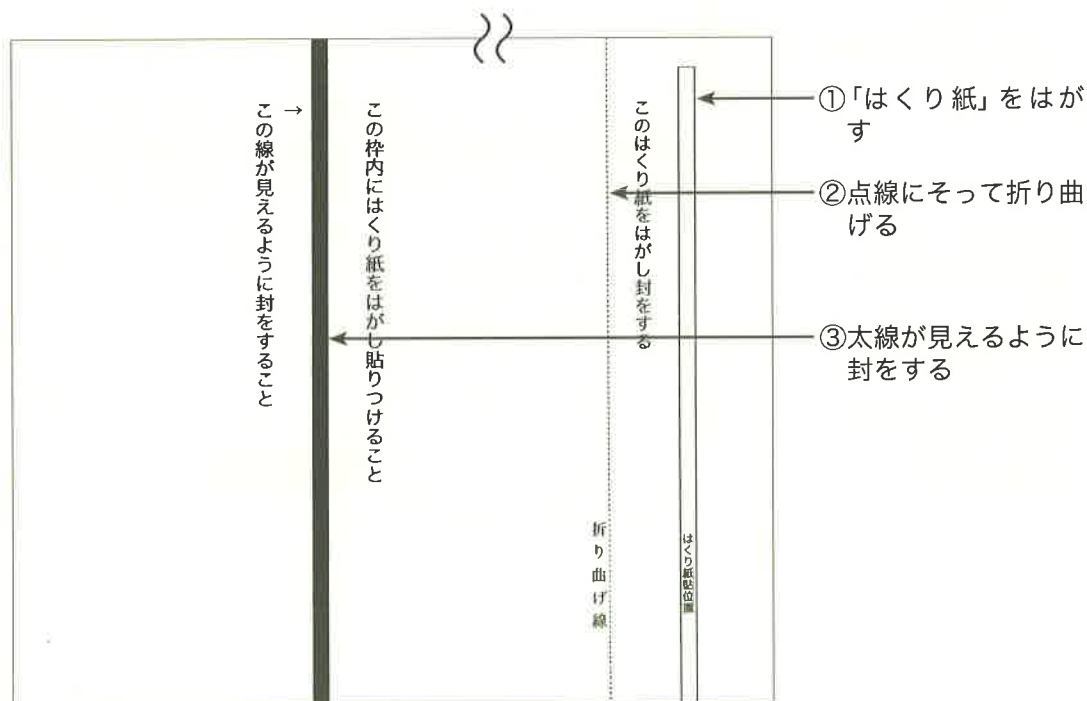
- 1 -

原稿用紙の使い方には、さまざまな約束事があります。ここでは、最低限守ってほしいことを記しておきます。

- 1) 段落の始まりは1字下げてください。段落が変わらない場合はページが変わっても1字下げることはいしないでください。
- 2) 句点（。）、読点（、）、「」、（ ）などは1マス分使用してください。
- 3) 行の最後に、句点（。）、読点（、）、「」、（ ）などが来た場合は、その行の末に入れてください。次の行の頭には持ってこないでください。
- 4) 2ケタ以上の数字は2ケタずつ1マスに記入してください。たとえば 20 05 年となります。
- 5) 本学のレポート用紙を利用する場合は、原稿用紙の冒頭に論文タイトル、氏名を記入する必要はありません。課題は、「課題欄」に記入してください。
- 6) レポートのなかに必要に応じて見出しを付けることはかまいません。とくに1単位分の課題のなかで2つ以上の課題に答えることが要求されている場合は、見出しで区切って解答してください。

■封の仕方

- 1) 提出用表紙がオモテに来るようにして、「はくり紙」をはがし封をしてください。
はくり紙をはがして貼付できない場合は、のりを使って封をしてください。
- 2) ウラ表紙の黒い線が見えるように封をしてください。



Ⅳ パソコン印字用レポート用紙記入上の注意

記入したレポート用紙を、パソコン印字提出用表紙にのり付けして、送付いただくことになります。

■提出用表紙

- 1) 科目名・差出人欄を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

■返送用表紙（提出用表紙のウラ面になります）

- 1) 返送先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

■評価指導票・整理票・受付票オモテ面

- 1) 科目名、氏名、学籍番号を記入してください。
- 2) 解答した課題番号（1単位めは1、2単位めは2）を○で囲んでください。

ここに氏名バーコード貼付、科目名を記入してください。

学籍番号・氏名・提出する科目名を記入
該当する課題番号を○で囲む

（受付票[C]のある用紙もありますが、記載は不要です。）

評価・指導票				評 点	
1 or 3単位め				筆記試験 合格/不合格 A・B・C 面接試験 合格/不合格 A・B・C 読解力等の成績 A・B・C 前記・出席等 A・B・C	
1 or 3単位め 評価				優	良
学籍番号				年齢 (記入は任意)	添削者名 (署名または捺印)
氏 名				職 業 (記入は任意)	
科目名				受付口	返却口
課題番号					
学籍番号				1 or 3単位め 評価	2 or 4単位め 評価
氏 名				優	良
科目コード				可	再提出
科目名				優	良
課題番号				可	再提出
				受付口	返却口

■パソコン印字用レポート用紙 1 ページめ

上部をのり付け
して専用表紙に
しっかり貼り付
けてください。

科目名、○単位め、学籍番号、
氏名を記載してください。

レポート課題集記
載の課題を転記し
てください。

余白30ミリ

心理学概論 1 単位め 02TW991 福祉歩美

1 行アキ

(課 題)

忘れようと思っても簡単には忘れられないことがある一方、必要なことをうっかり忘れて
しまうこともあるのはなぜか。具体例をあげながらわかりやすく論じよ。

(解 答)

左右40字

恋人に別れを告げられた、自分の不注意が原因で自分の子どもを死なせてしまったなどの
つらい経験は、「自我」を非常に不安にさらす結果になるので(教科書 p.22)、意識に
のぼってこないように「抑圧」してしまった方が得策なはずである。しかし、よほどのつ
らい経験でない限り、なかなか忘れられるものではない。このような例をもとに、忘れら
れないことがある人間の心を、「何が記憶に残るのか」という点から論じてみたい。

まず、感情をゆさぶる刺激や経験は記憶に残る。また、興味や関心があること、自分に
とって意味のあることは覚えている。上記のような経験は、強い感情的ショックを受ける
ため、なかなか忘れられないことになる。

さらに、日常的ではない珍しい刺激や経験は「新奇性刺激」とよばれ、注意が向けられ
やすいため、記憶に残る。好きな人との最初のデートでの会話は覚えているが、毎日顔を
合わせている夫婦の間の会話は忘れられやすいのはそのためである。

次に、「繰り返し」意識にのぼることは記憶を定着させる。つらい経験を忘れようと思う
こと自体も、そのことを繰り返し意識に引き出すことになるので、ますます忘れられなく
なる。このような心の働きのことを心理学用語では「リハーサル」と呼んでいる。

さらに、人間の頭の中での「処理水準の深さ」が記憶を促進するという研究もクレイク
とロックハートによってなされている¹⁾。新しい知識を覚える場合に、その知識をただ機
械的に頭の中で繰り返す「維持リハーサル」を何度もするより、その知識を自分のがす
でに持ち合わせている経験や知識と関連させて覚える「精緻化リハーサル」を行う方が効果
的という考えである。冒頭の例では、なぜ恋人にふられたのだらうと理由をあれこれ考
えることは精緻化リハーサルを行ったことになる。

また、人間の行動はすべて適応的であるという進化的な考えをスクーリングの際に佐
藤教授から伺ったが、その考え方を応用すれば、生存のために必要な情報は覚えているが、
必要ない情報は忘れてしまうということもいえる。恋人や肉親がその時点では自分の生存

余白30ミリ

タテ30行
(1 行アキや見
出しなど含む)

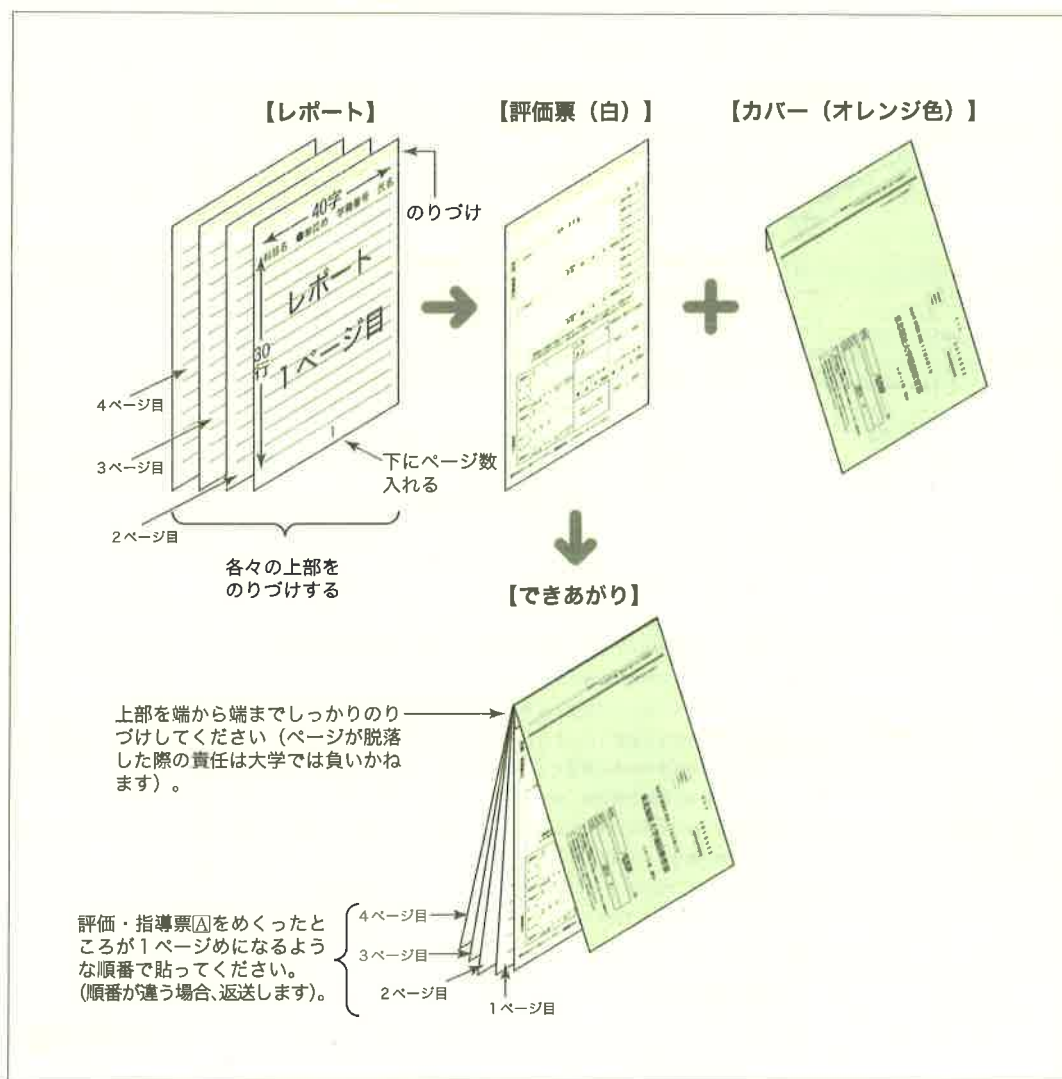
余白30ミリ

改行後、1 字
あけてはじめ
てください。

ページ数
(連番で入れる)

■封の仕方

- 1) 解答を記入したレポート用紙を提出用表紙にのりで貼り付けてください。貼り付け方は、評価・指導票のウラの図（下記）を参考にしてください。貼る順序をまちがえないように注意してください。
- 2) 提出用表紙がオモテになる（解答したレポート用紙を包む）ようにして、はくり紙をはがし封をしてください。
- 3) ウラ表紙の黒い線が見えるように封をしてください。

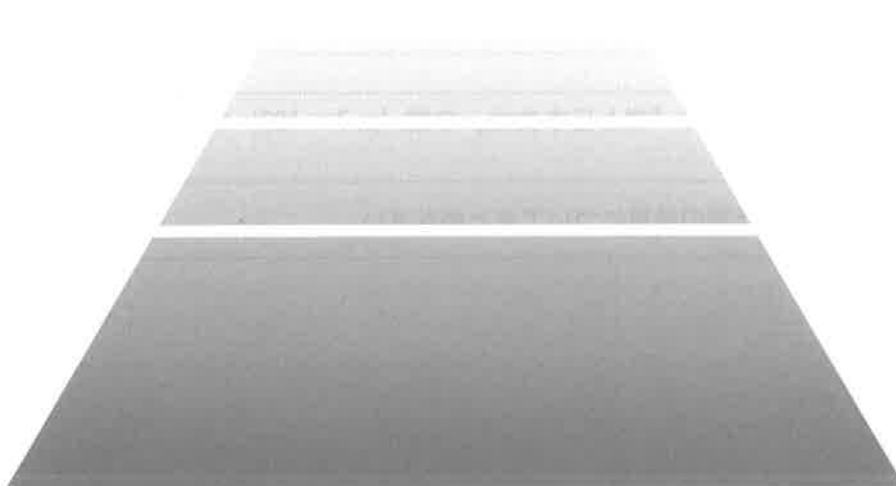




1年生以上配当科目

1～4年生履修可

・ 共通基礎科目 ・



禅のこころ

科目コード●050001

担当教員●斎藤仙邦



2 単位

R

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

禅といえばあなた方は何を連想するでしょうか。たいていの人は、薄暗い禅堂で足を組んで、目を半分閉じてじっと座っている僧を連想するでしょう。また、実際に座禅を体験したことがある人は、足のしびれや、じっとしていることのつらさとともに、静寂な時間の新鮮な経験や終わったときの爽快感などを思い出すでしょう。

私たちはまた、禅がさまざまな文化現象にかかわっていることも知っています。禅僧の書いた文章、書、墨絵に高名なものが数多くあります。茶の湯や能などの伝統芸能、剣道などの武芸にも禅の精神は生きています。つまり、禅は心を静め、精神を統一し、自らの感性を高めるなかで美意識や自己探求と深くかかわってきました。さらに、禅はストレスの多い生活のなかで不安や悩みを抱える人、あるいはもっと深く、人生の根本問題と向き合っている人、それらの人にとって問題解決のための手段のひとつともなってきました。

以上、禅に関することをいくつかあげてみました。この科目では、通信教育という制約があるため、禅がどのような思想か、また歴史的にはどのように発展してきたのについて理解することを目的とします。しかし理解といっても、歴史、人物、思想内容という事柄の理解だけを求めているわけではありません。禅とかかわるなかで、自分とはなにか、生きるとはなにか、人生とはなにかという問題意識をもってもらいたいと思います。

教科書

柳田聖山著『禅と日本文化』講談社学術文庫、1985年

レポート課題

1 単位め	教科書の『禅と日本文化』の編 (p.7～122) の論旨を簡潔にまとめなさい。
2 単位め	道元禅の特質についてまとめなさい。

アドバイス

1単位め 解説

筆者は、禅が日本文化に与えた影響を様々な観点から考察し日本文化の特質を論じています。

それぞれの節の終わりではその論旨がまとめられているので、筆者の論の進め方に従って極端にならずにまとめてください。感想や自分の意見は必要ありません。文字数以内で最大限必要なことをまとめてください。

2単位め 解説

教科書の「純禅の道を求めて—白隠・隠元・道元」の編（p.123～236）を読むことが前提ですが、それでは十分でないので他の図書も参考にしてまとめてください。

参考図書

- 鎌田茂雄著『禅とはなにか』講談社学術文庫、1979年
- 鈴木大拙著『禅仏教入門』春秋社、2000年
- 道元著『正法眼蔵随聞記』岩波文庫
- 鎌田茂雄著『正法眼蔵随聞記講話』講談社学術文庫、1987年
- 道元著『典座教訓・赴粥飯法』講談社学術文庫、1991年
- Books Esoterica 第3号『禅の本』、1992年

ボランティア論

科目コード●050002

担当教員●小野芳秀



2単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

ボランティアが地域社会に果たす役割、また地域社会から寄せられる期待は、年々大きくなっています。世間一般にいわれているボランティアとは、どのようなものなのでしょう。また、なぜ地域社会はボランティアを必要とするのでしょうか。ボランティアの基本的理念や欧米および日本のボランティア支援に関わる社会施策の歴史的経緯について理解を深めましょう。また、日本のボランティアを取り巻く社会情勢や社会施策について、今どのようなことが問題になっているのか理解しましょう。

教科書

小谷直道著『市民活動時代のボランティア』中央法規出版、1999年

レポート課題

2単位めの課題は、担当教員が課題を提示する「出題方式」(2-1)、または学習者が関心のあるテーマを自由に課題として設定する「選択方式」(2-2)のいずれかを選択してください。

1 単位め	以下の1、2の両方の課題に解答して下さい。 1：①「福祉コミュニティ」、②「地球環境」、③「国際協力」のいずれか一つの分野について、ボランティア活動の背景としてどのようなことが問題となっているのか説明しなさい。 2：①～③の分野における活動として、具体的にどのようなものが考えられるか、あなたの自由な意見を述べなさい。
2 単位め	2-1 (出題方式) わが国の NPO セクターの財源比率が、欧米に比べて著しく民間の寄付金・助成金が少ない理由について、わが国と欧米における福祉施策の違いから説明しなさい。 2-2 (選択方式) ボランティアに関する内容であなたにとって関心のあるテーマを一つ自由に選択し、そのことに対するあなたの自由な意見を述べなさい。

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より、2単位めの課題が選択できるようになりました。以前の課題で取り組む場合は2-1の課題で提出してください。

アドバイス

テキストは一通り目を通してください。各単位の課題ごとの、指定箇所をよく読んで理解を深め、キーワードを参考にしながら課題を整理しましょう。

2単位めの課題をレポートに記載する際は、「2-1」または「2-2」の番号を明記してください。レポート学習が初めてという方は、「2-2」の「選択方式」から取り組んでみてください。

1単位め 解説

1：テキスト pp.132～146を参考に、①「福祉コミュニティ」、②「地球環境」、③「国際協力」のいずれか一つを選択し、どのようなことが社会のなかで問題となっているのか整理しましょう。

2：①～③の分野における活動の具体例は、「実際に今活動している」または「かつて活動していた」に限りません。日常生活の中であなたが必要と思う活動、またそれらの活動を支援するための仕組みとして考えられるもの等、あなたの自由な意見を述べてください。なお、1と2で選択した分野が同一である必要はありません。

2単位め 解説

2-1 (出題方式)

イギリス、アメリカ、日本におけるボランティアの歴史について、ボランティアを支える社会制度がどのように変わってきたのか、また国家としてボランティア活動をどのように捉えているのか比較してみましょう。そのうえで、欧米と日本とでボランティアを支える社会施策のあり方がどのように異なるのか整理しましょう。

テキスト pp.52～66、pp.102～109、p.115、pp.119～129、p.155を読みながら要点を整理しましょう。

(キーワード)

権利意識、たすけあい (Self - help)、仕事に向けた福祉 (Welfare to work)、市民の概念 (citizenship)、「自助」の精神、社会的使命、「措置制度」

2-2 (選択方式)

ボランティアについて関心のあるテーマを自由に選び、後述の構成(図1)を参考にレポートを完成させてください。(例)は、あくまでもレポートの内容を具体的にイメージして頂くための参考例です。例示にとらわれることなく自由に作成してください。

- ①タイトル→(例)「ボランティア組織の運営における個人負担を軽減させる方法について」等。
- ②序 論→レポートで「何について書こうとするのか」を明らかにします。また、何故このテーマを選択したのか自身の動機や問題意識について述べてください。
- (例)「ボランティア団体が特定の個人に負担を強いる形で運営されている場合、どのようにしたら個人の負担を軽減することができるのか、組織運営方法の改善策について考えてみたい」等の内容。
- ③本 論→「序論」で提起したテーマについて具体的にどのようなことが課題になっているのか、それに対して調べた内容、具体的解決策や自身の考え等を自由に述べてください。
- (例)「実際にどのようなことが問題となっているのか」、「調べた結果どのような解決策があるのか」、「課題に対して自身はどのような解決策を考えるのか」、「自身はどのようにその問題を考えるのか」等。
- ④結 論→序論で述べたテーマの「答え」についてまとめてください。
- (例)「以上、〇〇という課題に対して、～という解決策があることについて述べた」等の内容。
- ⑤参考文献→引用や参考にした文献・資料等があれば明記してください。表記方法の詳細については『学習の手引き』等を参考にしてください。引用・参考にした文献がなければ、特に記載する必要はありません。「番号」、「著者名（編者名）」、「書名（論文名）」、「雑誌名・巻数」、「出版社」、「出版年次」、「引用ページ」(特に引用したページがなければ「出版年次」までの記載で可)の順。
- (例) 1) 小谷直道著『市民活動時代のボランティア』中央法規, 1999年 p.132.

①タイトル
②序 論
③本 論
④結 論
(⑤参考文献)

図1：「2-2」課題のレポート構成

課題テーマの例としては、「中高生の学校教育におけるボランティアの単位化の是非について」、「善意とボランティア活動について」、「自身のボランティアに対するイメージ」、「ボランティアに関する新聞記事から考えたこと」、「ボランティアの運営に関すること」、「ボランティアを受ける側からの視点」等、ボランティアに関係するテーマであればどの

ようなものでも構いません。

◆ご協力をお願い

本科目は、自己学習が中心となる通信教育において、学習者自身の興味・関心に沿って学習を進めることの有効性について検討するため、実験的に学習者が課題を自己選択する方式を導入しています。本科目受講生の学習データは、受講生の年齢、学習暦、学習状況等の個人情報と併せて学習効果が検討され、研究データとして活用・公表させていただく予定です。データの使用にご同意頂けない方は、レポートの1ページ目の余白にその旨を明記してください。データは上記の目的以外、個人が特定される形での使用はいたしません。なお、データ使用の諾否がレポートの評価に反映されることは一切ありません。

福祉と経済

科目コード●050003

担当教員●小松洋吉



4単位

R or SR

1年以上

全学科

共通基礎科目

科目の内容

現代の福祉は経済システムの重要な一分野として位置づけられます。そこで、①経済学の考え方がどのように流れてきたのか、②国民経済がどのように循環し、国民所得がどのようなメカニズムで決定するのか、③国民経済の安定均衡のためにとられている経済政策の内容はどのようなものか。またどのような理論的根拠の下に政策が立案されているのか、④混合経済体制下での社会サービスが何を根拠として行われ、その実際はどのようなになっているかについて考えてみましょう。

以上の基礎的力を身につけましょう。

教科書

財団法人私立大学通信教育協会編『経済学』

レポート課題

1 単位め	【説明型レポート】 次の事柄について各300字以上500字以内で簡単に説明せよ。 ① 重農主義 ② 重商主義 ③ A. スミス ④ 『一般理論』
2 単位め	国民経済の循環を理解するとともに、国民所得の決定メカニズムについてまとめてみよう。
3 単位め	国民経済の安定・均衡をめざして行われる経済政策として、財政政策、金融政策、為替政策がある。この政策の具体的内容についてまとめてみよう。

4 単位め

【説明型レポート】

次の事柄について各400字以上700字以内で説明せよ。

- ① 混合経済体制
- ② 「市場の失敗」
- ③ 「政府の失敗」

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より、1・4単位めのレポート課題が「説明型レポート」になりました。『レポート課題集2007』記載の課題でも2009年9月までは提出できます。

アドバイス

1単位めと4単位めについては、テキストの該当ページや他の文献等も参照のうえ、整理してください。2単位めと3単位めについては、解説を参考にし、まとめてみましょう。新聞等の経済社会の話題にはできるだけ関心をもちつつ課題に取り組んでみましょう。

1単位め
解説

テキスト pp.1～29を参考にしてみよう。とくに時代とともに考え方(ism)がどのように変わっていくのかに主眼をおいて整理しつつ、現代の経済問題の解決にどういう考え方が必要かについても各自考えてみましょう。たとえば少子高齢社会の福祉サービス充足の費用負担をどうするのか。スミスのように「小さな政府」をめざすのか、ケインズのように政府の役割を重視するのか等々についても考えてみましょう。

参考図書

千種義人著『新版 経済学入門』同文館出版、1990年

京極高宣著『福祉の経済思想』ミネルヴァ書房、1995年

2単位め
解説

テキスト pp.209～258を読み要点を整理してみましょう。その際、次のキーワードを参考としてみましょう。国民経済はどのように循環し、その活動の大きさをどのように計算しているのでしょうか。

経済主体としての家計部門、企業部門、政府部門、海外部門、三面等価の原則、国民総生産、国民純生産、市場価格表示の尺度、要素費用表示の尺度。さらに国民所得決定のキーワードとして、総需要、総供給、インフレ・ギャップ、デフレ・ギャップ、貯蓄、投資、限界消費性向、限界貯蓄性向、乗数理論、有効需要の原理についてまとめてみましょう。

3単位め
解説

経済政策を考えるにあたって、まず総需要管理政策とは何かについて整理し、そのうえで、財政政策としての政府支出の増減とは具体的にはどういうことか。税政策にはどういうことが考えられるかについて明らかにしてみましょう。また金融政策とは何か、その内容は具体的にはどういうことか。利子率の変化とはどういう意味を持つのか、金融を緩和する、引き締めるとはどういうことか。それはどういう経済状態のときどのような政策を行ったらよいかについても考えてみましょう。さらには為替政策についても考えてみましょう。

4単位め
解説

①～③について学習することはもちろん、次のことを頭におきながらまとめてみましょう。混合経済体制とは市場経済を土台とし、政府が補完的役割を果たすこと、つまり市場経済と政府の財政活動を混合して行う体制をいいます。混合経済体制の下で福祉政策が行われる経済学的根拠は、分配問題としての「市場の失敗」にあるが、現代の福祉政策はこの守備範囲内にあると考えることが適当か、政府の行う施策は「政府の失敗」につながらないか、考えてみましょう。そのための参考文献として、大野吉輝著『社会サービスの経済学』勁草書房、1991年をあげておきます。

※なお、特例としてスクーリング受講者のレポート課題はスクーリング時に指示された課題を4つ提出でも結構です。できるだけ、スクーリングにご参加いただければ幸いです。お待ちしております。

人間と宗教

科目コード●050004

担当教員●川村昭光

4単位

R

1年以上

全学科

共通基礎科目

科目の内容

第2次世界大戦（太平洋戦争）敗戦後、国家神道への反省から、信教の自由の名のもとに一切の学校教育から、宗教が閉め出されてきました。戦後50年の教育のもたらしたものは何かといえば、家庭の崩壊、弱者への暴力、宗教無菌状態でのカルト宗教への入信による社会現象など、精神や心の貧弱さが露見する事件の多発でした。

国際社会が現実のものとなった今日では、宗教知識の貧弱さから様々なトラブルを引き起こすことも考えられ、改めて宗教を知るための学習の必要性が高まっています。さらに世界で頻発する事件も宗教の知識がないと真相を知ることが出来ません。よって人間との関連で新たな視点から宗教を学習します。

教科書

川村昭光著『人間と宗教』東北福祉大学、2002年

レポート課題

1 単位め	宗教とレリジョンとの概念をつかみ、これらの誤解による現象や事例を探す。さらに旧約聖書で括られるユダヤ・キリスト・ムスリムの各宗教の共通項と相違点を箇条書きにする。
2 単位め	インド・中国・日本とよく三国という表現を仏教が使用する。それぞれの国柄と思考における独自性を抜き出し、まとめて概括する。さらに何か一つこれら三国を経過して日本に根付いてるものを示せ。
3 単位め	近代のアメリカ思想、そして儀式としての結婚、そして宗教と戦争、これらを題材にした映画（ビデオにて鑑賞せよ）を観て、テキスト中の文言に関連してレポートを完成せよ。
4 単位め	生活空間に密接なシャーマンがいれば、その観察レポート。もしくは三つの映画の中から一つを取り上げ、評論を書き、少なくとも一つ新たな視点を示せ。

アドバイス

課題は、教科書の各3章をターゲットに組み立てられています。この本（テキスト）には古典を読むというテーマが一本底流に流れています。なるべく底本となるべきものを示していますし、文庫本のページを明記したものも多くあります。これらを蔵書とするのも、一つのあり方です。脇にあればいつか読むときがくると信じています。信仰するとか、救済されるとかを他人に伝えるのは大変に困難なことであります。よって、ここではレンタルビデオの鑑賞を薦めています。映画という文化には、幾冊の名著もかなわない説得力を持つものもあります。よって後半は、取り付きやすいようにビデオ鑑賞によるレポートを課しています。一つは自ら選択するもの、もう一つは3つから選択です。自ら選択するのは、選択し得た時点であらかじめ評価が出来ます。選択肢があるものは、アウトラインが示されていますので、より深い観察力を問うています。これらに留意してください。

1単位め 解説

宗教とは、中国の翻訳家たちが、仏教を特定するために造語した言葉であるということをよく踏まえてください。そして、その仏教は、インド・中国・日本と変遷して、混沌とさえも表記できるほどのバラエティを極めています。このことは第4章から第6章で語られます。レリジョンとは、第3章で語られるものを包括する言葉です。これらの相違は、天地ほどあり、不思議なことに日本では整理されないままに使用されています。一旦分けてみると、いろいろなことが見えてきます。

この視点から、この我々の社会を観察してみると、また新たな状況が見えてきます。俗に砂漠宗教と呼ばれる三つの同族宗教の共通点と相違点をつぶさに観察してみることは、これからの世界を読むことに多大な豊饒をもたらすと考えます。

2単位め 解説

インド、中国、日本で三国伝統の仏教というとき、それは著しく公平を欠くといわれます。そもそも朝鮮半島を経由して仏教は伝来しているし、中国において幾多の廃仏が行われ仏教を復興する際に、高麗大蔵經を基にして仏教の再興がはかられてきたからです。しかし多くの宗派仏教は、中国からの直接伝来という形をとっています。

これら三国の独自の思想と共通して流れる仏教との対比を楽しんでもらいたいと思います。これらを概括しておく日本人としての特異性や自分を取り巻く思想形態の種々相を思い描くときの助けとなるはずで、そして新宗教から新々宗教へ連なるバラエティこそが、文化の豊饒といわれるものです。

3単位め
解説

近代にめざましく発達した国アメリカは、文化のない国などといわれつつも、世界をリードする国家となりました。特に共産国家が経済的に破綻した今日、一段と指導力を増したアメリカをよく観察せねばなりません。人種と宗教の増埒と化した現代アメリカは、よい意味でも悪い意味でも世界の縮図です。多くのカルト宗教も排出しています。

このアメリカを中心として、地域紛争とそれにまつわる民族と宗教を観察してみましょう。国連軍として、独自の判断で世界中に軍隊を派遣するアメリカは、世界の警察、治安部隊を自称するが、それは自国の勝手なグローバリズムの押しつけではないのでしょうか。これらの世界的な視点を定める意味でも、アメリカの宗教事情は最低限把握しておくべきです。

比較的宗教心の稀薄な人も結婚式は、神聖なものとして儀式を求めるのは、如何なることなのか。さらにその儀式のもつ宗教理念はどのようなものなのか。を検討し比較がなされます。現代人は何故に宗教の存在を認め、必要とするのかを見ます。

4単位め
解説

インフォメーション・テクノロジー社会は、様々な過去の遺物を現代に蘇らせる働きをします。科学発展の黎明期や初期段階では、スーパースティションとして、遺棄されたものも高度に発達した社会では、現実のものとされる事が可能となりました。かつて科学的に不可能とされたものも可能とされる現代は、神話時代の奇跡が現実と近いものとされます。そんな中で復権してきたものにシャーマニズムがあります。ネオ・シャーマニズムもそんな現代の要求に応えるものとして脚光を浴びています。これらとハリウッド映画の隆盛は、多くの宗教的なエッセンスを盛り込んだ映画を世に送り出しています。高度な社会が反動として不可解なものに安らぎを求めるのでしょうか。発達した感性が根本に目覚めたのでしょうか。人と人とのインフォメーションから、様々な交信へとトランスしてゆく現代は、かつての神話社会の豊饒へと化していきます。

生命の科学

科目コード●050005

担当教員●阿部一彦



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

生物、とくに人の生命を理解するということは、とても複雑で難しいことであると考えられがちでした。しかし、生命に関する研究が進むにつれ、思っていたよりもはるかに単純な現象の積み重ねによって、生命体が構成されていることがわかってきました。生命の科学では、ヒトを中心に、その生命活動を支える仕組みについて、一つ一つが単純な仕組みの積み重ねによって成り立っていることを確認しながら、生命の全体像に迫るように意識して学んでいきます。これらの学習を重ねることによって、どのような仕組みが生命活動を支えているのか、生きているということはどういうことなのかについて考える姿勢を身につけていきたいと考えています。

教科書

阿部一彦編著 阿部昌子・渡部芳彦著『生命の科学』東北福祉大学、2003年
(平成14年度以前履修登録者) 財団法人私立大学通信教育協会編『生物学』所持の場合も下記の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め

次に示す(A)または(B)の課題のうち1つを選択し、その課題について論じなさい。

- (A)① 「個体発生は系統発生を繰り返す」といわれる。これはどういうことなのか、記しなさい。
- ② ヒトは誕生によって、それまでの母胎内での生活から自立した胎外での生活に変わることになる。このとき、ヒト新生児の身体機能はどのように変化するのかについて論じなさい。
- (B) 消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器（排出）系による生命を支える分業システムについて論じなさい。

2 単位め	次に示す(A)または(B)の課題のうち1つを選択し、その課題について論じなさい。 (A) ヒトは、まわりの状況に関する情報を感覚器をとおして脳に取り込み、そして脳で情報処理して、それらに応じた行動をすることができる。これらの一連の行為に関して、脳・神経系と骨・筋系の機能に基づいて論じなさい。 (B)① 筋細胞の構造と収縮の機構について論じなさい。 ② 筋収縮のエネルギー代謝について論じなさい。
3 単位め	次に示す(A)～(C)の課題から1つを選択し、その課題について論じなさい。 (A) ヒトの身体のはたらきを調節する神経のはたらきとホルモンのはたらきについて記しなさい。さらに過剰ストレスが身体に与える影響についてもあわせて論じなさい。 (B) DNAの構造を理解し、タンパク質の設計図(mRNA)への転写、タンパク質合成の過程(翻訳)について記しなさい。さらにヒトゲノム計画、ポストゲノム計画が私たちの生活にどのような影響を与えると考えられるかについて論じなさい。 (C) ヒトは、体内に侵入した病原体から自らを防御する仕組みである免疫系をそなえています。この免疫系について論じなさい。あわせてエイズについても論じなさい。
4 単位め	次に示す(A)～(C)の課題から1つを選択し、その課題について論じなさい。 (A) 生活習慣病とは何か、また、日本人の死因の上位を占める悪性新生物、心疾患、脳血管疾患は、どのような生活習慣に基づいて発症すると考えられるのかについて論じなさい。そして、日ごろ健康の維持について心がけていること、または、心がけなければいけないと思っていることなどについてもあわせて論じなさい。 (B)① 誤嚥性肺炎について記しなさい。あわせて口腔ケアの重要性についても論じなさい。 ② 廃用症候群について記しなさい。廃用症候群を予防するためにはどのようなことに留意すべきかについてもあわせて論じなさい。 (C) 老化とは何か。老化にともなってヒトの機能はどのように変化するかについて論じなさい。

アドバイス

教科書をよく読み、適宜、参考図書などを読むことによって理解を深め、それぞれの課題について、十分に考察して記述してください。また、日ごろから新聞や科学雑誌などにも気を配ることにこころがけ、レポートに取り入れることも重要です。全体をよく理解してから内容をまとめ、自分の言葉で論じてください。

1単位め
解説

- (A) ①、②の両方に解答してください。1章を読んで生命の誕生、そして生物の性質について十分に理解してください。生命の不思議さとその神秘性について考えることはとてもたいせつです。

また、2章をよく読んで、ヒトの誕生と成長について十分な知識を得て、新しい命が誕生するということの素晴らしさとそのたいへんさについて整理・考察し、しっかりまとめてください。誕生するということは新生児にとってはじめて体験する、そして多くの危険に満ちた冒険なのですね。命の尊さがあらためて実感されます。

- (B) ヒトは食物と空気を取り込んで、体内でそれらを活動のエネルギーや身体を構成する成分として利用しています。食物を取り込んで分解する消化器系、空気を取り込む呼吸器系、取り込んだ栄養素と酸素を全身の細胞に運搬し、各細胞における生化学反応に供するのは循環器系です。ヒトの身体を構成する60兆個に及ぶ各細胞では、活動のエネルギーを産生するとともに身体を構成する成分を生成しています。ところで、生化学反応により生じた老廃物は、肝臓、腎臓を経由して、泌尿器系によって体外に排出されます。3章を読んで、生命活動を支えるこれらの概要を十分に理解し、まとめて論じてください。

2単位め
解説

- (A) 4章をよく読んで、脳と神経系について十分に理解してください。現代社会において充実した生活をおくるために重要な知識が得られると思います。脳のはたらきはとても複雑と考えられますが、基本的な仕組みをわかりやすくまとめることは大事です。十分に読みこんで、考察し、わかりやすくまとめることを、こころみてください。そして、3章を読んで、骨に付着した骨格筋の収縮・弛緩によって身体運動が引き起こされることについてあわせて整理し、論じてください。

- (B) ①、②の両方に解答してください。

- ① まず、3章をよく読んで、筋細胞の構造を理解してください。そして、どのようにして細いアクチンフィラメントが太いミオシンフィラメントに滑り込むように引っ張られる滑走運動が生じて筋収縮がおこるのかについて論じてください。
- ② 激しい瞬発力を要する筋運動を行うときには、ヒトは酸素を利用せずに、いわゆる嫌気的な代謝によりATPを獲得します。しかし、持久力を要する運動を行うときには、酸素を十分に利用して、効率的にATPを生成する機構によりエネルギーを得ています。3章や5章をよく読み、筋収縮のエネルギー代謝について論じてください。

3単位め
解説

- (A) ヒトは無意識のうちに内臓機能を調節して生命を維持しています。それらの調節は、自律神経系およびホルモン系（内分泌系）に基づいていますが、ともに間脳の視床下部によってコントロールされています。4章を読み、全体を理解した上で、ヒトの生命機能を調節するシステムについて論じてください。

また、心理的そして社会的過剰ストレスは、視床下部の機能を破綻し、内臓機能の調節をくるわせ、身体的な不都合をもたらします。いわゆる心身症です。現代社会において注目されているストレスによる身体への影響などについても6章および新聞や科学雑誌、参考文献をもとに情報を得て、あわせて論じてください。

- (B) ワトソンとクリックによって遺伝子 DNA の二重らせん構造が発見されて以来、それまでとても複雑で理解しがたいと考えられていた遺伝情報の発現に関する仕組みが次々と解明されてきました。4種類の塩基が20種類のアミノ酸の種類と配列順序を決定しているということは、巧妙でかつ、ある意味で単純な機構です。7章をよく読んで、遺伝情報の複製、転写、翻訳の過程について記してください。また、11章、12章を読んで、現在様々な方面から注目されているヒトゲノム計画やポストゲノム計画そしてそれらが社会に与えると考えられる期待される影響や問題視される影響についても論じてください。
- (C) 8章や参考図書を読み、液性免疫と細胞性免疫という視点からまとめると理解しやすいでしょう。このようなシステムによって病原体から私たちの身体が守られています。また、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染すると、免疫系のどの部分のはたらきが妨げられて機能しなくなるのでしょうか。そして、病気が進行するにつれ体内では何が起きているのでしょうか、その予防法も含めて広く理解してまとめてください。

4単位め 解説

(A) 6章や参考図書を読み、具体的にどのような生活習慣が、どのようにして病気を引き起こす土台となるのかを理解しましょう。悪性新生物（がん）については、DNAの傷害に視点をおいて、そして、心疾患と脳血管疾患については血液循環系の支障に視点をおいて考察してください。現在、日本人の死亡のうち、実に6割はこれらの三大疾患が原因となっています。そこで、これらの生活習慣病の成り立ちを十分に理解した上で、その予防につとめ、健康を維持していつまでも生き生きと生活したいものです。

- (B) ①、②の両方に解答してください。近年、原因不明の発熱やそれに引き続く呼吸器疾患の原因として誤嚥性肺炎が注目されています。特に重い障害のある人や高齢の人では深刻な問題です。5章をよく読んで理解してください。通常私たちでは^{えんげ}嚥下反射や咳反射によって（とても多くの細菌を含んでいる）唾液が気管に侵入しないような仕組みがはたっているのですが、これらのはたらきに支障があるとたいへんです。

また、障害のある人や高齢の人にとって廃用症候群も大きな問題です。6章のとくに3節など、11章の7節、8節などを読んで、自分の考えでまとめて整理してください。

- (C) 高齢になっても元気で感性豊かな充実した人生をおくるためには、老化についても十分な知識を持つことがたいせつです。誰にとっても避けて通れない大きな問題が、老化の問題です。10章を十分に読んで、老化ならびに老化にともなう私たちの身体の機能

がどのように変化するのか考えてください。また、11章の2節や終章についても理解して、自らの人生について考え、そして社会福祉の対象となる利用者の方々へのよりよい支援につなげることがとてもたいせつですね。

参考図書

参考となる文献は教科書の各章末に記載しています。また、新聞や科学雑誌なども活用してください。

現代社会を見る眼

科目コード●050006

担当教員●岩淵勝好(左)
寺下明(右)



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

※この科目は、平成20年度までしか履修登録できません。なお、この科目のスクーリングは平成20年8月16～18日が最後となるため、それ以降はRでの履修となります。

科目の内容

現代はさまざまな社会問題をかかえています。日本では雇用問題、少子高齢化問題、格差問題、環境問題などが存在し、発展途上国では貧困の問題があります。

教科書では、これらの社会問題の実態を明らかにして、なぜそのような問題が生じるのかを社会理論を軸に分析し、どうすれば社会問題の発生を予防できるかを社会開発の面から述べ解説しています。

教科書

谷勝英著『現代社会を見る眼』東北福祉大学、2002年

レポート課題

1 単位め	社会構造→社会変動→社会問題の流れを、今日の身近な社会問題を例にあげて述べてください。
2 単位め	日本の消費、生活意識、格差問題について、産業化、大衆化、都市化、国際化などの側面から考察してください。
3 単位め	現代日本の社会問題をひとつとりあげて、その実態と自分の考えを述べてください。
4 単位め	発展途上国の貧困発生の予防としての社会開発の役割について述べてください。

アドバイス

1単位め
解説

- ① テキストの第1章と第2章をよく読み、社会構造の理論の歴史的な流れをつかみ、そして社会変動の全体の枠組を端的にまとめてください。
- ② 次に、身近な社会問題をとってあげてください。例えば、失業問題をとって

げるなら、第1に失業の実態はどうかをテキストの図表や総務省統計局、厚生労働省のホームページなどを用いて分析します。そして、なぜ失業問題が生じるのかを、第2章の社会変動の枠組の内容から考察し、第8章の分析を参考に自分の考えと解決策を示してください。

2単位め 解説

- ① 第3章、第4章、第5章、第6章を図表をみながら、よく読んでください。日本の戦後の社会の動きが理解できます。
- ② 次に、現在、日本にモノが豊富に存在するのはなぜか考えてください。
- ③ 次に、モノを消費する側として第5章から消費と生活意識の歴史的な流れをまとめ、格差社会に対する意見を述べてください。
- ④ 最後に、なぜ都市へ人口が集中するのかを、第6章、第11章、第12章から分析し、地域間格差の是正などについて自分の考えを述べてください。

3単位め 解説

- ① 第8章、第9章、第10章、第13章を図表を分析しながらよく読んでください。
- ② 次に、高齢化問題、家族問題など現代日本の社会問題を取りあげて、自分の地域や身のまわりの問題と関連させながら、問題の実態と自分の考えを述べてください。

4単位め 解説

- ① 第14章をよく読み、第14章の第5節と第6節に注目してください。第5節の「事例：マニラの貧困問題」か、第6節の「事例：アジアの児童労働問題」のどちらかを選び、貧困問題の発生あるいは児童労働問題の発生を予防するためにはどうすればよいかを考えて、まとめてください。
- ② 次に、第15章をよく読み、①で考え、まとめた発生予防の手段として社会開発の考えを取り入れ、レポート課題に自分の考えをまとめて述べてください。

注) 以上のアドバイスはあくまで参考にすぎません。各省庁のホームページから最新データを入手するなど工夫して自分の考えを自由に述べてください。

レポート評価基準

- (1) 設問に答えていますか。(書いているうちに話がそれていくことがあります。)
- (2) 筋が通っていますか。(一貫した論理。話の最初と最後が矛盾してはいけません。)
- (3) 結論・主張がしっかりしていますか。(自分の持っている考えを伝えましょう。)

レポートとは小論文です。字数制限もあるので、書き始める前に以上の点を踏まえながらレポートの構成、アウトラインをまず作成し、たとえば序論・本論・結論という流

れをまず作ることが必要です。『自立学習の手引き：読む・書く・問う』の特に64ページから103ページを再読されることを強くお勧めします。(ただし、そのすべてについて完璧にしようとは思わないでください。あくまで参考です。)

法の基礎 (日本国憲法を含む)

科目コード●050007

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科

共通基礎科目

科目の内容

福祉の現場では発生する多様な価値観の衝突に対して、迅速かつ的確な判断能力が必要です。その的確な判断能力を身につけるためには、社会福祉専門職としての法学的知識がどのような場面で、どの程度の活用ができるかという素養が必要となります。本科目では社会福祉の対象となる市民に対しての単なる法学的知識を習得するにとどまらず、社会福祉サービスの対象の属性別（児童、高齢者、障害者など）にそれぞれの領域で専門職としてふさわしい法的思考能力を修得し、ひとりひとりの幸せづくりに貢献できる社会福祉の人材の養成を目的とします。

教科書

大竹榮編著 米谷光正・菅原好秀著『法の基礎』南窓社、2002年

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本的人権について論じてください。
2 単位め	債務不履行責任と不法行為責任について論じてください。
3 単位め	刑法の機能を概説した上で、高齢者の犯罪について論じてください。
4 単位め	成年後見制度について論じてください。

(平成17年度以前履修登録者) 2006年4月より、レポート課題が一部修正されています。
『レポート課題集2005』記載の課題での提出は2007年9月で締切りました。

アドバイス

1単位め 解説

基本的人権の制度趣旨と各人権の分類を示しながら、社会権を中心に言及してください。また、社会権で問題となった裁判事例について、判例の内容を踏まえて自説を展開してください。

2単位め 解説

債務不履行責任と不法行為責任の制度趣旨を言及した上で、立証責任、消滅時効の起算点の異同について言及してください。また、介護事故の裁判事例を挙げて、契約制度における債務不履行責任について具体的に言及してください。

3単位め 解説

刑法の法益保護機能と人権保障機能を論じた上で、高齢者の犯罪について、具体的事例を挙げながら、あなたの考えを言及してください。また、高齢者の孤独死を防ぐための具体的方策についても言及してください。

4単位め 解説

成年後見制度の「後見」「保佐」「補助」の各制度趣旨、内容を示した上、成年後見制度の問題点についてあなたの考えを論じてください。

参考図書

- 1) 渡辺信英編『福祉のための家族法 親族編』南窓社、2002年
- 2) 渡辺信英編『介護事故裁判例から学ぶ福祉リスクマネジメント——高齢者施設編』南窓社、2006年
- 3) 志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2005年
- 4) 志田民吉編著『法学【第2版】』建帛社、2005年

文学入門

科目コード●050008

担当教員●花井滋春



4 単位

R

1 年以上

全学科

共通基礎科目

※平成17年10月以前の入学者のみ履修登録ができます。

科目の内容

文学入門では、文学に対する偏見をなくすこと、興味を覚えてもらうことと、基礎的な教養を身につけていただくことを最重要の課題としています。偏見とは、中学校や高校の古典文学の授業で苦しめられた悪しき印象——例えば、古典文法を習得していないと古典へのアプローチはできないのではないかという思いこみや、古典文学や近代文学など文学という講義に取り上げられた教材は堅苦しいものが多いのではないかという錯覚などです。

また、教養を身につけるとは、自分が興味を持って、作品に対したとき、あるいはもっとその作品について知りたいと思ったとき、その調べかたや研究の仕方がわかっていて、実行できるということです。この科目では『伊勢物語』という古典文学を扱いました。何故皆さんと馴染みの薄い古典作品を文学入門に選んだかと言えば、それは現代の作品ならば自分一人で楽しむ方法を既に獲得しているからです。国語がどんなに苦手な人であったとしても、人生において、少なくとも一度ならず本を読むことの面白さを経験したことはあるでしょう。文学という学問とは、広い意味でどのような作品——たとえそれが漫画であったとしてもですが——であろうとも、そこに書かれていることに興味を持ったり、楽しんだり、感銘を受けたりと、作品から何らかの刺激を受け取ることだと考えています。

古典文学を手にして楽しめる、あるいは触発・感銘を受けることのできる人は多くはありません。それは、古典を読むにはそれなりの最低限の知識が必要だからです。知識とは文法でも古典の語彙力でもありません。例えば、『竹取物語』に、竹取の翁がかぐや姫を見つける場面があります。根元が光り輝いている竹を見つけた翁は、竹を切ってみます。すると中にはかぐや姫が入っていました。原文は「三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり」とあります。「ばかり」は「程度・くらい」、「いと」は「大層」、「うつくし」は「可愛らしい」「ゐる」は「座る」です。訳せば「三寸ぐらいの人が、可愛らしい感じで座っていた」ぐらいの意味でしょうか。これで、この文が理解できたと考える人には、文学入門の講義が必要です。何故か？ 例えば、このシーンをイメージしてみてください。できるでしょうか？ まず、三寸とはどれくらいの長さでしょう。そう10センチくらいです。服

は着ていたのでしょうか。赤ちゃんだったのでしょうかから産着？ それとも裸？ いや、かぐや姫なのですからやはり十二単衣（じゅうにひとえ）を着せたいですね。もう一つ、10センチというのは立った時の高さ？ それとも座っている時の高さでしょうか？ などなど、古文が等身大に再現できること、つまり、現代文と同じように読んだだけでイメージ化できること、それが古典を理解することだと思います。

教科書

花井滋春著『文学入門』東北福祉大学、2002年

レポート課題

1 単位め	第一章第一節、第二節、第三節を読んで、在原業平とはどのような人物であったか、自分自身の考察も若干加えてまとめなさい。
2 単位め	第一章、第二章を読んで、惟喬親王とはどのような人物であったか、自分自身の考察も若干加えてまとめなさい。
3 単位め	第三章～第五章を読んで、源順と『伊勢物語』の関わりについてまとめなさい。
4 単位め	次の二つの論題から一題を選択して最終レポートとします。 (1)「藤原高子」あるいは「源融」とはどのような人物であった、自分なりに資料を探して論じなさい。 (2)第二部、第一章、第二章を参考にして、自由研究（対象は文学に限る）を行いなさい。

アドバイス

1 単位め～3 単位めまでのレポートは、自分自身の研究考察をほとんど必要としません。しかし、4 単位めの最終レポートは、自分自身の独自の考察・研究レポートとしてください。テキストを丁寧に読んでいけば、自然とできるようにしてあります。テキストを読んで理解できないのは、引用された原文を読み飛ばす場合です。決して、引用文は読み飛ばさないように、しっかりと理解した上で読み進んでいきましょう。

在原業平について

1 単位め 解説

業平がどのような人物であったのか、第一章を読んで、まとめればよいのですから、さほど難しいことはないと思います。ただ、一つ注意することは、「自分自身の考察も加えて」という条件が入っていることです。「自分自身の考察」とは、『伊勢物語』の四譚にでてくる業平像を自分なりの理解でまとめ上げればよいのですから、そ

れほど悩む必要はないでしょう。ただし、それだけでは、合格の最低ラインをクリアした
だけ、ということになります。さらに、高い評価を狙うならば、第二節で触れたような、
二次的資料（例えば、説話などに残されている資料）を使って、オリジナルな業平像を創
り上げることです。引用文献と自分の意見については、明確に区分しておいてください。
出典、引用文献には、出版社名、発行年月、頁数等を明記してください。これは、2単位
め以降も同じです。

2単位め
解説

惟喬親王について

1 単位めと同様、第二章を読んで、惟喬親王についてまとめます。「自分自
身の考察も加えて」という条件も第1回と同じです。惟喬親王の登場する段
(八二・八三・八五段)を読んで、自分なりの印象を加えれば、最低ラインの評価は得ら
れます。高い評価が欲しい方は、第一章第二節(3)「二次的資料による業平像」で紹介した
『大日本史料』などの原典を使って、自分自身の惟喬親王像を創ることです。

3単位め
解説

源順と『伊勢物語』の関係について

これは、苦勞しそうですね。なにが大変かというと、とにかく第三章～五章
までを読まなければならないからです。『伊勢物語』の作者に関しての基本的
な問題については、第一章第一節でもふれてありましたので、そちらも合わせておさえて
おいた方が良いでしょう。今回のレポートはオリジナルの考察・研究を要求しておりま
せん。書かれていた内容を自分なりに要領よくまとめればよいので、読解には苦勞しても
それ以上の労力はないでしょう。

4単位め
解説

「藤原高子」「源融」論、もしくは、自由研究

最終レポートです。ここでは、自分なりの見方、オリジナルな小研究が要求
されます。まず、「藤原高子」「源融」論についてですが、こちらは『大日本史料』
を使って、原典となる資料を収集して、それを読んだ上で自分なりの人物像を作り上げれ
ばよいのです。原典となる資料を収集することと、それを理解するのにいささか努力を要
すると思われますが、そのあとは楽でしょう。自分なりの人物像は大した労力なくできる
ことと思います。

対して、自由研究の方は、一見簡単そうですが、実はこちらの方がはるかに難しいので
はないでしょうか。まず、自分で研究とする対象を見つけなければなりません。さらに、
対象となる作品をみつけたら、そこから、自分なりの問題点を見つけ、研究結果を提示す
ることになります。すべてが、オリジナル性を要求されますので、自分でやってみたい対
象がはっきりしている方にお勧めします。

歴史を見る眼

科目コード●050009

担当教員●岡田清一



4単位

R

1年以上

全学科

共通基礎科目

※平成20・21年度のスクーリング開講はありません。次回スクーリング開講予定は未定です。

科目の内容

今、歴史学が変わりつつあります。とくに近年の考古学の発掘成果は従来の教科書的記述を再考させつつあり、地名や金石文・説話などの民俗学的成果を反映した歴史叙述がみられるようになっていきます。また、従来の中央（政権の所在地）から見た歴史叙述ではなく、地方・地域から見た歴史研究も深化しつつあります。この動向は、それぞれの地域が主張を持ち始めた結果であり、「日本」が統一された地域から成り立ち、大和民族という単一民族国家であるという既成概念を壊して新しい「日本」像を作り上げようとする方向に進んでいるといえます。

こうした状況を背景に、本学習では、「中央」と「地方」という設定に疑問を投げかけ、「中央」も「地方」も「地域」であるという観点から、それぞれの地域の特性・独自性を考え、政治・経済・文化等の面での地域の相対的自立を考えて欲しいと考えております。

教科書

岡田清一・鈴木哲・関幸彦編『中世日本の地域的諸相』南窓社、1992年
(平成16年5月以前履修登録者) 2004年6月に上記教科書に変更されました。変更前の教科書岡田清一著『北条得宗家の興亡』新人物往来社にもとづいて『レポート課題集2004』の課題を提出することは2006年3月末で締切りました。

レポート課題

1 単位め

古代・中世とはどのような社会・国家であったのか、さらに、この社会・国家を形成している地域が、どのように成立していったのかについて考察・叙述するとともに、「津軽・東北地域」が他の地域といかに密接に関係していたかについて考察・叙述してください。

2 単位め	古代から中世への移行期に「関東地域」の果たした役割について考察・叙述するとともに、「琵琶湖・北陸地域」の地域的特性について、「交流」をキーワードにして考察・叙述してください。
3 単位め	「瀬戸内地域」の地域的特性を、交通事情を基点に考察・叙述するとともに、「北九州地域」が古代から中世にかけての政権とどのように関連していたかについて考察・叙述してください。
4 単位め	「薩摩」地域の特異性について考えるとともに、「琉球」の歴史的推移の特性について考察・叙述するとともに、受講者が居住する地域の歴史的特性について、地元の博物館・歴史民族資料館等を見学して考察・叙述しなさい。

アドバイス

解説／課題はすべて2項目からなっています。近年の日本史研究は、各地の特性を最大限に考えようとする傾向があります。確かに、旧石器～縄文～弥生～古墳～飛鳥～奈良～平安～鎌倉～室町というあたりまえのように考えられていた「日本」時代区分でさえ、北海道・北東北では、旧石器～縄文～続縄文～擦文～アイヌと経過しており、沖縄もまた旧石器～貝塚時代～古琉球（グスク時代～中山王による統一国家）～近世琉球という別の時代区分が設定されていることを考えると、「日本」全体の時代区分が幻想であることがわかります。

近年、地域史研究が盛んになっています。いわゆる中央（鎌倉や江戸といった権力の所在地）から日本の歴史をみるのではなく、地域（地方）の立場から、あるいは地域を軸にして歴史を見る眼を養ってほしいと思います。そのような視点を忘れずに、レポートを仕上げてください。

1単位め 解説

- ① テキストの「序」および配布プリントを読み、地域の成り立ちと変遷について考えるとともに、従来の「郷土史」ではなく、なぜ「地域史」であるのかについても考えてください。
- ② 次にテキストの「Ⅰ 津軽・東北地域」を読み、後進性・マイナス的地理的特性（遠い・寒い）といった現在の評価がいかに歴史的産物であったのかについて、具体的事例をもとに考えてください。

2単位め 解説

- ① テキストの「Ⅱ 関東地域」を読み、この地域が古代末から中世にかけてどのような歴史的意義をもっていた地域なのかを考え、なぜ、この地域に鎌倉幕府という武家政権が誕生したかについても考えてください。
- ② テキストの「Ⅲ 琵琶湖・北陸地域」を読み、この地域の特性、大陸との接点、国内

他地域との接点がどのようなものであったのかについても考え、地域の特徴を理解するようにしてください。

3単位め 解説

- ① テキストの「Ⅳ 瀬戸内地域」を読み、とくに古代～中世にかけて、いかにこの地域が交流の大動脈であったかを考え、平氏政権・鎌倉幕府にとってこの地域がどのような意味を持っていたかについても考えてください。
- ② テキストの「Ⅴ 北九州地域」を読み、大陸との交流の具体像を描くとともに、平氏政権・鎌倉幕府にとってこの地域がどのような意味を持っていたかについて考えてください。

4単位め 解説

- ① テキストの「Ⅵ 薩摩・琉球地域」を読み、薩摩地域が古代国家・鎌倉幕府からどのように理解され、どのような地域として把握されていたかを考えるとともに、東アジア社会における琉球の立場について考えてください。その際、薩摩と琉球の立場、それが近代国家にどのように受け継がれ、アジア・太平洋戦争末期の地上戦が惹起されたことについても考えてください。
- ② 受講者の生活する地域にも、人びとの生活があり、豊かな歴史がありました。こうした痕跡は、いろいろな文化財として継承されています。これらを手っ取り早く理解するには地元（あるいはその周辺）の博物館・歴史民族資料館の見学、さらには自治体の刊行する自治体史が参考になります。見学・自治体史をもとに、地元の歴史像について考えてください。

参考図書

入間田宣夫・豊見山和行著『日本の中世5 北の平泉、南の琉球』中央公論新社、2002年
大石直正・高良倉吉・高橋公明『日本の歴史14 周縁から見た中世日本』講談社、2001年

数の世界

科目コード●050010

担当教員●大内真弓



4単位

R

1年以上

全学科

共通基礎科目

平成18年度以降は、新規履修登録を受付いたしません。ただし、これまでにこの科目の履修登録を行っている場合のレポート提出・科目修了試験受験は可能です。その場合は、『レポート課題集 2004』をご覧ください。

コミュニケーション英語

科目コード●050011

担当教員●生田目学文



2単位

SR

1年以上

全学科

共通基礎科目

科目の内容

英語のコミュニケーション能力の基礎を身につけます。特に音を聴いて理解することが大切です。文章や会話例のリスニングに十分な時間を割いてください。聞き取れないところがあってもすぐに文字に頼らず、耳に残るまで何度も聴いてから文字で確認してください。その意味ではCDが本来のテキストで、テキストはCDを補うものだと考えてください。文法もその過程の中で学習します。よく聴くと同時に英語のリズムにのせて声に出す練習も欠かせません。聴いて話せるためには聴き、話す練習が必要です。各エクササイズには文章の書き取りがあります。書くことはより確実性が要求されますから、英語の運用能力を確固としたものにするために必ず書き取りをしてください。

教科書

テキスト 『Motivation - 1』 セイドー外国語研究所

CD 『Motivation - 1』 セイドー外国語研究所

副教材 『Charts & Illustrations』 セイドー外国語研究所

学習指導書（以下「ガイドブック」と表記）『コミュニケーション英語』も合わせて使用します。

レポート課題 課題は2回に分けて、1単位めの合格後に次の課題を提出してください。

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※科目登録者に配付する専用レポート用紙を使用（書き方はp.52参照）。

※p.49記載の注意(1)～(4)をよく読んでください。

1 単位め	Lesson 2	2.1, 2.2, 2.3, 2.4, 2.6, 2.7, 2.8の  の印の部分
	Lesson 4	4.1, 4.2, 4.3, 4.4, 4.5, 4.6, 4.7, 4.8, 4.9の  の印の部分
	Lesson 6	6.1, 6.2, 6.3, 6.4, 6.5, 6.6, 6.7, 6.8, 6.9の  の印の部分

1 単位め	課題 1	テキストの内容に準じて、以下の日本語を英文にしてください。 - Kim さんは学生です。彼は英語を勉強しています。 - A: Lisa Williams さんは弁護士ですか? B: いいえ、彼女は写真家です。 - 私は_____ (自分の名前) です。 - 私は今病院で働いているところです。 - 私たちは忙しいです。でも私たちは疲れていません。 - A: その辞書は高いですか? B: いいえ。それは安いです。 - A: 彼は技術者じゃないですよね? B: ええ、違うと思いますよ。 - 私は日本語を勉強しています。それはとても難しいです。 - A: 今日は寒いですか? B: いいえ。暖かいです。 - 彼女は物静かな若い人です。 - 彼は中国人です。北京の出身です。 (外出予定の朝、外はとても良いお天気です。そこで一言。) _____ ! - A: Ann さんは優しい小児科医ですか? B: はい、彼女はとても優しい小児科医です。 - Tom さんはガソリンスタンドの従業員です。彼はガソリンを売ります。 - A: カメラマンはどんなことをしますか? B: 彼らはたいてい写真を撮ります。 - 夏には彼らはときどき野球の試合を見ます。 - A: Carl さんはこれまでビルのデザインをした事がありますか? B: ええ、よくあります。 - A: あなたはよく仕事でイライラしますか? B: はい。私はいつもイライラしています。 - A: 彼らはこれまでスキーをしたことがありますか? B: はい、冬にします。 - A: 私たちはいつもコンピューターを使っています。 B: そうですか? 私はまったく使ったことがないです。
2 単位め	Lesson 8 Lesson 10 Lesson 12 課題 2	8.1, 8.2, 8.3, 8.4, 8.5, 8.6, 8.7の  の印の部分 10.1, 10.2, 10.3, 10.4, 10.5, 10.6, 10.7, 10.8の  の印の部分 12.1, 12.2, 12.3, 12.4, 12.5, 12.6, 12.7, 12.8の  の印の部分 テキストの内容に準じて、以下の日本語を英文にしてください。 - A: 彼の名前を知っていますか? B: もちろん知っています。 - これは筆箱です。これらは鉛筆です。 - A: あなたは新聞を探しているんですか? B: ええ、そうです。 - A: 何を専攻していますか? B: 美術を専攻しています。 - 鞆の中に本があります。その鞆の中には本を入れてありません。 - A: スプーンは必要ですか? B: ええ、あなたは? ええ、います。

2 単位め

課題 2

7. A: John は犬を飼っているんですか?
B: 犬を飼っている? いいえ、ネコを飼っています。
A: あ、そうだったんですか。
8. 彼女は先月コンサートに出かけました。
9. A: いつ映画を見に行ったのですか?
B: 先週の金曜日に行きました。
10. A: 彼らはいつサイクリングに行くのですか? B: 夏です。
11. 私は明日野球をします。
12. A: 私は今夜7時には夕食を食べないと思います。
B: 私もです。
13. 川の側の家は寒いです。
14. 冷蔵庫の野菜は新鮮です。
15. ドアのところの女の人は私の英語の先生です。
16. A: ロシア語を話せますか?
B: いいえ出来ません。あなたは? A: 私も出来ません。
17. A: 窓を開けてくれませんか? B: わかりました。
18. A: 一緒に博物館に行きませんか?
B: いいですね。何時にしましょうか?
A: 駅に10時でいかがですか? B: いいですよ。
19. テーブルの上にリンゴがあります。
20. A: 私の手袋をどこに置きましたか?
B: タンスの引出しに入れました。

注意(1) レポートは1単位を1課題とし、順番に提出するようにしてください。一度に2つの課題をまとめて出さないようにしてください。偶数の Lesson だけが提出課題ですが、奇数の Lesson も欠かさず自主的に取り組んでください。レポートが返却されたら、間違い箇所などを確認した上で、合格ならば次の課題のレポートを出してください。「再提出」となった場合は、再度学習し、課題を加筆訂正して再提出してください。合格してから、次のレポートを出してください。

(2) レポートの中の会話は会話のやり取りがわかるように、文の前に [A][B] や A: B:、または人名など (Mr. Matsui:) を書き添えてください。

(3) 日々のレポート作成の際にはガイドブックをよく読んでください。特に、英語における名詞の表し方や冠詞、時制についての説明はじっくり読んでください。また、CD をよく聴き、音声情報を積極的に書き込む習慣をつけてください。

(4) スクーリング受講申込み締切日までに、Lesson 6 (1単位め) までのレポートを提出してください。

アドバイス

英語を聞き、話し、書く能力を基礎から身に付けるのがねらいですから、様々な文章や会話例のリスニングとスピーキング、そしてそれらを確認なものにするための書く練習を

週に少なくとも5日間は続けることが必要です。学習はCDを中心にテキストはあくまで参考書として利用してください。レポート課題はこのような日々の練習を積み重ねたものとして提出してください。ガイドブックにある  印の部分は、学習の過程でリスニング、スピーキングを経た後の最後の仕上げとして、大抵テキストを閉じてCDで話されている会話例に自分の応答を入れた状態で全体を余すところなくレポート用紙に書き取ることになっています。省略せずにすべて書いてください。そして書き取った後、テキストを見て赤ペンなどでチェックすることになっています。レポートは自分で書き取ったものに**訂正を加えた状態**で出してください。

訂正部分の多寡は基本的には評価の対象にはなりません。いかにきちんと直しているかが評価の対象になります。訂正の仕方の一例を以下にあげます。

How do you like ^{to} ^{your} spend free time?

[A] ^{*} ^{*} ^{*}
What's Ms. Robo doing?

[B] She's making a TV commercial.
She's a commercial.

このように、訂正する時は自分の間違った箇所が後で見ても分かるように塗りつぶさずに1本線ぐらいで訂正するようにしてください。というのも間違いには大概何らかの理由があって、発音が難しかったり単語を知らなかったり、誤解していたりなどそれぞれ思い当たる節がある場合が多いのです。間違いをしっかりと見つめることは次に何を勉強すべきかがわかり、間違いが誤解を解く鍵になることもあります。その意味で学習者は間違いから多くのことを学ぶことができます。

提出するのは本来は学習ノートですから自分で余白にメモを取ったり、訂正時に辞書を参照して単語の意味や発音記号を書いたり、訳を付けたり、音声情報を書き込んだりなど自由に加筆して構いません。ただ、間違い箇所と訂正がだれが見てもわかるように、**セクションの番号、文の番号などをきちんと書き**、訂正のためのスペースも十分にとるようにしてください（レポート用紙は**1行おきに使用**してください）。もし、間違いが余りにも多い場合は少し時間をおいてから再度同じ  の部分をやっても問題ありません。

英語が聴けるようになるためには聴く練習、話せるようになるためには声に出して話す練習が必要です。各セクションの最後の  の部分はコミュニケーション能力を確固としたものにし、頭の中に音の記憶がしっかりと残るようになるためのものです。  の前に （「CDを聴いて下さい」という意味）の印がありますから、ガイドブックの指示にしたがってCDを聴いて口頭練習を必ずおこなってください。

教科書・学習指導書訂正箇所

教科書『Motivation 1』

	誤	正
・ 11ページ26行目	MaClane' s	McClane' s
・ 23ページ18行目	married	engaged

参考図書

学習用辞書としては以下のものを推薦します。

『ジーニアス英和辞典』大修館（電子辞書版あり）

『小学館プログレッシブ和英中辞典』小学館（CD-ROM 版あり）

Oxford Advanced Learner's Dictionary, Oxford University Press (CD-ROM 版あり)

コンピュータの画面上で用いることのできる辞書の場合は発音も聞くことができ便利です。また、語学学習という教科の性質上、通信教育を受けると同時にラジオの英語教育番組を聞くことを奨励します。レベルに応じてNHK ラジオ英語番組の中から1つ選び、毎日放送時間を含めて30～40分の学習をするとかなりの効果が得られます。選ぶ場合の基準はテキストを見なくとも60～70%は理解できるものにしてください。テキストを参照すればさらに80～90%まで理解できるものがよいです。半分も理解できない番組を選んでしまうと荷が重過ぎてかえって学習量が減ってしまいますから注意して選んでください。

参考文献

朝尾幸次郎著（1985）『英語の演習 3 語彙・表現』大修館書店

荒木一雄・安井稔編（1992）『現代英文法辞典』三省堂

Biber, D. et al. (1999) *Longman Grammar of Spoken and Written English*. Longman.

Celce-Murcia, M. & D. Larsen-Freeman (1999) *The Grammar Book*. Heinle & Heinle.

Kolf, D. & Sell, D. A. (1999) *Teamwork 2*. Seido Language Institute.

Swan, M. (1997) *Practical English Usage*. Oxford University Press.

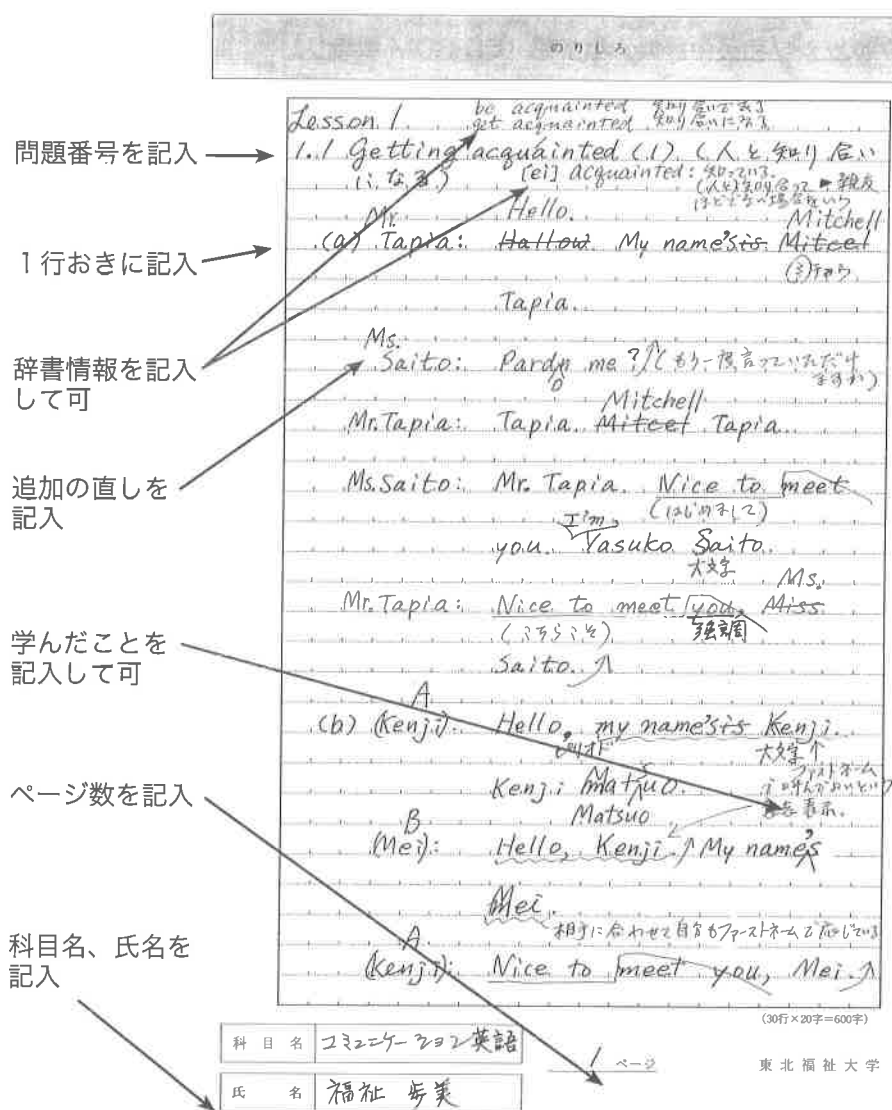
安井稔著（1996）『英文法総覧』開拓社

安井稔編（1996）『コンサイス英文法辞典』三省堂

スクーリング申込締切日（12月19日）までに1単位めのレポートを提出してください。

■英語用レポート用紙

- 1) レポート用紙の下に、科目名、氏名記入欄がある面を1ページめ（および奇数ページめ）にしてください。2ページめ（および偶数ページめ）はそのウラになります。
- 2) 1ページめの下欄に、科目名、氏名を記入してください。
- 3) 各ページの下にページ数を必ず記入してください。
- 4) 解答にあたっては、問題ごとに行を変えて記入してください。
- 5) レポート用紙は1行おきに記入してください。
- 6) 提出用表紙（ピンク色）へのはりつけ方は p.16参照。



基礎英作文

科目コード●050012

担当教員●窪田美穂子



2 単位

SR

1 年以上

全 学 科

共通基礎科目

※この科目のスクーリング開講は、平成20年8月22～24日が最後となるため、平成20年6月までしか履修登録できません。

科目の内容

英語を話す・聴く・書く・読む——これら全ての技能習得に必要な基礎的知識は文法です。英語文法と日本語文法との共通点や相違点を学習し、応用力をつけ実践を繰り返すことが英語学習の中心です。この科目では、英語文法の基本的ルールの中でも特に日本語と比べて複雑に分類される「時制（現在・過去・未来）」の理解をめざします。テキストで紹介されている様々な時制表現を用いた例文をもとに、短い英作文を書く練習を積み重ねて「日本語で考え英語で表現する」力から「英語で考え英語で表現する」応用力を養い、英語の基本的知識でさまざまな表現ができるようになることが目標です。

教科書

Noboru Nagasaka（長坂昇）編著『English Writing Focused on Tenses（時制中心の英語表現）』Yumi Press（鷹書房弓プレス）、2000年

レポート課題 1 単位めの合格後に 2 単位目を提出してください。

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※科目登録者に配付する専用レポート用紙を使用（書き方は p.52 参照）。

※ p.53～54 記載の注意(1)～(3)をよく読んでください。

1 単位め	テキスト Unit 1 から 10 までの各ユニットから問題 3 つを自由に選び、かつ英語談話室Ⅰの問題全部（練習文 10 題と関連応用文 5 題）を解答すること。
2 単位め	テキスト Unit 11 から 20 までの各ユニットから問題 3 つを自由に選び、かつ英語談話室Ⅳの問題全部（練習文 10 題と関連応用文 5 題）を解答すること。

注意(1) 必ず黒か青のペンを用いて。全ユニットと選択した問題の番号を明記し、解答の

前に日本語の問題文も書くこと。レポート用紙は1行おきに使用すること。英語談話室Ⅰ・Ⅳの問題と解答は全て書くこと。スクーリングにおいては各ユニットのポイントを解説し、さらに応用問題をこなす。

(2) 1単位めと2単位めは別々に提出し、1単位め合格後に2単位めを提出すること。

(3) スクーリング受講申込締切日1週間前までに1単位めが合格しており、2単位めのレポートを提出して申込締切日までに合格していること。

アドバイス

テキストはUnit 1から20(全20章)まであり、各ユニットの左ページに5つの例文があって右ページには練習問題が10題あります。練習問題は例文とヒントをもとにほとんど書けます。英作文の問題を解く場合に、日本語の問題文を読んですぐ英和辞典や和英辞典をひく人がいますが、解答がわからない場合はあわてないで、まずテキストの例文・その下のヒント・(あれば)問題のすぐ下のヒント・巻末の付録1～3・ここで後述する追加ヒントをよく読んでから解答を作成して下さい。英和・和英辞書で調べるのは最後にしヒントをもとに「英語で考える」習慣を少しずつつけましょう。

1単位め 解説

第1回目レポートに関する追加ヒント (Unit 1からUnit 10までと英語談話室Ⅰ)

Unit 1からUnit 6と英語談話室Ⅰまでは、現在時制と過去時制に関する用例と作文練習です。

Unit 1からUnit 4は現在時制についてですが、ここで注意すべき点は、各ユニットの左ページの用例とヒントには書いてありませんが、主語「～は・が」にあたる名詞に三人称単数(三単現)が該当する場合(例: he, she, it, 人名地名などの固有名詞の単数形)、動詞にsをつけることを忘れないで下さい。例えば、Unit 1の用例2, 4, 5の文 He takes ..., He writes..., She wears..., では三単現主語 he, she にあわせ動詞 take, write, wear にsがついています。ただし、いろいろな例外があり、be動詞やhave動詞はこれと異なる活用をしますし、他の動詞でもstudyのように綴りが子音+yで終わる場合、yを取ってieをつけてからsをつけますが(study → studies, cry → cries)、playのように母音+yで終わる場合そのままsをつけます(play → plays, delay → delays)。こうした三単現主語の後の動詞にsをつけるのを忘れたり、それに伴う動詞綴り変化のミスが、日本人が最もおかしやすい英文法ミスの一つです。右ページの応用問題を全て解いた後もう一度例文を見て(辞書も利用し)動詞+sの脱落がないかチェックしてください。

Unit 1 は存在・習慣・心理・職業を表す現在時制の例です。同様に、テキスト冒頭の「はじめに」にも He drives a taxi./ He is driving a taxi. の対比例があげられています。これは「職業・習慣を表す現在時制」と「現在行われている一時的な動作を表す現在進行形」とを比較しています。また、Unit 1 と Unit 2 には be 動詞の用例もあります。Unit 1 用例 1 にある「～が存在する」意味のほか、Unit 2 用例 2 の進行形との共起も主な用例の一つです（Unit 3、6 現在・過去進行形を参照）。Unit 1 と 2 では「～は ...（という状態・性質）である」という意味では「be 動詞＋名詞または形容詞」となります。Unit 1 用例 3 「丸い」round 問題 8 「大切な」important は形容詞です。ゆえに前に be 動詞がきますが、主語に合わせて（1・2・3 人称のどれか、単数複数のどちらか）形を変える必要があります。このような be 動詞の用法はテキスト全般に出てきますので注意してください。

Unit 1 の練習問題に動詞の現在形の他に過去形が出ています。問題 5 「言った」said（現在形 say）、問題 6 「知っていた」knew（現在形 know）です。

Unit 2 の用例 4 は無生物主語として天候を表す it の用法です。この場合「それ」とは訳さず意味のない主語です。it が仮主語になるのは、天候のほかに距離や時間を表す場合や、形容詞などが後続し接続詞 that で始まる節が続く場合などがあります。後のユニットでもこのような無生物主語の用例がいくつか出てきます。Unit 2 の練習問題 2 「（コンサートなど催し物を）開く」give 問題 7 「～がある・～が開かれる（だろう）」will be held 予定の未来形 will（Unit 13 参照）。または、「我々が～を開催する」という言い方にして We (will) have～としてもよい。問題 5 「～をたつ」＝「～を出発する」問題 4 参照。

Unit 3 は現在進行形「今～している」または「（近い将来）～する予定だ、しようとしている」の意味をもち、「be 動詞の現在形＋動詞の進行形」で表します。動詞の進行形は基本的に動詞＋ing ですが、これも例外があり、e で終わる綴りの動詞は e をとって ing をつけ（例：drive → driving）、または最後の子音をもう一度加えて ing をつける動詞（例：put → putting）やその他のパターン（例：lie → lying）がありますので、綴り変化に注意し辞書で確認して下さい。問題 9 ここでは「言っていた」は過去進行形でなく過去形「言った」ととらえる。

Unit 4 用例 1 の look は「見る」という動作でなく「～のように見える」という状態を表す意味です。用例 2 「～だそうだ（伝聞）」I hear (that)～や用例 4 「～の出身である」come from～は決まった慣用表現です。用例 3 のような予定としてすでに決まっている事項も現在時制で表します。用例 5 の「（ある状態である）と感じる」feel＋形容詞

Unit 5 と 6 は過去時制と過去進行形の練習ですが、ここで注意することは、動詞の過去形には原形（現在形）からの綴り変化に二つのタイプがあるという事です。一つは原形に ed をつける規則動詞（例：walk → walked, visit → visited）ただし、子音 + y で終わる場合は y をとり ied をつける（例：study → studied）。もう一つは ed をつけない不規則動詞（例：go → went, cut → cut）です。どの動詞がどちらのタイプか迷ったら辞書で確認して下さい。Unit 5 用例 3 と問題 6 の what は、疑問詞ではなく関係詞で「～するもの・こと」という漠然とした意味です。what + 主語 + be 動詞過去形で「～がそうだったある状態」what he was 「彼が（過去において）そうだったある状態」、問題 6 「昔の場所」＝「昔のそれがそうだったある状態」、Unit 6 問題 10 「～を待つ」wait for 「～が～するまで（ずっと）」until (または till) + 主語 + 動詞。

英語談話室 I の(2)関連応用文 1 は二つの文ですが、同じ意味でも応用文 2 は「～なので ... である」の形で、「～なので」接続詞 because, since, as など用いて一つの文 Because/Since/As ～, ... にします（英語談話室 II の Part III (2) を参照）。ただし接続詞でも so の場合は文頭でなくコンマ後にきて～, so... となります。応用文 1, 2 「～にプレゼントをあげる」give a present to ～応用文 3, 4 「～を ... にプレゼントする・あげる」present (または give) ～to... 「にっこりして」with a (happy) smile 「言ってくれた」＝「言った」応用文 5 「「そうかなあ」と嬉しそうでした」＝「「そうかなあ」と嬉しそうな様子で言った」said "Really?" happily または said "Really?" with a happy look などと表現できます。

Unit 7 から 12 までと英語談話室 II は（現在・過去）完了形についてです。まず現在完了は以下の意味に大別されます。Unit 7 の完了と結果「もう～してしまった」「たった今～したばかりだ」「まだ～していない」。Unit 8 の継続「今までずっと～の状態である・している」と経験「今まで～したことがある」。Unit 9 は現在完了と進行・継続「今までずっと～し続けてきた」や受け身（受動態）「今までずっと～されてきた」などとの組み合わせ応用例。Unit 5 と 6 で述べましたが、動詞の過去形と同様に過去完了形のつづりの変化も注意する点です。過去形と過去完了形が同じでない動詞が多いので作文をしたら辞書で活用変化を確認してみてください。もう一つの注意事項は、完了形では過去分詞と共に起する動詞 have の活用変化です。主語が三単現なら have を has に変えますが一・二人称単複両形と三人称複数なら have のままです。

Unit 8 の用例 4 の解説にあります。経験「～へ行ったことがある」は have gone to でなく have been to と be 動詞の過去分詞形がきます。have gone は「もう行ってしまって今ここにはいない」という意味だからです。用例 3 「～して以来 ... 年になる・年

たった」など時間経過を表す it と天候を表す it (練習問題 4) は無生物主語です。

Unit 9 の用例 4 と 5 (の解説) も it が無生物主語の例です。練習問題 2 「掃除していません」を受け身にすると「掃除されていません」です。have / has の後は be 動詞＋過去分詞です。練習問題 4 「東京に来て」＝「東京に住んで・いて」ともおきかえられる。

Unit 10 から 12 は過去完了時制で、had ＋過去分詞となります。意味を大別すると Unit 10 の完了と結果「(ある過去の時点よりさらに前に)すでに～してしまっていた」「その時点ではまだ～していなかった」と経験「(ある過去の時点より以前に)～したことがあった」。

2 単位め
解説

(Unit 11 から Unit 20 までと英語談話室Ⅳ)

過去完了形は、Unit 10 用例 5 や練習問題 9、10にあるように、had ＋過去分詞を用いない例外として、「(過去のある時には)～するつもりだった(が結局しなかった)」など実際には実現しなかった行為を表現することもあります。他の例としては Unit 11 の継続「(過去のある時点まで)ずっと～していた・だった」・進行形「(ある過去の時点よりもさらに前から)(それまでは)ずっと～し続けていた」・受け身(受動態)「(ある過去の時点よりも前に)(それまでに)～されてしまった・されていた」。その他慣用的特殊表現は Unit 12 参照。

英語談話室Ⅱでは「～するために」を意味上 3 つのタイプ(目的・利益・原因理由)に分け用例を紹介しています。Part Ⅲ の原因理由では、句と節を用いた例を区別しています。句と節の厳密な定義や区別は複雑ですが、ここでは簡単に、接続詞 because, since, as など用いて主語＋動詞(述語)を形成するのが節、そうでなく名詞のみとるのが句だと捉えてください。

Unit 13 は will の単純未来「～だろう」です。用例 1、2、5 では will の後の be 動詞の付け忘れに注意して下さい。練習問題 2 「成人式を迎える」＝「成人式に出席する・に行く・に参加する」attend または go to または take part in 問題 7 「～せねばならない」have to

Unit 14 は will の意志未来「～するつもりだ」です。例文 1 「最善を尽くす」do one's best の one's は、主語に合わせた「(誰々)の」を表す所有格(my, your, his, など)に変えます。問題 4 「日曜大工で来週の日曜日を一日過ごす」日曜大工「をする人」が、問題下ヒントの a do-it-yourself の意味です。

Unit 15は will の意志未来の疑問文「～するつもりですか」と、I を主語にして shall の提案を表す疑問文「～しましょうか」や助言を求める疑問文「～したらいいのでしょうか」です。練習問題2「何時の列車で～に行くつもりですか」＝「あなたは～に行くために何時の列車に乗るつもりですか」「乗る」ここでは take。問題3「少し寒い」＝「少し寒く感じる」feel a little cold 問題5「電話する」では目的語「あなたに」を入れること。日本語では、主語「誰々が」や目的語「誰々に」を省略しますが、英語でははっきり表す場合が多い。問題7「トム君」は「トム」Tom 名前のみの呼びかけです。「～してくれたまえ」ここでは Unit 16の相手への以来表現「～してくれないか」を参照。「～を ... に届ける」take ～ to... 問題8「～したい方はいませんか」＝「誰が～したいですか」「～したいと思う」want to または would like to 「一緒に」＝「私（たち）と一緒に」with me (または us) 問題9「～しようとしまいとそれは自由だ」＝「～しようとしまいとそれはあなた次第だ」It depends on you whether～または It is up to you whether～

Unit 17練習問題7「30回目の誕生日を迎えることになる」は、Unit 13用例1などの単純未来や予定の一例です。「誕生日を迎える」have a birthday

Unit 18は be going to 「～するつもりだ」「もうすぐ～しようとしている・しそうだ」ですが、これと異なり用例1は「～へ（今から）行こうとしている」では to の後に動詞ではなく場所を表す名詞がきます。つまり go の現在進行形です（Unit 3 参照）。問題5「風邪のため」because of (a) cold または because he had (a) cold など（英語談話室Ⅱ・Ⅲ参照）。問題6「取りやめる」cancel it 問題7「黒雲が出ている」＝「黒雲が空にある」There are black clouds in the sky または「黒雲が現れた」という意味で「黒雲」を主語にして動詞「現れる」appear を現在完了形にする。

英語談話室Ⅲでは「～ために」を様々な文法構成（単文・複文の区別、無生物主語）で表現しています。

Unit 19は会話でよく使われる助動詞 would の丁寧な勧誘・依頼・要求（巻末付録2 参照）と、助動詞 should の義務・当然（無生物主語 it をとる）の用例です。

Unit 20は would の過去の習慣「かつてよく～した（今はしていない）」・過去の拒絶「絶対～しようとしなかった」です。should の用例4「...（人）が～するといけなから」for fear that ... should～と for fear of があります。前者は節として接続詞 that の後に主語＋動詞（述語）をとり後者は of の後に名詞句をとります。用例5「～するべきだっ

たのに (しなかった)」should have + 過去分詞、否定形「～するべきじゃなかったのに (してしまった)」should not have + 過去分詞。語順や not の位置に注意してください。

英語談話室Ⅳは助動詞のなかまとして will, would, should の他に may, must を紹介しています。may 「～してもよい (許可)」、must 「～せねばならない (義務)」のほかによく使われる意味として may 「～かもしれない (弱い推量)」、must 「～にちがいない (強い推量・確信)」があります。

(1)練習文 8 「風邪かもしれない」二通りの解釈があります。一つは、「(今) 風邪をひいている (状態) かもしれない」助動詞 + 動詞の形。もう一つは、「風邪をひいてしまった (すでに行った動作) かもしれない」助動詞 + have + 過去分詞の形 (過去の行為や状態への推量)。練習文 9 「気がついているにちがいない」も同様に、一つは、「(今) 気づいている (状態) にちがいない」助動詞 + 動詞の形。「～に気づいている・知っている (状態)」be aware of ～または know、もう一つは、「気づいてしまった (すでに行った動作) かもしれない」助動詞 + have + 過去分詞の形 (過去の行為や状態への推量)。「～に気づく (行為・動作)」notice 8・9 とも、動詞が状態を表すか動作を表すかで解釈が分かります。

(2)関連応用文 1 「会合は中止かも知れない」= 「その会合は中止されるかもしれない」受け身文で表せます。(2)関連応用文 2 「もし～したのならば (していれば)、～したかもしれない」仮定法過去完了形で、過去において発生しなかったことを仮定した表現です。If 主語 + had + 過去完了形、主語 + might + have + 過去完了形が基本構造です。この文では「もし私 (またはあなた) が彼女を誘っていたならば～」とします。(2)関連応用文 3 「部屋の中が蒸し暑い」天候の主語 it を用いて。「(気温が) 暑い」は it is hot (3)関連応用文 5 「～が ... と一致する」= 「～と ... は同じ」be the same as... または「彼が～に同意する」he agrees to～

付録 1・2・3 は日本語と英語の文法上の相違点を品詞・構文・相から分析した用例です。各ユニットの問題を解いたあと付録の例文にも目を通してください。英語と日本語の基本的な文法の違いから英作文のヒントが得られるでしょう。

訂正：付録 2 (p.52)

(2) S + V + O + 感覚動詞の～ing 形 → S + V + O + 動詞の～ing 形。

スクーリングでは、テキストの各ユニットの例文や問題をもとに、さらにくわしく解説を加えて文法のポイントを再確認し、テキスト以外の応用問題を英訳する練習をする予定です。

繰り返しになるが、スクーリング受講申込締切日 1 週間前 (7 月 21 日) までに 1 単位め 2 単位めともレポートを提出し、合格していること。

スポーツ (バレーボール)

科目コード●050014

担当教員●佐藤伊知子



2 単位

SR

1 年以上

全 学 科

共通基礎科目

※スクーリング必修科目、平成20年度は9月13～15日開講予定。その次は平成22年度開講予定。

科目の内容

スポーツは私たちの健康や体力作りはもとより、生きがいや仲間作りにも大きな役割を果たすものです。本科目では、スクーリングによる実技講習において基礎体力の養成やバレーボールの基本技術やルールの習得を目指します。また、2人一組での練習やチーム練習などを通して、協力する精神を学びます。

バレーボールの中でもっともポピュラーな「6人制バレーボール」以外にも、生涯スポーツとして人気の高い「ソフトバレーボール」や、パラリンピック種目でもある「シッティングバレーボール」なども体験してみましょう。

教科書

スクーリング時に資料配布

(平成16年4月以前履修登録者) 2004年5月に教科書が「スクーリング時に資料配布」となりました。以前の教科書 佐藤伊知子著『バレーボール6人制』成美堂出版からの抜粋となります。よって、スクーリング受講後ならばこれまでの教科書所持者もそのままレポート課題に取り組むことができます。

レポート課題

課題はスクーリング受講後に提出してください。

1 単位め	バレーボールの基本的なルールを述べ、初心者同士が試合を行う場合に適用したほうがよいものと、適用しないほうがよいものについて考察しなさい。
2 単位め	6人制バレーボールとソフトバレーボールのルールの違いを述べ、ソフトバレーボールは生涯スポーツとしてどのような工夫がなされているか考察しなさい。

アドバイス

バレーボールの基本的な技術（オーバーパス・アンダーパス・サーブ・アタックなど）はスクーリングでの実技講習で学びます。6人制バレーボールやソフトバレーボール、シットイングバレーボールなどを体験してみると、そのルールの中からさまざまな「配慮」「工夫」が見て取れます。スポーツを通してその「配慮」や「工夫」について考えてみてください。

年齢や性別、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむためにはそのような視点が必要となってくるのです。

1 単位め 解説

まず、テキストの9「勝つためのルールをおぼえよう」を参考に、6人制バレーボールのルールについて述べてください。

「ルール」は競技スポーツとしてはなくてはならないものではありませんが、初心者や技術や体が未熟なプレーヤーに対して完全に適用すると、ラリーが途切れ、試合そのものが楽しくないものになりかねません。

遊びやレクリエーションもそうですが、スポーツもルールをその人たちのレベルにあわせて適用させたり、アレンジすることによって、誰もが楽しめるものになります。

初心者が楽しめるものを目指す、というところがポイントとなります。バレーボールの場合、どの部分をどうアレンジすれば初心者の人でも楽しくゲームが進められるか、どのルールはそのまま適用するのかを考えてまとめてください。

2 単位め 解説

バレーボールは、「ボールをはじく」という難しい動作を基本にしており、発達段階が未成熟な小学生には適していない、ということから長い間、小学校の体育の授業には取り入れられませんでした。そんな小学生にもできるようにと考えられたのがソフトバレーボールです。

道具やコートをはじめ、ルールを工夫したことによって、子供からお年寄りまで幅広くバレーボールを楽しめるようになり、ようやく小学校の授業にも取り入れられるようになりました。

実技の時間に学んだソフトバレーボールのルールを述べ、6人制バレーボールとの相違点をふまえ、生涯スポーツとして受け入れられる要素を考えてまとめてください。

参考図書

日本バレーボール協会編『最新ソフトバレー・ハンドブック改訂版』大修館書店、2006年

スポーツ (バーンゴルフ)

科目コード●050015

担当教員●小野寺浩三



2 単位

SR

1 年以上

全学科

共通基礎科目

※平成20年度のスクーリング開講はありません。次回スクーリング開講予定は平成21年度です。

科目の内容

バーンゴルフは、ゴルフのパターによる18ホールのストロークプレーです。見た目はやさしいが、高度なテクニックや頭脳プレー、集中力が求められます。

障害者や高齢者にはリハビリの効果があり、子どもから大人まで年齢、性別、身体的ハンディにかかわらず、誰もが参加できるバリアフリーのニュースポーツです。

本スクーリングにおいて、歴史、意義を論じ、ルールとマナー、コースの攻略法を身につけるとともに基礎体力、基礎技術の向上を図ります。また楽しみ、喜びを共有しながら、リハビリスポーツ、生涯スポーツとして取り入れ体験学習をします。

教科書

スクーリング時に配布

レポート課題 スクーリング終了後に2課題提出してください

1・2単位め

- ・3題のうち2題を選択してください。1題が1単位分になります。
- 課題①バーンゴルフの魅力・特徴・効果をあげ、リハビリスポーツや生涯スポーツとして、障害者や高齢者になぜ必要か考察せよ。
- 課題②バーンゴルフは生涯スポーツと競技スポーツの両面を持っているが、その違いについて考察せよ。
- 課題③バーンゴルフが老若男女を問わず楽しむことができるのは、どのような理由があげられるか。自らの体験を通して考察せよ。

健康科学

科目コード●050016

担当教員●小崎浩信



2 単位

R

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

保健医療福祉の分野を専門的に習得するにあたっては、人の健康について洞察を深める必要があります。本講ではまず、健康への理解を深めるための日常生活における身体活動の営みを理解するために、前半で「健康文化」「運動文化」としての体育・スポーツの必要性和内容について学習します。その上で、後半では、健康科学としての社会における身体活動の意義や健康的営みに要される社会環境の概説を通して、身体－運動－文化に関する科学的知識を養うことにより、日常における健康への意識や健康活動の必要性の理論修得を目的とします。

教科書

財団法人私立大学通信教育協会編『体育理論』

レポート課題

1 単位め	「健康文化・運動文化」「体育・スポーツの必要性」 健康文化と運動文化における体育の主要目的をまとめた上で、それらの関係が日常生活の中でどのように取り入れられているかを考察しなさい。また、社会性や効果・弊害を踏まえた上での体育・スポーツの必要性を具体的に論述しなさい。
2 単位め	「健康の定義」「環境衛生」 健康の定義をまとめた上で、あなたの周囲で実践されている健康指導の例をあげ、具体的に考察し論述しなさい。また、人々の生活とそれを取り巻く生活環境との観点から、環境衛生について整理し、さらに産業によってもたらされた公害の社会的原因について、環境衛生と関連づけながら簡潔に論述しなさい。

アドバイス

全体の解説

本論では、健康文化や運動文化の概念、主要目的を習得し、健康の定義や社会における環境の衛生を考察することにより、保健医療福祉分野に必要な基礎的知識と理解を深めることを学習のねらいとしています。

そのねらいを達成するためのポイントは、テキストや資料を熟読した上で、実生活の現況や課題に置き換えて考察することが必要となります。この講座習得のねらいは、あくまで、理論としての健康科学を、実生活や医療福祉現場、教育現場等において、自らの意志により心身双方の健康指向を高めていくことにあります。したがって、レポート課題の内容は、①基礎理論を踏まえた上で主要事項をまとめ、②事例や症例を用いながら考察し、③社会における「健康」の意義を理解する、ことを段階的に進められるよう構成しました。

課題をまとめる作業を効果的に進めると同時に、それらの事象に対するものごとの捉え方と幅広い視点の方向性を養うため、参考図書や参考資料を有効に使いながら、学習を進めてください。

1 単位め 解説

健康への志向や運動の習慣性は、それぞれの国や民族、地域や環境によって異なりますが、健康を目指した身体運動には、明確な目的が存在します。ここでは、体育における主要目的を把握することで、「健康文化」「運動文化」の必要性を理解していただきます。第1章3節の項を参考に、健康文化の開発と運動文化の開発について、その概要を簡潔にまとめて論述してください。次に、テキストの健康文化と運動文化の関係の項をよく読み、「健康文化」と「運動文化」の要点を整理しながら、相互の関係性の内容をまとめた上で、あなたの日常生活上でみられる「人格形成的な価値開発」や「生活形成的な価値開発」を例にあげ、わかりやすく論述してください。

また、身体活動の方法のひとつとしてのスポーツも視野に入れながら、その効果と弊害について端的にまとめ、日常生活における、健康を目的とした体育やスポーツの必要性について論述してください。ここでは、娯楽としてのスポーツ、遊戯として発展したスポーツ等、体育のみならず、「スポーツの概念」を十分に理解することが学習のポイントとなります。テキストの第3章3節以降を参考にすると良いでしょう。

評価は、テキストの内容を適切に要約して理解することができるか、また社会生活における健康の重要性や身体活動の必要性を適切に整理・理解できたか、という点にポイントがおかれます。その点を考慮して簡潔にレポートを作成してください。

**2単位め
解説**

ここでは、健康とはなにか、といった、いわゆる「健康観」について考えることが、中心的な課題となり、また、実生活の生活環境や衛生についての理解を図ることを学習のねらいとしています。

まず、健康の定義として代表される世界保健機構（WHO）の定義をよく理解してください。その上で第6章にある保健と増健、栄養と食事についての項を参考にしながら、身近にある健康指導の例について、あなたの考えを取り入れながら論述してください。例えば、あなたの住んでいる県や市の広報に掲げられる健康増進活動や日常生活習慣病予防の内容を参考としたり、また実際に、地域の健康増進センターや保健所に出向いてレポートしてくるのもよいでしょう。また、インターネットなどの情報通信機器を有効利用することも手段のひとつです。要するに、どのような形で「健康観」が地域で実践され、啓蒙されているかを知ることが大切なことです。

次に、第6章3節以降を参考としながら、環境の衛生について、生活環境と生活環境因子を整理しながら簡潔にまとめてください。その上で、社会における公害の原因について項目別（公害別）にまとめ、環境衛生の重要性とつながるよう論述してください。本論で学んだことをもとに、ダイオキシン問題や地球温暖化現象問題など、身近に起こった社会問題を参考にすることもよいでしょう。ここでは、健康そのものに関する社会的因子、環境因子を把握・理解することで、バランスのとれた社会生活・社会環境について考察することが学習のねらいとなります。

評価は、「健康観」に対して事例や社会的展開を取り入れながら、論を展開することができ、そして生態系という大きな範疇から「健康」を捉え、自然的環境と人工的環境の調和を十分に考察できるかという点にポイントがおかれます。あなたの実生活や日常のできごとを十分観察し、社会的事象と本論で学んだことを関連づけながら、レポートを作成することをおすすめします。

教科書訂正箇所

「健康科学」の教科書131～132ページの「優生保護法」に関する記述については、下記のように訂正のうえ読み進めてください。

・131ページ

「優生保護法」は「母体保護法」に名称が変更されています。また、「母体保護法」第14条の条文も下記のように改正されています。

— 母体保護法 第14条 —

（医師の認定による人工妊娠中絶）

第14条 都道府県の区域を単位として設立された社団法人たる医師会の指定する医師（以下「指定医師」という。）は、次の各号の一に該当する者に対して、本人及び配偶

者の同意を得て、人工妊娠中絶を行うことができる。

一 妊娠の継続又は分娩が身体的又は経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれのあるもの

二 暴行若しくは脅迫によって又は抵抗若しくは拒絶することができない間に姦淫されて妊娠したもの

2 前項の同意は、配偶者が知れないとき若しくはその意思を表示することができないとき又は妊娠後に配偶者がなくなったときには本人の同意だけで足りる。

なお、132ページに掲載の別表も、現在の「母体保護法」からは削除されています。

参考図書

浅田隆夫著『教養のスポーツ・健康科学』学術図書出版社、1987年

有賀徹著『健康科学（改訂第2版）』篠原出版新社、1995年

西山逸成・坂本静男 編『大学生のための健康科学』医歯薬出版、1997年

畠山トミ編『これからの健康科学』学術図書出版社、1998年

後閑容子・蝦名美智子著『健康科学概論第2版』廣川書店、2001年

人間と教育

科目コード●050017

担当教員●寺下 明



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

今日の教育をめぐる課題は、どれ一つをとってみても、わたしたちひとりひとりの生き方を問い、未来の社会を決定づける問題です。学ぶ、知る、考える、成長するとはどういうことなのか。その営為に教育はどうかかわっているのか。暴力やいじめ、非行はなぜなくなるらないのか。不登校や学校崩壊はなぜ起こるのか。グローバルゼーション、IT化、知識基盤社会の到来は、教育のあり方やわたしたちの生活や成長にどのような影響を及ぼしているのか。教育の改革は、どのように行われようとしているのか。

教育を問うということは、何をどのように問うことなのでしょう。まず、教育は、歴史・社会・文化のすべての全体的な関連のなかで営まれる活動です。それゆえに、わたしたちは、教育あるいは人間とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。なぜ、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは何か、に答えなければなりません。その問いに対する解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるでしょう。

教科書（「教育原理」と同じ）

寺下明著『教育原理』ミネルヴァ書房、2003年

レポート課題

1 単位め	人間は「教育的存在」であることを踏まえて、「教育」について定義しなさい。
2 単位め	子どもの発達における「素質と環境」の問題について、考えを述べなさい。
3 単位め	日本の子ども観と、子育ての日本の特質について述べなさい。
4 単位め	日本の近代公教育の特徴について述べなさい。

アドバイス

1単位め 解説

教育とは何かについて、カントの「人間は教育されねばならない唯一の被造物である」という言葉の意味を考慮して、まとめてください。テキスト1章を参考にしてください。

2単位め 解説

子どもの発達をめぐる問題は、諸科学の研究成果をもとにした人間としての「事実」に立脚することが重要です。そして、さらに重要なことは、人間は歴史的・社会的環境をもち、「意味」のある世界に生きているということです。したがって、発達をめぐる問題は、事実としての人間と、価値に関わる社会や文化の領域（広い意味での環境）を包含せざるを得ないのです。こうした視点から、子どもの発達の特徴を教育との関連で考察してください。テキスト2章を参考にしてください。

3単位め 解説

子どもをどう見るか、子どもはいかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に大人や人間とは何かを問い直してみましょう。さらに、子育てのあり方を欧米と比較しながら、日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにします。テキスト3章を参考にしてください。

4単位め 解説

日本の近代化は、黒船ショックによって路線が選択されました。「富国強兵」「殖産興業」を近代化の目標に掲げ、国家による強制教育の制度を確立し、短期間のうちに合理的かつ機能的に近代化に必要な知識技能を国民に身につけさせることでした。こうして中央集権的教育行政、画一的教育が行われることになりました。そのような背景を理解し、近代日本の公教育の特徴についてまとめてください。テキスト4章、5章を参考にしてください。

参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

観光と文化

科目コード●050018

担当教員●安藤直子



4単位

R or SR

1年以上

全学科

共通基礎科目

※平成20年度のスクーリング開講はありません。次回スクーリング開講予定は平成21年度です。

科目の内容

私たちは、観光にかかわるとき「どの国に行くか」「そこで何をみたいか」「何をしたいか」といったように、サービスを受ける側の立場で物事をとらえがちです。しかし、私たちが掛けた先には、私たち観光客を迎えてくれる人たちがいます。もし皆さんが、観光客を迎える側の立場から、観光の舞台裏を覗いてみる事ができたとしたら、そこでは思いがけないドラマが繰り広げられているかもしれません。

この授業では、観光の舞台裏も含めて、観光を立体的に眺めることに挑戦します。その際、「文化」の問題として観光をとらえ、観光客と観光客を迎える人々それぞれにとって「観光する」とか「観光に行く」ということが、どのような意味をもつのかを考えます。

教科書

山下晋司編『観光人類学』新曜社、1996年（2008年秋変更予定）

レポート課題

1 単位め	観光人類学が誕生した経緯と、観光人類学とは何を研究しようとする学問なのか、まとめてください。
2 単位め	観光リゾート開発の具体例をあげて、観光開発がその土地の文化に与える影響について論じてください。
3 単位め	観光地のイメージがどのように形成されてきたか、そのイメージが観光地で暮らす人々の生活や文化にどのような影響を与えたか、具体例をあげて論じてください。
4 単位め	観光と文化について自由に論じてください。その際、「文化の演出」「文化の消滅」「文化の創造」「文化の生成」といった言葉のうちのいくつかを使用してください。

アドバイス

レポートには、テキストの内容をそのまま記述するのではなく、他の文献を使って調べたことや、あなたの身のまわりで起きた出来事からあなた自身が考えたこと、感じたことを含めて論じてください。本や新聞に書かれていることがすべて正解とは限りません。それらは、あくまでも1つの見方に過ぎないということを心に留めて、自分自身の考えを論じてください。

1単位め 解説

観光を研究対象とする学問領域はたくさんあります。その中で、観光人類学にはどのような特徴があり、何を研究しようとする学問なのか、「文化」という切り口で観光を分析することがなぜ重要なのかを論じてください。テキストの第1章、みどころⅰ、第2章などを読み、その上であなた自身の考えも含めてまとめてください。

2単位め 解説

国内あるいは海外のリゾート地を眺めてみると、リゾートを建設し運営するプロセスには、多くの人たちが携わっていることがわかります。観光客にとってリゾートは非日常的な空間ですが、地元の人々にとっては日常生活の場であり、(1)観光客、(2)地元住民、(3)資本を投資し、リゾート開発をする人たちの間には、様々な「文化」の問題が生じています。

テキストの第5章などを参考にしながら、前述の3つの立場の人々の間で、どのような問題が生じているのか、具体的な事例をあげながら論じてください。

3単位め 解説

私たちはパンフレットやガイドブックを参考に旅行先を選びます。そのため、観光をビジネスとして成立させる際には、観光地のイメージを生産する戦略が重要になってきます。

テキスト第4章、第6章、第10章などを参考にしながら、観光地のイメージがどのように生産され、そのイメージが観光地で暮らす人々にどのような影響を与えたか、教科書で取り上げた地域以外の、具体例をあげながら論じてください。

4単位め 解説

私たちは、観光地には、パンフレットで見たままの生活があり、観光地ではありのままの景色を眺めているように思っています。しかし、実際はそうではありません。

テキスト第3章、第8章、第11章などを参考にしながら、あなたは、観光開発がその土地の「文化」や「伝統」を破壊するととらえるのか、あるいは、観光は「文化」を洗練さ

せ新しい「文化」を生成させるととらえるのか、観光と文化をめぐるあなた自身の意見を論じてください。

参考図書

テキストの各章に提示されている文献を参考にしてください。

子どもと社会

科目コード●050019

担当教員●鈴木 泰子



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

「子どもは社会の子どもである」と言われることがあります。私たちの社会の次世代になう子どもたちが健やかに伸びやかに育つために、私たちはどのような支援ができるのでしょうか。そのためには子どもたちの何を理解する必要があるのでしょうか。この科目では皆さんと一緒に、家庭における子育てや学校などにおける教育のあり方にも目を向け、国内外の事例も参考にしながら、子どもと社会のかかわりについて考えます。

教科書

武田信子著『社会で子どもを育てる ― 子育て支援都市トロントの発想』平凡社、2002年

レポート課題

1 単位め	「子どもが健やかに育つ」とはどのようなことであると考えますか。テキストや参考文献、今までに得た知識や経験などをもとに、あなたの考えを述べてください。
2 単位め	「子どもを尊重する」とはどのようなことであると考えますか。テキストや参考文献、今までに得た知識や経験などをもとに、あなたの考えを述べてください。
3 単位め	子どもが健やかに育つ環境を整えるためにはどのようなアプローチの仕方があるでしょうか。テキストや参考文献、今までに知り得た知識や情報をもとに、あなたの考えを述べてください。
4 単位め	「子どもは社会の子どもである」とはどういう意味であると考えますか。あなたの考えを自由に論じてください。

アドバイス

子どもと社会についてあなた自身の感じ方、考え方を、あなた自身の観察に基づいて述べてください。論点によってはテキストや参考文献やその他資料を引用することも必要で

すが、レポート全体の流れはあなた自身の言葉で構成してください。

1単位め 解説

まずはテキストを通して読み、子育て支援都市とも言われるトロントでの発想にヒントを得ながら、私たちの国や地域における子育ておよび子どもの成育状況を考えてみてください。そこで「子どもが健やかに育つ」とはどのようなことなのか、あなた自身の考えを述べてください。

2単位め 解説

子どもにも人権があり、さまざまな権利が認められています。トロントでの取り組みを参考にしながら、身体的、精神的、または社会的にハンディキャップを持つ子どもたちをも含めて「子どもの権利を尊重する」とはいかなることか論じてください。

3単位め 解説

私たち人間はこの世に生を受けてからしばらくの間、子どもという社会的弱者として生活します。彼らが心身とも健やかに豊かに育つため、必要な支援について考えてみましょう。そして社会的なしくみや資源をどのように創出して支援を実現したらよいか、あなた自身の視点で論じてください。

4単位め 解説

これまで1単位めから3単位めまでのレポートを書き上げたあなたなら、この言葉の意味をつかみ、あなた自身の言葉で表現することができると信じます。「子どもを社会で育てる」ことの意味を、自由に述べてください。

なお、レポート作成の心得としてすでにご存知とは思いますが、制限字数に達するまで漫然と用紙に文字を埋めるのではなく、「序論－本論－結論」に留意して章節を組み立ててください。さまざまな書物や知性や視点との出会いが、あなたの人生のある時期にとって意味のある、価値のあるものとなるよう願っています。

参考図書

高橋重宏ほか編『人間と家族：21世紀へ向けて』中央法規出版、1995年
エレン・ケイ著、小野寺信・小野寺百合子訳『児童の世紀』富山房、1979年

科学的な見方・考え方

科目コード●050020

担当教員●大内真弓



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

現代の生活において、メディアでは数多くの情報が瞬時に飛び交い、欲すれば余りあるほどの情報が容易に手にできるようになりました。しかし、自分では十分に理解していると感じている情報をいざ誰かに説明しようとしてみると、意外とうやむやな理解であったり、矛盾を指摘されて誤解に気付いたりすることもあるようです。さらに学習のために調査し多くの事例や資料をまとめていく作業においても、先に結論ありきなのか論理の飛躍や矛盾に気付かないままに進めてしまうケースが見受けられ、指摘されると気付く場合も多いようです。特に通信教育のように「書いたもの」のやりとりがメインである場合には、「そういうことが言いたかった（書きたかった）」「そういう意味も含めて書いた」と思って書いていても、実際に文字になって表れていなければ読み手側には全く伝わりません。またどんなに素晴らしい意見やもっともらしい結論であっても、そこに至る道筋（説明）が納得のできる展開になっていなければ、単なるアイデアやひらめきと言われても仕方のないことです。

池内了は『科学の考え方・学び方』の中で、いわゆる理系分野である自然科学では科学の構造を「自然現象」―「物質の運動」―「法則」というつながりと考えることができる、と説明しています。さらに、深く考察すれば人間や社会の動きにも一定の法則性が認められ、どのような原理のもとに、どのような行動（運動）をとったか、それはどのような結果（現象）になったかというつながりの中で理解できる、と続けています。ここにも「現象」―「運動」―「原理」という構造があるというわけです。大学では後者を人文科学と呼んでいます。他にも、社会を人間と対比した形とみなしてひとつの研究対象とする社会科学や、人間研究のうち特に人間行動にかかわる分野を行動科学とする分類などがあります。つまり学問として考えるということは、科学的に考えることを意味します。その考える過程では、突如としてアイデアやひらめきが生まれたり、時には飛躍があったり堂々巡りがあったりするかもしれません。しかし科学的に考えたことを示すということは、結論までの道筋（説明）で生じている隙間を丹念に補い、誰にでも納得できるように簡潔な表現で全体を再構成することで、論理的に説明できることが要求されます。論理的に説明

するひとつの方法として、資料（図または表）の利用があげられます。文章だけで進めるよりも、資料（図または表）を提示しその分析結果を述べることで、わかりやすくより説得力が増す内容に仕上げるすることができます。本科目では自身の考えを論理的に組み立て、資料（図または表）を利用して表現する力を養う一助となることを目指します。

教科書

野矢茂樹著『新版 論理トレーニング』産業図書、2006年

レポート課題

1 単位め	(1) テキスト68ページの練習問題4の問2について、解答例以外の解答をできるだけ多くあげなさい。 (2) 同上の問題文を読み、論理の展開に適する資料（図または表）を用い、本文においてその分析結果にも触れつつ自分自身の考察を述べなさい。
2 単位め	(1) テキスト159ページの練習問題10の問5において、(例1)～(例4)からひとつの論題を選び、論理の展開に適する資料（図または表）を用い、本文においてその分析結果にも触れつつ解答しなさい。 (2) 自分で論題を設定し、上記(1)に準じて解答しなさい。
3 単位め	テキスト167ページの課題1について、テキストを参考にして論じなさい。その際、論理の展開に適する資料（図または表）を用い、本文においてその分析結果も述べなさい。
4 単位め	環境問題に関するテーマを設定し、自分自身の考察を十分に入れて論じなさい。その際、論理の展開に適する資料（図または表）を用い、本文においてその分析結果も述べなさい。

アドバイス

1～4単位めまでの課題は、その流れに沿って学習を進めることで徐々に理解が深まり、次第に力がついていくものと思われますので、数字の順に従って課題に挑戦することをお勧めします。

1単位め解説

課題(1)については、第4章までのテキストの流れに沿って学習を進めれば、課題への取り組み方は理解できるはずです。丁寧に読み進めて理解を深め、できるだけ多くの解答をあげてください。

課題(2)は、課題(1)と同じ問題文を読んで、賛成でも反対でもどちらでもかまわないので、自分自身の考えを述べることを求めています。ただし科学的に考えることを要求している科目であるため、主観的な意見では納得できません。資料（図または表）を用いることを

要求していますので、インターネットや新聞、書籍等を検索して、論理を進めるために適した資料（図または表）を見つけ出してください。適切な資料を見つけたら、コピーまたは印刷等をして保存しておきます。その資料を丹念に分析し、レポート中でその分析結果を述べているページに、上端部分のみ貼付し提示してください。レポート中では出典を明らかにして「図（表）に示すように～」「～の結果を図（表）に示す。」というように提示し、その資料が何を示しているのか、どのように解釈できるのか、この論理にどうかかわるのか、などを詳細に述べてください。その資料の信憑性が低ければ、論理を補強するものになり得ませんから、論理に説得性を持たせるためには、可能な限り公的な資料であることが望ましく、資料の選択は大変重要となります。このような論理展開からこの結論が導かれるのであるなら、読み手が賛成派であっても反対派であっても十分に納得できるといふレポートを書いてください。

課題(1)と課題(2)の字数配分については、恐らく課題(2)の方が圧倒的に多くなると予想できますが、それぞれに特に制限は設けませんので、記述可能なスペースを存分に利用してください。

なお、数字の表記方法は、2桁以上の場合原稿用紙1マスに2つずつとします。この基本はすべての課題に共通です。

2単位め 解説

課題(1)については、第10章までのテキストの流れに沿って学習を進めれば、課題への取り組み方は理解できるはずです。4つの例から1つを選び解答してください。論理を展開する上で、1単位めと同様に資料を用いることを要求しています。1単位めの解説を参考にして同様に組み組んでください。

課題(2)は、課題(1)と同様に進めますが、自分で論題を設定してください。同じく資料を用いることを要求していますが、論題に合わせた資料を探すのが難しいと感じた場合は、利用しやすい資料を先に探してから論題を設定するという方法でもかまいません。

3単位め 解説

いよいよテキストも終盤です。第11章の流れに沿って考え、2,000字のレポートを仕上げてください。結論は賛成論でも反対論でもどちらでもかまいません。自身の考察と適切な資料を用いて自由に論じてください。ただし、長くなると文章を組み立てる基本が曖昧になってしまうことがあるため、十分に推敲し矛盾のないように述べてください。

4単位め 解説

本科目の総括として、「環境問題」と言われるなかから自由にテーマを選び論題を設定し、資料を用いてかつ十分な考察を交えて論じてください。「環境問題」にかかわる内容であれば問題となっている地域や社会における注目度等

は問いませんが、テーマの選択は大変重要です。最も関心のあるテーマであれば、好奇心が掻き立てられるため比較的スムーズに進められると思います。ただ、資料が少ないテーマを選択した場合は、論理を展開する上で十分な裏付けができなくなり、主観に偏った流れになる恐れがあります。そういう意味では、関心の度合いのみで選択するのではなく、まずは数多くの資料に当たってみて、そのなかから興味の得られるものを選択する方法が望ましいかもしれません。資料は納得できる論理を展開する上での重要な武器ですので、慎重に選択してください。以下に環境問題と関係する Web ページアドレスをいくつかあげますので、参考にしてみてください。

環境省 <http://www.env.go.jp/>

環境 goo <http://eco.goo.ne.jp/>

PET ボトルリサイクル推進協議会 <http://www.petbottle-rec.gr.jp/top.html>

アルミ缶リサイクル協会 <http://www.alumi-can.or.jp/>

スチール缶リサイクル協会 <http://www.steelcan.jp/top.html>

財団法人古紙再生保健センター <http://www.prpc.or.jp/>

ガラスびんリサイクル関連リンク集

<http://www.glass-recycle-as.gr.jp/link/index.html>

チームマイナス6% <http://www.team-6.jp/>

全国地球温暖化防止活動推進センター <http://www.jccca.org/>

エコライフハンドブック2000 (内閣府)

<http://www5.cao.go.jp/2000/c/0301c-ecolife/index.html>

福祉と環境には接点が見出せないと思われるかもしれませんが、生活環境の実情を知り改善していくことは、より良い生き方をするために、そしてより健康に生活するために必須であると考えています。地球規模的な問題も取り上げられていますが、ぜひ他人ごとと片付けずにそれぞれの目線で考えた問題として捉え論じてください。

参考図書として以下に3冊をあげます。1冊目は、主に科学的な考え方をするということはどういうことかを、若い世代へのメッセージとしてまとめているため、大変平易に述べられており読みやすいものです。ただし、具体的な例として述べられているのは、自然科学の分野についてです。2冊目は科学雑誌に連載されたエッセーをまとめたもので、さまざまな視点から考えている姿勢が楽しさを増します。3冊目は2冊目の著者の専門分野である動物行動学を切り口として、生物の持つ不思議な特長について読み解くことを試みています。著者は「生物がつまらない暗記科目などではないことを知って欲しい」ために書いているので、論理的思考を学ぶためだけではなく、生き物についての読み物として大変面白いと思います。ただ、いずれの参考図書を手にしたとしても、自身が丹念に考え考

察し、導き出した論理を組み立てるトレーニング抜きには目標は達成できません。そういう意味での参考図書であることをご理解ください。

参考図書

池内了著『科学の考え方・学び方』岩波ジュニア新書、1996年

長谷川眞理子著『科学の目 科学のこころ』岩波新書、1999年

長谷川眞理子著『生き物をめぐる4つの「なぜ」』集英社新書、2002年

福祉と生活

科目コード●050021

担当教員●八巻幹夫



2 単位 | R or SR | 1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

科目の内容

人間の暮らし（生活）は「生きていくこと」の困難さを克服しながら生命を維持してきたと言えます。明治期以前の暮らしは共同体社会に支えられたものでしたが、明治期以降の近代では個人は身分制度や共同体社会から解放されました。それに伴い、個人は暮らしと一体の労働を切り離され、労働を前提とした生活に組み入れられるという辛い側面を負うようになりました。これは「個人の自由と自立」のひきかえに生活の「自己責任（自分を助けるのも自分）」を得たとも言えます。しかしながら、自己責任を誰にも当てはめることには無理があり、それに対応するものとして社会福祉を必要としました。

近年、社会福祉の諸課題を語るとき、ノーマライゼーションと共に「福祉」や「Quality of Life（生活の質）」または「well-being（よりよく生きる）」という言葉が多く用いられています。これは、経済的貧困や障害を持つ人々という社会福祉の対象が、個人または家族の生活課題に変化していることを意味します。そして、私たちの生活は福祉サービスなしでは成立しないほどにもなっています。例えば、全国の各自治体の部局名称に生活福祉（部）や福祉生活（部）を採用することが多くなったのも、行政サービスに期待する市民の要請に応じた現象ともいえるでしょう。

生活とは生存のための消費と生産の絶え間ない活動を指しますが、この科目では、昭和20年以降のわが国の生活（暮らし）のありようとその変化から、現代生活のしくみと福祉が生活にどのように関与しているかを学んでほしいと思います。

教科書

松村祥子著『現代生活論 ― 新しい生活スタイルと生活支援』放送大学教育振興会、2000年

レポート課題

1 単位め	わが国の少子高齢化現象を説明し、あなたの住む市町村とわが国の高齢化の特色をあげなさい。
2 単位め	家事労働はなぜ減少しているのか。あなた自身の生活とのなかから、その原因と個人や家族の生活への影響について述べなさい。

アドバイス

レポートの基本的な書き方を『学習の手引き』6章などをよく読んで理解し守ったうえで提出してください。引用注釈の明記もなく、テキストや文献を書き写したレポートをしばしば見受けますが、レポートは「作成者の論旨と他の文献や情報の考察」を文章化する作業だと思います。共通基礎科目のレポートですので、論旨と同等に文章作成の点についても添削を行うようにします。

1単位め 解説

平成17年12月、わが国の人口減少が、予測より2年早く報じられました。東北地方での高齢化率も深刻な事態になりつつあります。少子化率や高齢化率は各市町村や県のHPに公表されていますので、それらを参考にしてください。

2単位め 解説

すでに単身生活者に見られる現象であるが、コンビニや調理器具の発達は、まな板や包丁を一部の家庭から駆逐するかもしれない。衣食住に豊かで便利な生活環境は、反面、不便さや困難さも引き起こすという視点で課題を考えてみてください。

参考図書

- 1) 一番ヶ瀬康子・尾崎新編著『講座生活学7 生活福祉論』光生館、1994年
- 2) 生活科学研究会編『生活科学ハンドブック』ブレーン出版、2003年
- 3) 定藤丈弘・佐藤久夫・北野誠一編『現代の障害者福祉 [改訂版]』有斐閣、2003年
- 4) 飯田哲也著『現代日本生活論』学文社、1999年
- 5) 杉座秀親著『現代の生活と社会学』学文社、2000年

• 專門科目 •

福祉社会学

科目コード●050101

担当教員●赤塚俊治



4単位

R or SR

1年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

複雑化した社会構造のなかで暮らす国民の生活福祉問題を分析すると、戦後のわが国における社会構造は大きく変化し、それにもなって数多くの社会生活のひずみ現象（社会的犯罪、麻薬、アルコール疾患、子供の自殺・老人の自殺、家庭崩壊、援助交際など）が産出され、国民を取り巻く生活環境は、決して満足な「人間の営み」の状態にはなっていません。とくに、超高齢・少子化、高度情報化、国際化が進捗して、家族関係や地域社会における生活環境が一層複雑な様相を呈するものと予想されるだけに、今後の社会保障政策や社会福祉政策にも大きく影響を与えるだろうと思われます。それゆえに現代社会が生み出す社会現象をより包括的にとらえながら、「発展社会から成熟社会への変換」を目指した福祉社会を構築していくことが重要かと思われます。

本講義では、こうした国民の生活周期に生起する新たな諸問題に対応すべき社会福祉の援助過程に関わる社会的行為や社会政策などを社会学的な視点から現状分析することによって、今日の生活問題を規定している諸要因やそれらの相互連関を体系的に究明しながら、今後の社会福祉の役割と機能について検証する内容にしたいと考えています。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座11 社会学（第2版）』中央法規出版、2008年

レポート課題

1 単位め

私たちは社会的存在として集団に所属しながら日常生活を営んでいる。その所属している基礎集団・機能集団について述べ、現代社会の集団に関する特徴を考察しなさい。

2 単位め	私たちは日常生活において、特別の注意を払わずに家族、家庭、世帯、イエといった言葉を使っている。これらの用語を厳密に規定することは難しいが、時代の変遷とともに変化してきた「家族形態」と「家族機能の変容」について考察しなさい。
3 単位め	現代社会は人々の生活の「望ましさ」、個々人の「満足感」、生活の「快適性」が重視される社会生活が求められている。そこで改めて「物質」志向から「脱物質」志向への変革と「豊かな社会」との相互関係について考察しなさい。
4 単位め	「社会福祉とは何か」を簡潔に論述した上で、国民の生活周期に生起する新たな社会病理現象（社会的ひずみ現象）に対して、今後の社会福祉の役割と機能について考察しなさい。

アドバイス

福祉社会学は、社会現象としての「社会福祉」を全体社会との関連のなかで、社会学的研究方法（社会学の接近）によって体系的に分析しながら、「人間の営み」に関わる社会的行為や生活福祉問題を派生させる諸要因の相互連関を理論的に明らかにすることにあります。とくに、その国の社会と文化によって規定されている社会福祉の構成要素である(1)社会福祉の目的（価値）、(2)社会福祉の対象（要援護者）、(3)社会福祉の主体（援助者）、(4)社会福祉の方法（専門的技術）をふまえながら、学習することが重要です。また、福祉社会学は、人間の社会生活全体に関わることだけに「社会」「文化」「集団」「個人」といったそれぞれのレベルがつねに関連性をもちながら相互作用していることを考えて学習することも大切です。

なお、レポート作成を行う際は、次の基本的な視点をふまえながら、レポートを仕上げてください。

- ・福祉社会学は、客観的・実証的な枠組みに基づいて構成されています。したがって、レポート課題を作成するにあたっては、何を取り上げるかというより、どのように取り上げるかが重要です。その際、「事実・現実はいかにあるか」「いかにあるべきか・いかになすべきか」「それらはどこから」「どこにいかうとしているのか」を考察しながらレポートを作成してください。
- ・現代社会において社会福祉がどのような役割と機能をもっているかを家族、地域、職場などの現状を考察しながらレポート課題に取り組んでください。その際、公害、人間疎外など社会生活のひずみ現象を生み出した社会構造を考えることも大切です。
- ・レポートの作成は、単にテキストを読んで理解した内容をそのまま書くのではなく、レポート課題に関連した生活上でのさまざまな問題点を取り上げながらレポートを作成することが重要です。たとえテキストの記述内容とは異なったレポートの内容であったと

しても、そのレポートの内容が十分な分析と考察が行われているものならば、評価もそれだけ高くなります。

1 単位め
解説

テキストの序章および第1章第1節をよく読み、社会福祉の領域のなかで社会学が深い関わりがあることを理解し、その上で「社会的存在」として集団に所属しながら日常生活を営んでいる人間社会について理解しながらレポート課題に取り組んでください。基礎集団の例として、血縁に基づいたものに家族、氏族、部族、民族などが考えられ、地縁を契機として成り立つものに村落、都市などが考えられます。基礎集団といわれるものは、人間生活の基礎的な母体になっているからに他なりません。それは結合の性格からみれば、心のよりどころともなるパーソナルな感情的融合性を有しながら、運命的または半運命的な共同生活をしています。基礎集団と対比して考えられる機能集団は、合理的な組織性を有しており、特定の目的のために利害をともなった、いわば人為的・目的的、計画的に作られた集団です。例えば、会社・組合・政党・国家などが機能集団といわれています。こうした集団が時代の変化とともに日常生活を送る現代社会においても変化してきています。歴史的にどのように変化してきたのかを代表的な社会学者であるクーリーやテンニースなどの人物の理論も取り入れながら考察して、簡潔に述べてください。

2 単位め
解説

テキスト第1章第2節をよく読んで「家族」について考えてください。とくに、自分自身の家族をふまえながら「家族とは何か」を考えてください。「家族」に関する厳密な用語の規定をすることはきわめて難しいですが、ここでは一応、次のように解しておきましょう。家族とは、夫婦関係を基礎として、親子、兄弟などの近親者がその主要な構成員で、相互に愛情やわれわれ感情によって強く結ばれ、共同の生活を営んでいる第一次的福祉追求の集団です。また、これらの家族としての集団の本質は等質であっても、その構成、形態、機能などは決して一様ではありません。さらに、親子関係も単なる血縁関係のみの関係ではなく、親子としての社会的承認に基づいた関係でもあります。

日本の家族はその時代、地域によって独自の性格をみせていますが、日本の家族を語る時、その基本的性格の典型としてとらえられるものが近代まで支配してきたイエ制度です。家長のもとに家系、家名、家産の継承、すなわち、家業や家督を受け継ぎ、祖先を祭り、家族が世代をこえて存続繁栄することを重視する制度です。しかし、最近の日本の家族に対する意識も変化し、時代の変遷とともに「家族の形態」や「家族の機能」の変容、さらには家族意識の変化がみられます。

本課題は、こうした視点をふまえながら、「家族とは何か」、「制度としての家族」、「集

団としての家族」、「家族の機能」といった特徴を自分で理解しながら、自分で考察し現代日本の家族について簡潔に述べてください。

3単位め 解説

テキスト第2章第1節および第2節をよく読んで現代社会がどのように変化してきたかを、人口、産業・職業、階級・階層などの諸要素を考えながら、本課題である「物質」志向から「脱物質」志向への変革と「豊かな社会」との相互関係について考察してください。とくに、この課題では、次の視点をふまえながらレポートを作成してください。

- (1) 1960年代からの高度経済成長にともなって、産業・職業構造の高度化、ホワイトカラーの増加、所得水準の上昇、生活水準の平準化がみられ、国民生活意識のなかには自己の所属している階級を中流階級とみなし、それが「一億総中流意識」として確立されたこと。
- (2) その一方では、「働き蜂」「エコノミックアニマル」「カローシ」という造語が生まれ、生活意識にも陰りがみえてきました。また、社会も産業社会から「脱」産業社会への転換という社会変化がみられたこと。
- (3) その根本的な社会変化が市場的、経済的豊かさだけでなく、生活次元の豊かさが重要な要素として、「モノ」から「こころ」へ、経済から文化へ、成長から成熟へ、産業主導から生活主導へと傾向が強まったこと。
- (4) その社会的背景には、国民総生産の増大は、必ずしも人々の暮らしや福祉および真の「豊かさ」に貢献したとは限らないことを国民は意識し始め、あらためて、人間性の疎外と対比するかたちで「生活の質」が問われていること。

要するにこの課題は、社会福祉を学ぶにあって、最も根本的な課題でもあり、社会福祉の援助過程を考えるにあたってもとても大切な課題といえるでしょう。いずれにしても自分自身の身近な生活や暮らしを見詰めなおすことによって、レポートを作成してください。

4単位め 解説

テキスト第4章第1節および第2節をよく読んで、本課題に取り組んでください。この課題は、これまで学んできた福祉社会学をまとめる意味合いも込めて出されている課題です。とくに、わが国における社会福祉の現状をよく考えながら、社会福祉の諸問題に対する社会的アプローチについて整理するとともに、今後の社会福祉の役割と機能について論述してください。

社会福祉の意味には、狭義的な視点からの社会福祉と広義的な視点からの社会福祉のとらえ方によって、さまざまな意味があります。戦後の社会福祉の歴史は、国民の生活の変化にともなって、「福祉模索期」、「福祉発展期」、「福祉見直し期」、「福祉転換期」を経て、

新たな社会福祉を構築しようとしています。特に、近年では社会福祉基礎構造改革によって、従来の社会福祉制度を見直し、新しいタイプとしての「福祉ミックス」や「福祉多元主義」を取り入れた福祉社会を構築しようとしているともいわれています。これらの社会福祉の動向は、国民の日常生活や社会生活に生起する社会問題に対応するために展開されてきた社会福祉の歴史ともいえます。しかし、本課題では、単に社会福祉の歴史の変遷を論じるだけではなく、社会を構成する個人や集団といったさまざまな構成要素をふまえながら、レポートを作成することが大切です。

テキストにも記述されているように、「社会福祉は、さまざまな生活場面における諸問題に直面する人々を対象としてその解決のために、人権の尊重と生活の質を高めるように制度的・社会的資源を動員する。社会学の社会福祉に対する関係は、社会福祉の諸問題を制度や組織の次元だけではなく社会を成立させる個人の行動や規範を分析することで、福祉問題の総合的な解決視点を提供する。」と述べられています。まさに本課題は、社会的な視点から社会現象として社会福祉をいかに理解し、生活問題を規定している諸要因やそれらを相互連関について考えながら、今後の社会福祉の役割と機能について論じることが重要となります。

受講生の皆さんは、テキストを読んで十分に理解を深めるとともに、自分なりの社会福祉観について考えて、レポートを作成してください。

参考図書

- 笹谷春美・吉崎用祥司・藤井史朗・小内透編著『変動期の社会学』中央法規出版、1992年
武川正吾著『福祉社会』有斐閣、2001年
佐藤慶幸著『現代社会学講義』有斐閣、1999年
京極高宣著『現代福祉学の構図』中央法規出版、1990年
山中速人編著『ビデオで社会学しませんか』有斐閣、1993年

福祉法学

科目コード●050102

担当教員●志田民吉(左)
菅原好秀(右)



4単位 | R or SR | 1年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（情報公開、権利擁護制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。

教科書

志田民吉編著『法学』（第3版）建帛社、2007年（〔第3版〕でなくても可）
（平成15年度以前履修登録者）志田民吉編著『福祉法学』東北福祉大学にもとづいて課題を作成してもよいが、スクーリング受講時は今年度の教科書の持参が望ましい。

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本原理について述べなさい。
2 単位め	地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。
3 単位め	不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。
4 単位め	行政救済について述べなさい。

アドバイス

1単位め 解説

この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。テキストの第1章、第2章を熟読し、まとめてください。

2単位め 解説

憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

3単位め 解説

不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速度交通機関などの発達が示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

4単位め 解説

主として行政の仕事は、市民の生活に係わった内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところです。このようなところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

参考図書

- 1) 志田民吉共編著『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』中央法規出版、2003年
- 2) 志田民吉編著『臨床に必要な人権と権利擁護』弘文堂、2006年

福祉心理学

科目コード●050103

担当教員●渡部純夫



2単位 | R or SR | 1年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
必修

科目の内容

現代の日本社会は、まさに「ストレス社会」であるといえます。そのストレス社会を生き延びるのはそう簡単なことではありません。現に複雑・多様化する日本社会にあって、「心」の悩みを抱えている人が急速に増加してきていることがよい例でしょう。

福祉心理学は、社会的に弱い立場にいる人々の心の問題を受容し、理解しながらどのような関わりができるかを探る、「福祉」と「心理」の融合を目指した新しい学問です。実際的には、福祉の世界に「心理学」の知見を活用し、人々の「生活の質」(QOL)を向上させ、幸せの追求を援助するための方法について学んでいきます。

教科書

今城周造編著『福祉の時代の心理学』ぎょうせい、2004年
(平成16年度以前履修登録者) 2005年4月より、上記教科書に変更となりました。以前の教科書 岡田明著『福祉心理学入門』学芸図書にもとづいて、下記の課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	福祉心理学の枠組みのひとつである人間理解が、「心理学的視点」からはどのように行われるかについてまとめ、考察しなさい。
2 単位め	「高齢者の心理」「障がい児・者の心理」「犯罪と非行の心理」「問題行動の心理」から、自分の関心のあるテーマをひとつ選択し、どのように福祉心理学を実践にいかし、支援等に役立てることができるかについて考察しなさい。

アドバイス

「福祉心理学」では、深い人間理解が必要になります。人間は発達を通していろいろなものを身に付け、自己形成の課題に取り組んでいきます。課題に直面し不応を起こすこ

ともあります。そのような人々に対して援助を行うにあたっては、一般的な発達においての特徴と課題をしっかりと押さえておくことが必要になります。しかし、人間には個性や個人差があります。個としての見方やとらえ方も同時に必要になります。

この「福祉心理学」では、まず心理学の視点から人間理解を深めていくことを行います。その上で、何らかの援助を必要としている人に対して、どのような援助方法があるのか、ひとりひとりのニーズにどのように応えていけばよいかについて、理念と実践から考えていくことにしたいと思います。

「福祉心理学」を考えると、「社会福祉」と「心理学」の二面性の問題と向き合うことになりますが、ここでは「心理学」を「福祉」にどう活用するかという観点から考えていただきたいと思います。

1単位め 解説

- (1) テキスト『福祉の時代の心理学』の第1章から第7章までをよく読み、人間の心理的活動がどうなっているかを理解するための努力をしてください。
- (2) 次に、参考図書にあたり人間理解のための方法や視点の共通点と違いについてまとめ、考えを膨らませてください。あなた自身が今まで行ってきた理解の仕方についてもふりかえりを行ってください。
- (3) それらを、分析・考察しながら自分なりにまとめていくことにより、深い人間理解にもとづいたレポートができあがると思います。
- (4) 人間のすべての行動面に「心理学」は関わりをもちますから、日々の生活の中で気になる人間の行動をとりあげ、「心理学」とつないで学んでみるとよいと思います。

2単位め 解説

- (1) テキスト『福祉の時代の心理学』の第8章から第14章までをよく読んで、自分が問題意識を感じたり、興味・関心を引く領域がどれかを見つけてください。
- (2) 次に、その領域に関する情報を文献等で集めてください。施設見学やボランティア活動などで、現場に触れてみる機会があれば体験や経験を通して考えることができよいと思います。どうしてもそれが無理であれば、テレビや映画、小説など参考になるものを見つけるようにしてみてください。その時感じた気持ちを大事にしながら、その事例をもとに分析するとよいと思います。
- (3) 1単位めで考えた人間理解を基に、実践の場で何ができるか・どのようなアプローチが考えられるかを検討しまとめてください。福祉心理学の可能性と限界を実践に照らしながら理解できるレポートに仕上げてください。
- (4) 実践の場でどんな関わりをしていけばよいかという視点でまとめるとよいと思います。

参考図書

- 岡田明著 『福祉心理学入門』 学芸図書、1995年
- 水島恵一編著 『人間科学入門』 有斐閣双書、1976年
- 村上陽一郎著 『生と死への眼差し』 青土社、1993年
- 藤森和美編 『子どものトラウマと心のケア』 誠信書房、1999年
- 岩城宏之著 『いじめの風景』 朝日新聞社、1996年
- 村瀬嘉代子著 『子どもと大人の心の掛け橋』 金剛出版、1995年
- 佐藤泰正・山根律子編著 『福祉心理学』 学芸図書、1998年（改訂版、2005年）
- 宮原和子・宮原英種著 『福祉心理学を愉しむ』 ナカニシヤ出版、2001年（第2版、2006年）
- 白樫三四郎編著 『現代心理学への招待』 ミネルヴァ書房、1995年
- 小林重雄監修 『福祉臨床心理学』 コレール社、2002年
- 安藤治著 『福祉心理学のこころみ』 ミネルヴァ書房、2003年

福祉思想論

科目コード●050109

担当教員●君島昌志



2 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

今日の社会福祉はテクニックが優先し、社会福祉への取り組み姿勢などがおろそかになってはいないでしょうか。新しい世紀を迎え混迷の度を深めている時代状況にあって、人と人の係わりあい、人としての考え方をしっかりともつことが望まれるでしょう。そうしたとき、福祉思想が大きな役割を担うことができるものと確信しています。

人としての生き方を考えたとき、少しむずかしく思われるかもしれないが、一步踏み込んでその考え方に触れてみる必要があるのではないのでしょうか。

教科書

吉田久一・岡田英己子著『社会福祉思想史入門』勁草書房、2000年

レポート課題

1 単位め	「第Ⅰ部 欧米の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から終章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。
2 単位め	「第Ⅱ部 日本の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第1章から第6章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。

アドバイス

日本の福祉思想に比べて、ヨーロッパの福祉思想は長い歴史があります。福祉思想にとって重要なことは、教科書の序章の最初に書かれているように、純粋な哲学的発想ではなく、実際の日常生活に密着して考えていくことです。レポートはひとつの章を選択して提出するだけですが、思想、考え方の流れということもあり、全体をひとつの流れとして

捉えてほしいと考えています。

教科書の題名は『社会福祉思想史入門』となっていますが、「史」がついているからといって、古い考え方というものではありません。福祉の考え方にはいろいろとあってよいと思います。そうしたなかであって、自分の考え方をもって社会福祉に取り組む姿勢とでもいうものをもってほしいと考えています。

1単位め 解説

テキストの第Ⅰ部をよく読み、欧米の社会福祉思想がその時代と社会のあり方を反映しながら、どのように展開されてきたかを簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。自分の考えをもつことを意識し、テキストを読んでください。

2単位め 解説

テキストの第Ⅱ部をよく読み、日本の社会福祉思想の流れを読みとってください。宗教や社会体制についても理解を深め、簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。日本の福祉社会を考えたとき、どのような考え方、意識をもち、今日までの思想の流れを捉えるか、そして、これからの時代に何が望まれるかを考えてください。

参考図書

- 吉田久一著作集1『日本社会福祉思想史』川島書店、1989年
丸山真男著『日本の思想』岩波新書、1961年

児童福祉論

科目コード●050116

担当教員●千葉喜久也



4単位

R or SR

1年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

子どもは、社会の一員として人権が保障されていると同時に、すべての子どもが児童福祉の対象でもあります。本科目は、子どもを取り巻く社会現象や生活環境の背景について理解するとともに、児童福祉に関する法とサービス、子ども・家庭に対する援助活動について学習します。児童福祉は子どものみを対象とするのではなく、テキストでも取り上げているようにウェルビーイングという視点から考えられるべきです。したがって、児童福祉は子育てをする家族や地域社会のあり方が重要な要素といえます。子どもがのびのびと成長でき、家族が安心して子育てできる地域社会は、地域住民にとっても暮らしやすい社会ということができます。

また、本科目では児童福祉の中核機関として位置づけられている、児童相談所の役割や活動、行政の対策、児童福祉の領域と関係分野の連携、海外の児童福祉に関する取り組みについても理解を深めていただきたい。

教科書

千葉喜久也著『児童福祉論 ― 子ども家庭福祉論への招待』 中央法規出版、2005年（平成17年4月以前履修登録者）2005年5月中旬より、上記教科書に変更になりました。以前の教科書『児童福祉論』東北福祉大学にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	課題名「子ども虐待の現状と対策」 日本における子ども虐待の現状とその対策について述べよ。
2 単位め	課題名「児童福祉から子ども家庭福祉への歴史的経過」 日本の児童福祉の歴史を整理し、子ども家庭福祉への理念の転換について述べよ。

3 単位め	課題名「児童相談所の機能と役割」 児童福祉の中核として位置づけられている児童相談所の機能と役割について述べよ。
4 単位め	課題名「少年非行の現状について」 最近の少年非行の現状とそれに対する自分の考えについて述べよ。

学習にあたって

基本的姿勢

子どもは社会の一員であり人権が保障されるとともに、必要に応じて社会保護の対象ともなります。子どもの福祉は、子育てする家庭・子育てをする地域の上にあるということ念頭に置きウェルビーイングという視点、子どもを持つ家庭、高齢者、障害を持つ方つまり住民全体にとって暮らしやすい地域社会という視点から学ばれることを望みます。

学習の目標

実際の児童福祉は、具体的な諸政策をもって実施されています。このため、学習にあたっては児童福祉法を中心とした諸法律、制度の仕組みと現在の状況を把握することが学習の目標となります。その上で、これらの法制度・諸施策を利用者に結び付けていく実践についての理解、施策・実践の課題の理解ができ、自分なりに整理できることが目標となります。

また利用者が人間であることから子ども・親の多様性の理解と受容、他の分野との連携、実際に関わる時の方法・技術なども学ばれることを望みます。

学習の仕方

第一に教科書を読み、その内容を理解することが必要です。文章を読むだけではなく、具体的事例などを思い浮かべながら読んでいただきたい。例えば、地域にある児童福祉施設や、子どもを思い浮かべながら読まれると理解しやすいのではないかと思います。第二にスクーリングに積極的に参加してみてください。教科書では理解できなかったことでも理解が深められます。

第三に一と二を踏まえたうえで、教科書では理解することができなかったことについて、児童福祉分野の本を読むことや資料を調べることで、児童福祉施設見学などを行うことが有効であると思います。

解答作成にあたって

教科書を熟読し、スクーリングに積極的に参加していれば十分に解答できる問題が準備されています。問題を解くために教科書を読むのではなく、教科書を読んで理解すること、

確認することが重要です。記述問題については、教科書に加えた学習も必要かと思います。論述の体裁を整えることはもちろんのこと、現状の把握やそれに対する考察、自分の考え、感想が加えられるとよいでしょう。

アドバイス

1単位め 解説

「子どもの虐待の現状と対策」

テキスト1章を読み、子ども虐待の概念・発生要因を学び、理解を深めてください。次に関係機関の役割と現状について理解し、法的な対応を学び理解してください。そのうえで、図表なども参考にしながら子ども虐待の現状、それに対する施策等について述べてください。

2単位め 解説

「児童福祉から子ども家庭福祉への歴史的経過」

テキスト「2章 子ども家庭福祉の発展」を読み、子どもの権利保障の動向や児童福祉の歴史を理解してください。そして、児童福祉から子ども家庭福祉の理念への転換について簡潔に述べてください。

3単位め 解説

「児童相談所の機能と役割」

テキスト「4章 子ども家庭福祉および関連分野の組織・専門職」を読み、児童福祉を担う人々についての理解を学ぶとともに、児童福祉の中核を担っている児童相談所の組織と専門職員を図表も含めて理解し、その機能と役割について述べてください。

4単位め 解説

「少年非行の現状について」

テキスト「7章 非行等の問題行動」を読み非行の概念や、その動向、その背景と処遇、取り組みを理解してください。その上で、現在の非行の現状とその傾向、少年非行に対する自分の考えを簡潔にまとめてください。

参考図書

千葉喜久也著『思春期 ― 子ども相談の心』 中央法規出版、2002年

千葉喜久也著『あなたの心に子どもの声が聴えますか』 東北福祉大学71研究室、2005年

千葉喜久也著『子ども虐待から親子再統合』 福祉工房、2006年

『子ども虐待から親子再統合』の購入希望の方は福祉工房へ電話またはFAXで直接ご注文の上、お取り寄せください。

TEL 022-727-2280 FAX 022-727-2281 担当：事業企画課 澁谷課長

高齢者福祉論

科目コード●050117

担当教員●中里 仁



4 単位

R or SR

1 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者問題の背景（高齢者人口の動向・家庭環境の変化）を中心としながら、高齢者福祉の成立要因を多角的に考えてみる。
- (2) 高齢者の経済状況、および余暇活動等の実施の把握をする。
- (3) 要介護高齢者（痴呆性高齢者・寝たきり高齢者等）の概念整理をする。
- (4) 高齢者福祉施策の基本方向を学習する。
- (5) 老人保健福祉計画・介護保険事業計画の概要を学習する。
- (6) 在宅高齢者福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。
- (7) 高齢者施設福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。
- (8) 介護保険制度の概要を学習する。

教科書

千葉喜久也・中里仁『高齢者福祉論——利用者主体の支援をめざして』中央法規出版、2007年

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より、上記教科書に変更になりました。レポート課題の変更はありません。

レポート課題

1 単位め	“高齢社会とは何か”“高齢者（老人）とは何か”について自らの体験等に基づいて、見解を述べなさい。
2 単位め	高齢者福祉の成立要因について、具体的事例等をあげながら論述しなさい。
3 単位め	高齢者福祉施策の体系について整理し、その課題について論述しなさい。

4 単位め

介護保険制度の概要について整理し、その課題について具体例をあげながら論述しなさい。

アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“老い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1単位につき1,800字以上**でまとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

1単位め 解説

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業(?)するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2単位め 解説

高齢者福祉の成立は、単なる高齢者（老人）の増加ではありません。単純に高齢者問題と呼ぶこと自体が問題でもあります。むしろ高齢者を取り囲む状況・環境の方に問題があるのではないかという視点から考えてみてはどうでしょうか……。女性の生き方の変化に注目して、多角的に考えてみてください。

3単位め 解説

高齢者福祉施策の体系は、近年急速に整備されるとともに「介護保険法」の具体的施策とともなって、ある種複雑になったといえます。教科書または参考書などを用いて整理してみてください。また各自の常識的視点からで結構ですが、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

4単位め 解説

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更したといえます。これから高齢者福祉分野で具体的な活動を行う方は、介護保険制度を熟知する必要があります。そこで、教科書、および各自の在住する自治体の

介護保険制度に関するパンフレット等を参照しながら、概要をまとめてみてください。また、各自の体験、身近な方（できれば高齢者）の意見を聞きながら、課題（問題）について述べてみてください。

参考図書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 2 老人福祉論（第5版）』

中央法規出版、2007年

大塚保信ほか著『老人福祉論』晃洋書房、1990年

浅野仁著『高齢者福祉の実証的研究』川島書店、1992年

障害者福祉論

科目コード●050118

担当教員●阿部正孝(左)
横山英史(右)



4単位

R or SR

1年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

本科目では、障害者福祉の基礎知識や、その背景にある理念や概念を理解することにより、障害者への福祉的援助を行う際の基本的な考え方や基盤を築くことを学習のねらいとしています。障害者福祉とはどのようなものなのかということを理解するために、まず、障害者理解のための基本的知識や考え方を学習します。そして、障害者福祉施策の展開とその特徴について概観し、実際に福祉援助を行う上で必要な知識と方法について習得します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会 編集『新版 社会福祉士養成講座 3 障害者福祉論 (第5版)』中央法規出版、2007年

(平成18年度以前履修登録者)「支援費制度」への移行、障害者自立支援法の成立・施行などにより、教科書が毎年改訂されてきています。第4版以前の教科書をお持ちの方は、変更された制度をご自身でお調べください。教科書の改訂箇所は、中央法規発行「別冊 社会福祉制度等の主な動きとポイント」も参考にしてください。

レポート課題

※3単位めのB課題を除いて、各課題1,800字以上記入してください。

1 単位め	ノーマライゼーションおよびリハビリテーションの理念についてまとめ、基本的な考え方について述べなさい。また、その実現のためにはどうしたらよいか、テキストにとりあげられている取り組みなどを参考に、あなたの考えを述べなさい。
2 単位め	WHOの国際障害分類(ICIDH)および国際生活機能分類(ICF)の概要についてまとめなさい。また、障害の構造的な理解についての解釈や3つのレベルへのアプローチ、あるいは「障害をどのように理解するか」について述べなさい。

3 単位め	次の課題のうち、いずれか一方を選んで答えなさい。 A. 障害者福祉施策の発展についてまとめ、現代社会における障害者福祉サービスの特徴や問題点について考察し、あなたの見解や考えを述べなさい。 B. 【説明型レポート】 下記について各300字以上500字程度で簡潔に説明しなさい。 ① 障害者施策の特徴について ② バリアフリーとユニバーサルデザインについて ③ 自立生活（Independent Living: IL）運動について ④ 障害者自立支援法の概要と課題について
4 単位め	障害者援助の基本原則についてまとめなさい。また、それらを踏まえ、「障害者が自分らしく生活するということ」や自立支援のあり方について、身近な体験やあなたの考えなどをもとに考察しなさい。

2008年4月より、3単位めの課題が選択できるようになりました。以前の課題で取り組む場合はAの課題で提出してください。

（平成18年度以前履修登録者）2007年4月より、レポート課題が一部修正されています。『レポート課題集2006』記載の課題は2008年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

レポート作成の方法について一つの提案を示しますが、みなさんそれぞれに適した方法を自らみつけることができればそれがいちばん良いのですから、あくまでも参考としておいてください。また誰にでも、この角度やこの話題からなら書きやすいというポイントがあるのではないかと思います。そういうところを上手にみつけるのも良い方法でしょう。

- (1) まず、落ちついてレポート課題をよく読み、何について問うているのかについて明確に把握してください。そして、そのときすぐに自分の考えが浮かんできた方は、それをメモするなどして覚えておきましょう。何も浮かんでこないのであれば、そのまま次へ進みましょう。
- (2) 1種類のテキストだけでは、どうしても理解に偏りが生じてしまいがちですから、なるべく指定のテキストだけではなく、それ以外の資料も参考にしてください。何も難しい専門書でなくともかまいません。新聞、雑誌、テレビ番組、映画、小説、インターネット、その他興味を感じたものなら何でも接してみてください。そこで何か興味を感じるものがあれば、レポートの半分は書けたようなものです。高い動機づけによって、自分なりの見解や意見が出てきやすくなるでしょう。
- (3) 「まとめなさい」とされている部分に関しては、さまざまな資料を読み、あなたが重要だと思ったところや要点を中心に整理してみましょう。要点というのはつまり、障害

者福祉を学び、実際に障害者援助に関わるとした場合、これだけは覚えておきたいという最低限必要な知識のことです。また、現代社会における福祉のあり方を自分なりに考えるときにも、それらの知識や考え方は大いに役立ってくれることでしょう。

- (4) 「考えを述べなさい」「考察しなさい」とされている部分に関しては、これまでの経験やそれについて考えたこと、またはさまざまな興味深い資料などをもとにして、あなたの考えがきちんと伝わるように論述してください。

障害者福祉における基本理念や、障害者をめぐって生じる問題は、普遍的なものであることが少なくありません。人は、自分自身にもある程度関係があることなら自然に興味をもちますが、いわゆる「^{ひとごと}他人事」に関しては、なかなか興味をもつことは難しいのではないのでしょうか。ですから、無理なく興味をもち、学習を進めやすくするためにも、些細な経験や自分の問題についての自分の考え、社会で起こる事件・事故などについて、少し感度を上げてみてください。そのような身近な視点から、ふと気がつくことがあったり、考えさせられたりすることがあるのではないかと思います。

自分自身の興味関心のありかや、自分自身の経験、ものの考え方や価値観などについて普段から自己理解を深めておくことは、専門技術と知識を持って援助を行う際だけでなく、何かを学ぼうとするときにも有用であることが多いものです。

1単位め 解説

ノーマライゼーションとは、障害者観を考える背景となる基本理念です。まず、テキストまたはそれ以外の資料を参考に、理念の歴史的発展についてまとめてください。著名な識者の理論を中心にまとめても、理念の概要や捉え方を中心にまとめても、どちらでもかまいません。また、ノーマライゼーション理念の影響を大きく受けているリハビリテーションの概要に関しても、代表的な定義やアプローチの変遷などについてまとめてください。

その上で、あなた自身はノーマライゼーション理念をどう捉えるか、またその実現のためには何が必要と思われるかなどの点について述べてください。

評価ポイントは、第一に、ノーマライゼーションおよびリハビリテーションの展開と概要についてある程度体系的にまとめられているかという点、第二に、ノーマライゼーション理念についての自分なりの解釈や見解、捉え方が述べられているかという点を中心となります。

2単位め 解説

2単位めでは、まず、テキストやその他の資料を参考に、ICIDHの概要と3つのレベルの捉え方、およびICIDHの改正の要点とICFの概要について要点をまとめてください。その上で、「障害とは何か」「障害者とは何か」について

のあなたの考えを、障害の構造的理解による具体例、または身近な具体例をあげて述べてください。また、余力のある方は、現代社会の問題点などとの関連や、主観的次元の障害（体験としての障害）の問題についても考えてみてください。

評価ポイントは、第一に、ICIDH および ICF の概要とそれらが示している障害の捉え方・考え方を的確に理解しているかという点、第二に、具体例や現代社会との関わりで、「障害とは何か」「障害者とは何か」について自分なりの解釈や見解、考え方、3つのレベルへのアプローチのあり方が述べられているかという点が中心となります。

3単位め 解説

障害者福祉施策に関しては、国外・国内それぞれにおいてさまざまな展開がみられます。社会の風潮や時代背景によって、障害や障害者の捉え方も違ってきます。まず、テキストやその他の資料を読み、障害者福祉施策の発展について、自分なりの視点からまとめてみてください。その上で、障害者自立支援法を含む近年の国内の施策や、現在の障害者福祉サービスにおける特徴と問題点について考察してください。テレビや新聞、雑誌等身近なメディアなどに注意を向けたり、身近なできごとや実践での関わりなどを通して問題点が見えてくるのではないかと思います。

評価ポイントは、第一に、障害者福祉施策の発展および近年の施策についての要点が的確にまとめられているかという点、第二に、障害者福祉サービスの特徴や問題点に関しての自分なりの見解や考え方がきちんと述べられているかという点が中心となります。

【説明型レポート】に関しては、教科書やその他の資料を参考にしてみてください。ただし、使用した資料は参考文献としてすべて記載してください。評価ポイントは、各項目の要点を踏まえた説明がなされているか、あるいは、内容がきちんと理解されているかという点になります。

4単位め 解説

障害者援助の基本原則に関しては、テキストやその他の資料を読み、これまでの単位で学んだ知識等を踏まえ、障害者援助の方法や関連事項についてまとめてください。

近年の施策においては、障害者の自立が強調され、福祉サービス利用に際しては「自己選択・自己決定」という考え方がとり入れられています。それに関連して「障害者が自分らしく生活すること」の意義が問われていますが、それはどのようなことを意味しているのでしょうか。この問題は、障害者福祉分野だけにとどまらない、特に普遍性が高い問題ですから、あなた自身の考えや、身近な例などをあげて説明してみてください。または、本当の意味での自立支援とはどうあるべきかについての見解を述べてくださってもかまいません。本科目の総まとめとして、あなた自身の障害者福祉の捉え方を示してみてください。

参考図書

- 佐藤久夫・小沢温著『障害者福祉の世界』有斐閣、2000年
内閣府『障害者白書（平成18年版）』東京コロニー、2006年
一番ヶ瀬康子・河東田博編『障害者と福祉文化』明石書店、2001年
田中農夫男・池田勝昭・木村進・後藤守編著『障害者の心理と支援——教育・福祉・生活』福村出版、2001年
永淵正昭著『障害者のリハビリと福祉』東北大学出版会、2000年
小山内美智子著『あなたは私の手になれますか 心地よいケアを受けるために』中央法規出版、1997年
小山内美智子著『私の手になってくれたあなたへ』中央法規、2007年

福祉ボランティア活動

科目コード●050142

担当教員●小野芳秀



1 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

ボランティア活動は実践することに意義があります。本科目は、学生の普段からの自発的な活動に対し、これを推進し、また学生自身がレポートの形で第三者に伝えることで、学生自身が活動を客観的に振り返り、点検を行った結果を次に活かすことを目的としています。したがって評価対象は、活動者の実体験に基づく「活動の振り返り」や「内省」「客観的な考察」が主となります。

レポート課題

1 単位め (1・2 選択)	1：あなたが行ったボランティア活動について、以下の項目に従い具体的に記述しなさい。 ①「活動対象」②「活動期間」③「活動動機・目的」④「活動内容」 ⑤「研修・準備期間」⑥「問題点・反省点」⑦「改善案（⑥について）」 ⑧「自己評価（③を含めて）」⑨「質問」 2：あなたの身近なボランティア個人・ボランティア団体について、上記の③～⑦・⑨について、具体的に調査し記述しなさい。
-------------------	---

アドバイス

課題1および2は選択となっています。

あなたが1年間を振り返り、実際に行ったボランティア活動について記述することが可能であれば課題1を、ボランティア活動が行えなかった場合は課題2を選択してください。

1 単位め 解説

①「活動対象」には、対人ボランティアの場合は、「高齢者」「障害者」「児童」等を、それ以外は活動の対象を表記してください（例：河川清掃等の環境ボランティアの場合は「近所の河川」と表記）。

②「活動期間」には、活動を行った日時・延べ活動時間を記述してください（例：平成19年5月2日（3時間）・5月14日（2時間）・7月12日（3時間）延べ8時間）。

- ③「活動動機・目的」には、「なぜそのボランティア活動をしようと思ったのか」、また「どのような目的で活動を行ったのか」について記述してください。
- ④「活動内容」には、ボランティア活動の内容について具体的に記述してください。
- ⑤「研修・準備期間」には、その活動を行うにあたり準備したことや、事前に参加した研修等について記述してください。特にない場合は省略して構いません。
- ⑥「問題点・反省点」には、活動の際に生じた問題、反省点等を記述してください。
- ⑦「改善案（⑥について）」には、⑥で直面した問題について、「どのように対処したか」、また、後から活動を振り返って「こうすれば良かった」について記述してください。
- ⑧「自己評価（③を含めて）」には、③の活動動機・目的について、「実際活動してそれが達成できたかどうか」について記述してください。
- ⑨「質問」には、活動を通して感じた疑問等、また活動に直接関係がなくともボランティアに関する質問があれば自由に記述してください。

注 意

- ・ レポートを記述する際は、具体的個人名は記載せず、プライバシーに十分配慮してください。
- ・ 本科目は、受講者の普段からの自発的なボランティア活動について評価を行うものであり、レポート評価が直接的な目的ではありません。これから活動する方で、特に対人のボランティア活動を行う場合は、この点について十分自覚し、形だけの活動になって相手に不快感を与えることのないよう、真摯な態度で臨んでください。
- ・ 活動中の事故については、全国の県・市・区の社会福祉協議会が窓口となっている「ボランティア保険」があり、活動によって生じた事故による通院費や対人・対物賠償が補償されます。それぞれの窓口にお問い合わせ、事前に参加しておくことをお勧めします（掛け金年間数百円程度）。
- ・ ①「活動期間」は、定期的に長期間にわたるもの、イベント等の単発活動を問いません。ただし、1、2時間程度の活動が1回のみの場合は、「レポートの題材および水準に見合わない体験的活動」として評価対象外とします。長期・単発共に最低2回以上の活動を希望します。
- ・ 「活動記録ノート」を用意し、その日に活動した内容について項目毎に記録しておく、レポートとしてまとめる際に役立ちます。
- ・ レポートとして記述する活動は複数でも構いません。複数の場合はそれぞれ分けてレポートを作成してください。
- ・ 肉親を直接的な対象とする活動は評価対象外とします。

**2単位め
解説**

課題1を参考に、③～⑦・⑨について取材形式で調査した内容からレポートを完成させてください。

注 意

取材調査を行う場合は、相手に調査の目的およびプライバシーを配慮する旨を説明しましょう。

基礎演習

科目コード●050145

担当教員●寺下 明・生田 目学文
佐藤 博彦・小野 芳秀ほか

1 単位

S

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

本科目では、人間や社会に関する様々な諸問題から自由にテーマを設定し、グループ毎に話し合い、議論された内容について資料を作成し、最後にグループ発表を行っていただきます。

本科目は、一方的な講義形式ではなく、学生が主体的に参加する演習形式です。受講生の自由な視点からの、活発な議論を期待します。

設定した任意のテーマについて、情報収集、レジュメ（資料）の作成、プレゼンテーション（発表）技術についても学んでいただきます。グループ学習を通じ、普段の学習方法についての情報交換や学習の仲間を作る機会にもしてください。

教科書

特に指定していません。

自信が関心を持つテーマの資料等があればスクーリング受講時に持参してください。

平成20年度スクーリング開講予定

① 6/28・29 仙台

② 1/11・12 仙台

※ ①、②のうちどちらか連続2日間になります。

教育原理

科目コード●050301

担当教員●寺下 明



4 単位

R or SR

1 年以上

社会福祉
資格

社会教育
必修

科目の内容

現代日本の教育は、混迷した厳しい状況にあり、問題は深く複雑です。混迷の要因の一つとして、教育における理念の不明確さや人間理解の矮小化があげられます。今日の教育問題を解決するためにわたしたちは、教育あるいは人間形成とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。何故、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは一体何か、という問いにわたしたちはいま直面しているのです。古くて新しい問いかけです。その問いに対する何らかの解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるはずです。

教科書

寺下明著『教育原理』ミネルヴァ書房、2003年
(平成14年度履修登録者) 寺下明著『教育の現在』近代文芸社、1995年にもとづくレポート課題も同じ。

レポート課題

1 単位め	カントの「人間は教育されなければならない唯一の被造物である」という言葉の意味について述べなさい。
2 単位め	日本における子ども観について述べなさい。
3 単位め	日本の近代化において、教育の果たした役割について述べなさい。
4 単位め	学校とは何か。家庭、地域社会との関係で論じなさい。

アドバイス

各課題についてテキストおよび関連文献を参考にして、ただ「丸写し」するのではなく、

自分の言葉で、理解された内容をまとめるように心がけてください。テキストの内容を十分に踏まえたうえで、他の文献や自分の意見などを加えるのは自由です。

1単位め
解説

教育とは何か。これを考えてもらうのがここでの学習の出発点となります。教育を説明することは難しい。その難しさは、実は教育という行為が直接人間に関わるからです。教育の問題は、根底において、多義的で不可解な人間そのものに対する問いに深く関わっています。教育は、人間についての把握がなければ不可能です。教育とは何かの問いは、われわれにとって永遠の課題の一つです。ここでは、人間は教育を必要とし、教育の可能な動物、すなわち、教育的存在としての人間という観点から、教育の意味について考えてみましょう。

2単位め
解説

子ども観を、子どもに対する明確に意識され概念化されたイメージと考えるならば、それは西欧近代の産物です。もちろん、日本にも子どもを大人と違った存在として慈しみ育てる慣習と、断片的なイメージはありました。しかし、子どもをどう見るかということに明確な視点を与えてくれたのはルソーの『エミール』です。したがって、子ども観の考察は、まず西欧の子ども観の探究からはじめ、それがいかなる背景のもとで成立したのか、また、実際の教育にどのような影響を及ぼしたのかについて考えることが大切です。そして、西欧の子ども観と日本の子ども観を比較しながら、日本における子どもをめぐる問題の特殊性を明らかにしたい。子どもは、いかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に全体としての人間存在を問い直してみることがねらいです。

3単位め
解説

日本が「近代化」に成功したのは、単に後発の利点を生かし、他国のまねをして、キャッチ・アップしたではありません。いくつかの要因が整っていたことの結果であると考えられます。ここでは、その重要な要因として、近世からの教育の普及と充実を取り上げてみたいと思います。特に、教育の質を上げることが重要です。しかし、日本が近代化を実現していく過程で、近代化が遅れていたがゆえに、教育によって先進文明を効率よく伝達しようとしてしました。伝統からの脱皮を急ぎつつ、先進文明を大量に伝達しようとしてしました。そこから教育行政の中央集権化がはじまり、その結果として学校文化の「画一化」が生じてきました。それは、いわば近代化の遅れがもたらしたものです。その点を十分踏まえながら、日本の近代化に果たした教育の役割についてレポートを作成してください。

**4単位め
解説**

近代における公教育制度は、国家の文明化と豊かな産業社会の実現をめざすシステムでありました。今日、日本の識字率、就学率、高学歴は世界の最高水準に達し、公教育以外にもさまざまな教育の機会が充実し、もっとも学校化された社会の一つを実現しています。しかし、80年代その量的制度的拡充がピークに達した頃から、校内暴力、不登校、いじめ問題等が深刻さを増し、その「制度疲労」が目立つようになってきました。近代の、学校を中心とした教育システムが自明としてきた原理そのものが崩壊してきたのです。こうした現代日本における実態についてテキストにこだわることなく、自分で実態を考察し、そこから考えたことを十分取り入れて課題にアプローチしてください。

参考図書

大田堯著『教育とは何か』岩波新書、1990年

恒吉僚子著『人間形成の日米比較』中公新書、1996年

河上亮一著『教育改革国民会議で何が論じられたか』草思社、2000年

情報処理 I

科目コード●050332

担当教員●似内 寛



2 単位

R or SR

1 年以上

社会福祉
資格

社会教育
選択A

科目の内容

本科目では、初学者を想定し、前半（1単位め）では Windows の基本操作を身につけるとともに、インターネットを通じてホームページを閲覧したり、電子メールの送受信を行えるようになることを主眼としています。また、後半（2単位め）では、基本的な文字入力に加え、各種ビジネス文書や資料等の作成に欠くことのできないワープロソフトの基本操作（文書の作成・編集・保存・印刷や図表の作成など）ができるようになることが主眼となります。

これらを通して、パソコンを活用しようとする基本的な姿勢を養うことも目標として位置づけますので、指定したテキストに書かれている内容に基づき、順序よく「操作」することが肝要と言えるでしょう。

教科書

1 単位め：川口忠信著『なるほど！ WindowsXP』日経 BP 社、2001年（Windows XP の場合）

Microsoft Press『Microsoft Windows Vista セミナーテキスト パソコン入門編』日経 BP ソフトプレス、2007年（Windows Vista の場合）

2 単位め：富永敦子著『一週間でマスターする Word 2002』毎日コミュニケーションズ、2001年（Microsoft Word 2002・2003の場合）

Microsoft Press『Microsoft Word 2007 セミナーテキスト パソコン基礎編』日経 BP ソフトプレス、2007年（Word 2007の場合）

※教科書は Windows XP に対応したものを送付しますが、Windows Vista の利用者は教科書到着後10日以内に Vista 対応の教科書希望と記して通信教育部に着払い宅急便で XP 対応の教科書を返送してください。折り返し Vista 対応の教科書を送付します。

レポート課題 1 単位めが合格してから 2 単位めを提出すること

1 単位め

Windows におけるファイル作成の基本操作と、インターネットの活用技術について確認します。

①次の 1～5 までの事項について、Windows の操作手順をできるだけくわしくまとめてください。

1. 「ワードパッド」というソフトを起動する際の操作手順と、「ワードパッド」を終了する際の操作手順
2. 「ワードパッド」で作成した文書を、「マイドキュメント」フォルダ（あるいは「ドキュメント」フォルダ）に保存する際の操作手順
3. 「ワードパッド」で、以前に作成したファイルを開く際の操作手順
4. 「ワードパッド」で作成したファイルが保存されているフォルダに、「情報処理」という名前のフォルダを作成する際の操作手順
5. 「ワードパッド」で作成したファイルを、新しく作成した「情報処理」フォルダにコピーするときの操作手順

②インターネットを使って、最近の「高齢者福祉施策」と「障害者福祉施策」に関する情報を(1)それぞれ複数調べ概要をまとめ、(2)情報源としたホームページのアドレスのリストを作成し、(3)調べた施策に関する情報をまとめて、自分なりの分析レポートを作成してください。

以上の項目についてのレポートを、ワードパッドを使用して作成して下さい。作成したレポートは「課題 1（自分の学籍番号氏名）」というファイル名で保存し、メールに添付して提出してもらいます。

提出先のアドレスは ur@tsukyo.tfu.ac.jp ですので、「宛先」欄に入力し、「件名」を「情報処理 1 課題 1（自分の学籍番号 氏名）」とし、本文に何かひと言入力してから、添付・送信してください。

2 単位め

ここでの課題は、Microsoft Word を利用して、日本語を入力しそれを編集する基本的な操作力量が身に付いたかを確認する内容とします。具体的には、下記の手順に従って必要事項を処理してください。

注意することとして、もし課題の途中で作業をやめる場合には、必ずファイルを保存するようにしてください。せっかく労力をかけたのに、水の泡とにならないよう気を付けてください。

Step 1)「ページの書式」を、文字数：42、行数：36に設定してください。

1 ページ目は、課題の表紙となるよう、「情報処理 1」「課題 2」「提

2 単位め

出者の学籍番号・氏名」だけ入力してください。文字の大きさはバランスを考えてそれぞれ設定してください。ちなみに、Step 2 以降の文書の標準ポイント数は「10.5」ですので、これは変えないように。

Step 2) 下記の文書をそのまま入力し、「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択し、「情報1 課題2 (氏名)」というファイル名で「マイドキュメント」にある「私のフォルダ」に保存します。ただし、Step 1 で書式を変えているので、1 行の文字数は下記の文書とは異なります。ここでも、(氏名) は (あなたの名前) を意味します。

平成20年 9 月吉日

お客様 各位

飛鳥商事株式会社

販売促進課

山田太郎

平成20年度オフィス機器フェアのご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より弊社をお引き立て頂き誠に有り難うございます。

さて、この度弊社では、毎年恒例となっております標記フェアを下記の通りの要領にて開催致したくここにご案内申し上げます。IT 技術の進展とともにオフィス機器の進化には、現在の科学技術の到達点を実際にご覧いただき、実感して頂いた上で、オフィス環境の整備のお役に立てれば幸いです。つきましては、誠に不躰かとは存じますが、何かと業務多忙の折、万障お繰り合わせの上、ご来場願えれば幸いです。

今後ますます御社のご隆盛をご祈念申し上げつつ、ご案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催期間 平成20年10月 3 日 (金)～10月 6 日 (月)

2. 開催場所 未来ホール 8F イベントフロア

(下記の地図をご参照ください。)

3. 内 容

ブース名	展 示 内 容
area-F	多機能プリンタ、オフィスネットワーク関連機器
area-B	OA デスク等オフィスサプライ機器
area-K	各種パソコン・サーバー等情報機器
area-S	近未来オフィス環境のプレゼンテーション

※ブースの配置は下記の配置図をご参照ください。

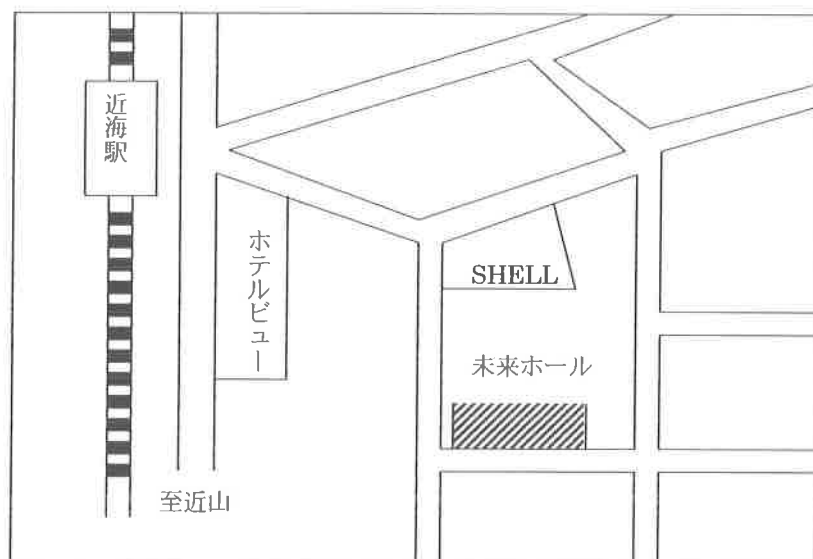
<会場マップ>

<会場内見取り図>

以上

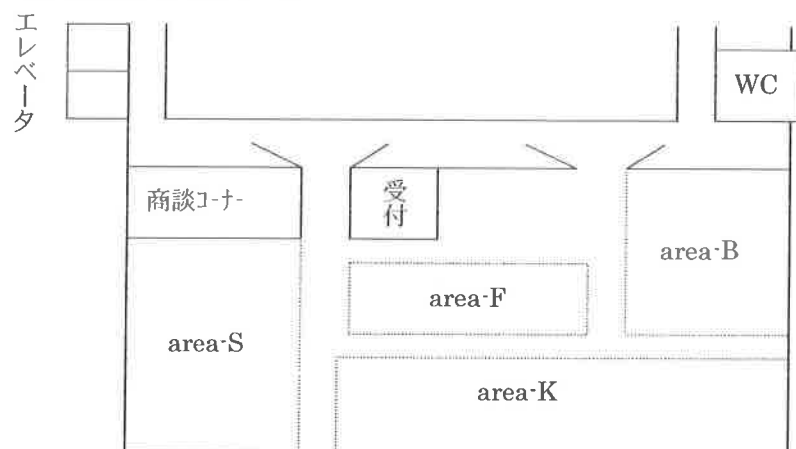
Step 3) 下記の要件に従って Step 2 で作成した文書ファイル「情報 1 課題 2 (氏名)」を編集してください。(しつこいようですが、途中でやめる時には上書き保存を忘れずに !!)

- ① 「平成20年 9 月吉日」、「敬具」、「以上」を右端に寄せます。
- ② 「飛鳥商事株式会社
販売促進課
山田太郎」のブロックを均等割り付けし右端に寄せます。
- ③ 「平成20年度オフィス機器フェアのご案内」の文字フォントを「MS ゴシック」にし、文字のポイント数を「16」とし、文字全体を青色にしてから全体に 2 重下線をつけ、中央に寄せます。
- ④ 本文中の、「IT 技術の・・・」の箇所と「つきましては・・・」の箇所を改行して、新しい段落に直します。
- ⑤ 本文「・・・オフィス機器の進化には、」のあとに、「目を見張るものがありますが、」を挿入します。
- ⑥ 本文の「誠に不躰かとは存じますが、」と「何かと業務多忙の折、」を入れ替えます。
- ⑦ 「記」を中央に寄せ、「1.」から「3.」の項目（表と※印のコメントを含め）を、これら全体が概ね文書の中央に配置されるように移動します。ただしそのとき、「1」「2」「3」が揃うよう配慮して下さい。
- ⑧ 「1.」の項目中の年月日を、青色の文字に変更します。
- ⑨ 「※ブースの・・・」の文字を赤色に変更します。
- ⑩ 「<会場マップ>」及び「<会場内見取り図>」の文字を、ワードアートで作り直してカラフルにし、適当な大きさに調整します。
- ⑪ 「<会場マップ>」の下に、下の図を直線等を利用して作図します。このとき、会場である「未来ホール」をしめす部分を赤く塗りつぶします。



- ⑫「<会場見取り図>」の下に、下の図を作図します。できるだけカラフルに配色してください。

2 単位め



- ⑬クリップアートから適当な絵を選んで文書に貼り付け、視覚効果を高めます。どのアートを使うかは自由ですが、作成している文書の内容にマッチするよう配慮してください。また、配置する場所としては、本文内とし、テキストを折り返すようにします。
- ⑭最後に、薄い水色のページ枠を入れてください。線種や太さは自由とします。

2 単位め

⑮できあがった文書を、「情報 1 課題 2 (氏名)」として「上書き保存」して下さい。

Step 4) 作成した文書「情報 1 課題 2 (氏名)」をメールに添付して送付して下さい。提出先のアドレスは `ur@tsukyo.tfu.ac.jp` ですので、「宛先」欄に入力し、「件名」を「**情報 1 課題 2 (自分の学籍番号)(氏名)**」とし、本文に何か一言入力してから添付・送信してください。

(平成18年度以前履修登録者) 2007年 4 月より、レポート課題が一部修正されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年 9 月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

本科目の性格上、Windows がインストールされているパソコンを操作することが主題となります。そのためパソコンがあること、インターネット接続と電子メールの送信ができる環境があることが前提となっています。

1 単位めの課題については、WindowsXP の環境と WindowsVista の環境で、操作方法が異なります。XP がインストールされているパソコンで取り組む場合は、川口忠信著『なるほど! WindowsXP』日経 BP 社 を教科書に、Vista がインストールされているパソコンで取り組む場合は Microsoft Press『Microsoft Windows Vista セミナーテキスト パソコン入門編』日経 BP ソフトプレス を教科書として取り組んでください。

2 単位めの課題については、Microsoft Word 2002・2003で課題を作成する場合と、Word 2007の場合で、操作方法が異なります。2002・2003がインストールされているパソコンで取り組む場合は、富永敦子著『一週間でマスターする Word 2002』毎日コミュニケーションズ を教科書に、Vista がインストールされているパソコンで取り組む場合は Microsoft Press『Microsoft Word 2007セミナーテキスト パソコン基礎編』日経 BP ソフトプレス を教科書として取り組んでください。

WindowsXP 用アドバイス**1 単位め
解説**

1) ①はテキストの第 1 章の理解度を確認する内容となっています。テキストを一通り最後まで終わらせてから課題に取り組んでください。レポートを作成する際は、操作手順の説明をできるだけ詳細に記述してください。作成されたレポートを初心者が読んだ場合に、それだけで間違いなく操作が行えるような、くわしくて分かりやすい説明文を期待しています。

- 2) ②はテキストの第2章の内容が理解度を確認する内容となっています。インターネットを用いた情報検索は、現代社会において大きな力を発揮します。しかしネット上の情報は必ずしも正しい情報のみとは限りません。一つの事柄を調べる際に、複数の情報源から情報収集を行い、それらの情報を咀嚼し、取捨選択しながら活用することが重要となります。この課題では、たくさんの情報源を比較すること、そしてそれらの情報をまとめることができるかどうかを重視します。
- 3) 1単位めの課題の提出は電子メールで行います。これはテキストの第三章の練習を兼ねた実技課題となっています。ただしテキストで解説されているソフト以外のメールソフトを利用してかまいません。

WindowsVista 用アドバイス

- 1) ①はテキストの第1～4章の内容が理解度を確認する内容となっています。テキストを一通り最後まで終わらせてから課題に取り組んでください。レポートを作成する際は、操作手順の説明をできるだけ詳細に記述してください。作成されたレポートを初心者が見た場合に、それだけで間違いなく操作が行えるような、くわしくて分かり易い説明文を期待しています。
- 2) ②はテキストの第5章の内容が理解度を確認する内容となっています。インターネットを用いた情報検索は、現代社会において大きな力を発揮します。しかしネット上の情報は必ずしも正しい情報のみとは限りません。一つの事柄を調べる際に、複数の情報源から情報収集を行い、それらの情報を咀嚼し、取捨選択しながら活用することが重要となります。この課題では、たくさんの情報源を比較すること、そしてそれらの情報をまとめることができるかどうかを重視します。
- 3) 1単位めの課題の提出は電子メールで行います。これはテキストの第6章の練習を兼ねた実技課題となっています。ただしテキストで解説されているソフト以外のメールソフトを利用してかまいません。

2単位め 解説

Word 2002・2003用アドバイス

- 4) ひととおり Windows の基本操作が身に付いたところで、次に2単位めのテキストに取り組みます。先ほどと同じく、一通りテキストに従って Word の操作法を学んでから課題に取り組むようにして下さい。(そうしないと混乱が大きいでしょう!)

課題のそれぞれの箇所を利用するテキスト部分は下記のようになります。

Step 1 は、「火曜日 STEP 2」を見ながら設定してください。

Step 2 は、基本的な文字入力と表作成が中心となっているので、「月曜日」「木曜日」の章が中心となりますので、参考にしながら作成してください。その際に、必ず原文通

り（見た目も！）入力するよう心がけます。

Step 3 の①～⑨は、「火曜日」「水曜日」の章を参考にします。そのとき、テキストに表示された「STEP～」のタイトルが役に立つでしょう。また、⑩は、「金曜日 STEP 3」を参考にします。⑪⑫は、「金曜日 STEP 6」を参考にしてください。⑬は「金曜日 STEP 2」を、⑭は「金曜日 STEP 4」を各々参考にします。⑮は「火曜日 STEP 9」に対応しますが、保存や上書き保存は、確実に覚えてください。

なお、課題 2 は、テキストの「月曜日」～「金曜日」までの範囲で充分に出来ます。しかし「土曜日」「日曜日」の章は、どちらかといえば応用編ですが、後々のために、一通り学んでおくことをおすすめします。

Word 2007用アドバイス

5) ひととおり Windows の基本操作が身に付いたところで、次に 2 単位めのテキストに取り組みます。先ほどと同じく、一通りテキストにしたがって Word の操作法を学んでから課題に取り組むようにしてください。

課題のそれぞれの箇所でする利用するテキスト部分は下記のようになります。

Step 1 は「第 2 章」を参考に設定してください。

Step 2 は「第 2 章」を参考にし、また課題を次のように読み替えて取り組んでください。「下記の文章をそのまま入力し、「Office ボタン」から「名前を付けて保存」を選択し、「情報 1 課題 2（氏名）」というファイル名で「ドキュメント」フォルダに保存します。ただし Step 1 で書式を変えているので、1 行の文字数は下記の文章とは異なってきます。ここでも、（氏名）は（あなたの名前）を意味します（以下変更無し）。

Step 3 の②、③、⑥、⑧、⑨は第 3 章、①、⑦は第 4 章、⑩、⑪、⑫、⑬は第 5 章を参考にしてください。また⑭は word 2007 の「ページレイアウト」リボンの「ページ罫線」ボタンを用いて設定を行ってください。

なお課題 2 はテキストの第 2 章から第 5 章までの範囲で取り組むことができます。しかしテキストの他の章についても一通り学んでおくことをおすすめします。

参考図書

深井隆征著『30時間でマスター Windows XP』実教出版、2002年

梅方久仁子著『パソコンで初心者がつまずくことが解決する本』技術評論社、2002年

広野忠敏著『できるパソコンの「困った!」に答える本 ― Windows XP SP2 対応』インプレス、2005年

清水理史著『できるインターネット & メールの「困った!」に答える本 WindowsXP SP2 対応』インプレス、2005年

宮詰正幸ほか著『30時間でマスターWord 2003』実教出版、2004年

井上香緒里著『Word でモテるきれいな文書作成のコツ — 2003/2002/2000対応』ソシム、2005年

井上香緒里著『できる Word の「困った!」に答える本 — 2003/2002/2000対応』インプレス、2004年

※情報処理Ⅰ～Ⅲの科目修了試験申込み

「情報処理Ⅰ～Ⅲ」の科目修了試験は、メールで送信された課題を自宅で期限までに解答する方法で実施しています。

「情報処理Ⅰ～Ⅲ」のレポートが2単位とも合格した方で、科目修了試験受験を希望する場合はレポートの送信先アドレス ur@tsukyo.tfu.ac.jp に、学籍番号・氏名・科目名と科目修了試験を受験する旨記して、電子メールでお申込みください。

心理学概論

科目コード●050501

担当教員●佐藤俊人



4単位 | R or SR | 1年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択A

福祉心理
必修

科目の内容

生命体が目指すのは「生きる」ことです。ところが「うまく」生きるために、進化の過程で「心」という働きができ、心の働きはしだいに精巧になり、ものの世界とは別に心の世界をつくりました。その心の働きと、心の内容についてのまとまった知識が心理学です。

心理学の概要を、まず心理学の問題史と研究方法の特徴を通して学び、そのあと、心は発達のどのように形成されるのか、人が環境についての情報を入手するための心の働き、欲求や願望の充足を求めるときの心の動き方、経験を蓄積し利用する心の仕組み、困難な場面に直面したときの心の動き方と心の使い方、一人ひとりの心の働きの個性的特徴とその捉え方などについて学んでほしいと思います。

心の「働き」とは、たとえば「見る」「考える」などで、心の「内容」とは、その結果できあがったイメージや知識などのことです。

教科書

金城辰夫監、藤岡新治・山上精次編『図説 現代心理学入門（三訂版）』培風館、2006年（平成14年度履修登録者）財団法人私立大学通信教育協会編『心理学』にもとづくレポート課題も同じです。

（平成15～16年度履修登録者）2006年4月より、教科書が部分改訂されています。スクーリング受講時は新しい教科書の持参が望ましいです。

レポート課題

1 単位め	心の世界は、意識される世界のほかに意識されない世界を含むことを具体的にわかりやすく説明しなさい。
2 単位め	動物の心と人間の心の違いについて考えてみなさい。

3 単位め

知覚とは、刺激を受動的に感受することではなくて、人が情報を能動的に「つかみとる」働きであることを、具体的な事実をあげて、わかりやすく説明しなさい。

4 単位め

家族の要因が子どもの人格形成に及ぼす影響について、1～2のトピックに焦点を絞って研究してみなさい。

アドバイス

1 単位め 解説

心理学は「心」の学ですが、初期の頃は、「心」イコール「意識」であると考えられました。意識されている世界が「心の世界」だという考えです。ヴントの考え方がその典型でしたが、やがて、心の世界は意識される世界だけではないという認識に到達しました。そのきっかけとなったのが、フロイトの精神分析です。精神分析は、もともとヒステリーなどの神経症の治療法ですが、それをもとにフロイトは壮大な心の理論を生み出しました。その基本となる考え方は、心の動きは意識下の動機や無意識の記憶に左右されるということです。これは、人間の心の見方についての大転換でした。自分の心は自分が誰よりもよく知っているという思い込みが、真っ向から否定されることになりました。思えば、我々が自分のことを意識するのは、物事が思い通りに進まなかったりしたときで、順調に進んでいるときは意識する必要がありません。心が意識されない世界を含むことは間違いないでしょう。

特に、心を「働き」と「内容」に分けると、「働き」は意識されないのが普通です。たとえば、目の前に張ってあるロープの高さをまたいでとび越せるか、下をくぐるかの判断をどのようにして決めているかは意識できません。要は、「よりよく」生きようとして、人は時に意識し、時には意識することを拒否し、時には、現実には存在しないことを想像します。そのときの心の動きは意識されません。しかし、想像したことは意識されやすい。このようにして人は現実をはるかに越えた広大な心の世界をつくったのです。

2 単位め 解説

心の働きと心の世界をもっているのは人間だけでしょうか。この点をよく考えて欲しいと思います。まず、知覚とか、記憶などの心の働きが人間以外の動物にあることには異論はないでしょう。意見が分かれるのは、第一に、感情、意思、思考、想像、言語などの働きがあるかという点です。第二は、心の世界があるか、という点です。心の働きがどの程度まで精巧にできあがっているかは、動物の種により大幅に違います。原生動物のように、環境からの刺激に反射的に反応するだけで生きている動物の場合は、心の働きを使う必要はないので、心の働きは、ほとんどないとみてよいでしょう。ところが、環境の刺激に対してどう行動するかを「選択」しなければならない動物は、「うまく」選択するために、知覚も記憶も思考も意思決定の働きも使わなければなら

りません。その意味では、動物にも心の働きはさまざまな程度に存在する。特に欲求と感情は「生きる」過程を支える基盤です。日常的には、人の心の働きの7割は感情です。

心の働きの進化にとって最も重要な分岐点となるのは、ことばの獲得です。ことばを獲得すると、いま目の前に存在しないことを心の中に取り込むことができます。そればかりか、現実には存在しないものをも心の中に取り込むことができます。想像上の動物も科学フィクションもつくることができます。反面、事実と合わない信念を抱いたり、ありもしない危険を事実と思い込んだりして混乱することもあります。これが人間の心の世界です。このように、ことばを持ってしまったがゆえに、人間は科学や芸術をつくりだした。それが人間の生活を豊かにした反面、動物は決してしないような、危険な戦いをすることにもなりました。人間の悩みもことばの産物です。ことば的なものが人間以外の動物に存在するかどうかは議論が分かりますが、ことばのもとになるような働き、すなわち、いま目の前に存在しないものを何かのシンボルで表す働きは、他の動物にも見られます。

しかし、心の中でそれをいじりまわして（操作して）、工夫したり、悩んだりする力は極めて弱いのです。

3単位め 解説

メロディーは音の中には存在するものではありません。音と音との時間的關係から人が読み取るのです。映画のフィルムの一コマひとコマの映像は静止画像であって、どこを探しても映像の中には「動き」はありません。しかし、静止画像の連続のなか、人は「動き」をみます。このように、物理的刺激の中には存在しない現象を人はキャッチします。これは心の働きの重要な側面です。知覚は、物理的刺激を受動的に感受するだけの働きではありません。むしろ、外部刺激の意味を読みとるのです。その物理的刺激が、人の生存にとってどのような意味があるのかを読み取る働きです。カメラで人物を低いアングルから撮影した写真でみると、その人物の脚がとても長い。ところが、ファインダーからみたときは、格別長いとは見えなかったはずです。知覚は刺激に忠実ではなくて、その刺激の現実的意味に忠実なのです。

知覚という心の働きによって、人は生きる上に必要な環境の情報を読み取り、それを手がかりとして、自分の行動を決定するのです。行動するための手がかりを入手する働きです。手がかりとは、例えば、交差点で赤と青の交通信号によって、いま横断してよいか否かを決めるように、人がどう行動するかを決めるための情報です。大地の裂け目を飛び越せるかどうか、狭い場所を自分のからだを通り抜けることができるか否かを読み取る働きが知覚です。

このような観点から知覚の意味を考えてみましょう。

4単位め 解説

まず、人格とは何かを理解してもらいたいと思います。人の心の働きには個人差があります。知的働きの個人差を知能といいます。感情意思の働きの個人差は気質と性格です。その人全体としての個人差は個性です。いずれも他者との違いを示すことばです。個性的だ、というのは、他者と違うという点を強調しています。それにたいして、人格ということばは、それぞれの違いを持ち合わせながら、人の心の働きは全体としてまとまった働きをする、という意味を含んでいます。心がばらばらに勝手な方向に動き出すことは、まれです。

この「まとまり」を強調するのが人格という概念です。

食えるときでも話をするときでも、その人のすべての心の働きがまとまった形で関与し、その人らしい話し方、食べ方をします。その人らしさがあります。このような、その人らしい「まとまり」を強調するのが人格という概念です。心理学でいう人格には、道德的、倫理的意味合いはありません。しかし、どんな道德観を持ち合わせているかは、人格の大事な構成要素です。

家族関係が子どもの人格形成にどう関係するかは、とても複雑な仕組みになっています。しかし、心理学を学ぶとき、避けて通れない課題です。そこで、家族関係の1つか2つの要因を選び、それが子どもの人格にどう関連するかを考えてみてほしいと思います。たとえば、出生順位はどう影響するか、一人っ子はどうか、母子関係の質は、などと、1つか2つの要因をとりあげて考えてみてほしいと思います。その際大切なことは、家族の要因は1つの要因だけが単独に働くのではなく、他の要因と複雑にからみ合うことを念頭においてほしいと思います。

参考図書

浜田寿美男著『「私」とはなにか』講談社、1999年

心がどんなふうにしてできあがるのかを、根本的に深く考えてみたい人にお勧めします。心理学の根本問題を平易に解説しています。

川上吉昭・佐藤俊昭編『わかりあう心とからだ——共感の覚醒』中央法規出版、1995年

他人の心がわかるのはどのような仕組みによるのかを、第1章に佐藤が書いています。このような問題に関心がある人にお勧めします。

アトキンソン、R. Lほか編 内田一成監訳『ヒルガードの心理学』ブレーン出版、2002年
1,540ページの概論書です。価格もとびきり高いのですが、レベルが高く、読んで面白い本です。

財団法人私立大学通信教育協会編『心理学』私立大学通信教育協会、1979年

心理学史上の有名なデータが掲載されているので、参考になります。やや難解。

社会心理学

科目コード●050514

担当教員●吉田綾乃



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択A/必修

14～17年度
入学者

18年度以降
入学者

科目の内容

社会心理学は「人間がその場の状況や他の人々(社会)とのかかわりの中で、どのように影響を受けて行動するのか」という視点から人間を研究している学問です。研究テーマは、「人の第一印象はどうやって決まるのだろうか?」「意見の合わない友人を説得するにはどうしたらいいだろうか?」「彼はなぜあんなに攻撃的にふるまっているのだろうか?」といった、身近な疑問や発想から生まれています。その意味では、「答えは自分の中にもある」と考える人も多いかと思います。しかしながら、社会心理学を学び、興味深い数々の実験結果を知ると、「自分の考え」が必ずしも「科学的に証明された事実」と一致しないことに驚くことでしょう。社会心理学は、非常に親しみやすい分野でありながらも、自分たちの身のまわりに起こる出来事や自分たちの考え方や行動について、「常識」とは違った観点から見直すきっかけを与えてくれます。

教科書

池上知子・遠藤由美著『グラフィック 社会心理学』サイエンス社、1998年
(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より教科書が変更になり、レポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。平成20年度のスクーリング受講時は、昨年度までの教科書持参でも結構です。

レポート課題

1 単位め	対人認知における歪みがなぜ生じるのか、自分自身が経験した事柄をあげながら説明しなさい。また、その克服方法について自分の考えを述べなさい。
2 単位め	態度変容における説得の影響について、自分自身が経験した事例をあげながら説明しなさい。また、説得を防ぐための方法について自分の考えを述べなさい。

アドバイス

テキストを読む際には、その内容が日常生活のどのような場面について述べているのか、具体的に思い浮かべながら読んでください。レポート課題は、誰もが日常的に経験している、他者を判断する、他者から判断されるという「対人認知」と、態度を決める、態度を変えるとといった「態度形成・態度変容」に関するものです。自分の日々の経験を、社会心理学の理論や研究知見から捉えなおしてみてください。

レポート作成にあたっては、教科書だけに頼るのではなく、他の文献も参考にするようにしてください。また、自分自身の言葉で述べるのが最も大切ですが、テキストの内容を理解した上でまとめていることがわかるように、テキストに紹介されている社会心理学的な用語を用いて、その現象が「なぜ」生じたと考えられるのか、ご自身の考えをまとめてください。

1単位め 解説

私たちは、「あの人は冷たい人だ」と他者を判断することもあります。逆に「あなたは冷たい人だ」と他者から判断されてしまうこともあります。このような他者の判断（対人認知）は、人が自分の中で「判断」した結果であり、「事実」とは異なっている可能性があります。皆さんも、周囲から誤解されていると感じたり、あるいは自分が他者を誤解していたことに気がついたことがあるのではないのでしょうか。このレポートでは、皆さんがこれまでに経験した対人認知の歪みについて、社会心理学的な側面から考えていただきます。

レポートを作成する際には、テキストの第1章：対人認知を参考にしてください。テキストに紹介されているように、対人認知の歪みは、**期待効果、ステレオタイプ、暗黙の人格理論、ネガティビティ・バイアス**などによって引き起こされることが明らかになっています。また、この課題はテキストの第2章：社会的推論も参考になります。たとえば、対人認知の歪みをもたらす要因として、**スキーマ、誤った関連づけ、仮説検証型判断**などの影響を考えることができます。これまでに自分が経験した対人認知（判断する側・される側のどちらの経験でもよい）の歪みが、なぜ生じたと考えられるのか、テキストに紹介されているキーワードを用いながら、客観的かつ論理的に考えてみてください。そして、そのような対人認知の歪みを克服するためには、どうすればよいのか、**認知的複雑性や、印象形成の2過程モデル**などの研究も参考に、ご自身の考えを述べてください。

2単位め 解説

私たちは、「この映画が好きだ」、「この意見に賛成である」など、さまざまな対象に対して何らかの態度をもっています。しかしながら、このような態度は、常に変わらないわけではありません。これまでに周囲の人から説得され、

自分の態度を変化させたことがある人は多いでしょう。このレポートでは、皆さんがこれまでに経験した「態度変容」について「説得」という側面から考えていただきます。

レポートを作成する際には、テキストの第3章：態度を参考にしてください。説得が成功するか否かは、**メッセージの内容、メッセージの送り手、説得が行なわれる状況、メッセージの受け手**の要因によって左右されます。これまでに自分が経験した説得（説得する側・される側のどちらの経験でもよい）による態度変容が、どのような要因によってなぜ生じたのか、テキストに紹介されている、**反復効果、恐怖喚起、信憑性、専門性、信頼性、スリーパー効果、自我関与、気分状態**などのキーワードを用いながら、客観的かつ論理的に考えてみてください。その他にも、**認知的不協和理論、精緻化可能性モデル**などの理論に基づいた考察もよいでしょう。また、今日でも報道が続いている振り込め詐欺など、悪質な説得を避けるためにはどうすればよいのか、**直接経験、予告、被説得性、接種理論**に関する記述などを参考に、ご自身の考えを述べてください。

参考図書

基礎編：初めて学ぶ人へ

吉田寿夫著『人についての思い込み Ⅰ・Ⅱ』北大路書房、2002年
心理学ジュニアライブラリのシリーズの一冊であり、読みやすいでしょう。
1 単位めの対人認知に関する課題の参考になります。

岡本浩一著『社会心理学ショート・ショート』新曜社、1986年
トピック中心のわかりやすい内容になっています。
認知的不協和理論や態度変容に関する実験内容が詳細にまとめられています。
2 単位めの態度変容に関する課題の参考になります。

藤本忠明・東正訓著『ワークショップ 人間関係の心理学』ナカニシヤ出版、2004年
社会心理学の研究が人間関係の問題と関連づけて分かりやすく紹介されています。
Q&Aがあり、自分の理解度を評価することができます。

応用編①：テキストだけでは物足りない人へ

山岸俊男編『社会心理学キーワード』有斐閣双書、2001年
概念の正確な把握や知識の整理に有効です。辞書としても利用できます。
末永俊郎・安藤清志著『現代社会心理学』東京大学出版会、1998年
社会心理学の領域が網羅され、また個々の研究内容についても詳細な説明があります。参考図書も充実しています。

応用編②：社会心理学およびレポート課題に関連する知識を深めたい人へ

E. アロンソン著『ザ・ソーシャル・アニマルー人間行動の社会心理学的研究』サイエンス社、1994年

著名な社会心理学者による読み応えのある一冊です。

T. ギロビッチ著『人間この信じやすきもの』新曜社、1993年

人間の認知の偏りがなぜ生じるのか、いかに克服するかを論理的に解説しています。

R. チャルディーニ著『影響力の武器 なぜ人は動かされるのか』誠信書房、1991年
態度形成や態度変容についての幅広い視点から理解することができます。

・ 資格科目 ・

教職論

科目コード●050702

担当教員●寺下 明



2 単位

R

1 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

平成10年教育職員免許法が改正され、「教職に関する科目」のなかに「教職論」が新設されました。本科目のねらいは、現代社会が抱えている教育的諸問題と教員の関係を考察し、教職とはどんな仕事か、その基本的な性格や社会的使命などのついでに理解を深めることにあります。

教科書

宮崎和夫編著『教職論』ミネルヴァ書房、2000年

レポート課題

1 単位め	教職の意義と教員の使命について
2 単位め	教員の仕事と役割について

アドバイス

各課題について、テキストや参考文献を「丸写し」するのではなく、自分の言葉で理解した内容をまとめるように心がけてください。

1単位め
解説

教職とはいかなる仕事か、専門性の高い基本的な性格を理解し、激動する社会の中で、教師の使命や役割について、その求められる資質を踏まえてまとめましょう。

2単位め
解説

学校では、さまざまな教職員が校務を分担しています。まず、教員の職務内容を把握してください。そして、今日多発する「いじめ」「不登校」「学級崩壊」に対して、教員としてどのように取り組むのかを考えることによって、職業人

としての教員についての理解を深めましょう。

参考図書

佐伯胖・黒崎勲編『教師像の再構築』（岩波講座 6 現代の教育）岩波書店、1998年



2年生以上配当科目

2～4年生履修可

・ 専門科目 ・



社会福祉原論 (職業指導を含む)

科目コード●050104

担当教員●田中 治和 (左)
齋藤 征人 (右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の学修と、社会福祉観の変遷についての理解を目的とします。“社会福祉”という言葉は広く使われるため、その実態の学問的把握は曖昧になりやすく、ともすると主観的な幸福論や通俗的な人生論に終始しやすいと思われる。しかし、多種多様な社会福祉事象および具体的な社会福祉実践の本質は、まぎれもなく他者の人生へのかかわりであり、理念的には人類史上の文化的創造の営為の一つとも解せます。したがって、「社会福祉原論」では社会福祉に関する専門用語・知識の確認に留まらず、常に「社会福祉とは何か」「社会福祉をいかに捉えていくのか」等を思考しながら学修することを望みます。大切なことは、自らの社会福祉観の涵養^{かんよう}にあるといえます。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 1 社会福祉原論 (第4版)』
中央法規出版、2006年

(平成17年度以前履修登録者) 2006年4月より教科書が部分改訂され「第4版」に変更になりました。改訂された箇所は中央法規発行「別冊 社会福祉制度等の主な動きとポイント」(2006年発行版)をご覧ください。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※1単位につき1,800字以上でまとめるようにしてください。

1 単位め	日本の社会福祉の歴史的経緯を概説してください。
2 単位め	社会福祉の体系を整理してください。
3 単位め	社会福祉の概念を他の生活保障方策(社会保障等)の概念と関連しながら説明してください。

4 単位め

自らの“社会福祉”観をまとめてください。

アドバイス

「社会福祉原論」は、社会福祉学のさまざまな科目のなかでも、けっしてやさしいものではありません。ですが、社会福祉学の大学学部教育の水準に到達するためにも、社会福祉原論は不可欠な学習項目の一つといえます。

社会福祉原論の究極的課題は、社会福祉学の対象と方法の吟味・考察にあるといえます。ですが学部教育では、時間的制約等から、次の2つに要約できます。すなわち①社会福祉全般の把握であり、②これまでの社会福祉観、つまり社会福祉の見方（観方）の整理です。これらを通して、自分自身の社会福祉の（仮説としての）見方を育てていく基本的態度を学修してください。

1単位め～4単位めは、通常の教科書の記述とは、少し違って構成しています（教科書は《理論》→《歴史》→《現状》となっています）。

まず第1に、社会福祉にかかわる歴史的事実の確認と全般的な把握を、そして第2に、社会福祉の現状・実態を学ぶことにより、社会福祉に対する一定の心象（イメージ）が学習者に形成されると思われます。さらに第3に、これらをもとにして社会福祉の概念整理を試み、そして第4に、各自の社会福祉観の深みと広がりが増えられればと考えてレポート課題を設定しました。

1単位め
解説

教科書「第2章 社会福祉の歴史／第1節 日本における社会福祉の史的展開」を中心にまとめてください。できればそのレポートをまとめるなかで、日本の社会福祉の特性とは何かを考えながらまとめてください。

2単位め
解説

教科書「第4章 社会福祉の制度と行財政」を中心にまとめてください。その際に、一般的に社会福祉に係わる法律、行財政等から整理する方法があると思われます。かなり煩瑣になりますが、社会福祉の現実を、網羅的かつ論理的に（筋道を通して）整理してください。

3単位め
解説

教科書「第1章 社会福祉の基礎理論／第1節 社会福祉の概念と枠組み・第2節 社会福祉と関連諸施策」を参考にしながらまとめてください。社会福祉の概念整理の作業は、ある種の面倒さが伴いますが、社会福祉の捉え方を深めるためにも是非必要ですので、ゆっくりとていねいに教科書を読んでからまとめてください。

4単位め 解説

自らの“社会福祉”観、つまり社会福祉をどう捉えようとするのかをまとめてください。そのためには自分自身の人間観そして人生観をも連関している点を考慮しながら、できるだけ自分の言葉でまとめてください。

教職希望者は、高校生に進路指導・職業指導する立場にたってまとめてください。ただし全体の80%程度は社会福祉観を、20%程度で職業観をまとめてください。

参考図書

仲村優一・三浦文夫・阿部志郎編『社会福祉教室（増補改訂版）』有斐閣、1989年

松村祥子・三ツ木任一編著『社会福祉論』放送大学教育振興会、1995年

『新版・社会福祉学習双書』編集委員会編『新版 社会福祉学習双書Ⅰ社会福祉概論』

全国社会福祉協議会出版部、2006年

岡村順一編『社会福祉原論（第4版）』法律文化社、2006年

星野貞一郎著『新版社会福祉原論』有斐閣、2002年

厚生統計協会編『国民の福祉の動向・厚生指標（臨時増刊）』各年度版

地域福祉論

科目コード●050105

担当教員●柿沼利弘
小笠原浩一

4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉

必修

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

ソーシャルワークの仕事とはひとつの分野に偏ることなく、地域社会を基盤に考えていかなければいけません。今日では、社会福祉基礎構造改革を踏まえて社会福祉法の成立や新しい展開がみられます。また、新たな視点を十分に意識しなければならず、現在ある民間組織のこれからのあり方なども考えていかなければなりません。

さらに、この科目では教科書を勉強するだけでなく、幅広い知識の獲得に努めなければなりません。なぜかといえば、地域福祉論と社会福祉原論、社会福祉援助技術などは関連性が多々あり、また、社会の仕組みなどとの関連もあってどの分野と決めてかかれない部分があります。社会福祉士の受験資格に必要な他の指定科目と合わせて学習していただきます。また、資格を目指す人はもとより、そうでない人も貪欲に学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 7 地域福祉論（第4版）』中央法規出版、2007年

（平成18年度以前履修登録者）2007年4月より教科書が部分改訂され、「第4版」に変更になりました。改訂された箇所は中央法規出版発行『別冊 社会福祉制度の主な動きとポイント』を参考にしてください。

レポート課題

1 単位め

社会福祉基礎構造改革の特徴について述べ、旧法の社会福祉事業法と新法の社会福祉法の違いについて述べよ。

2 単位め

コミュニティのもつ意味を考え、在宅福祉サービスのあり方について述べよ。

3 単位め	地域社会における自立生活を考えるとき、新しい視点としてコミュニティ・ソーシャルワークという考え方が台頭してきている。このコミュニティ・ソーシャルワークの視点について述べよ。
4 単位め	【説明型レポート】 下記について、各400字以上600字以内で簡潔に説明して下さい。 ① 市区町村社会福祉協議会の機能について ② 共同募金運動の意義について ③ 福祉教育の目標と方法について ④ 我が国の NPO について

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より課題が一部変更となりました。『レポート課題集2007』の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

レポートを書くにあたって、テキストをもとに作成することも可能ですが、最終的には自分の考えを示すことが大切です。そのために、ひとつひとつのレポートを作文的に一気書き進めるのではなく、章立てを行う必要があります。教科書も章、節、項という形で構成されており、レポートを作成するときも同じように行ってください。

また、全体をとおして社会福祉の変化を捉えることも大切です。

1単位め 解説

第1章を読むとともに社会福祉基礎構造改革を理解し、旧法と新法の比較だけでなく、新旧の福祉六法を参考にし、検討してください。また、第4章の第4節、第7章の第2節なども参考にしてください。

2単位め 解説

第1章の後半と第2章を読み、自分なりの視点をもって述べるのが大切です。在宅福祉サービスの特徴や内容、在宅福祉サービスと施設福祉サービスの対比なども検討してください。また、第7章も参考にしてください。

3単位め 解説

第2章の第6節と第3章を読み、コミュニティ・ソーシャルワークについて考えてください。教科書だけにとらわれず、幅広く文献等を参考にし、コミュニティケア政策、ソーシャルワークの歴史も捉えてください。

4単位め
解説

第5章と第6章を読み、社会福祉協議会とそれに関連するNPOやボランティア活動、共同募金について考えてください。また、地域福祉の推進において欠かせない福祉教育を捉え、住民参加型社会福祉についても考えてください。

参考図書

- 岡村重夫著『地域福祉論（社会福祉選書）』光生館、1978年
真田是著『地域福祉と社会福祉協議会』かもがわ出版、1997年
R、ハドレイほか 小田兼三・清水隆則監訳『コミュニティ・ソーシャルワーク』川島書店、1997年
岡崎祐司・河合克義・藤松素子編『講座・21世紀の社会福祉5 現代地域福祉の課題と展望』かもがわ出版、2002年
柄本一三郎編著『地域福祉を拓く第1巻 地域福祉の広がり』ぎょうせい、2002年
小林雅彦・村田幸子編著『地域福祉を拓く第2巻 住民参加型の福祉活動』ぎょうせい、2002年
和田敏明編著『地域福祉を拓く第3巻 地域福祉の担い手』ぎょうせい、2002年
大森彌編著『地域福祉を拓く第4巻 地域福祉と自治体行政』ぎょうせい、2002年
小林雅彦編著『地域福祉を拓く第5巻 地域福祉の法務と行政』ぎょうせい、2002年
小笠原浩一・平野方紹著『社会福祉政策研究の課題——三浦理論の検証』中央法規、2004年
小笠原浩一・島津望著『地域医療・介護のネットワーク構想』千倉書房、2007年
都築光一編著『新しい地域福祉推進の理論と実際』中央法規、2007年

※スクーリングを受講する際には、必ずテキストを読み受講してください。

医学一般

科目コード●050106

担当教員●柏木 誠(左)
澤田 悦子(右)



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

日本人の三大死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、老化に伴う様々な体の変化は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。さらに、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を、「医学一般」として学びます。

単位修得、国家試験や仕事のためだけではなく、学んだ知識を日々の生活に生かす、生きた勉強を心がけてください。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座13 医学一般(第4版)』中央法規出版、2007年

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より教科書が部分改訂され「第4版」に変更になりました。改訂された箇所は中央法規出版発行「別冊 社会福祉制度等の主な動きとポイント」をご覧ください。

レポート課題

すべて【説明型レポート】(各200字以上400字以内)

※ p.141記載の注意(1)~(2)をよく読んでください。

1 単位め	① 血液に関する重要語句を挙げ、それぞれ簡単に説明せよ。 ② 病的老化について簡単に説明せよ。 ③ 認知症について、簡単に説明せよ。 ④ 老化による生理的な知的機能の低下と、認知症の知的機能低下との違いについて、比較してまとめよ。 ⑤ 高齢者の病気の特徴として、若い人とは異なる症状を呈することがある。どのような特徴があり、そのために高齢者に対してどのような注意が必要か考えよ。
2 単位め	① 生活習慣病について簡単に説明せよ。(病名ではなく、定義を述べること。) ② 三大生活習慣病とは何か。生活習慣と関連させて簡単に説明せよ。 ③ 三大生活習慣病以外の主な生活習慣病を挙げ、生活習慣と関連させて簡単に説明せよ。 ④ 高血圧および糖尿病の合併症について述べよ。 ⑤ 高齢者に多い疾患をあげ、簡単に説明せよ。ただし、生活習慣病と重複する疾患については、病名をあげるだけで、説明はいらない。
3 単位め	① 高齢者がかかりやすい、神経、精神疾患を列挙せよ。 ② パーキンソン病について簡単に説明せよ。 ③ 廃用症候群とは何か。(病名ではなく、定義を述べること) ④ 廃用症候群を予防するには、どのようにすればよいか、原因を考えた上で簡単にまとめよ。
4 単位め	① リハビリテーション医療の役割について述べよ。 ② ADL の語句を、簡単に説明せよ。 ③ QOL の語句を、簡単に説明せよ。 ④ リハビリテーションを実施する際に、なぜ ADL 評価が重要であるのか、理由を述べよ。 ⑤ 介護保険の特定疾患について述べよ。

注意 (1) 箇条書きや表にまとめてもかまいません。各問に対して、200字以上400字以内で簡潔明瞭にまとめてください。課題では、何を求められているのか良く考えて解答してください。

(2) 問題文が長い場合、レポート用紙の「課題」欄には「2008年度の問題に解答する」と記入してください。また、「解答欄」には問題の番号のみ記入し、問題文は記入しないでください。

(平成19年度以前履修登録者) 2007年4月および2008年4月にレポート課題が変更されています。『レポート課題集2006』記載の課題は2008年9月まで、『レポート課題集2007』記載の課題は2009年9月まで提出できます。ただし、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

「医学一般」では、疾病や障害についての基本的な理解をしてください。慢性期や終末期の医療は、医療関係職種と福祉関係職種とのチームアプローチによって、在宅で展開さ

れることが多くなっています。特に福祉関係職種に従事することを目指している者は、一緒に利用者の医療を考えることができるように心がけて学んでください。

テキストを、まず一通り読んでから、全体的に理解して課題に取り組んでください。第3章の「生活習慣病」と、第4章の「高齢者の疾病」などは、関連させて学ぶことが大切です。主に各章では、

第1章：臨床医学の概観

第2章：人体の構造と機能（基本的なことなので、熟読しておくこと）

第3、4、5章：疾病の特徴（特に重要語句の整理をしておくこと）

第6章：リハビリテーション医療

第7、8章：公衆衛生（感染症対策や保健医療対策、少子高齢化対策など、行政の取り組みを理解すること）

第9章：医事法制（専門職としての根拠と業務範囲をおさえておくこと）について学びます。

学習を進める上で、他の科目と重複する内容もありますが、互いに関連付けて学ぶことが大切です。「医学一般」には、公衆衛生学も含まれますので、公衆衛生学の課題にも目を通してくと参考になります。

特に社会福祉士・精神保健福祉士を目指す人は、国家試験の試験科目ですから、試験勉強をかねた有効な勉強方法を心がけてください。勉強しながら、キーワードとその要点をまとめたノートを作っておくと、後で役に立ちます。

1単位め 解説

ここでは、まず教科書を読んで要点をおさえる方法を身に付けてください。大事なことを抜き出して、簡潔にまとめることができればよいでしょう。

人体の構造と機能は、基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておきましょう。

老化について学ぶことで、高齢者の病気の予防を理解することにつながります。

2単位め 解説

日本人の三大死因は、生活習慣病と密接にかかわっています。生活習慣病の原因となる悪しき生活習慣について認識することで、自らの生活を見つめ直すことも大切です。

3単位め 解説

パーキンソン病は、60歳未満で発症することが多いのですが、介護保険の第二号被保険者に該当する「特定疾患」であり、難病の一つです。特定疾患についても理解しておくことが大切です。

若い人でも、疾病や運動機能障害などにより体を使わないでいると、筋肉が細くなった

り、骨がもろくなったりします。高齢者では、簡単なきっかけで容易に廃用症候群になったり、寝たきりになったりすることを理解してください。

4単位め
解説

リハビリテーションは、QOLの向上めざし、積極的な人生を歩めるようにする医学的なプロセスです。ここでは、リハビリテーションについて理解し、また、障害を招かないための予防の意味も理解してください。

公衆衛生学

科目コード●050110

担当教員● 柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

公衆衛生学は健康の問題を疫学的に把握することにより、病気の予防や健康を維持しようとする学問であり、社会医学の分野に属しています。また、衛生学は社会的環境要因と健康との関わりを分析することによって病気の予防と健康維持を探究する学問です。

本科目は公衆衛生学と衛生学とを合わせた衛生公衆衛生学と呼ばれる領域を担当するものであり、予防医学と健康の維持についての科学と技術を学びます。わが国の公衆衛生の現状と衛生行政についても習得します。

身近な学問です。感想、意見を入れて論述してください。

教科書

鈴木庄亮・久道茂編『シンプル衛生公衆衛生学 2006』南江堂、2006年

※2003年版、2004年版、2005年版、2006年版的いずれでも可

レポート課題

すべて【説明型レポート】各200字以上400字以内

※ p.145記載の注意(1)～(3)をよく読んでください。

1 単位め	① 公衆衛生活動の例を挙げ、簡単に説明せよ。 ② 公衆衛生行政の例を挙げ、簡単に説明せよ。 ③ 人口静態統計と、人口動態統計の違いについて述べよ。 ④ 少子化の原因と、少子化によって生じる問題点について考えよ。 ⑤ 日本における高齢化、超高齢化の現状について考えよ。
2 単位め	① 生活習慣病について述べよ。 ② 最近の日本における三大死因とは何か。また、三大死因と言われる疾病の間に、関連があるか否か検討せよ。 ③ メタボリックシンドロームについて述べよ。 ④ 飲酒が人体に与える影響について述べよ。 ⑤ 喫煙が人体に与える影響について述べよ。

3 単位め	① 感染症について、簡単にまとめよ。 ② 能動免疫と、受動免疫について述べよ。 ③ 予防接種の意義と問題点について述べよ。 ④ 新興感染症について述べよ。 ⑤ 院内感染について述べよ。
4 単位め	最近の新聞ニュースなどで話題になった、公衆衛生学に関する記事の要点をまとめよ。事例はいくつでもよい。 ニュース源（新聞名、テレビ番組名など）と、年月日を必ず記入すること。 自分の考えを加えれば、なおよい。

注意 (1) 1 から 3 単位めまでは、箇条書きや表にまとめてもよい。

字数は、設問毎に200字以上400字以内で簡潔明瞭にまとめよ。

(2) 4 単位めは、いくつ事例をあげても良いが、全体で1000字以上2000字以内になるようにまとめよ。

(3) 問題文が長い場合、レポート用紙の「課題」欄には「2008年度の問題に解答する」と記入してください。また、「解答欄」には問題の番号のみ記入し、問題文は記入しないでください。

(平成19年度以前履修登録者) 2007年4月および2008年4月に、レポート課題が変更されています。『レポート課題集2006』記載の課題は2008年9月まで、『レポート課題集2007』記載の課題は2009年9月まで、提出できます。ただし、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

1 単位め 解説

公衆衛生行政の中心課題は、国民の健康に関するものですが、生活環境とも密接な関連を持っています。ここでは、まず教科書を最後まで読んで、概略をとらえてください。2000年度からスタートした、国の10カ年計画「健康日本21」も理解しておいてください。医学一般の教科書「第7章 公衆衛生の現状」を参考にすると分かりやすいでしょう。

2 単位め 解説

日本人の三大死因は、生活習慣病と密接にかかわっています。死亡リスクが高くなる「死の四重奏」について考え、私たちの生活習慣を見つめ直すことが大切です。この機会に、飲酒や喫煙が人体に及ぼす影響を考えてください。たとえば、酒（アルコール、エタノール）には、麻酔作用があります。イッキ飲みで命をおとすこともあります。医学的に考えてください。

3単位め
解説

感染症対策は、公衆衛生上きわめて重要です。予防接種は、個人の感染症罹患を防ぐとともに、集団の罹患をも防止するものです。免疫についても理解しておいてください。

院内感染は、免疫力の低下した高齢者が大勢集まる施設に通じるものがあります。

4単位め
解説

公衆衛生学は、私たちの身近な学問です。普段から、新聞やテレビのニュースに関心を持っていることが重要です。

たとえば、腸管出血性大腸菌感染症（O157等）やはしか、鳥インフルエンザ、ノロウィルス、アスベストなど、気づいたニュースについて、簡単にまとめてください。

NPO 論

科目コード●050113

担当教員●江尻行男



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
選択 B

科目の内容

民間非営利組織である NPO (Non-Profit Organization) が阪神淡路大震災 (1995年) を契機として急速に進展し、今日に至っています。その動きの速さは一種の革命だとも言われ、わが国に行政、企業と並ぶほどの一つのセクター、すなわち NPO セクターを形成するまでに至っています。ところでこの NPO とは一体いかなる組織で、何をしているのでしょうか。言葉としてはよく耳にしますが、その実状をよく知らない場合が多いのではないのでしょうか。そこで本科目では NPO について上記のような問題意識のもと総合的に学習してみましょう。内容としては、① NPO の概念と基本的問題 (テキストの I、II)、② NPO の活動分野 (テキストの III)、③ NPO とフィランソロピー (テキストの IV)、④ NPO のマネジメント (テキストの V)、そして⑤ NPO の課題 (テキストの VI) です。

教科書

山内直人著『NPO 入門 (第 2 版)』日本経済新聞出版社、2004年

レポート課題

1 単位め	① NPO とはいかなる組織 (概念) か、等しく民間組織であっても企業とはどこが異なるのか、また等しく非営利組織であっても行政とはどこが異なるのか。また② NPO の仕組みないし構造はどうなっているのか、さらに③その活動分野、特に福祉 NPO の内容と特徴について検討してください。
2 単位め	① NPO のファンドレイジング (資金調達) について、特に NPO の顧客は誰か、という観点から資金提供者 (ドナー) に対するマーケティングも説明してください。また②これに関連して寄付税制についてとりあげ、特に優遇税制の問題点と課題を論じてください。

アドバイス

1単位め 解説

基本的にはテキストを読めば説明できると思います。ただ③については福祉の勉強も必要となります。

2単位め 解説

①についてはテキストを、そして②についてはテキストとともに現在の法制度の動きを把握しておく必要があると思います。

参考図書

電通総研編『NPO とは何か』日本経済新聞社、1996年

山内直人著『ノンプロフィット・エコノミー』日本評論社、1997年

堀田力・雨宮孝子編著『NPO 法コンメンタール』日本評論社、1998年

谷本賢治・田尾雅夫編著『NPO と事業』ミネルヴァ書房、2002年

知的障害者福祉論

科目コード●050119

担当教員●赤塚俊治



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

知的障害者福祉支援策は、「知的障害者福祉法」(1960年)が制定されて以来、社会情勢の変化と知的障害者自身の必要によってその支援策は多様化しました。また、知的障害者福祉施策の根底に流れる福祉観も「脱施設化」といった新たな動向が見られます。しかし、この「脱施設化」の論考はあまりにも実態を顧みない安易すぎる論説であって、一つの逆差別化につながると考えます。さらに社会福祉法(2000年)の改正、障害者自立支援法(2006年)の施行に伴って知的障害者福祉法も同時に改正され、従来の知的障害者福祉の支援システムから大きく変革しました。これらの改正および新しい法律によって知的障害者自身の利用者本位が一層強化されるようになりました。こうした知的障害者福祉の進捗に対して、社会福祉施設や地域社会における知的障害者の生活実態を分析すると、数多くの課題や問題点が山積しています。

そこで本科目では、こうした社会的動向を踏まえながら、いかにして知的障害者が社会的自立とその支援策を確立することが可能かをさまざまな視点から論考することにします。そのためには知的障害者が抱えている今日的課題と問題点を、現行制度の限界性と社会生活の実態との乖離^{かいり}からその要因を明らかにしたいと考えています。

教科書

赤塚俊治著『知的障害者福祉論序説——21世紀の知的障害者福祉の展望と課題』中央法規出版、2000年

※赤塚俊治著『知的障害者福祉論序説(仮称)』2008年7月頃刊行予定(刊行された際は本書を使用してください。)

レポート課題

1 単位め

知的障害者福祉支援の歴史的変遷を述べながら、今後の施設福祉の役割と機能について考察しなさい。

アドバイス

知的障害者福祉論を学習する際、過去に知的障害者が社会的にどのような社会福祉支援を受けてきたかを歴史的に学ぶことが大切です。とくに、「施設福祉」と「在宅福祉」との相互関係について理論的に明らかにすることが重要です。現在、知的障害者への社会的理解が深まるとともに、知的障害者も可能な限り地域社会において人々と生活すべきであるとするノーマライゼーションが謳われるようになり、これまでの施設中心主義的施策から、知的障害者福祉を一人ひとりの個人としてとらえ地域社会で独立的に生きることを基本にすえて、普通に暮らせる社会の実現に向けた社会的資源の整備の確立を目指した施策が展開されています。しかしながら、こうした知的障害者に対する制度や福祉サービスメニューおよび施策が体系的に整備されているなかで、現実に施設や地域社会で生活している知的障害者の日常生活の実態からすると「普通の生活」を送るための諸条件が十分に整備されていないことを考慮しながら学習することも大切です。

なお、レポート作成を行う際は、次の基本的な視点をふまえながら、レポートを仕上げてください。

- (1) 知的障害者福祉論は、客観的・実証的な枠組みに基づいて構成されています。したがって、レポート課題を作成するにあたっては、知的障害者の人生にとって「普通の生活」の確立は単なるスローガンで終わるのではなく、希望に満ちた輝かしい福祉社会のなかで達成することが可能かをさまざまな視点から考察してレポートを作成してください。
- (2) 知的障害者の施設は、働く職員にとっては職場であっても、知的障害者にとっては暮らしの場であり、生きる生活の拠点であることを考えながらレポートを作成することが大切です。
- (3) レポートの作成にあたっては、単にテキストを読んで理解した内容をそのまま書くのではなく、知的障害者の日常生活で起きているさまざまな問題点を取り上げながらまとめることが重要です。たとえテキストの記述内容とは異なったレポートの内容であったとしても、そのレポートの内容が十分な分析と考察が行われていれば、評価もそれだけ高くなります。

**1単位め
解説**

テキストの第1章から第4章までをよく読み、知的障害者福祉の基本的な理解に努め、さらには、知的障害者が過去において社会的不利益および劣等処遇に対する苦難と闘いの時代であった歴史的背景と事実を整理しながらレポート課題に取り組んでください。

とくに、「社会福祉基礎構造改革」の一環として新たに施行された社会福祉法は、(1)利用者の立場にたった社会福祉制度の構築、(2)サービスの質の向上、(3)社会福祉事業の充実・活性化、(4)地域福祉の推進の4点を主要な方向性として法改正したものです。

この改正は、知的障害者福祉法の事項にも大きく反映される結果となりました。知的障害者の福祉サービスの充実を図る目的として改正された主な要点は、①福祉サービスの利用制度化、②市町村における知的障害者に対する福祉に関する必要な情報提供と相談・指導、③サービスの質の確保と利用者の権利擁護、④サービスに関する第三者評価・苦情解決体制の整備、⑤知的障害者福祉に関する事務の市町村への委譲などがあげられます。こうした内容によって、これまでの制度や福祉サービスメニューの内容が一層強化・拡充されましたが、難問も山積しているのも事実です。とくに、利用者である知的障害者と対等な関係にある施設関係者にとって、はたして法改正で示した内容を知的障害者に普遍的にサービスを提供できるかが大きな課題となります。

こうした社会的状況を的確に把握しながら、施設福祉の役割と機能について考察して、簡潔に述べてください。

**2単位め
解説**

テキスト第5章から第7章をよく読んで地域福祉の意味を理解すると同時に知的障害者の生活状況が時代の変遷とともにどのように変化してきたかを、過去の在宅福祉政策なども踏まえながら考察してください。

今後の知的障害者福祉は、法改正によって具体的な中身と進捗状況が問われることになります。そして、単に施設を中心とした生活環境整備だけではなく、地域社会も取り入れた施策を具現化していく地域社会体制づくりが確立しなければなりません。とくに、知的障害者に対する人権・権利侵害の事件などは全国各地で起きており、また、地域環境の相違によって、福祉サービスを享受できるものと享受できないものが存在しているこの事実をどのように理解するかが大切です。その社会的背景には、改革の理念として謳われた「個人が人としての尊厳をもって、家庭や地域の中でその人らしい自立した生活が送れるように支える」という考え方から乖離した知的障害者に対する誤解、偏見、差別が根強く残っていることもこの課題を考察する根本的な課題の一つといえるでしょう。

いずれにしても、本課題においては具体的な知的障害者の生活や暮らしのケースなどを取りあげながらレポートを作成してください。

参考図書

- 竹原健二編 赤塚俊治ほか著『現代障害者福祉学』学文社、2004年
知的障害等法規研究会監『知的障害者福祉六法』中央法規出版、2004年
日本知的障害福祉連盟編『発達障害白書』日本文化科学社、2004年
江草安彦著『ノーマリゼーションへの道』全国社会福祉協議会、1993年
北沢清司著『知的発達 Q & A』中央法規出版、1996年

介護概論

科目コード●050120

担当教員●後藤美恵子



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

要介護者の生活支援においては、その援助に医療、保健、福祉などの分野が包括的に関わってきます。本講では、まず、要介護者に対する介護とはどのようなものなのかを理解するために、前半では、要介護者理解のための福祉的援助の考え方や基本的知識を学習します。これを踏まえて、後半では、生活援助を展開する上で必要となってくる専門的知識や方法論の概説、ならびにその実際を取り上げることにより、生活支援技術の基礎理論を習得することを目的とします。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座14 介護概論（第4版）』中央法規出版、2008年

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より教科書が改訂されています。スクーリング受講時はこれまでの教科書持参でも結構です。レポート課題に変更はありません。

レポート課題

1 単位め	介護の概念を捉えた上で、介護の神髄と職業倫理について介護の社会的動向と関連づけながら、具体的に論述しなさい。
2 単位め	要介護者の自立や自己実現を達成し、QOLを向上させるために必要な関連職種の連携のあり方についてまとめた上で、さらに連携がもたらす効果について論述しなさい。
3 単位め	要介護者の生活援助を展開する上での基本的な介護技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活することの意義を考え、さらにそれを可能にするために専門職者としてのあり方について具体的に論述しなさい。

4 単位め

- ① 認知症高齢者の状態像についてまとめ、周辺症状（行動障害）への対応方法も含め、専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。
- ② 生活の質としてのターミナルケアを実践していく上での考え方と、具体的な援助方法について論述しなさい。（①②の両方について解答すること）

アドバイス

本科目では、要介護者の生活援助をする上での知識や、その背景にある理念、概念を習得することにより、要介護者への福祉的援助を行う者としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには、テキストや資料を熟読し、その内容をまとめるという作業が求められます。さらに、学習を展開させる過程においては、必要な情報を、資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の考えを論述する（総括・考察）力も求められてきます。本科目では、そのような体系的な学習法を習得するために、レポート課題は以下のように段階的に展開する形に構成しています。

まず、①各単位において必修すべき内容（理念や概念的内容）を、テキストを参考にし、要約することを行います。その上で、②その内容を福祉実践に生かすための具体的な知識や技能、考え方、また、現状などをテキストや他の資料などを基に調べたり、考えたりし、最後に、③各単位で示す課題に対して考察を行い論述していただきます。

本課題を考察するに当たっては、介護に関する社会的動向や問題に注目したり、インターネットを利用して情報を収集するなど、常に最新の福祉情報を得よう心掛けて下さい。そのような過程を基に、広い視野で学習展開をされることを期待します。

1単位め 解説

介護の本質をどのように捉えるか、といった「介護観」について考えることが核となります。序章から第1章をよく読み、介護の概念を専門的視点から簡潔にまとめ、さらには専門職に求められる介護の神髄と職業倫理についてを具体的な社会の動向と関連づけながら論述してください。

2単位め 解説

要介護者のニーズに応じた質の高い介護（生活支援）を提供するための「関連職種の連携」について、テキスト第3章をよく読み、「保健・医療・福祉の連携」「利用者主体の連携」を中心に簡潔にまとめ、連携が要介護者の自立や自己実現、更にはQOLに、どのように影響や効果をもたらすのか、その重要性について、自身の考えを論述してください。

**3単位め
解説**

専門職として、介護（生活支援）を展開する上での基本的な専門技術を第4章を中心に、理論的根拠を踏まえた上で簡潔にまとめてください。ここでは「介護」とは、直接援助のみならず、間接援助であるコミュニケーションや生活環境等も含まれることを理解しておいてください。専門職としての介護のあり方も介護保険制度の導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を適切に具現化する上での「その人らしい生活」の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方について論述してください。

**4単位め
解説**

① 高齢社会と共に認知症高齢者が増加し、認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれています。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「行動障害」と呼ばれるようになり、さらに「BPSD」という新たな概念が出てきました。ここでは、新たな介護の専門性を押さえる意味で、第5章2節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ、認知症高齢者に対する適切な生活援助を展開する上での介護のあり方について、周辺症状（行動障害）への対応を含めて論述してください。

※ 「痴呆」という用語は、侮辱的な表現である上に、「痴呆」の実態を正確に表しておらず、早期発見・早期診断等の取り組みの支障となっていることから、平成16年12月24日「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書が厚生労働省より出され、「認知症」という用語に呼び替えることになりました。

「認知症」への変更にあたっては、単に用語を変更することが目的ではなく、「認知症」に対する誤解や偏見の解消等という点からも正しい理解を深めてください。

② 生活援助におけるターミナルケアのあり方を、生活（命）の質を重視した「ホスピスケア」の視点から捉え第5章3節を中心に要約し、生活支援の視点においてターミナルケアを実践していく上での自身の考え方を述べ、具体的な援助方法について論述してください。

参考図書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 介護福祉士養成講座12介護技術Ⅰ』中央法規出版、2006年

福祉士養成講座編集委員会編『新版 介護福祉士養成講座13介護技術Ⅱ』中央法規出版、2006年

大島侑監 杉本敏夫・島津淳編著『介護福祉論』ミネルヴァ書房、2002年

高齢者痴呆介護研究・研修センターテキスト編集委員会編『高齢者痴呆介護実践講座Ⅰ』第一法規、2001年

太田和雄編著『ターミナル・ケアの実践』先端医学社、1996年

スクーリング受講の際は、カリキュラム内容に介護実習（技術演習）を予定していますので活動できる服装で来てください。

受講定員制 1 回50名（高等学校福祉科免許状取得希望者優先）

福祉機器論

科目コード●050121

担当教員●関川伸哉



4単位 | R or SR | 2年以上

福祉機器
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

福祉機器・福祉用具と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。知られているようで、知られていないのが福祉機器（以下、福祉用具）であります。福祉用具とは、日常の便利な「道具」です。我々が生活の中で用いるハサミや包丁などと同様で決して特殊なものではありません。しかし、わが国では、福祉用具導入および使用には見えないバリアが存在するようです。

ここでは、福祉用具について理解するのではなく、ヒトと福祉用具の関係について考えていただきたいと思います。主役は、福祉用具ではなくヒトであることを十分に理解してください。利用者を理解することができなければ、福祉用具を理解することはできません。また、福祉サービスおよび各種公的制度の理解も欠かすことのできない項目です。本科目では、主に以下の内容について理解していただきたいと思います。

- (1) わが国の高齢化の背景と今後の動向を理解しながら、高齢者と福祉用具の関連性を多角的に考察する。
- (2) わが国の障害発生原因と今後の動向を理解しながら、障害者と福祉用具の関連性を多角的に考察する。
- (3) 福祉用具の歴史、定義、各種支給制度について総合的に理解し、わが国の今後の動向を考察する。
- (4) バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解する。
- (5) ヒトと機械の結び付きについて考える。
- (6) 高齢者と福祉用具①——介護保険制度から考える——
- (7) 高齢者と福祉用具②——介護負担の軽減を目指して——
- (8) 高齢者と福祉用具③——自立を目指して——
- (9) 福祉用具の選び方・使い方

教科書

澤村誠志監『介護福祉士のための福祉用具活用論』中央法規出版、2000年

レポート課題

1 単位め	わが国の高齢化およびの障害発生原因をもとに、福祉用具導入の意義とその可能性について解説せよ。
2 単位め	福祉用具を支給制度の観点から分類し、それぞれの利用者、特徴、導入方法などについて解説せよ。
3 単位め	高齢者およびその家族の QOL 向上を目指した福祉用具の導入について整理、解説せよ。また、具体的事例を示し論述せよ。
4 単位め	以下の項目の中から、2つを選択し、課題にそくした内容で全体を整理し考察せよ。 ① 高齢者のための車いすの選び方・使い方 ② 視聴覚機器の選び方・使い方 ③ ヒトの立ちあがり・座りこみと機器との関係 ④ 楽に安全に歩こう ― 歩行補助車の選び方・使い方 ― ⑤ 肢体不自由者のためのコミュニケーション機器 ⑥ 自分の足にあった靴をさがそう ― 足の障害に応じた靴選び ― ⑦ ホイストと吊具の選び方・使い方 ⑧ 日常生活支援 ― 自助具の種類と使い方 ―

アドバイス

- (1) なによりも教科書を「よく読む」ことから始まります。第一段階では、福祉用具と利用者の関係を概論的に把握してみてください。
- (2) 教科書を熟読し、さらに内容を深め明確な理解に努めてください。適宜、その他の参考書を読み、より一層の理解を促してください。
- (3) 各課題に取り組む際には、予め目次を作成し、記載する内容を明確にしてから本文作成を行って下さい。目次をレポートの冒頭に記入してください。事前準備を行うことなく、本文作成を行うと「まとまりのない」レポートとなることがあるため、注意が必要です。
- (4) 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することが原則です。また、第三者が理解できる内容、記載であるかの確認を行ってください。
- (5) レポート作成後は、数回の確認の後、提出してください。

1 単位め 解説

わが国の平均寿命は、2007年の厚生労働省調査結果によると男性79.00歳、女性85.81歳となり人生50年の時代から、今や80年時代へと変わってきています。また、現在の障害は複雑かつ多様化し重度障害者数も増加傾向にあります。ここでは、現状の高齢者と障害者の関係を、わが国の高齢化およびの障害発生原因をもとに明確にしてください。その後、上記の方々への「福祉用具導入の意義」「導入することに

より期待できる効果」「今後の課題」などについて解説し、考察を行ってください。

2単位め 解説

身体障害者が、自己の障害を補うことを目的とし身体に器具を付けた歴史は古く、紀元前の昔にさかのぼります。福祉用具とは、生活の中での人々の知恵により生み出された身体機能代償機具ともいえます。身体機能代償機具としての福祉用具を人と機械の結び付きの観点から捉えた場合、義肢・装具（補装具）が最も関連性の高い機具といえるでしょう。ここでは、補装具、日常生活用具、福祉用具などの違いを歴史的背景、給付制度、特徴、導入方法、利用者の点から適切にまとめ、さらに全体を考察してください。

3単位め 解説

介護を必要とする高齢者およびその家族の支援には、さまざまな方法が考えられます。現在の主な支援策は、ホームヘルパーサービス、訪問看護、デイサービス、ショートステイなど人的支援が中心となっています。しかし、人的中心の支援には限界と問題があります。ここでは、上記現状の支援策の問題点を明確にした後、福祉用具導入の意義を説明してください。そして、利用者の QOL 向上を目指した福祉用具の導入について整理、解説してください。また、居宅生活内への福祉用具導入の具体的な事例について示し、論述してください。

4単位め 解説

福祉用具にはさまざまな種類、導入場所、使用者が考えられます。ここでは、レポート課題のまとめとして、各自の興味のある内容を2つ選択してみてください。次の事項を十分に考慮しまとめてください。

1つは、テーマを十分に理解することです。テーマとレポートの内容が合致していなければ、この時点で採択されません。

2つめは、利用者（ヒト）が主役であることを充分考慮してください。利用者が見えてこない解説は望ましくありません。「どのようなヒトが何に困っているのか!？」を明確にしてから福祉用具の内容に入ってください。

3つめは、テーマが抽象的であるため、解説内容の絞込みを行う必要性が生じる場合も考えられます。その際には、必ず「何故、その内容に着目したのか」を明確にしてください。記載がない際には、採択されませんのでご了承ください。

参考図書

関川伸哉ほか『義肢装具総論』医歯薬出版株式会社、2008年

社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団編『これで安心！買う前に読む福祉用具の選び方 福祉用具ハンドブック』大井企画、2002年

東島弘子編著『福祉用具の安全活用法「ひやりはっと」から学ぶ』中央法規出版、2002年

リハビリテーション論

科目コード●050122

担当教員●関川 伸哉



2単位 | R or SR | 2年以上

選択

社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

現在、我々の生活のさまざまな場面で「リハビリテーション」が行われています。一般的に「リハビリテーション」とは、病院内で行われている機能回復訓練のことだと思われる方が多いようです。しかし、病気やケガで手脚が不自由になってしまった方々への訓練（医学的なアプローチ）＝リハビリテーションではありません。リハビリテーションとは、広義の領域であり社会福祉（福祉）分野でも日々展開される重要な理念であり、目標であり、方法でもあります。

わが国の福祉専門職、および専門職をめざす方々には、リハビリテーションについての正しい理解と、「広義の福祉」と「リハビリテーション」との関連性について学んでいただきたいと思います。福祉専門職の方々が、リハビリテーションを正しく理解することは、福祉領域の発展に寄与するものと考えます。リハビリテーションは、複数の専門職により行われており、福祉専門職従事者の方々もチームの一員であります。今後の福祉専門職種の方々は、リハビリテーションとはどのようなもので、どのようなシステムで行われているのかを的確に把握する必要があります。

本科目では、「リハビリテーションとは」、「各種専門職（異分野理解）」、「チームアプローチ手法」、「各種利用者」などについて適切な理解を促し、利用者へのより良いサービス提供について考えていただきたいと思います。リハビリテーションを単体で理解するのではなく、「福祉」と「リハビリテーション」の双方の観点から考察してみてください。

教科書

関川伸哉著『リハビリテーション論——社会福祉専門職のための』東北福祉大学、2003年

レポート課題

1 単位め	① リハビリテーションと障害者の関連性について、歴史的背景および国際動向を踏まえ多角的に記述せよ。 ② 障害者を障害者基本法に基づき分類し、各種障害者とリハビリテーションの関連性について社会保障制度を踏まえ考察せよ。
2 単位め	① 各種リハビリテーションについて論じよ。 ② リハビリテーションと福祉の関連性を総合的観点から記述せよ。

アドバイス

- (1) 教科書をよく読み、リハビリテーションを概論的に把握してみてください。
- (2) 教科書を熟読し、さらに内容を深め明確な理解に努めてください。適宜、教科書記載の参考書を読み一層の理解を促してください。
- (3) いずれも①、②の両方について解答してください。各課題に取り組む際には、予め目次を作成し、記載する内容を明確にしてから本文作成を行ってください。目次をレポートの冒頭に記してください。事前準備を行うことなく、本文作成を行うとまとまりのないレポートとなることがあるため、注意が必要です。
- (4) 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することが原則です。また、第三者が理解できる内容、記載であるかの確認を行ってください。
- (5) レポート作成後は、数回の確認の後、提出すること。

1単位め 解説

- ① ここでは、「リハビリテーションとは何か」を理解していただきます。はじめに、リハビリテーションの基礎となる語源、理念、目的などについて歴史的背景を踏まえながら考察してください。また、リハビリテーションの歴史は、障害者の歴史ともいわれます。そこで、障害者とリハビリテーションの関係を把握するうえで重要となる国際動向、およびその基本にあるものについて学んでください。
- ② 1993年の「障害者基本法」の改正（2004年一部改正）により、法の目的および障害者の定義が明確化されました。ここでは、障害者基本法の十分な理解から始まります。その後、各種障害者の歴史的変動と、それを支える社会保障制度を理解し、障害者、リハビリテーション、社会保障制度の相互関係を多角的に考察してみてください。

追記：2004年の「障害者基本法の一部を改正する法律」をふまえて記載してください。

**2単位め
解説**

- ① リハビリテーションとは、複数の関係職種が多角的側面から共通目的に向かい努力する過程です。そして、さまざまなリハビリテーションが存在します。また、リハビリテーション実践現場は、特定の施設や病院のみではありません。人々が住みなれた地域の中で、生活者としての存在を維持する上で、地域社会との結び付きは欠かすことのできない課題であります。ここでは、総合リハビリテーションを十分に理解した後、リハビリテーションを複数に分類し、それぞれの役割、各種専門職、社会資源などを踏まえながら考察してください。
- ② 現在の障害は複雑かつ多様化し重度の障害を有する障害者数も増加傾向にあります。現在、各種障害者に対するリハビリテーションは、病院、在宅、地域などさまざまな場面で展開されています。また、わが国の平均寿命は、人生50年の時代から、今や80年時代へと変革してきています。単なる延命という量的な問題に加え、高齢期をいかに意義あるものとして生きるかといった質的問題が問われる時代です。ここでは、障害者および高齢者を主な対象として、リハビリテーションと福祉の関連性を、福祉施設、地域、生活などを総合的に考察してみてください。そして上記結果をもとに、各利用者の生活のあり方を多角的にデザインしてみてください。

参考図書

教科書巻末の「読者への参考文献」を参照してください。

福祉計画法

科目コード●050123

担当教員●中里 仁



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

社会福祉の計画は、国、都道府県、市町村などのほかに社会福祉協議会という民間の福祉団体が計画の主体として取り組んでいます。そして、平成15年4月からは市町村が計画の主体となり地域福祉計画が施行されることになっています。

こうした計画のもつ意義を理解するとともに、ただ教科書を学ぶだけではなく、自ら住むまちの総合計画や福祉計画を具体的に知り、検討を加えることが大切です。今、自分の住んでいるまちでどのような計画のもとに施策が進められているか知っていますか。

教科書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編『これからの社会福祉8 社会福祉計画』有斐閣、1996年

レポート課題

1 単位め

次の課題のなかから **2 題を選び**、論述せよ。

- ① 資本主義社会における計画の特質と意義について述べよ。
- ② 地域福祉計画が策定されるようになった社会的背景について論ぜよ。
- ③ 社会福祉計画の類型の設定にはどのような分類基準が必要であるかを整理し、最近の社会福祉計画の特徴を説明せよ。
- ④ 自治体行政において「福祉計画」を策定する今日的意義について述べよ。
- ⑤ 地域福祉計画における活動計画と行動計画の違いを論述せよ。

2 単位め

次の課題のなかから **2 題を選び**、論述せよ。

- ① 社会福祉協議会における計画策定の意義について述べよ。
- ② 福祉ニーズの諸概念と計画とのかかわりを論ぜよ。
- ③ 個別のアプローチとはニーズ推計にどのような意味をもつのかを考え、整理せよ。
- ④ 環境条件に応じて計画のスタイルを変える必要があるのはなぜか。
- ⑤ 福祉サービス評価において過程評価が重要である理由を説明せよ。

アドバイス

レポート課題は教科書の演習問題であり、しっかりと読めばレポートはそんなにむずかしいものではありません。ここで大切なことは、教科書を一般論として理解するとともに、いちばん身近な自分が住んでいるまちの総合計画や福祉計画に触れてみることです。

今日、計画を入手するためには役所を訪ね、購入するのが一般的ですが、計画書を手元に教科書を読めば、より具体的に計画法が理解できると思います。それよりも何よりも自分が毎日生活している場への理解と問題点を見つけることができれば批判もできることになり、自分の住んでいるまちを良くしていくための方策を考えながらレポートに取り組む姿勢も大切です。

参考図書

川村匡由著『地域福祉計画論序説』中央法規出版、1993年

西三郎ほか編『新時代の自治体福祉計画』第一書林、1993年

各市町村の総合計画、老人保健福祉計画等の社会福祉計画（市町村段階では計画が策定されていないところもあるので注意してください。）

社会福祉援助技術論Ⅰ(ケースワーク)

科目コード●050126

担当教員●山川敏久(左)
山本邦男(右)



2単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

人間一人一人の性格が異なるように、福祉の援助を必要とし、サービスを利用しようとする人々の暮らしも当然のことながら個別的であり、多様な生活課題を抱えています。

「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」では、そのような多様な生活課題をかかえている人に対して、相談支援活動を中心に、課題を解決し、自立を促進するための社会福祉援助（ソーシャルワーク）の技術を学びます。

「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、まず社会福祉援助活動の基本的枠組み（教科書Ⅰ p.24～29の「4つの総体」や p.29～32の「10のP＝基本的構成要素」）を理解しておく必要があります。また、専門職として援助活動を遂行する際の倫理、原則（人権尊重・権利擁護・自立支援など）を教科書Ⅰ p.36～41にあげられた事例などを通して理解していただくことが必要です。さらに、社会福祉援助技術は、大別すると「直接援助技術」と「間接援助技術」、その他の関連援助技術に分けられます（教科書Ⅰ p.140～157）が、そのような体系を学んだ上で、社会福祉援助技術の共通課題である契約・介入・面接・記録・評価、スーパービジョンなどの意義と方法についても知っておく必要があります。これらの内容については、「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」の学習を通じて、深く身につけていただくことが必要です。

それらの理解を前提に「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、直接援助技術のなかの「個別援助技術（ケースワーク）」を学んでいただきます。

ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉援助（ソーシャルワーク）技術各論のなかでも、特に援助を必要としている人を価値ある固有の存在としてとらえ、定義し体系化されてきました（教科書『社会福祉援助技術論Ⅰ』 p.149、『社会福祉援助技術論Ⅱ』 p.40）。

本科目では、ケースワーク発展の歴史を通して、個別援助技術が生活上のニーズや全体性にどのようにかかわっているのか考察し、援助の具体的な展開過程（『社会福祉援助技術論Ⅱ』 p.40～66）を学習します。同時にかけがえのない個人としての人間にかかわる上で必要なケースワークの基本原則や価値、自覚しなければならない基本的態度（『社会福祉援助技術論Ⅰ』 p.192）など方法と技術について学びます。

本科目では、ケースワークが実践的に展開されている医療機関や類似の援助技術体系として導入が試みられているケアマネジメントの具体的事例を通し、各種社会資源、関連機関との連携の実際を考察しながら「個別的援助技術」のもつ特性と意義について学びます。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版、2006年・『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年
 （平成17年度以前履修登録者）2006年4月より、「個人情報保護法」の記述追加にともない、教科書が部分改訂されています。スクーリング受講時はこれまでの教科書持参でも結構です。レポート課題に変更はありません。

レポート課題

1 単位め	個別援助技術（ケースワーク）における医学モデル（診断主義）から生活モデルへの発展過程について述べよ。
2 単位め	【説明型レポート】 下記について各々300字以上（合計2,192以内）で簡潔に説明して下さい。 ① エンパワメントの定義と意義について ② 問題解決モデルについて ③ バイステックの7原則について ④ 個別援助技術の展開過程について

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より課題が一部変更となりました。『レポート課題集2007』の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

1単位め 解説

ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉の目的を達成する手段として体系化され、ソーシャルワーカーがもっとも頻繁に用いる技術です。それは産業革命後のイギリス社会からアメリカへと移り発展してきました。（社会福祉援助技術論Ⅰ p.80）特に「ケースワークの母」と呼ばれるリッチモンドの伝統的なケースワーク論から今日の社会経済の発展と人間生活の拡大に伴う生活問題へのアプローチには、医学モデル（診断派）から生活モデルへの歴史的な変遷がみられます。（社会福祉援助技術論Ⅰ p.84～91、p.238～241・Ⅱ p.40～43）テキストを熟読してケースワークの診

断主義と機能主義、折衷主義を通して、医学モデルから生活モデルへの発展過程をまとめてください。(社会福祉援助技術論Ⅰ p.88～p.91、p.96～130) また、その時々 of 理論的支柱となった人物にも触れてください。

2単位め
解説

教科書や他の文献を読み、整理して書いてください。

参考図書

荒川義子編著『医療ソーシャルワーカーの仕事 ― 現場からの提言』川島書店、2000年

社会福祉援助技術論Ⅱ（社会福祉調査法）

科目コード●050127

担当教員●都築光一



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

福祉の分野においても調査は近年ますます重要な役割を担ってきております。たとえば要介護度認定、住民ニーズ把握、人材確保に関する調査、事業効果調査、サービス評価調査等々をみても明らかです。

ここでは主に福祉調査の方法について学び、実践的技術に関する知識の習得をめざします。そのために①まず社会福祉調査の史的展開について触れ、現代における福祉調査の意義を考えてみましょう。ついで②調査テーマの設定から調査の実施、整理分析までの調査手順について学びます。さらに、③調査の方法、④現地調査の方法、⑤調査対象者の選定方法、⑥調査票の作成、⑦調査の実施と管理、⑧調査結果の整理・分析および誤差・偏り、⑨調査結果の活用方法、⑩レポートの作成について学習します。

調査の理論と技法について学ぶことは、福祉に携わる人の現代的教養といえるでしょう。

教科書（社会福祉援助技術論Ⅰと共通）

福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年

（平成18年度以前履修登録者）2007年4月より、教科書が部分修正され、レポート課題は大幅に修正されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。スクーリング受講時は、昨年度までの教科書持参でも結構です。

レポート課題

1 単位め

次の課題のなかから1題を選び、論述しなさい。

- ① 社会福祉調査について、通常社会調査との違いに触れながら論述しなさい。
- ② 社会福祉調査の現代的意義について、具体例をあげながら、自分の考えを述べなさい。

2 単位め

次の課題のなかから1題を選び、論述しなさい。

- ① 社会福祉調査における統計調査および事例調査について、その意義と短所について考察しなさい。
- ② 社会福祉調査における面接調査、配票留置法、郵送法などの手法の活用方法について考察しなさい。

アドバイス

1 単位め 解説

①および②については、自らのこれまでの実務経験とその経験から得られた知見等の蓄積に基づき、社会福祉調査の基本的な認識を踏まえ、実践に向けた理解を述べるものです。これまでの経験を振り返り、テキストの記述との照合を行うことをお勧めします。また、各種福祉計画のための調査が広く実施されておりますので、実際の調査報告書などを資料として入手し、それらを通じて学習することも有益です。

2 単位め 解説

いずれも、実際に広く実施されている社会福祉調査の実践例から考察していくものです。社会福祉調査は、その社会福祉の対象群の特性によって、調査方法が多岐にわたりますし、分析の方法や結果も、特徴があります。そうした特性を踏まえ、調査方法を慎重に選び、分析していくことが望まれます。そうした点について理解を深めるために、具体的な実例をもとに学習することをお勧めします。またスクーリングに参加し、情報交換することも有益な方法です。

参考図書

田口正巳著『社会調査ハンドブック』本の泉社、1999年

大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋・永野武編著『社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房、1999年

外木典夫・柳井道夫・原田勝弘編『社会調査論』学文社、1994年

福武直・松原治郎編『社会調査法』有斐閣双書、1967年

社会福祉援助技術演習Ⅰ

科目コード●0 5 0 1 3 0

担当教員●阿部一彦・千葉喜久也・山川敏久・君島昌志・佐々木達雄
都築光一・大橋雅啓・川口正義・芳賀恭司 ほか

2 単位

SR

2 年以上

社会福祉
選択

科目の内容

社会福祉学は「実践の科学」といわれるように、単なる理論学習だけでは実際の援助活動を行うことは困難といえるでしょう。理論を活用し役立てるためには、援助実践の場に具体化していくための援助技術の学習と体得が不可欠となります。社会福祉援助技術とは、さまざまな技術論を実際の援助活動の中で展開するための方法だといえるでしょう。

本演習では、社会福祉援助技術論における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接方法、記録技法、アセスメント技法、グループワーク、ケースワーク、ケアマネジメントなどの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議、事例検討などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

教科書

(教科書)

川田誉音ほか編『改訂 社会福祉援助技術演習』みらい、2002年

(必読文献)

社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』中央法規出版、2001年
(いずれも「社会福祉援助技術演習Ⅱ」でも使用予定)

レポート課題

※ p.173～176記載の「レポート提出方法」などをよく読んでください。

1 単位め	(スクーリング事前課題=スクーリング受講前のレポート提出期限までに送付) 社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じなさい。
2 単位め	(スクーリング事後課題=スクーリング後に提出) スクーリングの際に教員から指示される課題について論じなさい。

アドバイス

1 単位め 解説

はじめに、教科書『改訂 社会福祉援助技術演習』序章を熟読し、社会福祉援助技術の課題について問題意識をもってください。次に1章から7章までを読んで、社会福祉援助技術の概要について学ぶとともに、社会福祉援助技術の過去、現在における考え方などを整理して、その違いなどについてもまとめてください。そして、自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおしてください。

以上の過程を経た上で、社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じてください。もちろん、教科書の8章以降を読んだり、他の文献、新聞記事などを活用すること、および社会生活上の問題をとりあげ、考察、分析することも大切なことです。

すでに社会福祉にかかわっている方々は、その経験を生かして論じてくださっても結構です。

以上、課題としてはたいへん幅広いのですが、レポートを作成する際には、自分が意図することを明確に、あるいは視点をはっきりさせて整理することが大切です。

たとえば下記の①～④のなかの1つ、またはいくつかに焦点をあててまとめながら「社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方」を考えていただければよいのではないのでしょうか（①～④すべてに解答する必要はありません。また①～④以外の論点から論じていただいても結構です）。

- ① 社会福祉援助技術とは何か、および諸方法を自分なりに整理し、わかりやすくまとめてください。社会福祉援助は、援助を必要とする人々（サービスの利用者）に対して、問題の解決や軽減を図ることを目的としています。この過程は社会福祉の援助技術を駆使して行われるものです。
- ② 社会福祉援助技術者は、援助を必要とする人々（利用者）にどう向き合い、どのような役割をもってかかわるべきでしょうか。援助を必要とする人々（利用者）主体の援助活動を行うために、あなたはどんなセンス、感性を大事にしようとしていますか。自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおすことも必要になってくるかもしれません。
- ③ 社会福祉援助技術者は専門職として「援助を必要とする人々（利用者）の基本的人権の尊重」「自立・自己決定を重視する援助のあり方」などの基本的な倫理・原理をもつことが必要です。

社会福祉の専門職として、これまでもその専門職倫理が厳しく問われ続けられてきま

したが、その倫理観を逸脱する悲しい事件が後を断たない現実があります。福祉の現場のなかのごく一部の人はいえ、なぜ援助者が加害者となり、援助を必要とする人々(利用者)の人権を侵害する行為がなくなるのでしょうか。

「人権感覚」という言葉があるように、「この人にはそういうことをしてはいけない」と判断する能力は、人権に関する知識をどれだけ学んだかというだけでは得られるとは限りません。常に新しい知識を身につけながら、自分の人権感覚をいつも研ぎ澄ませておく努力が必要です。あなたの、人権に関するセンス・感性について、福祉専門職を目指す者として大事にしてほしいと思います。

- ④ 適切な援助を行うには、援助を必要とする人々(利用者)の理解が重要です。援助を必要とする人々(利用者)自身が社会福祉援助過程で、私たち援助者に対して、どんなことを期待し援助を求めているのかを、援助を必要とする人々(利用者)の視点で考察してください。また、アセスメント(事前評価)とは、何のために、何について、どのようなことをすることでしょうか。そして、アセスメント(事前評価)は社会福祉援助とどのように関連していて、どのような影響を与えているのでしょうか。特に、自立支援という立場を考慮して、教科書の第4章などを参考に考えてみてください。また、社会福祉援助活動におけるより客観的なアセスメントの普及・発展がもたらす効果についても考察してみてください。

2単位め 解説

スクーリングは80分×6コマと限られた時間ではありますが、教員および受講生からさまざまなことを吸収し、スクーリング時に指示される課題に解答してください。

レポートの提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、16ページめまで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

1単位めは、スクーリング受講前に p.175に記載されている提出期限までに提出してください。なお、**レポートはスクーリング受講クラスが決まってから提出してください。**レポート用紙表紙の「科目名」の右側には、担当教員名を追記してください。なお、担当教員はスクーリング申込み締切り後、クラス分けを行い通知します。

2単位めは、スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙表紙の「科目名」の右側には担当教員名を、課題欄にはスクーリング時に指示される課題を記入してください。

レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り

組んでください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。また、レポート作成後は、数回の確認の後、提出してください。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

〈注意〉・レポートを提出する際、万が一郵便事故等でレポートが未着の場合は再提出をお願いしますので、必ず控え（コピー）をとってください。

・担当教員決定後にレポートを提出するようにしてください。担当教員決定前に事務局に届いたレポート、期限後に届いたレポートは返送させていただきますのでご了承ください。

単位の認定方法

1 単位めレポート（事前課題）＋スクーリング（試験は実施しません）＋2 単位めレポート（事後課題）で単位認定いたします。

スクーリング受講手続き

この科目はスクーリングの受講が必ず必要になります。平成20年度は p.175 に記載の日程で開講します（いずれかの連続する 2 日間 6 コマの演習を受講すれば結構です）。

演習は 1 クラス 30 人程度の少人数で開講するため、下記の条件を満たすスクーリング受講希望者は、巻末のハガキに希望の日程を記入し、5 月 31 日（土）必着でお申込みください。

また、1 月・2 月分は 10 月 25 日（土）必着でお申込みください。

受講するための条件

「社会福祉援助技術演習Ⅰ」を受講するための条件は、指定期日（p.175 の表に記載）までに「1 単位めのレポート＝スクーリング事前課題」を提出することです。期日までに提出のない場合は、スクーリングを受講することができません。また、スクーリング受講後に 2 単位めレポート（事後課題）を 8、9、12 月受講者＝1 月 8 日、1 月受講者＝2 月 18 日、2 月受講者＝3 月 14 日までに提出しない場合は、事前レポート・スクーリングの受講は無効となります。

この科目の単位を修得できなかった方で再受講をする場合、ハガキでのスクーリングの申込み、1 単位めレポートの提出等の全てをやり直す必要があります。

同時に「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童福祉論」「福祉社会学」「福祉法学」「福祉心理学」のうち 4 科目程度はレポートを提出し終えておく、「社会福祉援助技術論Ⅰ」の学習も進めておくなど、他の科目の学習も進めていないと、「事前課題を完成させるのが難しい」、「演習を受講しても効果が得られず事後課題に合格できない」、等のようなことにな

る場合がありますので、十分事前準備をしてから、受講してください。

開講日程

いずれかの連続する2日間6コマの演習を受講してください。

日 程	開講地	事前レポート 提出期限	事後レポート 提出期限
8 /14 (木)・15 (金)	仙台	7 /31 (木)	1 /8 (木) *今秋「演習Ⅱ」 を受講する方は 9 月末まで。
8 /30 (土)・31 (日)	札幌 東京	8 /14 (木)	
9 /6 (土)・ 7 (日)	さいたま (川口) 仙台 新潟	8 /21 (木)	
9 /13 (土)・14 (日)	青森 秋田		
12/6 (土)・ 7 (日)	新潟	11/20 (木)	1 /8 (木)
1 /24 (土)・25 (日)	盛岡 仙台 東京	1 /8 (木)	2 /18 (水)
2 /21 (土)・22 (日)	仙台	2 /5 (木)	3 /14 (土)

開講時間は、1日め12:40～17:00 2日め9:30～14:40の予定です(会場によって時間が異なる場合がありますが『レポート課題集(3・4年次)』などでご確認ください)。

開講日程

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として第2希望までのいずれかの日程で受講が可能です。

なお、希望の日程で受講が可能なように調整しますが、各時期ごとの定員を超えた場合は下記のように決定します。クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません。(開講日・開講場所は必ず第2希望まで記入してください。)

8月～9月分の申込みは5月31日(土)本学必着ですが、先着順ではありません。

履修登録の際のOCR用紙に記載する「希望する資格・免許状」(1つ選択)が「社会福祉士」の方を優先します。

(上記でオーバーする場合): 今回開講されない都道府県の方の希望を優先します。また、地方開催の場合は開催県在住、または近隣の方の希望を優先します。

(上記でオーバーする場合)：これまでのスクーリングに届出なしで欠席されたことのある方の優先順位は下がります。

クラス分け決定後の受講日・受講地の変更は一切できません。受講を取り消された方、事前課題が完成できなかった方は、次回締切以降に再申込みとなります。

また、演習受講の際には、自己紹介や話し合い、ロールプレイングなどを求められますので、ご了承ください。

スクーリングを受講しても期限までに2単位め(事後)レポートを提出しない場合は、スクーリングの受講が無効になります。

*平成20年度「社会福祉援助技術演習Ⅱ」を受講希望する方へ

今年度11・12月の「社会福祉援助技術演習Ⅱ」の受講を希望する方は、8～9月のいずれかのスクーリングを受講し、事後レポートを9月末までに提出する必要があります。社会福祉士受験資格希望者は、ご注意ください。

また、10月生科目等履修生が8～9月のスクーリングを受講した場合も事後レポートを9月末までに提出する必要があります。

受講許可通知発送

受講日・受講地を決定し、クラス分け後受講許可通知と受講料納入依頼書を8・9月分は6月15日、1・2月分は11月11日までに発送します。受講料納入期限は8・9月分は7月31日(木)、1・2月分は1月8日(木)です。この科目の受講料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

申込みハガキ記入要領

- ・巻末の申込みハガキに受講希望日・会場を記入して、5月31日必着で送付してください。(必ず第2希望まで記入)
- ・1・2月分は10月25日必着。ただし、10月新入生は11月10日まで受け付けます(希望の会場で受講できない場合があります)。
- ・申込み後の希望日程の変更は一切受付ません。

必ず第2希望まで記入

社会福祉援助技術演習Ⅱ スクーリング申込書

学 籍 番 号		福祉 歩美	
09TZ999		*02TW991*	
氏 名		福祉 歩美	
社会福祉援助技術演習Ⅱのスクーリング受講を申込みます。受講前にスクーリング事前課題を必ず提出します。			
科 目 名	コード	受講料	コマ数
社会福祉援助技術演習Ⅱ	050130	10000円	6
開 講 日	開講場所	第1希望	第2希望
8/14・15	仙台		
8/30・31	札幌 東京	☒	
9/ 6・ 7	さいたま(甲) 仙台 新潟		
9/13・14	青森 秋田		
12/ 6・ 7	新潟 盛岡		
1/24・25	仙台 東京		
2/21・22	仙台		
事務開始記入欄			

申込締切 ①5月31日(土)
②10月25日(土) 必着

精神保健福祉論 I

科目コード●050133

担当教員●阿部 正孝



2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

精神保健福祉とは一般には、国民全体の心の健康の維持・向上および精神障害者の社会的自立と社会的・経済的・文化的活動への参加の促進・支援を目指す諸活動全体をさすものと考えられます。ここでは精神保健福祉士国家資格受験資格取得科目の一つであることを意識して、精神障害者の精神保健福祉を中心に学ぶことにします。精神保健福祉論はⅠとⅡとⅢに分かれている。この順に学ぶことが望ましい。精神障害は疾病と併存している障害であり、医療・保健・福祉にまたがる援助が必要です。日本では障害者として平成5年障害者基本法において初めて法的に位置づけられました。障害者福祉領域では新しい仲間であり、社会的入院の解消が大きな課題です。

精神保健福祉論Ⅰでは精神障害者の現状、障害者福祉と精神保健福祉の歴史、障害者福祉の理念、精神障害の概念、精神保健福祉士資格の成立の意義・専門性・倫理・役割・課題について学びます。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会『改訂 精神保健福祉士養成講座 4 精神保健福祉論』
中央法規出版、2007年

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より、教科書が「改訂版」になりました。改訂された箇所は中央法規出版発行『別冊 精神保健福祉制度の主な動きとポイント』をご覧ください。スクーリング受講時はどちらのテキスト持参でも結構です。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

1 単位め	精神障害の概念を世界の動向も含めて述べてください。
2 単位め	精神保健福祉士が精神障害者の社会的入院の解消・地域生活支援に果たす役割と課題を考察してください。

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

(平成19年度以前履修登録者) 2007年4月および2008年4月に、レポート課題が一部変更されました。『レポート課題集2006』記載の課題は2008年9月まで、『レポート課題集2007』記載の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ 共通するレポート作成の留意点

- (1) アドバイスをよく読みましょう。
- (2) アドバイスの中に指定されているテキストの章は必ず読んでください。
- (3) テキストを含めて参考図書・引用文献はできるだけ紙数の許す範囲で書いてください。
- (4) 引用したところは「 」で示し、そのあとに、文献番号1) 2) のようにを小さく記しましょう。引用文章だけでレポートを作成するのではなく、自分自身の言葉でまとめましょう。内容を理解できれば可能なことです。
- (5) 段落をきちんとつけて、論理的に構成されたレポートを作成しましょう。
- (6) 何回か推敲してから、レポート用紙に書くようにしましょう。そうすれば、繰り返しが少なくなり、論理的になるでしょう。限られた枚数を有効に使いましょう。
- (7) **(3)(4)が正確でないと再提出の確率が高いです。**

1 単位め 解説

なぜ日本では障害を固定的に考えていたのでしょうか、その歴史性を探ると偏見と差別の根が深かったことがわかります。そのために永い間法律の対象にならなかった精神障害が疾病と併存する障害であるという考えが認知されてからまだ日が浅く、福祉サービスの整備状況も身体障害や知的障害と比べてまだまだ不十分です。人々の差別・偏見の意識も十分に解消されていません。それらを考察して福祉の理念や障害概念(障害の定義)の変化が障害者の援助に大きな変化、望ましい変化をもたらしていることをよく理解してください。障害者に対する一人ひとりのスティグマの存在も見逃せないことを知ってもらいたいと思います。また、ICF、蜂矢氏の理論は、今日の精神保健福祉に大きな影響を与えています。これらについても論述することを希望します。改訂前テキスト、改訂後テキスト共に第1～3章まで熟読なさってください。

**2単位め
解説**

国はこれからの10年間で約7万人の社会的入院者を地域に帰す計画を立てています。社会的入院の解消は単なる退院ではありません。地域で自立して生活できるようにするには意識する、しないは別として我々が支援ネットワークの中で生活しているように、常にその時々に必要な支援が確保されることが大切です。その際に、精神障害者の立場にたって、支援をする人材として制定された精神保健福祉士の役割を十分に理解することが必要です。**精神保健福祉士の業務は何か、専門性は何か、その業務の充実に果たされる役割と課題を把握することが専門職に求められ、精神障害を持つ人々にとって役に立つ人材として成熟することが欠かせません。**改訂前テキストは第6・7・9章、改訂後テキストは第7・8・10章が参考になります。

精神医療の現場では、閉鎖的な環境のもと、患者の権利侵害が起きたり、不利益が生じたりします。しかしながら、当事者の援助のみならず本人を取り巻く環境への配慮も精神保健福祉士の役割です。倫理も含めながら専門性を考えていただければと思います。

参考図書

以下の参考図書もよく読んでください。

精神保健福祉研究会監『我が国の精神保健福祉』太陽美術、最新版（年刊）

石渡和実著『Q&A 障害者問題の基礎知識』明石書店、1997年

谷中輝雄著『生活支援——精神障害者生活支援の理念と方法（第2版）』やどかり出版、1996年

また、スクーリングを受講する学生は、改訂前テキストの場合第5章、改訂後テキストの場合第6章を読んでください。

精神保健福祉論Ⅱ

科目コード●050134

担当教員●阿部 正孝



2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

基本的には精神保健福祉論Ⅰの理念・概念・歴史・現状の理解を前提として、精神保健福祉論Ⅱの講義をすすめます。ここでは精神障害者の医療・保健・福祉にまたがる援助の中で福祉サービスを中心にした援助活動全体を概観します。

教科書 (精神保健福祉論Ⅰと同じ)

日本精神保健福祉士養成校協会『改訂 精神保健福祉士養成講座 4 精神保健福祉論』中央法規出版、2007年

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より教科書が「改訂版」になりました。改訂された箇所は中央法規出版発行『別冊 精神保健福祉制度の主な動きとポイント』をご覧ください。スクーリング受講時はどちらのテキスト持参でも結構です。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

1 単位め	精神障害者の援助において社会福祉の視点・障害者福祉の視点による援助は、精神障害者本人の主体性の尊重、主体性の回復が中核であるが、主体性についてのご自分の考えと主体性の回復について考察しなさい。
2 単位め	自分の住む市町村における精神障害者の地域生活支援の展開の状況と課題について考察する。

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より、レポート課題が一部変更されています。『レポート課題2006』記載の課題は2008年9月まで提出できますが、出来るだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

アドバイスをよく読んでから、書きましょう。

**1単位め
解説**

障害を持つ人々が何もできない人と見られてしまうのは、周囲との関係性の中で生じてきた結果です。**自己決定・エンパワメントの視点・権利擁護**を絡めて、主体性の尊重を考えてください。改訂前テキストは第4・5・8章、改訂後テキストは第4・5・9章を参考願います。

「精神保健福祉法」の制定以来、社会資源が整備され始め、精神障害者の地域生活の維持、社会参加など、相談援助活動は多様に展開されています。この単位では、主体性を尊重する援助活動とはどのようなものかなどを求めています。

**2単位め
解説**

平成15年度から市町村が障害者福祉の第一線となった。精神障害者福祉がより身近なものとなるが、実際の整備状況はどうでしょうか。市町村のパンフレット、障害者福祉計画などを参考にし、自分の意見も表現してください。改訂前テキストは第10・11・12章を、改訂後テキストは11・12章をよく読んでから書きましょう。

精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ共通するレポート作成の留意点

- (1) アドバイスをよく読みましょう。
- (2) アドバイスの中に指定されているテキストの章は必ず読んで下さい。
- (3) テキストを含めて参考図書・引用文献はできるだけ紙数の許す範囲で書いて下さい。
- (4) 引用したところは1) 2) のように「 」で示し、そのあとに、文献番号を小さく記しましょう。引用文章だけでレポートを作成するのではなく、自分自身の言葉でまとめましょう。内容を理解できれば可能なことです。
- (5) 何回か推敲してから、レポート用紙に書くようにしましょう。そうすれば、繰り返しがすくなくなり、論理的になるでしょう。限られた紙数を有効に使いましょう。
- (6) 段落をきちんとつけて、論理的に構成されたレポートを作成しましょう。
- (7) (3)(4)が正確でないとき再提出の確率が高いです。

参考図書

精神保健福祉論Ⅰの参考図書に加えて、以下もよく読んでください。

全国精神障害者団体連合会準備会・全国精神障害者家族連合会編『こころの病い——私たち100人の経験』中央法規出版、1993年
厚生労働省『厚生労働白書』最新版

精神保健

科目コード●050136

担当教員●松江克彦



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

精神的健康を保持・増進することは、心豊かな生活と生きる喜びを享受することの基礎であります。しかしながら、精神障害の発生をはじめ、現在のような複雑な社会では、精神的健康を阻害する多くの要因が存在します。そこで本科目では、各ライフサイクル段階での発達や成熟の在り方と、それにたいする現代の社会・文化的影響、今日特に問題となる精神障害や精神的問題についての知識とそれらに対する精神保健対策、さまざまな集団における精神保健活動の実際、精神保健にかかわる施策や制度の問題などを中心に学んでいきます。そのような学習を通して、自己や周囲の人の精神的健康について考え、ひいては、人間全体の精神的健康について考えていくことを目的とします。

教科書

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー第2巻 改訂第3版 精神保健学』へるす出版、2004年（第3版でなくても可）

レポート課題

1 単位め	人間のライフサイクルを各段階（時期）に分けてその特徴を説明し、それぞれの段階で起こりやすい精神的な問題についても述べなさい。
2 単位め	【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。 ① アルコール依存症の自助グループについて ② 依存性薬物の特性について ③ WHO による ICDH と ICF について ④ トータルヘルス・プロモーション（THP）について
3 単位め	高齢社会とは、具体的にどのような社会でどのような問題を含んでいるのかを説明し、次に老人性痴呆（認知症）疾患について述べ、それにたいして行われている対策について説明しなさい。

4 単位め

日本の精神障害者の処遇に関する法律の変遷について説明し、その上で第二次世界大戦以後、精神障害者への施策がどのように変わってきたか論じなさい。

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より課題が一部変更となりました。『レポート課題集2007』の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

レポート課題に取り組むにあたって考えておいてほしいのは、レポート課題を単にテキストで調べ、それを要求する字数で書けば良いという態度ではいけないということです。私たちの身のまわりで起きているさまざまな精神的な問題に関心を持ち、それらを自分自身の問題として受け止め、それにたいしてどのような対策が行われ、行おうとしているかを全体的に理解することが大切です。そして、自分自身でもその対策を考える積極的な態度が必要です。そのためには、まず教科書を通読して精神保健の概略を理解することです。そうすれば、レポート課題についても、どのような箇所が参考になるのか自ずとわかってきます。また、新聞やテレビで、精神保健にかかわるニュースを読んだり、見たりすることも大切です。新聞の記事のスクラップブックを作るのも理解を深めるのに良いでしょう。その上でレポート課題に取り組んで下さい。参考図書も最後に挙げておきますが、必読というわけではありません。特に詳しく調べたい人には有用です。レポート課題の評価は、単に教科書に書かれていることを羅列するようなことはせず、教科書をよく理解し、メディアで見たり聞いたりしたことなども参考にし、自ら考えたことを自分の言葉でまとめているかどうか、という点も加えて評価します。また、レポートの最後に参考文献（教科書も含む）を必ず記すようにしてください。

さらに、レポート課題にないから重要ではないということではなく、たとえば、アルコールや薬物依存の問題（第3章Ⅲ、Ⅳ）など、きわめて重要な今日の問題も含まれています。そのような問題についても理解を深め、自分や周囲の人の健康のために役立てるようにしてください。

**1単位め
解説**

ここでは、人間が生まれてから死ぬまでのライフサイクルの全体を理解し、その各段階の特徴や特殊性を良く理解してもらうことを目的にしています。教科書の第2章の全体、できれば参考文献なども参考にしながらまとめてください。精神的問題は、単に精神障害だけでなく、各年代で起こりやすいさまざまな自己の問題や社会的な問題も含みます。

2単位め 解説

この課題では、他のレポート課題のほかに、今日の精神保健活動においては是非知っておきたい項目についての理解を目指しています。指定のテキストにおいて、①は第3章Ⅲ、②は第3章Ⅳ、③は第3章ⅥのBに、④は第4章Ⅲに適切な解説を見いだすことが出来ます。これらの理解から、様々な精神保健対策への理解へとつなげていきましょう。

3単位め 解説

高齢社会の到来は今日の大きな問題であり、それにどのように対処していくかは精神保健の重要な課題です。ここでは、高齢社会についての理解を深め、どのようなことが課題になっているかをよく理解することを目的としています。そして、高齢社会の問題の1つに、老人性痴呆（認知症）疾患の増加があります。痴呆（認知症）疾患の理解とそれに対する対策は急を要する問題です。レポート作成においては、教科書の第2章Ⅳ、第3章Ⅱ、第5章Ⅱ、その他できれば参考書なども参考にして、数値を挙げたり、具体的な症状や個々の対策について、特にわかりやすく整理して作成するようにしてください。

4単位め 解説

精神障害者の処遇の問題は、狭義の精神保健と言われるように、古くから精神保健の最大の課題です。昔から精神障害者はどのように扱われてきたのか、そして現在、精神障害者をどのような方向に持って行こうとしているのかをよく理解することを目的としています。レポート作成にあたっては、第1章Ⅱ、第3章Ⅰ、第5章Ⅰ、そしてできれば参考図書なども参考にして、時代と共に精神障害者への対策が法律や制度の変化としてよくわかるように作成してください（法律名や制度名だけでなく、その内容理解と変化の理由をよく理解して作成すること）。このような課題の作成を通して精神障害をよく理解し、精神障害者への偏見などについても理解を深めなければいけません。

参考図書

E.H. エリクソン 村瀬孝雄・近藤邦夫訳『ライフサイクル、その完結（増補版）』みすず書房、2001年

厚生統計協会編『国民の福祉の動向』厚生統計協会、最新版

精神保健福祉研究会監『我が国の精神保健福祉 平成16年度版』太陽美術、2005年

大熊輝雄著『現代臨床精神医学（改訂第10版）』金原出版、2005年

その他、精神保健・精神医学関係の図書

精神保健福祉援助技術総論

科目コード●050137

担当教員●志村 祐子



4 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

精神障害者の施策はさまざまな法改正を経て、現在は病院から地域へというのが一般的です。2002年末に出された「障害者基本計画」、それに伴う「新障害者プラン」においても長期入院患者（いわゆる社会的入院者）の退院、社会復帰を目指すことが数値目標としてあげられています。そうした中で、地域に暮らす障害者がいかに「自分らしく」生活することができるか、より生活の質を上げていくことが可能かということが大切となります。地域に暮らす障害者の生活の支え手としての精神保健福祉士の役割はますます重要になってくると考えられます。本科目では専門的にかかわるとはどういうことか、専門家としてかかわるには何が求められているのか等、社会福祉の専門援助活動を展開する上で必要な援助技術の理論的理解を身につけていただくとともに、対人援助を行う自分自身についても十分に振り返りながら、学習を進めてください。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編『改訂 精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉援助技術総論』中央法規出版、2007年
(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より教科書が「改訂版」になりました。改訂された箇所は中央法規出版発行『別冊 精神保健福祉制度の主な動きとポイント』をご覧ください。スクーリング受講時はどちらのテキスト持参でも結構です。

レポート課題 ※4課題とも1,900字以上記述してください。

1 単位め	精神保健福祉士の成立過程を歴史的に振り返りながら、これから求められる役割について考察せよ。
2 単位め	精神保健福祉士が対象とする精神障害者とはどのような疾病および行動特性を持つ人々かまとめ、また自分自身が精神障害者をどう考えているかについても述べよ。
3 単位め	教科書 p.201 (ただし平成18年度以前履修登録者の教科書では p.195) からの事例を読み、事例に沿いながらケアマネジメントの必要性について考察し、さらに自分の身近にあるソーシャルサポート・ネットワークについて調べまとめなさい。
4 単位め	病院におけるチームアプローチの中で精神保健福祉士が果たす役割について考察せよ。

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月よりレポート課題2・3単位めが一部変更されています。『レポート課題集2006』記載の課題は2008年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

テキストは初めて学ぶ人にはやや困難な内容かもしれませんので、参考文献にも目を通し、調べ学習をしてください。また、「ソーシャルワーカーは足で稼ぐ」といわれているほど自分が一つの社会資源となって動くことが大切ですので、実際の現場に足を運ぶなど、目で見て確かめることもできれば行ってみてください。人とかかわる仕事をしていく上で、いかにコミュニケーションをとっていけるかはとても大切な能力です。自分がしたいことを相手に伝えること、わからないことを人に聞くことも大事なコミュニケーション能力です。

1単位め 解説

テキスト第1章2・3節、第2章、第3章(ただし平成18年度以前履修登録者の教科書では、テキスト第1章1節、第2章、第3章)をよく読みさらに関連図書などを調べて、歴史的流れをまず把握してください。その中で専門家として働く上で何が求められているのか、自分が地域で生活していることとあわせて考えていただければいいと思います。(参考図書1)、2)、7))

**2単位め
解説**

今現在自分が精神障害者をどのようにとらえているかをまとめ、今後勉強していく中でそれがどのように変化するかを見ていって欲しいと思います。また参考文献などに当たり、実際の対象者理解をしていってください。(参考図書3)、4))

**3単位め
解説**

テキスト第3章、第4章、第5章を熟読し、ケアマネジメント、ソーシャルサポートネットワーク (p.239) (ただし平成18年度以前履修登録者の教科書では p.40) についてまとめ、その上で事例を読んでいただき実際の展開過程を理解してください。そのことを踏まえて、身近で行われているネットワークについて目を向けてみてください。(参考図書6))

**4単位め
解説**

テキスト全体から「医学モデル」と「生活モデル」について調べ、医療現場である病院の中で、精神保健福祉士が果たす役割について、他の専門職種との違いなどにも触れながら考察してください。(参考図書5))

参考図書

- 1) 厚生省大臣官房障害保健福祉部精神保健福祉課監修 『精神保健福祉士法詳解』 ぎょうせい、1998年
- 2) 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編 『精神保健福祉士養成セミナー第5巻 改訂第3版 精神保健福祉援助技術総論』 へるす出版、2004年
- 3) 『改訂 精神保健福祉士養成講座1 精神医学』 中央法規出版、2007年
- 4) 高橋俊彦・近藤三男著 『大学生のための精神医学』 岩崎学術出版社、1998年
- 5) 日本精神医学ソーシャルワーカー協会編 『これからの精神保健福祉』 へるす出版、1998年
- 6) 江畑敬介編 『こころの科学67 精神障害者の社会参加』 日本評論社、1996年
- 7) 安西信雄・高橋一編 『こころの科学88 精神保健福祉士』 日本評論社、1999年

精神保健福祉援助技術各論

科目コード●050138

担当教員●大和田誠子



4 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

各論では、精神保健福祉の考え方とその考え方を構成している要件、それらに関する思想、理念や仕組み、内容を基盤にし、具体的にそれらを実際にどう活用しどのように実践を展開していくのか、その方法・技術について学んでいきます。

たとえば、精神障害を抱えている人にとって「自立生活」とは何か、その捉え方・考え方が問われ、支援の視点や方法に反映していくでしょう。生活支援を考えると精神障害を抱える人や家族を支える社会関係を豊かにするためのネットワークづくり、コミュニティの形成と言う考え方や方法についても学ぶことは現実的な課題です。地域にはそれぞれ文化や伝統を背景にした住民感情があり、それらを配慮しつつ対応していくことを考えていくことになります。精神保健福祉士も地域住民同様、伝統や文化的なものに影響を受け支援方法等に反映される傾向があるといわれ、その意味で自己覚知は専門家として当然のことになります。

前述したように各論では、すでに学んだ理論を具体的な実践とあわせ精神保健福祉士が活用する方法・技術について学んでいきます。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編『改訂 精神保健福祉士養成講座 6 精神保健福祉援助技術各論』中央法規出版、2007年

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より、教科書が「改訂版」になりました。改訂された箇所は中央法規出版発行『別冊 精神保健福祉制度の主な動きとポイント』をご覧ください。スクーリング受講時はどちらのテキスト持参でも結構です。

レポート課題

1 単位め	ケースワークの過程について説明し、第1章2節の実践事例から1つ選択し精神保健福祉士の専門的視点・態度、ケースワーク・スキルについて述べなさい。
2 単位め	テキストの第2章をよく読み、精神保健福祉士が活用する典型的なグループワークについて、場面ごとの構造や集団力動について説明を加えなさい。
3 単位め	テキスト第3章をよく読み、ノーマライゼーションの実現に向け精神保健福祉士が精神障害を抱えている人や住民といかに協働しその一連の支援を展開していくのか考察しなさい。
4 単位め	障害者自立支援法とケアマネジメントの関係について述べなさい。

(平成18年度以前履修登録者) 2007年6月よりレポート課題1単位めが変更されています。『レポート課題集2007』記載の課題は2008年12月まで提出できますが、改訂版所持者はできるだけ今年度の課題で提出してください。

※改訂版以前の教科書所持者は『レポート課題集2007』の課題に解答してください。

アドバイス

各論では、総論で学んだソーシャルワーク史、概念、目的、原理などを基にソーシャルワーク「スキル」の習得をめざしています。多くの実践事例を読み込み総論で得た知識とあわせ深く掘り下げて検討してみること。さらに自分自身が精神保健福祉士だったらどのような方法、スキルを持って対処するのか、その根拠は何か等も考えてみましょう。

1単位め 解説

第1章をよく読み、さらに関連図書を参考にクライアントの問題への対処とその過程で使われるスキルについて考えてみてください。特に情報の収集について調べてください。(参考図書；1、2)

2単位め 解説

グループワークの方法は、精神保健福祉士の所属する機関（例えば、病院・社会復帰施設・保健所等）が異なったとしてもプログラム展開の具体的方法として必要な方法です。グループワークの理論と展開、実践事例についてよく学習してください。(参考図書；3、4)

3単位め 解説

ここでは、特に精神障害を抱える人、その家族も含めて地域社会でその人が望む生活を営んでいくには、コミュニティワークの方法は現実的な課題となっています。従って多くの文献、実践例が出されていますので調べ、精神保健福祉士としての役割や課題についても考えて見ましょう。(参考図書；5、6)

4単位め 解説

テキスト第4、5、6章を読みこむこと。さらに2005年に成立した自立支援法について調べ、精神障害を抱える人にとってのメリット・デメリットについて整理し検討してみる。精神障害を抱える人が地域社会で生活を営んでいくとき現実的に「何が起きているのか」も推考してみる。 (参考図書；7、8)

参考図書

1. 柏木昭編著『新精神医学ソーシャルワーク』岩崎学術出版、2002年
2. 岡本民夫・平塚良子『ソーシャルワークの技能 ― その概念と実践』ミネルヴァ書房、2004年
3. 黒木保博・横山穰・水野良也・岩間伸之『グループワークの専門技術』中央法規出版、2001年
4. 遊佐安一郎『家族療法入門 ― システムズ・アプローチの理論と実際』星和書店、2004年
5. 田中英樹『精神障害者の地域生活支援 ― 統合的生活モデルとコミュニティソーシャルワーカー』中央法規出版、2001年
6. 寺谷隆子「自立生活支援と実践課題 ― 参加奨励の支援システムの形成」『社会福祉研究』84号 財団法人鉄道弘済会 社会福祉部、2002年
7. 『あみ』増刊号「障害者自立支援法資料集」、NPO 法人 全国精神障害者地域生活支援協議会、2006年
8. 三品桂子『利用者主導を貫く精神障害者のケアマネジメント』へるす出版、2003年

福祉リスクマネジメント

科目コード●050143

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

措置制度から契約制度の移行により、利用者と施設側が対等な関係となり、利用者側の権利意識が高揚したため、これまで顕在化しにくかった福祉サービスにおける事故が多発し、福祉サービス提供者側に多様なリスクが表面化し始めました。福祉サービスにおけるリスクには、介護におけるリスク、障害者におけるリスク、保育におけるリスク、施設におけるリスク、在宅におけるリスクなどさまざまなリスクが存在します。

このような現状の下で、福祉サービスにおける事故等に対して、適切な対応の確立と具体的な介護事故における問題解決への方策が急務といえます。本科目においては、施設におけるリスクの分析、つまり社会福祉施設における介護事故の裁判例の分析を通じて、事故を未然に防ぐという予防的側面と、事故が生じた場合の事後的な対応を個別具体的に検討し、介護施設側に介護事故に対する自覚を促し介護事故防止のための体制を構築することを目的とします。

教科書

渡辺信英編『介護事故裁判例から学ぶ福祉リスクマネジメント——高齢者施設編』南窓社、2006年

レポート課題

1 単位め	ケース1の「介護サービスの清掃義務違反に伴う利用者の転倒・骨折事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
2 単位め	ケース2の「デイサービス利用中の行方不明にかかる死亡事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
3 単位め	ケース5の「老人保健施設における誤嚥による死亡事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
4 単位め	ケース8の「ボランティアの見守り義務違反による転倒・骨折事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。

アドバイス

1単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース3の「介護サービス中の見守り義務違反による転倒・骨折事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、介護記録の重要性、連携・協働のあり方、利用者・家族との信頼関係の構築、チームアプローチ、チームケアの構築を中心に、契約制度の視点から具体的に言及してください。

2単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース4の「老人保健施設における転落死亡事件」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。また、認知症による徘徊によって、介護事故が生じないように、施設側がとりうる具体的な方法について、判例の見解を踏まえながら自説を展開してください。

3単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース6の「特別養護老人ホームにおける誤嚥による死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、介護サービスに求められるサービスの基準の確立、苦情解決制度によるリスクの防止策、リスクマネジメントと利用者の人権尊重の調和を中心に具体的に言及してください。

4単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース7の「送迎中の転倒・骨折死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、判旨が論じたボランティアの意義を言及した上で、ボランティアの注意義務について、具体的に考察してください。

参考図書

- 1) 志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2005年（改訂版、2007年）
- 2) 志田民吉編著『法学 [第3版]』建帛社、2007年
- 3) 平田厚著『社会福祉法人・福祉施設のための実践リスクマネジメント』全国社会福祉協議会出版部、2002年
- 4) 増田雅暢・菊池馨実編『介護リスクマネジメント』旬報社、2003年

家族法

科目コード●050144

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4単位

R or SR

2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

少子・高齢化社会を迎えるわが国において、子どもの人権といった問題から、家族・親族間の高齢者における介護・扶養といった問題は、身近な問題といえます。福祉の実務においては、たとえば認知症である利用者の財産管理はどのように対処したらいいのでしょうか、虐待を繰り返している両親に対して、子どもの救済を図るためにはどのようにしたらいいのでしょうか。遺産を相続するにあたって、親族間でトラブルが生じた場合にはどのようにしたらいいのでしょうか。経験や勘で対応するのではなく、福祉の現場において、最低限の法律の知識に基づいてアドバイスができる人材が現在求められています。

このような家族関係をめぐって紛争が生じた場合の解決方法、また相続の問題などを対処するための法律が、親族法・相続法であり、家族法であります。特に家族に関する問題は、社会が複雑化・多様化する中で、従来の家族の概念を越えた現代的問題として、夫婦別姓制度、夫婦財産制度、人工生殖問題などもあります。

本科目においては家族の新しいあり方と法の関係について現状を認識し、現代の問題点を把握し、よりよく快適な生活を享受し、安心して老後を送るためにはどのようにすべきなのかについて、具体的に学んでいきます。

教科書

渡辺信英編『福祉のための家族法 親族編』南窓社、2002年

レポート課題

1 単位め	第1章の「家族法序論」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)家族法の特質について、(2)氏と戸籍について
2 単位め	第3章の「日本の婚姻制度」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)再婚禁止期間について、(2)夫婦同氏の原則について

3 単位め	第4章の「親子」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)親子制度の変遷について、(2)人工生殖による親子関係について
4 単位め	第5章の「親権・後見等」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)親権の内容について、(2)成年後見制度について

アドバイス

1単位め 解説

(1)家族法の特質に関しては、家族法が「予定する人間像」「非合理性・非打算性」を中心にまとめてください。また、家族法の意義を論じた上で、福祉的視点としての家族法を論じてください。(2)氏と戸籍に関しては「悪魔くん事件」「戸籍偽造事件」など、具体的に問題となった事例を示して、あなたの考えを論じてください。

2単位め 解説

(1)再婚禁止期間の意義と問題点を論じた上で、あなたの考えを論じてください。また、再婚禁止期間の制度が父性確定の困難を避けるためのものであれば、どのようにすべきか具体的に言及してください。(2)夫婦同氏の原則の意義と問題点について論じた上で、諸外国の夫婦の氏についても、言及してください。また、夫婦別姓制についても世論調査を踏まえて、自説を展開してください。

3単位め 解説

(1)「子のための親子法」を中心に、今日の親子法の課題について言及してください。また、親子関係の意義についても具体的に言及ください。(2)人工生殖の問題点を示した上で、あなたの考えを論じてください。また、人工生殖の立法論について自説を展開してください。

4単位め 解説

(1)「子の虐待と親権の抑制」を中心に、あなたの考えを論じてください。虐待を防ぐための具体的な対策についても、自説を展開してください。(2)今後の成年後見制度の利用上の課題について、あなたの考えを論じてください。また「後見」「保佐」「補助」についても説明してください。

参考図書

渡辺信英編『福祉のための家族法 相続編』南窓社、2002年

以下の専門書は購入する必要まではありませんが、図書館等で閲覧してください。

遠藤浩ほか編『民法8 親族（第4版増補補訂版）』有斐閣、2004年

佐藤義彦ほか著『民法V 親族・相続（第3版）』有斐閣、2005年

中川善之助・米倉明編『新版 注釈民法23親族3』有斐閣、2004年

内田貴著『民法IV〔補訂版〕親族・相続』東京大学出版会、2004年

生涯発達心理学

科目コード●050502

担当教員●木村 進(左)
中村 修(右)



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択A

福祉心理
必修

科目の内容

発達を、人の一生における変化として捉える考え方は比較的新しいものであるが、この科目においては、「生涯発達」という視点から発達について基本的に理解することを目指している。発達ということを現象的に捉えるのは、さほど難しくないかもしれないが、ここでは、その基本にある発達理論の理解を土台として、「発達は積み重ねである」ということの意味を具体的に理解することが目標である。

たとえば、一人の老人を理解しようとする時に、その人の現在を理解するだけでなく、その人がこれまでどう生きてきたかということを理解しなければ十分とはいえないのである。逆に言えば、子どもから老人まで生涯を見通すことなのである。

教科書

平山諭・鈴木隆男編著『発達心理学の基礎―ライフサイクル』ミネルヴァ書房、1993年

レポート課題

1 単位め	発達とはどういうことか。発達についての考え方の変遷、日本と西洋の「子ども観」の違いなどを踏まえて、発達とはどういうことかについて考えなさい。最終的には「生涯発達心理学」という考え方が出てきた経緯について説明しなさい。
2 単位め	成人期の発達課題を「役割の変化」という視点から述べなさい。
3 単位め	発達段階についてのいろいろな説を述べ、それに合わせて、発達課題(エリクソン/ハヴィガースト)について論じなさい。
4 単位め	老年期をどのように捉えるかということについて論じなさい。

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

なお、旧課題の2単位めと新課題の3単位めは同じです。『レポート課題集2006』記載の課題で1・2単位めのみに合格している方は、3・4単位めも『レポート課題集2006』記載の課題で解答してください。

アドバイス

レポートを書き始める前に、教科書や参考書の該当する個所をよく読んで理解しておくということが第一に重要です。該当する個所は1か所とは限りませんから、課題に取り組む前に、少なくとも教科書については精読し、内容をつかんでおいてください。

『学習の手引き』序章に「レポートの書き方」を載せてありますので、もう一度読んで、作業手順を確認してから、レポート作成にとりかかってください。

たとえば3単位めの課題は、教科書をよく読めば書けるはずです。また、4単位めの課題は、いわば応用問題です。教科書や参考書の中から必要な部分を抜き出し、課題にそってそれを組み立てるという作業が必要です。そのためには、全体として何を書くかというストーリーを最初に描いておくことが大切です。

1単位め 解説

この課題は、教科書の「序章」と「1章」の内容を踏まえて考えてください。レポートの内容は、①発達とはどういうことか（発達についての定義と解説）②発達についての考え方がどう変わってきたか③子どもをどう捉えるかについての日本と西洋の違い④生涯発達心理学とはどういう分野かの4点にまとめてください。

①については、教科書にも定義がありますが、他の文献も参照して、発達とはどういうことなのかについて、いろいろな説を紹介し、解説してください。

②については、主に教科書の内容をまとめて、考え方の**変化**を明確にしてください。

③についても同様です。

④については、教科書には明確に説明されていませんので、他の文献を参考にするか、あるいは、教科書の内容から類推してください。

2単位め 解説

人は青年期から成人期にかけて子どもから大人への移行を経験し、その主たる役割は学生から社会人へ変わっていくことになります。それでは、成人期ではどのような役割の変化に直面することになるのでしょうか？

この変化には、「獲得する」とことと「喪失する」とことの両面があります。また、これに加えて、いったん得た役割であっても果たすべき内容が変わるものもあるはずです。ここで、テキストに従えば、成人期という時期もさらに前期・後期に分けて考えられています。そこで、課題に答える際にも前期・後期に分けて考えてみてください。もちろん単に別々のものとして考えるのではなく、「前期での役割が後期には…」というような連続性も

考えてみてください。

この役割の変化と発達課題の関連を考えると、まず、ある発達課題の達成によって得られる役割がある、と考えられるわけです。そして、以前の発達課題の達成によって得た役割も、次の発達課題を達成するために「役割の見直し」を行わなければならないことが考えられるのです。

ある役割が獲得されその後役割内容が変わっていく、という「流れ」でみることによって発達課題間の関連も理解しやすくなると思います。なので、レポートをまとめるにあたっては、まず①成人期前期と後期の発達課題を整理してから、②ある特定の役割に絞ってそれが成人期の中でどのように変化していくのか、についてまとめてください。さらに展開させるのなら、③役割の変化に適応する際に生じる発達の・心理的問題について述べてください。

なお、課題が難しい・考えづらいという方は、特に「親役割」「職業人役割」を中心に考えてみてください。

3単位め 解説

この課題のレポートを完成させるためには、まず、次のことについて教科書や参考書で調べてみてください。

- (1) 発達段階とは何か、また、発達段階を区切ることにしているいろいろな研究者の考え。
- (2) 発達課題とは何か、エリクソンおよびハヴィガーストの発達課題についての考え方とその具体的内容（エリクソンの心理社会的危機〔発達課題〕については、教科書のいろいろなところに部分的にふれられています。それらを総合して、**発達課題の表**を完成させてください）。

この準備が終わったら、**代表的な発達段階説を選んで**、その段階に合わせて、エリクソンとハヴィガーストの発達課題を記入します（**一覧表**にしてください）。

以上が、第一段階です。この表をもとにしながら、以下の内容のレポートに仕上げてください。

- (1) 1 ページ目：上記の表。一覧表はレポート用紙の1 ページめに入りきらない場合、別紙に記入し開いたときに見やすいように折り曲げ、レポート用紙1 ページめに貼り付けて提出してください。かなり細かい表になることも予想されますが、表の字数は176文字（レポート用紙1 ページめの字数）と換算してください。

※この表は手書きでもワープロ・パソコン印字でも可です。

※ワープロ・パソコン印字提出の場合、この表はA4判用紙に作成（表のみ手書きも可）してください（字数・書式自由）。

- (2) 発達段階とは何かということと、いろいろな発達段階説（教科書の内容をただ写すだけでは不十分です。参考文献等の内容を検討して、より充実したものにしてください）

- (3) エリクソンとハヴィガーストの発達課題（心理社会的危機）についての考え方を踏まえて、発達課題とは何か。
- (4) エリクソンの心理社会的危機を踏まえて、人間の生涯のあるべき姿についてまとめる。

4単位め 解説

高齢化社会とか高齢社会とかの表現をよく目にしますが、老人に対する社会的関心が高まっているということです。この課題は、老年期というものについての捉え方を総合的に考えてみようということを目標にしています。一番単純な捉え方としては、いったいつからを老年期というのだろうかということがあります。たとえば、老人福祉法では、65歳以上を老人としています。しかし、個人としてみる時には、どんな条件が揃った（あるいはなくなった）時に「老人だ」と感じるのでしょうか？ つまり、こんな単純なことでさえも、いろいろな角度から検討する余地があるということになります。このようなことを含めて、老年期というものをいろいろな角度から考えてみてください。

内容は、各自の自由としますが、参考までにモデル的な内容を示しておきます。

- (1) 老年期はいつから始まるか、老年期をどのように分けるか
- (2) 老年期の発達課題と老年期への適応
- (3) 老年期にはどのような変化があるか
- (4) 老人の生きがいとは何か
- (5) successful aging（幸福な老い）のための条件は何か
- (6) 現代は、老人にとって生きやすい時代か

もちろん、上記の内容すべてを網羅する必要はありません。考える材料として示したものです。

参考図書

- 1) 平山諭・鈴木隆男編著『発達心理学の基礎Ⅱ機能の発達』ミネルヴァ書房、1994年
- 2) 下仲順子編『老年心理学』（現代心理学シリーズ14）培風館、1997年
- 3) 『生涯発達心理学とは何か——理論と方法』（講座生涯発達心理学1）金子書房、1995年
- 4) 岡本祐子編著『アイデンティティ生涯発達論の射程』ミネルヴァ書房、2002年
- 5) 二宮克美・大野木裕明・宮沢秀次編『ガイドライン 生涯発達心理学』ナカニシヤ出版、2006年
- 6) 無藤隆・久保ゆかり・遠藤利彦編『発達心理学』（現代心理学入門2）岩波書店、1995年
- 7) 会沢勲・石川悦子・小嶋明子編『移行期の心理学——こころと社会のライフイベント』ブレーン出版、1998年

臨床心理学

科目コード●050503

担当教員●小林 愛



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択社会教育
選択A福祉心理
必修

科目の内容

臨床心理学は、心理的課題の解決や人間的成長の促進を目的とした心理的援助に関する学問です。実際の臨床活動（実践）は、その領域も対象も実に様々です。いざ援助者となった場合には、目前に現れた対象者の方に対して、その時々が多様な要因を考慮しながら対応していく必要があります。柔軟性が求められるとともに、様々な要因に流されない臨床家としての基本的姿勢が常に問われる活動でもあります。そのような幅広い臨床活動に対応できるためには、まずは基礎的な知識を学ぶことが必要です。

ここでは、臨床心理学について基本的な概要を理解することを目指します。同時に、“ここに関わることの奥深さと重みについて”“人が生きていくということについて”自らの興味が広がり、理解が深まることも期待します。

教科書

野島一彦編著『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房、1995年

レポート課題

1 単位め	正常と異常の判断基準について他の基準と比較しながら臨床心理学の視点（人間観）を述べよ。
2 単位め	心理アセスメントの目的と方法および留意点について概要を述べよ。さらに、面接によるアセスメントに加え、心理テストによるアセスメントを実施する必要があるのはどのような場合か、またその時の手順および留意点について述べよ。
3 単位め	臨床心理学的援助において重要な、心理臨床家の基本的態度を述べよ。
4 単位め	臨床心理学的援助の方法の中で、自らが興味を抱いた個別アプローチを一つ選択し、理論的背景、その目的、対象、方法、注意点および限界について述べよ。次に、個別アプローチと家族・集団・地域社会へのアプローチの相違点について述べよ。

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より課題が変更となりました。『レポート課題集2007』の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

テキスト全体を通読してから、各課題に取り組んでください。また、テキスト以外に課題に関連する本を数冊読みまとめるようにしてください。そのことで、自らの学習がより深まることと思います。

1単位め 解説

臨床心理学は、心理的に問題を持つ人々の援助を目的とする実践の学問です。その背後にどのような人間観を持ち対象にのぞむのかが、アセスメントをはじめ心理療法全般において影響を及ぼします。臨床心理学で基本とされる視点(人間観)への考察を深めることが本課題の目的です。

テキストを読み、臨床心理学では「正常」と「異常」について、基本的にどのような姿勢が求められるのか考察してください。また、自らの日常の中で気になる事柄について臨床心理学的な「正常」と「異常」の観点から考察してください。

2単位め 解説

心理アセスメントは、心理臨床家の職務の中で重要なものの一つです。臨床心理学的な視点を持ちつつ具体的にアセスメントを実施するとはどのような事柄なのか、基本的なアセスメントの手順を理解することが本課題の目的です。

まずは、心理アセスメントとは何かといった概要についてまとめてください。次に、面接によるアセスメントのみではなく心理検査によるアセスメントが必要となる場合はどのような時か、判断のポイントを述べてください。次に、対象者によっては、様々なテストバッテリーを組み複数のテストを実施する必要がありますが、その時の選択基準について考察してください。

3単位め 解説

臨床心理学的援助において、どのようなアプローチを選択するにせよ、どのような基本態度で臨むかといった基本は欠くことのできないものであります。本課題では、援助の際の基本的態度を理解することが目的です。

はじめにクライアント中心療法を参考に、それ以外の視点も加え、臨床家としての基本的な態度をまとめてください。次に、そのような基本的態度を自らが実践の中で取る場合に、どのような感想を抱くか感じることを述べてください。

**4単位め
解説**

臨床心理学的援助の方法は、様々な方法があります。いずれも、こころやい
わゆる不適応（症状なり問題行動なり）をどのようなものと捉えるのかという
理論的な背景があり、実際のアプローチの方法があります。また、アプローチ
の方法は、個人を対象にしたものと、家族や集団を対象にしたものに主に分けられます。
実際の臨床場面では、個人と集団の両方の視点があることが、生じている現象を理解し関
わるにあたり有効な視点を提供してくれます。ここでは、自らが興味のあるアプローチに
ついて理解するとともに、個別アプローチと集団アプローチの両方について、その相違点
を理解することを目的とします。

はじめに、自ら興味を抱いたアプローチについて、課題にあるポイントを中心に述べて
ください。次に、個別アプローチと集団に対するアプローチについて、相違点について考
察してください。

環境心理学

科目コード●050504

担当教員●小松 紘(左)
中川 知宏(右)



2単位 | R or SR | 2年以上

社会教育
選択B

福祉心理
必修/選択A

14~17年度
入学者

18年度以降
入学者

科目の内容

「環境心理学」は「心理学」の研究分野の一つです。「心理学」の大きな目的の一つは人間理解にあるのですが、「環境心理学」はとくに、ヒトと環境とのさまざまなかかわりのあり方を通して人間を理解するといってもよいでしょう。よく“人は人によって人となる”などといわれますが、これは人と人的環境、もっと大きくとらえれば人と社会的環境とのかかわりについて述べたものです。また私たちは、毎日の生活を快適にするために、部屋のインテリア、採光、温度などに配慮します。これは物理的環境に手を加えていることになります。街の景観や都市計画、産業地帯の整備などは、はるかに規模の大きいものになります。それによって私たちは快適感や満足感を味わうことができる一方で、目的や方法が身勝手、環境への配慮の足りないものであれば、環境を汚染し取り返しのつかない破壊を地球に残してしまうことにもなります。

この科目では、人間の成長発達に及ぼす環境の影響や、快適環境作りなど、基礎と応用の両面にわたって勉強しながら、一方では破壊、他方では保全といった、相反する行動を行う人間の心の世界をも考えてみたいと思います。

教科書

岩田紀編著『快適環境の社会心理学』ナカニシヤ出版、2001年

レポート課題

1 単位め	職場環境あるいは居住環境のどちらかを選び、その機能性、快適性、安全性について、具体的例をあげながら、望ましい環境条件について論じなさい。
2 単位め	環境汚染や破壊の実態を紹介しながら、地球環境を守るためにわれわれが心がけなければならないことは何かを論じなさい。

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より課題が一部変更となりました。『レポート課題集2007』の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出して

ください。

アドバイス

私たちの職業生活で最も身近なオフィス環境の快適性と、いよいよこれまでのツケが回ってきたともいえる、環境破壊によるさまざまな環境問題について考えてもらいます。どちらもきわめて日常的かつ重要な問題ですので、日ごろの自分の考えを生かしながら、具体的で現実味のあるアイデアを述べてください。解決策は意外と身近なところにあるものです。

1単位め 解説

テキスト第4章「住宅環境と居住性」、第5章「超高層集合住宅」、あるいは第6章「オフィス環境の快適性」をよく読んでください。それらの知識を参考にしながら、今お勤めの職場環境、あるいは今お住まいの居住環境（建物そのものと立地条件など）を、どのように改善したら機能性、快適性、安全性の点から見てよりよい環境になるかを論じてください。

なお論述に当たっては、プライバシーの観点から判断して、許される範囲で結構です。

2単位め 解説

テキストのパートIII「地球環境の保全」を参考にしてください。環境を汚染し、破壊するような結果をもたらした人間行動の多くは、おもに経済的価値を第一とする考え方に根ざしており、それに政治的価値重視の考えが重なるとその規模も極端に大きくなる傾向にあります。改善のためには、いろいろな機会を利用しての啓蒙と、一人ひとりが、面倒がらずに保全のための努力を地道に継続するしかありません。自分の日々の生活を振り返り、地球家族の一員としての責任を果たすためにも、ぜひ改めて考え、実行してみてください。

参考図書

- 乾正雄著『やわらかい環境論』海鳴社、1988年
ジ・アース・ワークスグループ著 土屋京子訳『地球を救うかんたんな50の方法』講談社、1990年
鈴木浩明著『快適さを測る』日本出版サービス、1999年
遠山益著『人間環境学』裳華房、2001年
日本生理人類学会 居住環境評価研究部会編著『生理人類学から見た環境の科学』彰国社、2000年
榎究著『環境心理学 ― 環境デザインへのパースペクティブ』春風社、2004年
渡辺光雄・高阪謙次編著『新・住居学〔改訂版〕』ミネルヴァ書房、2005年

心理学実験Ⅰ

科目コード●050505

担当教員●小松 紘・皆川 州 正
佐藤 俊 人 大 関 信 隆

2 単位

SR

2 年以上

福祉心理
必修

科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり、どのような条件の下でどのような行動が生じるか、あるいは、ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが、実験法もそのひとつです。

科学的知識とは、客観的事実として実証されたものをいいますが、心理学では、特定の要因（独立変数とよぶ）を系統的に変化させ、意識や行動（従属変数）がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり、これを実験法と呼んでいます。条件を厳密に統制するということに実験法の特徴がありますが、心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、さまざまな角度から、この実験法について、その基礎を学ぶことを目標とします。

教科書

テキスト（プリント）は、スクーリング時に配布します。

授業の進め方

心理学実験Ⅰでは、下記の4つの実験を体験します。受講生を4グループに分け、1グループ1種目ずつ、①実験についてのオリエンテーション ②実験を行う ③データの整理・分析 ④レポート作成 という一連の作業を行います。翌日は、別の種目を経験し、4回ローテーションして全種目を終わることになります。

▶実験1「長期記憶の検索」

（佐藤俊人 担当）

長期記憶の中からいくつかの記憶を探し出す時、我々はどのような探し方をするのでしょうか。さまざまな探し方が考えられるが、長期記憶を探す時に、人は一般にどのような心の使い方をするのか（ストラテジーという）を実験的に調べます。

▶実験2「対人認知と背景効果」

（小松 紘 担当）

人間の表情は、非言語的コミュニケーションの代表的手段ですが、ここでは、読み取り

にくい中間表情の認知に対する環境条件の影響を、実験的に捉えることを目的とします。景色の美醜、背景色、草花の有無などの効果を、SD 法などの評定法によって検討します。

▶実験3「ミュラー・リヤーの錯視」 (皆川州正 担当)

私たちの知覚は、物理的世界のそのままの写しではなく、心理的世界の特性と物理的世界の特性にはずれがあるが、これを錯覚といいます。視覚における錯覚（錯視）を取り上げ、調整法によって、錯視の生じる条件について検討します。

▶実験4「刺激の弁別閾」(時間間隔の弁別) (大関信隆 担当)

刺激の弁別閾とは、2つの刺激の強さの違いを区別する感覚の分解能に関する閾（感覚の相違を引き起こす境界）のことです。ここでは、時間間隔について、刺激の変化の方向が予測不可能な恒常法を用いて、その弁別閾を推定する実習を行います。

評価の方法

評価は、①それぞれの実験において指示された内容についてのレポート と、②スクーリング終了後に提出してもらう単位認定レポート の2つに基づいて行います。①に関しては、1種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなるので気を付けてください。②に関しては、以下に示す4つのテーマの中から1つを選び、指定期間内にレポートを作成して提出すること（字数は1,000字以上2,000字程度4,000字以内）。もちろん、未提出の場合、単位は与えられません。

単位認定レポート課題 スクーリング終了後1 課題選択

課題1 (担当) 佐藤俊人	「マジックナンバー・セブン」の実験的検証 短期記憶の貯蔵能力には限界があり、健康な成人で、おおむね7個であるとされているが、その通りであるかどうかを確かめる実験を工夫し、実際に確かめてみなさい。
課題2 (担当) 小松 紘	心理学的測定や評定における恒常誤差と偶然誤差をあげ、説明し、対策を述べなさい。
課題3 (担当) 皆川州正	幾何学的錯視以外の錯覚現象を調べ、その説明と体験した感想を述べなさい。そして、もし私たちの知覚が錯覚現象を生じないとすれば、私たちの知覚作用や知覚された世界はどのようなものであると思うか、考察しなさい。

課題 4
(担当)
大関信隆

心理学の方法論の一つとしての実験（法）の意味について考察しなさい。

アドバイス

上記の課題から1つ選び下記期限内に提出してください。レポート用紙の表紙の「科目名」右側に担当教員名を、「課題欄」に課題を必ず記入してください。なお、レポートの字数は2,000字程度を標準としますが、16ページめまでを使用し、最長4,000字程度まで記入していただいて結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。

課題 1
解説

スクーリングで詳しいアドバイスをしますが、まず、短期記憶とはどういうものかを確認してみてください。その中から、自分が何を提示刺激にした実験をするかを決めるところから始まります。具体的には数字の列、意味のない文行列などが例に出されることが多いですが、いろいろと工夫をしても面白いと思います。

次にそれをどのように被験者に提示するのも決めなければなりません。紙に書かれたものを見せるのか、読んで聞かせるのか、あるいはパソコンをつかってスライドショーのように提示することも可能でしょう。

さて、課題の中心は、短期記憶がいくつくらいまでなら覚えていられるか、ということです。ですから、確実に覚えていられる数（刺激の種類によっても変わりますが3～5くらい？）からマジックナンバーである7をはさんで、覚えているのが無理な数（15以上？）まで、いろいろな刺激数で実験してみてください。ある刺激数を超えると急激に覚えられなくなってくるのではないのでしょうか。そこが一人ひとりの実験でのマジックナンバーになります。この刺激の数が 7 ± 2 になればマジックナンバー7が検証されたことになります。もし実験の結果がマジックナンバーが 7 ± 2 から大きくずれたら、それがなぜかも考察しなければなりません。

以上の点を押さえた上で、覚えていられる数を増やすという実験を重ねても面白いと思います。例えばチャンクという考え方も有効なのではないのでしょうか。

課題 2
解説

スクーリング時に配布する資料を参考にまとめてみてください。できる限り正確に判断しようとする時、私たちはどのようなことに気をつけるのでしょうか。

**課題 3
解説**

錯覚現象については、幾何学的錯視以外の錯視、視覚以外の錯覚などがあります。それらについて、単に知識として知るだけでなく、自ら観察あるいは体験してその感想やコメントを述べてください。そして、スクーリングでの説明などを参考に錯覚現象の背後にある知覚の働き（作用）について考え、もしそれらがなかったらと考えてみてください。

**課題 4
解説**

心理学における実験（法）の意義を考える際には、次のような視点を持つことが必要と思われます。すなわち、①：「こころ」という対象に接近していくために、心理学の中にはどのような方法があるのか、②：実験（法）とは、具体的にどのようなやり方を有する方法論なのか、③：実験（法）の特徴や長所は何か、などです。これらのことは、言い換えれば心理学における他の方法論との比較、と考えることができるかもしれません。そうすることで、一層、実験（法）の意義や長所・短所が見えてきて、さらには心理学独自の多様な方法論を俯瞰的に眺められるかと思います。また、実験（法）は心理学成立の歴史とも深い関係がありますので、これらについて $+\alpha$ の考察をしてみることもよいかもしれません。

参考図書

課題 1：金城辰夫編『図説現代心理学入門』培風館、1996年（「心理学概論」の教科書改訂版 p.94～97・三訂版 p.142～145）

課題 2：市川伸一 編著『心理測定法への招待』（新心理学ライブラリ 13）サイエンス社、1991年
ほか、心理学研究法・心理測定などに関する本、または心理学の教科書で「測定や研究法」に関する箇所など。

課題 3：丸山欣哉編『基礎心理学通論』福村出版、1996年
椎名健著『錯覚の心理学』講談社現代新書、1995年
梅津八三・相良守次・宮城音弥・依田新監修『新版 心理学事典』平凡社、1981年
<http://www.brl.ntt.co.jp/IllusionForum/basics/index.html>（ホームページ「錯覚とは何か」）
<http://www.ritsumeai.ac.jp/~akitaoka/>（ホームページ「北岡明佳の錯視のページ」）
<http://psywww.human.metro-u.ac.jp/sakusi/>（ホームページ「錯視の広場」）

課題 4：南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編『心理学研究法入門』東京大学出版会、

2001年

小牧純爾著『心理学実験の理論と計画』ナカニシヤ出版、2000年

利島保・生和秀敏編著『心理学のための実験マニュアル』北大路書房、1993年

宮原英種・宮原和子監修 加知ひろ子・武藤幸穂著『心理学実験を愉しむ —
心理学の「日常性」と「科学性」』ナカニシヤ出版、2003年

大山正・中島義明編『実験心理学への招待』(新心理学ライブラリ 8) サイエンス社、1993年

中島義明著『実験心理学の基礎』誠信書房、1992年

B. フィンドレイ著 細江達郎・細越久美子訳『心理学実験・研究レポートの書き方』北大路書房、1996年

スクーリング受講上の注意

筆記用具、定規（グラフを書くのに使用）、4色ボールペン（色鉛筆）、電卓を持参してください。

「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」については、原則としてⅠ→Ⅱの順に受講してください。

なお、『福祉心理学科 スタディ・ガイド』（東北福祉大学）で「心理学実験」の概要を予習しておいてください。

平成20年度レポート提出期限

実験レポート（4課題とも） 8月22日必着

単位認定レポート 12月24日必着、9月卒業希望者は8月末必着

（再提出レポートは上記以降も提出可）

10月生科日等履修生が今年度中の単位修得を希望する場合、および10月以降の休学予定者は、単位認定レポートを9月末までに提出し合格する必要があります。

心理学実験Ⅱ

科目コード●050506

担当教員●村井則子・西野美佐子
白井秀明・中村修

2単位

SR

2年以上

福祉心理
必修

科目の内容

心理学は行動科学の一分野であり、どのような条件の下でどのような行動が生じるか、あるいは、ある行動はどのような条件で起こったのかなどということを明らかにしようとしています。そのための方法にはいくつかありますが、実験法もその一つです。

科学的知識とは、客観的事実として実証されたものをいいます。心理学では、特定の要因（独立変数とよびます）を系統的に変化させ、意識や行動（従属変数）がどのように変わるかということを明らかにしようとする手法があり、これを実験法とよんでいます。条件を厳密に統制するということに実験法の特徴がありますが、心理学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲでは、さまざまな角度から、この実験法について、その基礎を学ぶことを目標とします。

教科書

テキスト（プリント）は、スクーリング時に配布します。

授業の進め方

心理学実験Ⅱでは、下記の4つの実験を体験します。受講生を4グループに分け、1グループ1種目ずつ、①実験についてのオリエンテーション、②実験の実施、③データの整理・分析、④レポート作成という一連の作業を行います。翌日は、別の種目を経験し、4回ローテーションして全種目を終わることになります。

▶実験1「系列学習法」（村井則子 担当）

記憶研究の先駆者といわれるエビングハウスが用いた伝統的な実験材料である無意味綴りを用いて、言語学習実験の代表的な3タイプのうち系列学習法（ある順序で呈示された無意味綴りをその順序どおり覚えさせる実験法）を実習し、系列位置効果（呈示された刺激がはじめの方にあるか、終わりの方にあるか等で学習しやすさに差があること）について調べます。

▶実験2「鏡映描写」(西野美佐子 担当)

一般に先行した学習が後続の学習に何らかの影響を与えることを学習の転移といいます。転移の一例として鏡映描写における利き手による練習の非利き手のパフォーマンスへの転移などにもともなう運動技能の上達過程を検討し、^{りょうそくせい}両側性転移現象の有無、さらにはその理由について考察します。

▶実験3「概念学習」(白井秀明 担当)

われわれは、いくつかのモノやコトが持つさまざまな特性のうち、ある特性群に注目(抽象)し、また他の特性群を無視(捨象)することによって、任意のカテゴリー(概念)を「心」の中につくりあげていると仮定できます。だからこそ、“アリ”と“ゾウ”を同じ“動物”とみなすことができます(ところで何が同じ?)。こうした概念作用に影響を与える諸要因について、実験的に検討します。

▶実験4「集団意思決定」(中村 修 担当)

集団意思決定とは、集団である問題を解決するために選択肢の中から最適と思われるものを決定することです。個人で意思決定を行う場合と集団で意思決定を行う場合を比較し、どちらが最適の解決を生み出せるかを検討します。

評価の方法

評価は、①それぞれの実験において指示された内容についてのレポートと、②スクーリング終了後に提出してもらう単位認定レポートの2つに基づいて行います。①に関しては、1種目でも欠席しレポートが提出されない場合にはその時点で単位が与えられなくなりますので気をつけてください。②に関しては、以下に示す4つの課題の中から1つを選び、指定期間内にレポートを作成して提出してください(字数は1,000字以上2,000字程度4,000字以内)。もちろん、未提出の場合、単位は与えられません。

単位認定レポート課題 スクーリング終了後1 課題選択

課題 **1**
(担当)
村井則子

系列学習において「なぜ系列位置効果が現れるのか」について文献やスクーリングでの体験などを参考にしながら考察しなさい。

課題2 (担当) 西野美佐子	両側性転移現象とは、身体の一方向の側の効果器（たとえば右手、右足など）を用いた練習が、他の側にある効果器（左手、左足など）に影響を与える現象であります。あなたのこれまでの生活で体験した両側性転移の中で、負の転移の例、正の転移の例を探し、転移に与える影響について考察しなさい。
課題3 (担当) 白井秀明	次の4つの尺度について、日常生活の中から2つずつ例を挙げて、違いを説明しなさい。また、なぜ尺度をこのような4つに分ける必要があるのか、考察しなさい。①名義尺度 (nominal scale)、②順序尺度 (ordinal scale)、③間隔尺度 (interval scale)、④比率尺度 (ratio scale)。
課題4 (担当) 中村 修	集団で意思決定をする場合に、特に「愚かで浅慮な決定」がなされる場合のことを“groupthink”（集団的浅慮、集団思考と訳される）という。これが生じる集団の特徴、条件を文献で調べて、考察しなさい。

アドバイス

上記の課題から1つ選び下記期限内に提出してください。レポート用紙の「課題欄」に課題を、また表紙の科目名の右側に担当教員名を必ず記入してください。なお、レポートの字数は2,000字程度を標準としますが、16ページめまでを使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。

課題1 解説

スクーリング時に解説するので参考にしてください。系列位置効果がおこる理由を、リハーサル（復唱）と短期記憶によって説明している教科書が目につきます。しかし、その説明は、自由再生法の手続きを用いた場合に当てはまるのであって、今回行った系列予言法の手続きにそのまま当てはまるのではない点に注意してください。

課題2 解説

学習の転移は、さまざまな領域・場面でみられます。スキーを習う前にスケートをマスターしておく、一般的にスキーの初歩の上達は早いでしょう。また、軟式テニスをしてきた人が、硬式テニスに切りかえた場合、ストロークやラケットの持ち方など、軟式独特のくせがなかなか抜けなくて困る場合もあるでしょう。しかし、軟式・硬式を問わないテニスに共通の点も多く学びやすいこともあるはずです。

このように、生活の中でさまざまな転移がみられますが、「両側性転移に関連する事例を探して、その事例を詳しく分析し報告してください」というのが課題です。まず両側性転移について一般的な心理学書、心理学辞典などで概念理解とその生起要因について理解したうえで、自分の生活を振り返り、正の事例、もしくは負の事例を探して、分析し報告してください。ちなみに、日常動作で見られる転移の例として報告されたものとしては、

・非利き手での箸の持ち方や卓球練習の上達具合・パソコンのキーボード操作の学習・耳掃除の手の使い方・マニキュアを左右の手で塗る時の動作学習・水泳練習時の手の動きの学習・弓道の動作の「肘いれ」動作学習（この動きは非利き手の左手の動作で、利き手が右手の人から見れば困難学習課題です。そこで、利き手で練習できるようになってから、非利き手で挑戦したところ、非利き手で、簡単にできた事例）・流れ作業で袋付めする動作を、立ち位置を逆にした場合の混乱、などなど、いっぱい見つけられることと思います。

課題3 解説

心理学の本というよりも、統計学、心理統計学、心理学研究法などの入門書などを参考になさった方がいいかもしれません。例を挙げて説明してもらうのは、調べたことを使って自分で考えたんだ！自分で見つけたんだ！というヨロコビを味わっていただきたいからです。ぜひお書きください。参考図書欄には、手元にあった文献のなかから少しあげておきます。

課題4 解説

スクーリング時の解説、配布する資料を参考にまとめてみてください。

参考図書

課題1：梅岡義貴・大山正編著『学習心理学』誠信書房、1966年 その他

課題2：スクーリング時に紹介します。

課題3：山内光哉著『心理教育のための統計法〈第2版〉』サイエンス社、2003年
遠藤健治著『例題からわかる心理統計学』培風館、2002年

吉田寿夫著『本当にわかりやすいすぐく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房、2003年

課題4：スクーリング時に紹介します。

スクーリング受講上の注意

- ・筆記用具、定規、電卓を持参してください。
- ・「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」のスクーリングは原則としてⅠ→Ⅱの順に受講してください。都合によりⅠを受講せずにⅡを履修する方は「心理学実験Ⅱ スクーリング受講許可願」（『レポート課題集2008（3・4年次）』巻末添付の様式）で6月15日までに提出してください。
- ・今年度「心理学実験Ⅰ」に続いて「Ⅱ」を受講する方は、『福祉心理学科 スタディ・

ガイド』東北福祉大学で「心理学実験」の概要の予習をしてきてください。

平成20年度レポート提出期限

実験レポート（4課題とも） 9月1日必着

単位認定レポート 12月24日必着（再提出レポートは左記以降も可）

10月生科目等履修生が今年度中の単位修得を希望する場合、および10月以降の休学予定者は、単位認定レポートを9月末までに提出し合格する必要があります。

実験レポート、単位認定レポートとも、9月卒業希望者は8月末必着です。

心理学研究法Ⅰ

科目コード●050508

担当教員●木村 進・西野美佐子・白井秀明
吉田綾乃・大関信隆・平川昌宏

2単位 | R or SR | 2年以上

福祉心理
必修

科目の内容

この科目は、「心理学研究法Ⅱ」とセットですが、心理学において使われる代表的な方法について、基本的な理解を図ることを目指しています。代表的な方法の一つである「実験法」については、別に「心理学実験Ⅰ」、「心理学実験Ⅱ」、「心理学実験Ⅲ」(Ⅲは平成17年度までの入学者のみ)として科目が設定されているので、ここでは、**実験法以外の方法**について取り上げることにします。また、「**検査法**」については、「研究法Ⅱ」のスクーリングにおいて実習を行う予定になっています。

心理学は、実証的学問です。実証的というのは、データを収集し、それを分析して、その結果に基づいて論を展開するということです。したがって、どのようなデータをどのような方法で収集するかということが、心理学の研究においてはきわめて重要な意味を持つことになります。つまり、心理学の研究において使われる方法は、正確にデータをキャッチできるものであるだけでなく、客観的に評価される科学的なものでなければなりません。同時に、心理学の研究の対象は、多くの場合、人間ですから、どのような方法を使う場合でも、そこには一定の倫理性が保たれていなければなりません。この科目では、単に研究法の習得を目指すだけでなく、倫理性・科学性の問題を含めて、心理学における方法論の理解を目標にします。

なお、この科目では平成19年度よりスクーリングを開講しました。このスクーリングは必須ではありませんが、できうる限り参加することをお勧めします。

教科書

大村彰道編著『教育心理学研究の技法』(シリーズ・心理学の技法) 福村出版、2000年
『福祉心理学科 スタディ・ガイド』東北福祉大学(福祉心理学科以外の方は通信教育部ホームページで閲覧可)

レポート課題

この科目は2単位です。したがって、提出しなければならないレポートは2つですが、

課題は5つ設定してあります。1単位めは、**課題1～3の中からいずれか1つを選んでレポートを作成し提出してください。**2単位めは、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講するかどうかによって、取り組む課題が異なります。つまり、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講しない人は**課題4に、受講する人は受講後に課題5**に取り組みレポートを提出することになります。

なお、1単位めの課題と2単位めの課題のうち、どちらの課題を先に行っても構いません。ただし、2単位めの課題が「観察法」「面接法」「質問紙法」の理解を問う課題であるのに対して、1単位めの課題が各研究法に関する理解を応用して自身で研究計画を立てる課題になっていますので、**2単位めの課題を先に行った方が、1単位めの課題もより容易に取り組むことができます**と思います。

1 単位め (1課題選択)	課題1 気の長い人と短気な人を観察法によって見分けるための研究をするとしたら、どのような観察を行うかを中心に、研究計画を立てなさい。 課題2 小学生における教科の好き嫌いに影響する要因について面接法で研究するとします。半構造化面接によって調査を行うとしたら、どのような研究計画になるか考えなさい。 課題3 子どもの攻撃性の高さに対するテレビの影響というテーマで、質問紙法を使って研究するとしたら、どのような研究をするか、研究計画を立てなさい。
2 単位め	課題4 (「研究法 I」スクーリングを受講しない人はこの課題を行ってください) 「観察法」「面接法」「質問紙法」のそれぞれについて、その方法の効用と限界(留意点)を述べなさい。 課題5 (「研究法 I」スクーリングを受講する人はこの課題を行ってください) 「心理学研究法 I」スクーリング終了時に配布される研究論文の中から1つを選び、 I. 選択した研究の①目的、②仮説、③方法をまとめなさい。 II. 選択した研究と同じ目的や仮説で研究を行うとすれば、あなたは「観察法」「面接法」「質問紙法」のうちどの方法を用いるか、そして、なぜその方法を選択するかについて述べなさい。

レポート提出上の注意

- (1) この科目のレポートは、**1単位ずつ提出**してください。1単位の課題の字数は2,000字程度ですが、レポート用紙のp.16まで使用し4,000字程度まで記入することも可です(パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで)。
- (2) 1単位めの課題が取り組みにくく感じる方、再提出が続く方は、この科目のスクーリングを受講してから提出してください。

なお、この科目のスクーリング実施にともない、2006年度まであった「心理学研究法 II」のスクーリング受講後にレポート提出することが望ましいという条件はなくなりました。

- (3) 2007年度から2単位めの課題が変更になりました。『レポート課題集2006』の課題の提出も2008年9月までは可です。再提出者が今年度の課題で提出することも可です。

2単位めの課題変更にともない、2006年度まであったレポートの提出順序の指定（1単位め合格後2単位め提出）はなくなりました。2単位め（課題4）を先に提出することも可です。とくにスクーリングを受講しない方にとっては、2単位めの方が取り組みやすい課題です。

- (4) 2単位め課題4や旧2単位めレポート課題に合格した方もスクーリングを受講することができます。その際、2単位め課題5の提出は不要です。

- (5) スクーリングを受講しない方は、通常の科目と同様に科目修了試験受験の必要があります。この科目のスクーリング試験、科目修了試験ともに、心理学研究法の基礎的な理解がないと合格が難しい傾向にありますので、充分学習をしてから臨んでください。

スクーリング受講条件

スクーリング申込み締切日までに、福祉心理学科専門必修科目・専門選択科目A群のなかから7科目分のレポート（4単位科目は4課題などその科目の全てのレポート）を提出していること（実験科目を含めること可）。

アドバイス

1単位め 解説

課題1～3は、同じ種類の課題ですので、まとめて解説します。それぞれの課題には、テーマと使用方法が指示されています。この科目の目標は、研究法を学習することにあるので、それぞれの方法についての学習を進めたうえで、つまり、それぞれの方法について十分理解したうえで、指示に従って研究の計画を立てというのが課題です。次のような学習の進め方をし、そのうえで、以下に示すような内容のレポートにまとめてください。

- (1) 教科書の1章を読んで、研究の進め方についての全体的な理解を図ってください。

ここには、研究の進め方についての一般的な考え方と、実際の研究に基づいた研究の進め方の例とが書かれています。1節の1と2をまず読み、次に3節を読んで理解してから、2節の事例を読んだ方がわかりやすいかもしれません。また、2章以降のそれぞれの方法についての理解を確立した後で、もう一度2節を読むと、より一層理解が深まると思われます。

- (2) 次に、それぞれの方法（2章から5章）について理解します。それぞれの方法について1節に「～法への招待」、2節に研究紹介、3節に「～法の手順と留意点」という構成で書かれていますので、まず1節を読んで、その方法についての基本的な理解を確立し、次に3節を読み、一般的な理解が進んでから、2節の研究例を通してその方法につ

いての具体的な理解を図るという学習の仕方が望ましいでしょう。

- (3) この段階で、**観察法、面接法、質的分析、質問紙法**の4つの方法についての理解ができたことになります。次に、**課題1～3**のどれかを選んで、そこで使うことになっている方法について改めて読みなおして、理解を確実なものにしてください。特に、各章2節を参考にすることになりますので、そこはしっかり読みましょう。なお、課題2に取り組む際「半構造化面接」の意味を辞典、参考図書で調べて理解する必要があります。
- (4) いよいよ課題に取り組めます。それぞれに示されているテーマは漠然としていますので、まず**研究の目的**をはっきりさせることから始めます。つまり、そのテーマにそって、最終的に何を明らかにしたいか、ということをもまず考えなければなりません。課題1は「気が長い人か短気か」ですからはっきりしていますが、課題2は「教科の好き嫌い」としか指定していないので、「教科の好き嫌い」ということをどのように捉えるかを具体的に考えなければなりませんし、同時に、「影響する要因」といっても、さまざまに考えられるわけですから、どんな要因を取り上げるかということも考える必要があります。課題3も、「テレビの影響」といってもいろいろ考えられるので、そこをどう捉えるか、ということがポイントになります。
- (5) 研究についての具体的なイメージができれば、次は「**仮説**」を立てるという段階です。「仮説」というと難しく聞こえるでしょうが、単純に言えば「どのような結果を予想するか」ということです。課題1でいえば、「気の長い人と短気な人の行動の違いは、こういうところに現れるだろう」と予想することであり、課題2では「教科の好き嫌いは、こういう要因が影響しているのではないか」と考えることであり、課題3では「子どもの攻撃性に影響するのは、テレビのこういう面ではないか」と考えることです。

この仮説がないと、研究計画が立てられないので、頑張って考えてください。

- (6) 実際に研究を行うとなるといろいろ制約が出てきますが、ここでは机上で計画を立てるという課題なので、実行可能かどうかは考えないで、自由な発想で計画を考えてください。上記の仮説が明らかになったとして、いよいよ具体的な研究計画を考えます。**研究計画**の具体的内容については、課題ごとに説明します。仮説を明らかにした上で、

- ①課題1：1) 観察の対象をどのような人にするか また、その人数
2) 観察の場所と時間
3) **どのような行動を観察対象とするか**◎
4) **観察の仕方と記録の仕方**◎
5) 観察が終わった後で、どのように分析するか
- ②課題2：1) 面接の対象をどのような人にするか また、その人数
2) **面接の内容（具体的な質問）と記録の仕方**◎
3) 面接調査が終わった後で、どのように分析するか

③課題3：1) どのような子ども（年齢・性別など）を質問紙調査の対象とするか
（子どもたちが低年齢で質問紙に答えることが難しい場合は、どのような人たちを質問紙調査の対象とするか）

2) **どのような質問紙（具体的質問項目）を使うか**◎

（質問紙には、①テレビの見方や内容などについて調べるための質問項目と②「攻撃性」を調べるための質問項目が含まれることになります。①については、「仮説」にしたがってどのような内容をどのような項目で尋ねたらよいか考えてください。また、②については全部で6項目とします。そのうち、3項目は「すぐに暴力をふるう」「言葉遣いが荒い」「つまらない、ささいなことでイライラする」とし、残り3項目は攻撃性を調べる上で適切な項目を各自で考えてください。その際、上で挙げた3項目の単純な言い換え（たとえば、「簡単に手を挙げる」「乱暴な言葉を使う」「ちょっとしたことで腹を立てる」など）にならないよう注意してください。

3) 調査の仕方

4) 調査が終わった後で、どのように分析するか

どの課題も、教科書のそれぞれの方法の「研究紹介」に示されている研究例を参考に計画を立ててください。紹介されている研究ほど綿密な計画でなくて構いませんが、基本的には同じような内容になります。また、レポートのポイントは、◎がついた項目です。

(7) レポートの内容

レポートは、次のような内容にしてください。

- 1) その課題を選んだ理由
- 2) 研究の目的と仮説
- 3) 研究計画
- 4) その課題に取り組んで考えたこと、難しかった点、工夫したところ、疑問、感想など

2単位め
解説

(1) 課題4

この課題は、「心理学研究法Ⅰ」のスクーリングを受講しない人が、2単位めの課題として取り組むものです。レポート作成にあたっては、1単位めの課題のアドバイスで述べた(1)と(2)の内容が非常に重要となります。教科書（とりわけ第2章、3章、5章の3節）をよく読み内容を理解してから課題に取り組んでください。

心理学の研究を進める上では、「どのような現象を明らかにしたいのか」あるいは「どのような対象に対して研究を行うのか」によって用いられる方法が異なります。また、それぞれの方法を通して得られるデータの性質（データの数や内容）や検査実施上の利点・

留意点（一度に得られるデータの数、調査者や調査協力者の負担など）も異なります。したがって、実際に研究を行う際には、研究の目的や対象、仮説に合わせて、どの方法を用いるかを選択しなければなりません。では、「観察法」「面接法」「質問紙法」それぞれによって、明らかにできる事柄、できない事柄はどのようなことなのでしょう？ また、それぞれの方法によって得られたデータの特徴や実施上の利点・留意点はどのようなことなのでしょう？ 以上の内容について、それぞれ「効用」と「限界（留意点）」に分けて整理し、レポートを作成してください。

(2) 課題 5

この課題は、「心理学研究法 I」のスクーリングを受講する人が、2 単位めの課題として取り組むものです。「研究法 I」のスクーリングでは、「研究法の成り立ち」「観察法」「面接法」「質問紙法」に関して、その内容や効用・限界について解説していきます。また、この 4 つのテーマについて、より具体的に理解してもらうために、適宜実習を行います。そして、スクーリング終了後、「観察法」「面接法」「質問紙法」のいずれかの方法を実際に用いた研究論文を配布します。課題 5 は、これらの配布された研究論文の中から 1 つを選び、まず、その研究の①目的、②仮説、③仮説を確かめるために用いられている方法とその詳細についてまとめます。さらに、④あなたなら仮説を確かめるためにどの方法を用いるかについて考えを述べるのが課題となります。

レポートは、次のような内容で作成してください。

①研究の目的

心理学研究においては、研究者が関心を向けた要因（従属変数）に対して影響を及ぼす別の要因（独立変数）が考えられ、この独立変数と従属変数の関係について検討が行われます。たとえば、『福祉心理学科スタディ・ガイド』Ⅲ章の「心理学研究法 I レポート作成のためのヒント」について見てみると、清兵衛は「桶の売り上げ」に関心を向け（従属変数）、それに影響を及ぼす要因（独立変数）として、「風が吹くかどうか」や「店の雰囲気」を取り上げています。では、選択した研究論文において、研究者は**独立変数、従属変数としてどのような要因を取り上げているのでしょうか**。言い換えれば、**どのような要因とどのような要因との関係を見ることが目的となっているのでしょうか**。この点についてまとめてください。

なお、「①研究の目的」と次に述べる「②研究の仮説」は、研究論文では多くの場合、「問題と目的」の中に書かれています。また、研究によっては論文の題目を見るだけで、独立変数や従属変数が何であるかわかる場合があります。たとえば、「○○が××に及ぼす影響」といった題目であれば、○○が独立変数であり××が従属変数であることがわかります。

②研究の仮説

「①研究の目的」で述べた独立変数と従属変数について、独立変数は従属変数に対してどのような影響を及ぼすのでしょうか？ この点について研究者が調査前に考える「仮の答え」が仮説となります。たとえば、先ほどの例を再び用いると、清兵衛は「風が吹くかどうか」という独立変数が「桶の売り上げ」という従属変数に対して、「風が吹くと桶の売り上げが下がってしまう」という方向ではなく、「風が吹くと桶の売り上げが上がってくれる」という方向で影響を及ぼすことを仮説として考えています。そして、実際の研究では、データを集め分析した結果に基づいて、その仮説が正しいかどうかについての検討が行われます。ここでは、選択した研究論文の中でどのような仮説が考えられているかについてまとめてください。

なお、研究論文においてはこの仮説が必ずしも明確に書かれているわけではありません。その場合、研究者がどのような仮説を考えていたかについて論文の中から読み取ることが重要となります。このレポート課題でも、「①研究の目的」で明らかにした独立変数と従属変数との関係について、つまり、**独立変数が従属変数に及ぼす影響の方向**について読み取り明記してください。

③研究の方法

ここでは、大きく [A. 調査の手続き] と [B. 独立変数と従属変数とを測定するために用いられた尺度] についてまとめてください。以下、「観察法」「面接法」「質問紙法」それぞれについて詳しく説明していきます。

「観察法」について

[A. 調査の手続きについて]

- 1) どのような人たちが観察の対象となっているか。また、その人数
- 2) 観察の場所や状況、所要時間
- 3) 観察方法（自然観察法か実験的観察法か）
- 4) 観察の流れと記録の仕方

[B. 測定尺度について]

独立変数や従属変数を調べるために用いている行動カテゴリーや基準。そして、その行動カテゴリーや基準の具体的な内容。ここでは、独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり、独立変数を調べるために用いた基準や行動カテゴリーとその具体的内容、そして、従属変数を調べるために用いた基準や行動カテゴリーとその具体的内容を分けてまとめてください。

「面接法」について

[A. 調査の手続きについて]

- 1) どのような人たちが面接の対象となっているか。また、その人数
- 2) 面接が行われた時期、所要時間

3) 面接方法 (構造化面接か非構造化面接か半構造化面接か)

4) 面接の流れと記録の仕方

[B. 測定尺度について]

独立変数や従属変数を調べるために用いている質問の具体的内容。ここでは、独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり、独立変数を調べるために用いた質問内容と、従属変数を調べるために用いた質問内容を分けてまとめてください。

「質問紙法」について

[A. 調査の手続きについて]

- 1) どのような人たちが質問紙調査の対象となっているか。また、その人数
- 2) 調査の仕方 (質問紙の配布方法や回収方法)
- 3) 用いた質問紙や尺度。そして、その具体的な項目

[B. 測定尺度について]

独立変数や従属変数を調べるために用いている尺度とその具体的な項目。ここでは、独立変数と従属変数それぞれに対応する形でまとめてください。つまり、独立変数を調べるために用いた尺度や質問項目と、従属変数を調べるために用いた尺度や質問項目とを分けてまとめてください。

④あなたなら「面接法」「観察法」「質問紙法」のうちどの方法を用いるか

選択した研究論文では、「観察法」「面接法」「質問紙法」のいずれかの方法を用いて研究が行われています。「観察法」「面接法」「質問紙法」にはそれぞれそれを用いる効用と限界があります。つまり、「どのような現象を明らかにしたいのか」あるいは「どのような対象に対して研究を行うのか」さらには「どのような仮説を確かめたいのか」などについて、得意な部分と不得意な部分がそれぞれあるのです。そして、研究計画を立てる際にはこのような各研究法の効用と限界についての理解に基づき、研究の方法を選択することが必要になります。

では、選択した研究論文と同じ目的や仮説のもとで研究計画を立てる場合、あなたなら「面接法」と「観察法」と「質問紙法」のうちどの方法を選択するでしょうか。ここではその方法と選択理由について述べてください。もちろん、研究論文と同じ方法を選択しても構いません。ただし、その選択理由として「選択した論文で用いられていた方法だったから」というのはやめてください。たとえば、「この研究においては、〇〇（焦点が当てられている現象や対象、仮説の内容など）だから、××という特徴を持つ「面接法」（「観察法」「質問紙法」）を用いるのが適切だと考えたため」といった形でまとめるようにしてください。さらに、「この研究においては、〇〇（焦点が当てられている現象や対象、仮説の内容など）だから、△△という特徴を持つ「面接法」（「観察法」「質問紙法」）はあまり

適切ではないのではないか」ということを付け加えても構いません。

参考図書

- 南風原朝和・市川伸一・下山晴彦編著『心理学研究法入門』東京大学出版会、2001年
南風原朝和・市川伸一・下山晴彦著『心理学研究法』放送大学教育振興会（NHK 出版）、2003年
高野陽太郎・岡隆編『心理学研究法』有斐閣、2004年
『心理学マニュアル 研究法レッスン』『心理学マニュアル 面接法』『心理学マニュアル 観察法』『心理学マニュアル 質問紙法』『心理学マニュアル 要因計画法』北大路書房、1997～2000年
高橋順一ほか編著『人間科学研究法ハンドブック』ナカニシヤ出版、1998年
日本発達心理学会監修『心理学・倫理ガイドブック』有斐閣、2000年
『発達研究の技法』『臨床心理学研究の技法』『社会心理学研究の技法』『性格研究の技法』『認知研究の技法』（シリーズ・心理学の技法）福村出版、1999～2000年
『心理学研究法』（1～17）東京大学出版会
W. J. レイ著・岡田圭二訳『エンサイクロペディア 心理学研究方法論』北大路書房、2003年
森正義彦・篠原弘章『心理学研究法』培風館、2007年
伊藤正人『心理学研究法入門』昭和堂、2006年
吉田寿夫編著『心理学研究法の新しいかたち』誠信書房、2006年
大山正ほか著『心理学研究法』サイエンス社、2005年
丹野義彦編『臨床心理学研究法』誠信書房、2004年
山本力・鶴田和美編著『心理臨床家のための「事例研究」の進め方』北大路書房、2001年
鈴木淳子著『調査的面接の技法』ナカニシヤ出版、2002年
末永俊郎編『社会心理学研究入門』東京大学出版会、1987年
やまだようこ編『現場（フィールド）心理学の発想』新曜社、1997年
田尾雅夫・若林直樹編『組織調査ガイドブック』有斐閣、2002年

※この科目の1単位めに取り組むにあたってのアドバイスが本学ホームページ上で視聴可能です。『学習の手引き』記載の要領をご覧ください。

心理学研究法Ⅱ

科目コード●050509

担当教員●木村 進・白井 秀明
中村 修・佐藤 俊人 ほか

2 単位

SR

2 年以上

福祉心理
必修

科目の内容

この科目は、「心理学研究法Ⅰ」とセットですが、心理学において使われる代表的な方法について、基本的な理解を図ることを目指しています。代表的な方法の一つである「実験法」については、別に「心理学実験Ⅰ」、「同Ⅱ」、として科目が設定されており、さらに「心理学研究法Ⅰ」において、観察法、面接法、質的分析、質問紙法の4つについて学習します。

この「心理学研究法Ⅱ」(2単位)は、スクーリングを6コマ分受講した後にレポート課題に取り組むということになります。

スクーリングにおいては、検査法の実習と調査法のデータ分析(心理統計)の実習を行います。受講生の人数によりますが、1日めの最初に2コマが検査法実習、1日めの3コマめが統計法についての講義、2日めに3コマを使ってデータ分析の実習を行うという予定です。実習はいくつかの小グループに分かれて行うこととなります。実習内容の概要は以下のとおりです。

- (1) 検査法実習(担当 木村 進ほか)
 - ①検査法一般についての講義
 - ②性格検査(「矢田部ギルフォード性格検査」〈Y-G検査〉)の実施と結果の整理
- (2) データ分析実習(コンピュータ使用)(担当 白井秀明ほか)
 - ①心理統計学の基礎についての講義
 - ②統計処理(有意差検定、相関分析等)実習
 - ③結果の読み方についての解説

教科書 教科書(「心理学研究法Ⅰ」と共通)

スクーリング受講申込者に配布

心理学研究法一般については『福祉心理学科スタディ・ガイド』も参考にしてください。

スクーリング受講条件

- (1) スクーリング申込み期日（8月分は7月28日／3月分は2月13日）までに、福祉心理学専門必修科目・選択科目A群のなかから7科目分のレポート（4単位科目は4課題などその科目の全てのレポート）を提出していること（実験科目を含めて可）。
- (2) スクーリング事前学習（その1）をすませてくること。スクーリング受講申込み者には、あらかじめ「Y-G 性格検査の解説」と「心理統計学についての基礎知識」のプリントを送る予定にしています。プリントに書かれている内容は、実習の最初の時間に説明しますが、そのプリントの内容が頭に入っていると、理解が的確にでき、スムーズに実習に取り組めると期待されます。できるだけきちんと読んで理解してくるよう努力してください。
- (3) スクーリング事前学習（その2）『福祉心理学スタディガイド』Ⅲ章を読み、内容を理解したうえで原則的な研究の流れについて要約レポートを作成し、スクーリング初日開始時間に提出していただきます（事前郵送は不可。必ず当日持参）。

要約レポートの作成要領は下記のとおりです。

- 1) A4判用紙（または原稿用紙）使用1,000字以上 ワードプロ・パソコン可（手書きも可）。
- 2) 要約は、文中太字の語句を中心に、自分なりの理解でよいのでまとめてください。また、「独立変数」「従属変数」「仮説」「構成概念」という4つの用語を必ず用いてください。書式は自由（箇条書きや図解の使用も自由）です。
- 3) この要約レポートはスクーリング受講の予習にあたるものです。スクーリング評価の採点対象にはしませんが、スクーリング開始時間に提出しなかった場合は、スクーリングが合格にならないこともあります。なお、返却はしません。

レポート課題

1 単位め

課題1・2に分けて、スクーリング受講中、または受講後9月1日まで（3月受講者は3月17日までに）提出すること

課題1 性格検査の結果として示された自分の性格についてデータに基づいて解説し、その結果と日ごろ自分が認知している自分の性格との異同について論じなさい。

課題2 当日わたされたデータを統計的手法を用いて分析し、その結果をわかりやすく整理した後、仮説が支持されたか否か検討しなさい

※これらの課題のレポート用紙は当日配布します。

2 単位め

スクーリング受講後に提出すること

パーソナリティ検査における質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べ、それぞれ代表的な検査の2～3について解説しなさい。

アドバイス

1 単位めのレポートは、スクーリング時に指示する方法で提出してください（スクーリング期間中提出でも9月1日（3月受講者は3月17日）必着で郵送でもよい）。

1 単位め
課題1
解説

この実習は、第一に、とりあげた性格検査の実施方法および結果の分析法を正確に理解することが目的です。Y-G 検査の実施については、受講生一人一人に体験してもらうことはできないので、デモンストレーションになりますが、やり方はそれほど難しくありません。したがって、実習のポイントは、結果の整理の仕方についてきちんと理解することにあります。資料および説明をしっかりと理解して、きちんと整理・分析をしてください。それを前提にしてレポート課題が設定されています。その内容は、下記の通りです。

(1) Y-G 検査の結果をきちんと読んで、結果に表れた自分の性格についてまとめる。

ここでは、あくまで性格検査の結果に基づいて自分の性格がどうであるかを明らかにします。類型だけでなく、それぞれの性格特性および性格特性どうしの関連性まで解釈の対象にして、できるだけ詳しく自分の性格を明らかにしてください。

(2) 次に、その結果と、（性格検査とは関係なく）日ごろ自分が抱いている自分の性格とを比較してみてください。(1)はあくまで使用した性格検査の結果であって、自分が認知している内容と合っている部分もあればそうでない部分もあるはずです。そういうことを明らかにしてください。

(3) できれば、(2)で明らかになった食い違いがどこから来るかについて考えてみてください。

[注] 解説の部分で述べたように、このレポートは、実習がきちんとできているかということを第一に重視しています。したがって、レポートを提出する際に、きちんと結果の整理が終わっている検査用紙を添付する必要があります。もちろん、レポートの内容が問題ですが、検査用紙が添付されていない場合、あるいは、結果の整理が指示通りにできていない場合は、「不合格」(再提出) となります。注意してください。

1 単位め
課題2
解説

スクーリングの実習では次のことを行います。まず、ある仮説を確かめるための架空の調査研究によって得られたデータが入力されてあるフロッピーディスクをお渡しします。そのデータに対して統計処理ソフト SPSS を使って「t

検定」「 χ^2 検定」「相関分析（無相関検定）」を行い、それらの分析結果から、仮説が支持されたか否かについて判断する、という練習をしていただきます。

レポート課題では、実習時とは異なる研究例のデータに対して、

- ・ 仮説の検討に用いる分析手法を選択する
- ・ SPSS を用いて実際に分析する
- ・ どういう結果となったか、文章と表でわかりやすくまとめる
- ・ 仮説が支持されたか否か結論を下す

ということをお一人で作業していただきます。

多くの受講生にとっては、何のために統計処理をするのか、また、その結果は何を意味しているかということについては、ほとんど知識がなく戸惑うことが多いのではないかと予想されます。その点については、実習の最初に行う講義（解説）で説明しますので、講義をきちんと聴くということと、ある程度予習をして「統計学」ということについても基礎的な学習をしてくることを期待しています（前述の「事前学習」参照）。

2単位め 解説

スクーリングを受講した人が、「2 単位めのレポート課題」に取り組むことになります。

2 単位めのレポートは、通常のレポート用紙に記入して、提出してください。

パーソナリティ検査（性格検査）は、検査の仕方によって「質問紙法」「投影法」「作業検査法」などに分類されます。この課題は、まず、それぞれの方法について、その考え方、長所と短所などについて解説することが求められています。そして、それぞれの方法を使った代表的な検査（スクーリングで使用する「Y-G 検査」は除く）を 2～3 選んで、その検査の作成の経過、特徴、内容、実施方法、分析方法などについて説明するというのが、課題の後半部分です。

なお、この課題は、

- (1) 質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べる部分
- (2) それぞれの代表的な検査の 2～3 について、検査の作成の経過、特徴、内容、実施方法、分析方法などを解説する部分

で構成する必要があります。

ただし、(2)で 3 種類× 2～3 の合計 6～9 個の検査についてくわしく述べていくと 2,000 字はおろか 4,000 字でもまとめきれない場合があります。

つきましては、4,000 字でもまとめきれないとお感じの方は、(2)の部分では、質問紙法・投影法・作業検査法のそれぞれ代表的な検査の 1 つについてまとめていただくか、または、全体で 1 つの検査についてまとめていただいても結構です。

(1)の「質問紙法・投影法・作業検査法の特徴について述べる部分」がこの課題の中心と

なりますので、(2)については簡略にまとめてください。

なお、2単位めの課題では、レポート用紙のp.9～16まで使用し、4,000字程度まででまとめていただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。もちろん2,000字程度でも結構です。

「心理学研究法Ⅱ」はスクーリング科目なので、このレポート課題よりも、スクーリングにおける実習に重点が置かれています。したがって、このレポート課題は、適当な参考書を見つければ書ける内容になっています。参考書入手が困難な受講生は、スクーリングの際に図書館を利用して、レポートの材料を集めておいた方がいいでしょう。なお、参考文献を明記することを忘れないでください。

参考図書

●心理検査に関するもの

- 松原達哉編著『心理テスト法入門 [第4版]』日本文化科学社、2002年
大村政男・花沢成一・佐藤誠著『心理検査の理論と実際 (第4版)』駿河台出版社、1998年
塩見邦雄編著『心理検査ハンドブック』ナカニシヤ出版、1998年
岡堂哲雄編『心理検査学 (増補新版)』垣内出版、1993年
渡部洋編著『心理検査法入門』福村出版、1993年

●心理統計に関するもの

- 吉田寿夫著『本当にわかりやすいすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房、1998年
岩淵千明編著『あなたもできるデータの処理と解析』福村出版、1997年
大村平著『改訂版 統計のはなし』日科技連、2002年
松田文子ほか著『わかって楽しい心理統計法入門』北大路書房、2007年
丸山欣哉ほか著『学生のための心理統計法要点』ブレーン出版、2004年
山内光哉著『心理・教育のための統計法<第2版>』サイエンス社、1998年
山田剛史・村井潤一郎著『よくわかる心理統計』ミネルヴァ書房、2004年
南風原朝和著『心理統計学の基礎』有斐閣、2002年
神宮英夫著『はじめての心理統計』川島書店、1998年
田中敏著『実践心理データ解析』新曜社、1996年
森敏昭・吉田寿夫編著『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』北大路書房、1990年

スクーリング受講上の注意

3月のスクーリングを受講して3月末に卒業することはできません。

人格心理学

科目コード●050511

担当教員●皆川 州正



4 単位

R

2 年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

ある状況で人はその人なりの思考や行動をとります。しかも、別なときの同じような状況でもその人はその思考や行動をとりがちです。このように一貫性と持続性をもったその人特有の思考や行動の特徴的傾向の体系を「人格」といっています。「人格」と「性格」はほぼ同じ意味で用いられますが、区別するときは、「人格」は態度、興味、価値観などを含む心の全体的特徴を指し、「性格」は主として感情や意志の側面の特徴を指します。

人格心理学では、①個人の全体性と独自性の記述と理解、②個人差の理解と予測、③自我・自己の理解、④人格の発達・形成過程の理解、⑤自己成長・人格変化の過程の解明と援助、⑥人格の障害・病理、⑦人格と健康の関連、⑧人格の理解の方法などについて学びます。

教科書

岡田斉編『臨床に必要な心理学』(第3章) 弘文堂、2006年

レポート課題

1 単位め	【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。 ① ミッシェルの状況論の意義について ② 学習性無力感とその克服のための援助について ③ 自己概念の意義について ④ 認知の歪みが感情や行動に及ぼす影響について
2 単位め	類型論の一つをとりあげ、その類型論の観点から、ある物語の登場人物について記述し、理解を試みなさい(物語のあらすじも付けること)。
3 単位め	力動的構造論の一つをとりあげ、その力動的構造論の観点から、心理的不適応の具体例について考察しなさい。
4 単位め	人格諸理論の視点から自己分析を試みて、その感想とコメントを述べなさい。

(平成19年度以前履修登録者) 2008年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2007』記載の課題でも2009年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。なお、旧課題の1単位めが新課題の2単位め、旧課題の2単位めが新課題の3単位めに変更されています。同じ課題を提出することのないように、旧課題の1・2単位めのみ合格している方は3・4単位めも旧課題で提出してください。旧課題の3・4単位めのみ合格している方は1・2単位めは新課題でも旧課題でも結構です。

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より教科書が変更になり、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

人格の研究方法として、伝記・日誌法、フィールドワーク、実験法、自然観察法、面接法、観察法(客観的評価法)、尺度・質問紙法、投影法などがあります。人格について理解を深める際も、単に知識として学ぶだけでなく、人格の研究法を参考に実際の日常生活場面での人格にアプローチして考えていくことが望まれます。その際、他人の性格に対する私たちのとらえ方の癖や歪み(寛大化傾向、中心化傾向、近接誤差、対比誤差、年功誤差、ハロー効果、論理的誤謬、傾性帰属傾向など)についてよく知っておくことが大切です。第5章の1のBの[1]の(1)(2)(p.66~67)も参照してください。また、あいまいな状況では、評価者の善悪の価値・期待・願い・恐れ・不安なども無意識に投影されて理解されがちです。

第3章の2では、人格のさまざまなとらえ方について述べてありますので、よく読んで、その背後にある人間観の違いについても考えてみてください。

レポートの作成にあたっては、テキストをよく読んで、その内容をよく理解してください。その際、①知識の理解、②具体的な場面での理解、③テキストの執筆者の見方や意図の理解、④家庭・仕事・教育・臨床などの場面での応用を心がけるとよいでしょう。また、知識の理解に際しても、心理学的な見方や考え方に目を向け、理論や学説が生まれた経緯や背景も考えながら読み進めるとよいでしょう。さらに、テキストだけでなく、各自でいろいろ調べて深めてください(2単位め~3単位めの課題については、テキスト以外に少なくとも2冊以上の専門書を参考にしてください)。

1単位め 解説

①テキストの第3章の2のC(4)(状況論と相互作用論)を参考に取り組んでください。ミッシェルが特性論に疑問を抱くようになった経緯や状況論がその後のパーソナリティ研究に与えた影響も調べるとよいでしょう。

- ②テキストの第3章の2のE(2)(不適応行動の学習)を参考に取り組んでください。克服のための援助については、第3章の2のE(3)(社会的学習理論と自己効力感)や第3章の2のD(5)(1)(個入心理学)、第9章の1のC(動機づけの理論)も参考になります。なお、学習性無力感(セリグマン、M)によって発見された心理学的知見です。彼の著書は日本でも翻訳されていますので、一読をお勧めします。
- ③テキストの第3章の2のF(3)(ロジャーズの自己理論)を参考に取り組んでください。また、第4章の1のB(2)(青年期の発達課題)および第11章の1のD(4)(ナラティブセラピー)も関連しています。
- ④テキストの第3章の2のG(2)(認知の個人差)を参考に取り組んでください。代表的な認知の歪みについては、第11章の1のC(2)認知療法に詳しくのっていますので、参考にしてください。

2単位め 解説

テキストの第3章の2のB(類型からみる)をよく読んでから、物語(昔話、民話、神話、童話、小説、マンガ、ドラマ、映画など)の登場人物を類型にあてはめてみるとよいでしょう。題材の物語としては、類型にあてはまる典型的な人物が登場するものを取りあげた方が考察しやすいでしょう。また、物語に登場する複数の人物について考察するとよいでしょう。

考察にあたっては、そのタイプの良さを生かすことになった状況や周囲の対応、あるいはタイプの良さを損ねることになった状況や周囲の対応、登場人物の類型相互の関わり合いなどについても考えてみるとよいでしょう。なお、テキストの第3章の2のBの[3]に述べてあることを一般化すれば、人間関係では、異なる類型は理解しがたく(それ故に自分にはない魅力を感じることも)、同じ類型は理解しやすいとなります。また、その人の人格的成長や物事の達成は、他の類型を認め、互いに補い、協力し合うようになったときにもたらされ、悲劇や行きづまりは、自分の類型に固執したときに生じやすいと考えられます。これらの点についても、物語を通して考察してみてください。

テキストでは、3つの類型だけを解説していますが、表3-3(さまざまな類型論)を参考に、他の類型についても調べてみてください。

また、課題には出していませんが、第12章コラム(p.217~218)を参考に人格と健康の関連や第3章のC(特性からみる)を参考に特性論と状況論と相互作用論についても把握しておくことが望まれます。

3単位め 解説

テキストの第3章の2のD(力動的構造からみる)と第11章の1のA(精神分析と分析心理学)あるいは第11章の1のE(交流分析)をよく読んで取り組んでください。力動的な人格理論は、障害や心理的不適応を説明するために

臨床的知見から得られた理論でもあります。心理的不適応の具体例については、身近な人や社会的な事件、臨床的な事例などをとりあげて理解を試みてください。そして、テキストを参考に、力動的構造論の立場から、その具体例の人に対してどのように援助していったら心理的適応を促すことになるかについても考えてみてください。

4単位め 解説

人間の目は前についていて外を向いています。ある人は、このことから、自分を振り返り、自分の内に目を向ける人は少ないといいます。また、ソクラテスは「汝自身を知れ」といい、己の無知さをまず知ることを説きました。他方、インドには、ソクラテスを訪ねた修行者が「あなたの哲学は何か」と問うたところ、ソクラテスは「自分自身を知ること」と答えたので、その修行者は「人間の本質を知らずして自分自身を知るなんて不可能」と思い、早々に帰ってきたという話が伝わっているそうです。それほど自分自身を知することは難しいものです。

自分自身を知ることが難しい理由を心理学的にみた場合に、防衛機制と自我関与の働きがあります（加藤、2001）。自己分析に際して、防衛機制が働くと、知的に理解することで無意識に自分の感情に直面することを避けたり、〇〇だから仕方がないとあきらめたりするようになります。また、自我関与が働くと、自分のことだけを考えて、相手がどんな気持ちでいるかをなかなか考えられなくなったり、考えても自分の都合のいいように考えてしまったりします。そうすると、自分の感情（葛藤する感情や隠れた動機など）を見つめること、相手の気持ちに目を向け、相手の気持ちにそって考えることで自己分析の幅も広がるでしょう。

自己分析を行う際には、まずテーマをしぼります。最近イヤなこと、恥ずかしかったこと、癢に障ったこと、ガックリきたこと、あわてたことなどを思い出して、焦点をしぼって、そのときの自分について分析を行います（加藤、2001）。

次に人格諸理論の視点から自己分析を行います。テキストの第3章だけでなく、第11章も読むと役立つと思います。以下に要点を述べますので、参考にしてください。

- (1) 類型論：自分の類型について知るとともに、相手の類型の良さを生かせる状況作りを図ったかどうか、相手の類型の短所を補うように助けたかどうかを振り返ります。
- (2) 特性論：自分の特性や相手の特性の病理的特徴を一般的特徴に言いかえてみます（たとえば、「臆病な人」は「とても控えめな人」というと印象が変わる）。そして、その特性を認め、その特性を十分に出せる状況や新たな行動の付加を考えてみます（たとえば、立食パーティでは大いに控えめにしていので、周囲をよく観察してコップや料理の皿が空になっている人にはそっとビールをついだり料理を届けたりするなど）。
- (3) 力動的構造論：精神分析理論によれば、現実生活での外傷的体験やストレスを振り返るとともにそれ以前（主に子どもの頃）に性愛的（愛情・依存）欲求や攻撃欲求などで

葛藤し、抑圧してこなかったかどうかを振り返り、抑圧してきた欲求を社会的に認められる形で満たす方法を考えます。個人心理学によれば、問題行動を通して自分は本当には何を望んでいるのか（行動の目的）を振り返り、問題行動以外で目的を達するやり方を考えます。交流分析理論（p.41、p.187～190）によれば、自我状態をとらえ、高い自我状態での行動に偏っていないかどうかを振り返り、低い自我状態を高めるようにします。また、自分が繰り返しやすいゲームのパターンや人生脚本に気づき、ゲームからの脱却や再決断を行います。

- (4) 学習理論：自分の問題行動について先行する手がかり刺激や強化について振り返ります。そして、段階的に目標行動に向かうことや目標行動の誘導の工夫（マークをつける、自己会話（「落ち着け」など）をするなど）、社会的スキルの訓練、役割遂行や自己選択による自己効力感の向上、セルフ・モニタリング（自ら毎日測定記録をつける）などを図ります。
- (5) 人間性心理学：自己概念を振り返り、経験していること（自分の感情や欲求など）に目を向けるようにします。
- (6) 認知論：認知の歪み（p.179～180）について振り返り、別の考え方や取り組みを図ります。

なお、人生の意味の探究（p.46）や自分についての物語（p.45）、ソリューション・トーク（p.184～185）も、新たな視点や問題行動と偽解決の悪循環パターンから抜け出すヒントを与えてくれるので、参照してください。

参考図書

遠藤辰雄編『セルフ・エスティームの心理学——自己価値の探究』ナカニシヤ出版、1992年

加藤孝義著『パーソナリティ心理学——自分を知る・他者を知る』新曜社、2001年

河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館、1967年（※ユングの類型論について詳しい）

小林正幸・相川充編『ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 小学校——楽しく身につく学級生活の基礎・基本』図書文化社、1999年

前田重治著『図説 臨床精神分析学』誠信書房、1985年

本明寛他編『性格心理学新講座』全6巻、金子書房、1989～1990年（「性格の理論」「性格形成」「適応と不適応」「性格の理解」「カウンセリングと心理治療」「ケース研究」）

大淵憲一・堀毛一也著『パーソナリティと対人行動』誠信書房、1996年

小川捷之・詫摩武俊・三好暁光編『パーソナリティ』（臨床心理学大系第2巻）金子書房、1990年（※自我・自己、人格の障害について詳しい）

小野直広編『生徒指導』（新教育心理学体系3）中央法規出版、1993年

(※人格の理解の方法について詳しい)

- M. セリグマン著 山村宜子訳『オプティミストはなぜ成功するか』講談社、1994年
- 清水弘司著『はじめてふれる性格心理学』(ライブラリ心の世界を学ぶ3)サイエンス社、1998年
- 杉山憲司・堀毛一也編『性格研究の技法』福村出版、1999年
- 瀧本孝雄著『性格のタイプ——自己と他者を知るための11のタイプ論』サイエンス社、2000年
- 詫摩武俊監修『性格心理学ハンドブック』福村出版、1988年
- 詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊編『性格心理学への招待(改訂版)——自分を知り他者を理解するために』サイエンス社、2003年
- 詫摩武俊・鈴木乙史・清水弘司・松井豊編『人間と性格』シリーズ全8巻、ブレーン出版、1999～2001年(「性格の理論」「性格の発達」「性格と対人関係」「性格の変容と文化」「性格研究の拡がり」「性格の測定と評価」「性格の不適応」「性格の病理」)
- 丹野義彦著『性格の心理——ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ』サイエンス社、2003年
- 戸田まり・サトウタツヤ・伊藤美奈子著『グラフィック性格心理学』サイエンス社、2005年
- 山崎勝之・島井哲志編『攻撃性の行動科学 発達・教育編』ナカニシヤ出版、2002年

教育心理学

科目コード●050513

担当教員●白井秀明



2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
選択 A

科目の内容

「心理学」の中で最も有名な研究のひとつに、エビングハウスが行った記憶の研究があります。「ひとはなぜ忘れるのか？」という記憶や忘却のメカニズムをはじめて科学的に研究したからです。一方、その「心理学」の一分野である「教育心理学」では、同じ記憶や忘却を研究するのに、「どうしたら忘れなくなるか？」という発想をします。この発想の違いが、教育心理学とはどういう考え方をする学問か、ということを考える際の手がかりになると思います。えっ、まだよくわからないって……。

では、ズバリ言いましょう。教育心理学的に考えるとは、“学ぶ人の味方になって考える”ことなのです。子どもであれ大人であれ何かを学ぶ人は、まちがったりつまずいたりすることもある、それはきっと彼ら彼女らなりの理由があるにちがいない、その“言い分”にじっくり耳を傾けて、その対策を考えてみようじゃないか、というわけです。ですから、子どもに何かをわかりやすく教えたいと思っている先生、いやなにも学校教育に限らず、人と楽しく教育的なかかわりを持ちたいと思っている人にとって、少しでも役に立つ知識や技術や考え方、そういうものを提供するのが教育心理学だと考えています（かなり私の希望が入っていますが）。

本科日で使用する教科書には、算数や国語などの具体的な教え方はほとんど書かれてありません。でも、“学ぶ人の味方になりたい！”と考えている人にとっては、大切な考え方や研究が数多く紹介されています。「ほほう、こういう考えや研究は学ぶ人に味方になっているな」などと読み進めていただければ、と思います。もちろん、ご自分の「教育」「学習」「発達」などに対する考え方とつきあわせて読むということも大切なことです。教科書に書いてある心理学者の名前や考え方をただ記憶するだけでは、教育心理学って面白いな！とは感じてもらえないと思うからです。

教科書

永野重史編著『教育心理学——思想と研究』放送大学教育振興会、1997年

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

1 単位め	「知識観」「学習観」「動機づけ観」「学習環境観」「教育評価観」「教師観」からひとつ選んで、「行動主義」と「認知主義」の考え方の違いを、具体例を挙げながら説明しなさい。
2 単位め (課題1、2選択)	課題1 (認定心理士、精神保健福祉士受験資格取得希望として届出をしている者、その他教職免許状取得希望者以外はこちらを解答すること) ヴィゴツキーの「発達の最近接領域説」は、どんなところが“学ぶ人の味方”になっている考えか。ピアジェの「発達段階説」と対比させて説明しなさい。 課題2 (教職免許状取得希望として届出をしている者はこちらを解答すること) 「学習障害 (LD)」「注意欠陥多動性障害 (ADHD)」のどちらかひとつを選び、そうした障害を持つ児童・生徒の行動特徴を整理し、もし自分が彼ら彼女らの担任になったとしたら、どんなことを大切にしておきたいと考えるかについて述べなさい。

アドバイス

レポートを書くにあたって、教科書だけに頼るのではなく、教科書や文末に紹介されている参考文献などからの“輸入”は大歓迎です(“輸入元”はレポートに明記してください)。“わかること”と“わからなくなること”が交互に繰り返される、それが何かを学ぶ筋道だと考えるからです。

1単位め 解説

「～観」というのは、ものごとに対する見方、考え方のことです。「行動主義」と「認知主義」では、学習についてだけでなく、さまざまなことに関する考え方が異なります。教科書の3章、4章だけでなく、9章や10章にも、両者の違いが書かれてあります。まず、これを読んで両者の違いについて整理してください。

それから、課題に書いてある「知識観」～「教師観」の中からひとつ選んで、ご自分が読んだり、見たり、聞いたりしたこと、特に、今までのご自分の教育体験の中で、「行動主義」と「認知主義」の考え方のそれぞれに当てはまる具体例をさがしてください。なにもかたく考える必要はありません。「こんな先生がいたけど、これは行動主義的な考え方をもった先生だったのではないか」とか、「生徒のやる気を出すためにこんなことをした先生がいたけど、これは認知主義が主張する内発的動機づけになっていたのではないか」とか「今まで自分は勉強するってこう考えてやってきたけど、そういう考えって行動主義的な学習観になっていたのではないか」とか「こういう問題を解いているときに、こうい

う“あーわかった！体験”をしたけど、認知主義の先駆であるゲシュタルト心理学が主張した洞察のことだったのか”などなど、自由にそして大胆（!?）に、具体例探しをしていただきたいのです。面白いエピソード、お待ちしております。

2単位め
課題1
解説

ポイントは、「発達」に対する「教育」の役割を、両者がどう考えているかです。もちろん、ここでいう教育とは、学校教育だけでなく、社会的・文化的経験などを含めたもっと広い意味での教育活動のことです。間違いやつまずきを示す、いいかえると、発達が滞っている人に対して教育活動を受動的・消極的にとらえているのはどちらでしょうか。能動的・積極的にとらえているのはどちらでしょうか。まず、「教育」と「発達」の関係に対する両者の考え方の違いを対比的に示して欲しいのです。そして、両者の「教育」と「発達」の関係に対する考え方とご自分の考えとつきあわせた結果、自分は「教育」「発達」についてどう考えるか（考えられるようになったか）も、ぜひ書きいただきたいと思います。

2単位め
課題2
解説

教員免許を取得なさりたい受講者への課題です。まず、発達や学習、さらにコミュニケーション等の面で、こうした障害を持つ子どもたちがどういう行動をしがちなのか、その特徴を調べて整理してください。その上で、自分がそうした子どもの担任になったとしたら、その子どもにとってよりよい成長を少しでもうながすために、どういうことに注意してかわる必要があるのか、いろいろ調べたり考えたりしていただきたいのです。その際、学級の中だけでなく、学校という組織の中、さらには学校外の専門機関との連携など、視野を広げて考えてください。

なお、この課題に取り組むにあたって、教科書ではなく、ご自分で参考となる本を見つけていただきたいのです。いわゆる専門書でなくてもかまいません。もちろん、やさしく書かれてあると思う何冊かは、参考図書として次頁に挙げておきました（こうした障害を持つ子どもやその親を支援する団体が開設しているホームページなどにも、やさしい解説や参考図書などが紹介されています）。これら以外にも参考になる本はたくさん見つけれられると思いますが、いきなり専門的な本に手をつけるのではなく、入門書的な、そして、なるべく具体的にやさしく書かれてある本を何冊かみつけて、まず全体を一読することをお勧めします。そうすることで、障害の種類による違いだけでなく、いわゆる障害を持つ子どもたちとかかわる際に共通して大切な見方、考え方がおわかりいただけるのではないかと、思うからです。

参考図書

園田富雄監修・著 山崎史郎編著『新版教育心理学ルック・アラウンド——わかりたいあなたのための教育心理学』ブレーン出版、1992年
教育心理学の主な領域の内容が網羅されています。初学者が、教育心理学の全体的な骨格を知るには適書だと思います。

宇野忍編『授業に学び授業を創る教育心理学 第2版』中央法規出版、2002年
題名からわかるように、授業実践の実例を豊富に取り上げながら教育心理学の諸問題について書かれてあります。と同時に、学習者の味方になって授業を創っていこうという姿勢が貫かれている、とも言えるでしょう。教員志望の方にはぜひともお読みいただきたい一冊です。

永野重史著『教育心理学通論——人間の本性と教育』放送大学教育振興会、2001年
教育心理学の再入門のために書かれた本です。「教育」「学習」「発達」などに関するご自分の考えをさらに整理する目的でお読みいただけたら、と思います。

参考図書（2単位め 課題2）

茂木俊彦監修、上野一彦編、稲沢潤子文、オノビン+田村孝絵『子どものためのバリアフリーブック 障害を知る本⑧ LD（学習障害）の子どもたち』大月書店、1998年
上野一彦・中根 晃責任編集『わかる LD シリーズ① LD とは何か 基本的な理解のために』日本 LD 学会編 日本文化科学社、1996年
リンダ・J・フィフナー著 上林靖子・中田洋二郎・山崎透・水野薫監訳『こうすればうまくいく ADHDをもつ子の学校生活』中央法規出版、2000年
アリソン・マンデン&ジョン・アーセラス著 市川宏伸・佐藤泰三 監訳 紅葉誠一訳『ADHD 注意欠陥・多動性障害 親と専門家のためのガイドブック』東京書籍、2000年
田中康雄『ADHDの明日に向かって——認めあい、支えあい、赦しあうネットワークをめざして』星和書店、2001年

参考になるホームページ

NPO 法人 えじそんくらぶ <http://www.e-club.jp/>
NPO 法人 アスペ・エルデの会 <http://www.as-japan.jp/>

家族心理学

科目コード●050515

担当教員●西野美佐子



2単位 | R or SR | 2年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

家族は、社会を構成する基礎的集団です。近代社会の中で、家族は徐々に縮小化し、孤立化してきており、これまで家族が果たしてきた役割は試練に立たされています。家族の形態や営みは、その国の歴史的・社会的・経済的影響を受けさまざまな様相を示しますが、人は家族の中で生まれ、家族メンバーが織りなす心理構造の中で成長し、やがて死を迎えます。

家族心理学では、家族のライフコースと発達段階、そのあと、夫婦、親子、きょうだい、そして多世代関係などの家族内心理構造について、そして、次世代を生み育てる営みであるペアレンティング（親らしい行動）の形成について学びます。さらに、システムアプローチに基づいた家族臨床の問題として、児童虐待・家庭内暴力・非行や自殺、子どもの神経症などを引き起こす家族病理、さらに家族への援助や指導が的確になされるために、家族関係のアセスメントと家族関係への心理的介入などについて学ぶことをねらいとします。

教科書

岡堂哲雄編『家族心理学入門（補訂版）』培風館、1999年

レポート課題

1 単位め	家族の発達段階について、それぞれの時期に家族メンバーが直面する危機（発達課題）について、具体例を示して考察し、その解決には何が求められるのか家族のもつ心理構造から説明しなさい。
2 単位め	家族病理について述べなさい。

アドバイス

1単位め
解説

心理学的にみると、家族発達の各段階にはその段階固有の生活の姿があり、家族メンバーは適応と変化を求める課題に直面します。これは家族に緊張と動揺をもたらしますが、この課題に取り組み、新しい段階に適応した再組織化を

することで危機を脱し安定した状態に達することができます。もし、家族が特定の段階のありようにしがみつき、変容を受け入れずその課題の解決が十分なされないで次の段階に進むと、次の発達段階の課題解決も一層難しくなるでしょう。ここでは、これまで提示されてきた主な家族発達段階論を学び、そのうえで家族ライフコースの諸段階の特徴をまとめてください。

テキストでは家族の誕生から崩壊までを6段階の家族発達段階モデルで説明しています。第1段階は新婚期、第2段階は出産・育児期、第3段階は子どもが学童期の時期、第4段階は子どもが10代の時期、第5段階は子どもが巣立つ時期、第6段階が加齢と配偶者の死の時期です。その発達段階で生じやすい問題行動や心理的症状を理解し、家族の健全な発達を促進する心理教育的方法を探求してください。そのために、家族の心理構造を理解するための鍵概念は、境界、連合、パワー、そして家族内コミュニケーションのあり方や家族の地位に見合った期待される役割などです。これらの鍵概念をひも解きながら各発達段階の家族の心理構造についてまとめてください。

2単位め 解説

人は誰でも、家族という複雑な有機体の中に産み落とされ、そこで成長発達していきます。また人は誰も自分の周囲を見渡すと、自分の父親・母親の家族、さらに世代の違う祖父母の家族など多くの家族に出会います。

個人の成長発達の理解は、家族という心理的な構造を持った集団との関連や、家族を取り巻くコミュニティや社会、さらに大きな生態系との関連で理解することが不可欠です。

この考え方から家族病理を考えると、家族というシステムは、家族メンバー間の関係と、それを取り巻く環境との間で作られている人間関係等によって理解することができます。たとえば、夫婦は家族の中で父親と母親という役割も担うが、社会や家族とどのようなつながり方をし、どのような形でそれぞれの役割を果たしているのか、親たちにとって子どもとの関係はどんな関係を作り出しているのか、多世代家族では原家族の親たちと娘・息子家族メンバーとの関係を規定しているのは何か、その家族特有な、あるいはどの家族にも見られるルールやコミュニケーションのやり方が見分けられれば、家族関係、家族病理を理解する手立てとなるでしょう。家族病理の事例に基づき論じてください。

参考図書

教科書に参考提示してある文献をみてください。

心理アセスメント

科目コード●050519

担当教員●渡部純夫



2 単位

R or SR

2 年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

悩みを抱えているクライアントに心理的援助を行おうとするとき、クライアントを多面的、総合的、全人的な角度からとらえることが必要になります。そのためには、クライアントの生育歴やパーソナリティ、環境などの情報を科学的にとらえ、客観的に評価・査定することが重要です。この評価・査定の方法がアセスメントです。心理アセスメントでは、特に「面接法」「観察法」「検査法」よりクライアントへの接近を試みることになります。そのとき大事なことは、クライアントの気持ちに寄り添いながら癒しの心を忘れないことです。心理アセスメントでは、これらのことを押さえた評価・査定の学習を行うことになります。

教科書

日本健康心理学会編『健康心理アセスメント概論』実務教育出版、2002年

レポート課題

1 単位め	クライアントを多面的・総合的・全人的にとらえようとしたとき、心理アセスメントにおける「面接法」「観察法」「検査法」をどのように活用していけばよいのか考察しなさい。
2 単位め	パーソナリティの定義を文献と自分の考えから考察し、さらにアセスメントを行うための心理テストを一つ取り上げて、調べたことをまとめなさい。

アドバイス

クライアントの心理を理解するためには、どのようなアセスメントの方法を身につけておかなければならないかをまず学習していきます。心理アセスメントというと、どうしても心理テストに偏りがちなのですが、ここでは「面接法」「観察法」「検査法」の3つの方法について学習を深めていき、総合的なクライアント理解を考えていきます。心理テストに

よるアセスメント（＝検査法）も重要なのですが、「面接法」「観察法」「検査法」はそれぞれ独自の特徴を持っています。その特徴をよくつかみながら、上手に組み合わせて使いこなすことにより、より効果的なアセスメントが可能になります。

また、アセスメントで特に注意を払わなければならないことの一つに、クライアントのパーソナリティの問題をあげることができます。パーソナリティを読み解き理解していくためには、パーソナリティとは何かをまず知らなくてはなりません。その上で、自分なりの考え方をしっかりと身につけていくことが重要になります。パーソナリティの理解は、「面接法」「観察法」でも行われるわけですが、より客観性を求めていくと「検査法」である心理テストに行き当たります。そこで、興味を持った心理テストを取り上げ、自分なりに調べてみることで、心理テストのいろいろな特徴について理解を深めてもらいたいと思います。

1 単位め 解説

- (1) テキスト『健康心理アセスメント概論』の第1章・第2章・第3章をよく読み、アセスメントとは何なのか。その必要性と意義について幅広い観点から学習してください。自分の中のイメージをふくらますことができれば、アセスメントの方法に進んでください。
- (2) アセスメントの方法にはいくつかのものがあありますが、特に「面接法」「観察法」「検査法」の理解を深めてください。「検査法」と関係の深いものに「質問紙法」「心理生理学的測定」があります、あわせて学ばれると「検査法」に関しての理解が広がると思われます。
- (3) それらを、実際の場面を想定しながら自分なりにまとめていくことにより心理アセスメントの方法が自分なりに理解できてくると思います。それを、整理しレポートにまとめてください。

2 単位め 解説

- (1) テキスト『健康心理アセスメント概論』の第5章から第10章までをよく読んで、パーソナリティのアセスメントに関係する事柄について広く学んでください。倫理の問題についても考えを深めてください。
- (2) 次に、第6章を中心にパーソナリティとは何なのかを自分なりに考えてみてください。いろいろな文献にあたり、いくつかの理論・考え方を比較しながらまとめてください。そのとき自分の考えを必ず入れてください。
- (3) 最後に、パーソナリティをみるための心理テストを一つ選んで、それについて文献にあたり調べたことを自分なりに整理しまとめてください。まとめていて湧いてきた感想や疑問についても書いてみてください。

参考図書

- 鈴木睦夫著『TATの世界』誠信書房、1997年
鈴木睦夫著『TAT パーソナリティ』誠信書房、2000年
成瀬悟策著『動作療法』誠信書房、2000年
村瀬嘉代子著『心理療法のかんどころ』金剛出版、1998年
片口安史著『改訂 新・心理診断法』金子書房、1987年
河合隼雄著『心理療法序説』岩波書店、1992年
岡堂哲雄著『心理テスト』講談社現代新書、1994年
藤掛明著『描画テスト・描画療法入門』金剛出版、1999年
岡堂哲雄編集『心理査定プラクティス』（現代のエスプリ別冊）至文堂、1998年
C・コッホ著『バウム・テスト』日本文化科学社、1970年
野島一彦編著『臨床心理学への招待』ミネルヴァ書房、1995年

障害児教育 I

科目コード●050711

担当教員●北岡 侃



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択/資格社会教育
選択B福祉心理
選択B～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

この科目では、各障害児教育の歴史、各障害児の特性、各障害児教育の基本的特性、教科指導と生活指導、自立活動の指導等について学習します。

平成19年度から、今までの特殊教育から特別支援教育への制度が転換され、今までの場に応じた教育から一人一人の教育的ニーズに応じた教育がなされるようになったことが大きな違いといえるでしょう。

障害児は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱身体虚弱、言語障害、情緒障害・自閉症、軽度発達障害、重複障害等でくくられていますが、一人一人の障害の種類・程度・特性等による相違があります。障害児一人一人が、自立し、社会参加していくための資質を高めるため、それぞれの障害の種類・程度・特性に応じ、特別支援学校、特別支援学級、特別支援教室においてきめ細かな教育が行われております。

修得するにあたっては、実際に障害児教育の場を見学するなどして、障害児並びに障害児教育についての理解を深めることが大切なことでしょう。また、社会のノーマライゼーションの進展、障害者の自立と社会参加の推進、インクルージョン教育の推進等の大きな流れを把握しつつ、障害児を理解し、教育指導の在り方を考えていかなければなりません。

教科書

佐藤泰正編『特別支援教育概説』学芸図書、2007年

(平成18年度以前履修登録者) 2007年4月より、教科書が変更になり、レポート課題が一部修正されています。これまでの教科書(三訂版、四訂版)や『レポート課題集 2006』記載の課題でも2008年9月までは提出できますが、特別支援学校制度創設にともない、その内容をふまえたうえで、解答してください。スクーリング受講時は、今年度の教科書持参がのぞましい。

レポート課題

1 単位め	次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。 課題1 視覚障害児の教科指導における一般的な配慮事項について具体的に述べなさい。 課題2 聴覚障害児の「自立活動の指導」の特徴について具体的に述べなさい。
2 単位め	知的障害児の心理的特性を要約し、知的障害児教育の基本的特性について具体的に述べなさい。
3 単位め	次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。 課題1 脳性まひ児の発達の特徴について述べるとともに、肢体不自由児（運動障害児）教育における4つの教育課程について述べなさい。 課題2 病虚弱児の心理的特性について述べるとともに、生活指導上大切なことについて具体的に述べなさい。
4 単位め	次の課題1、課題2、のいずれかを選んで解答しなさい。 課題1 言語障害の種類を簡略に説明し、それぞれの障害について指導の要点を述べなさい。 課題2 学習障害（LD）児、注意欠陥／多動性障害（ADHD）児、自閉症児のいずれかについて、その特性、および教育上配慮しなければならないことを述べなさい。

アドバイス

各課題について、テキストおよび参考図書等をよく読み、自分の言葉で、具体的な事例を織り交ぜるなどしてまとめるように心掛けてください。そのためには、近隣の障害のある人と接するとか障害児の通う特別支援学校あるいは小・中学校の特別支援学級の学校（学級）見学会や文化祭、運動会等へ出向いて、障害児の教育がどのように行われているのかを見聞きして把握することをお勧めします。

1 単位め 解説

テキスト第Ⅱ章「視覚障害教育」もしくは第Ⅲ章「聴覚障害教育」及び参考資料等を熟読し、視覚障害児教育もしくは聴覚障害児教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。また、できれば視覚障害者もしくは聴覚障害児と直接接し、視覚障害教育もしくは聴覚障害児教育のあり方を検討した上で、教科指導における一般的な配慮事項・自立活動の指導について具体的に記述することを望みます。

**2単位め
解説**

テキスト第IV章「知的障害教育」及び参考資料等を熟読し、知的障害児教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。できれば知的障害児と直接接し、知的障害児の能力、特性等を十分理解した上で知的障害児教育の基本的特性について記述することを望みます。

**3単位め
解説**

テキスト第V章「運動障害教育」もしくは第VI章「病虚弱児教育」及び参考資料等を熟読し、運動障害児教育もしくは病虚弱児教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。できれば運動障害児もしくは病虚弱児と直接接し、それぞれの障害児の特性等を十分理解した上で課題に取り組むことを望みます。

**4単位め
解説**

テキスト第VIII章「言語障害教育」もしくは第IX章「学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症教育」及び参考資料等を熟読し、言語障害教育もしくは学習障害・注意欠陥多動性障害・自閉症教育の全体を把握した上でレポートを作成することを望みます。また、可能であれば、いずれの課題も、それぞれの障害児に直接接し障害児を理解した上で取り組むことを望みます。

参考図書

文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領（改訂版）』国立印刷局、2004年

文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校学習指導要領解説 総則等編（一部補訂）』海文堂出版、2004年

文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校学習指導要領解説 自立活動編』海文堂出版2000年

文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校学習指導要領解説 各教科、道徳および特別活動編』東洋館出版、2000年

※学習指導要領は、2008年3月に改正され解説もかわりますので、新しいものを求めて読むようにしてください。

佐藤泰正編著『視覚障害心理学』学芸図書、1988年

佐藤泰正編『視覚障害学入門』学芸図書、1991年

草薙進郎・四日市章編『聴覚障害児の教育と方法』コレール社、1996年

中野善達・斎藤佐和編『聴覚障害児の教育』福村出版、1996年

五十嵐信敬ほか編『教職教養 障害児教育』コレール社、2000年

小出進監修・千葉大学教育学部附属養護学校編著『実践生活中心教育——今を主体的に生きるための生活の総合化』学習研究社、2002年

- 全日本特殊教育研究連盟編『自閉児指導のすべて』(改訂増補版) 日本文化科学社、1998年
- 佐々木正美著『講座自閉症療育ハンドブック』学習研究社、1998年
- 柘植雅義著『学習障害(LD) — 理解とサポートのために』中公新書、2002年
- 吉田昌義・柘植雅義・河村久・吉川光子編著『通常の学級におけるLD・ADHD・高機能自閉症の指導 — つまずきのある子の学習支援と学級経営』東洋館出版社、2003年
- 佐々木正美著『気になる連続性の子どもたち ADHD LD 自閉症』子育て協会、2000年
- 上野一彦・牟田悦子・小貫悟編著『LDの教育 — 学校におけるLDの判断と指導』日本文化科学社、2001年
- 楠本伸枝・岩本英巳・西田清・奈良ADHDの会「ポップコーン」編『ADHDの子育て・医療・教育』クリエイツかもがわ、2000年
- 聴覚・言語障害児教育関係教官連絡会議編『言語障害児教育』日本文化科学社、1989年
- 内須川洸著『言語障害(改訂版)』放送大学教育振興会、1990年
- 斎藤佐和編『特別支援教育の基礎理論』教育出版、2006年
- 前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版、2006年

障害児教育Ⅱ

科目コード●050712

担当教員●北岡 侃



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択/資格社会教育
選択B福祉心理
選択B～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

この科目では、わが国の障害児教育に関する法体系、障害児教育の対象児・目的・目標・教育課程等、就学義務・就学指導・就学措置・就学援助等、障害児教育の学級編制・教職員定数等、わが国の障害児教育の変遷、障害児教育制度の現状と課題、今後の障害児教育の在り方等について学習します。

修得するに当たっては、教科書等を読み、障害児の教育を受ける権利の保障、教育の機会均等などの観点から法の精神と障害児教育制度の現状を照らし合わせてみるとか、社会のノーマライゼーションの進展や特別支援教育の推進等の観点から障害児教育制度の在り方を検討してみることなどが必要です。そのためには、障害児教育の現場を見て考えることが大切です。特別支援学校や小・中学校の特別支援学級などの学校開放・文化祭・運動会等が行われる時に参観し、現状を正しく把握することを望みます。

教科書

森隆夫他編著『必携 学校小六法 2008年度版』協同出版、2007年

※佐藤泰正編『特別支援教育概説』学芸図書（障害児教育Ⅰの教科書）も参考にしてください

（平成18年度以前履修登録者）2007年4月より、教科書が変更になり、レポート課題が大幅に修正されています。これまでの教科書利用の場合、特別支援学校制度創設にともない、その内容をふまえたうえで、解答してください。『レポート課題集2006』記載の課題は2008年9月まで提出できます。

レポート課題

次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。

1 単位め
課題①

特別支援教育の理念と制度の概要について述べなさい。

課題②

特別支援学校および特別支援学級の学級編制と教職員定数、また、特別支援教育担当教員の資格について、根拠となる法令、条文をあげて述べなさい。

次の課題1、課題2のどちらかを選んで解答しなさい。

2 単位め 課題①

わが国の障害児教育の歴史を概括し、特殊教育から特別支援教育に転換されたことについて、あなたの考えを述べなさい。

課題②

特別支援教育が充実していくために、どのような条件整備をしていかなければならないか、現状を踏まえあなたの考えを述べなさい。

アドバイス

平成19年度から障害児教育の制度が特別支援教育になりました。教科書「特別支援教育概要・第1章」その他の参考図書・資料、インターネット等に目を通し、その概要を把握してください。次に各課題ごとの関係箇所を熟読し、理解を深めた上でレポートを作成するようにしてください。また、法令に関することは『必携 学校小六法』により確認するようにしてください。

1 単位め 解説

教科書・参考図書・インターネット上等に、特別支援教育に関する情報が沢山あります。それらで、特別支援教育の理念や基本的な骨組み等を調べるとともに、現状がどうなっているのかを特別支援学校や特別支援教室へ出向いて、実際に参観させてもらったり話を聞いたりすると具体的に理解できるでしょう。

2 単位め 解説

障害のある児童生徒の教育は時代とともに量的に拡大し、質的に向上してきました。また、ノーマライゼーションの理念の進展に伴い、障害のある子供と障害のない子供が可能な限り共に学ぶ教育が推進されてきております。障害児教育の歴史を概括し、現状を把握することにより今後の在り方が見えてくるでしょう。

参考図書

障害児就学相談研究会編集『新しい就学基準とこれからの障害児教育』中央法規、2003年
日本特殊教育学会特殊教育システム検討委員会自治体研究班編『「特殊支援教育」への転換』クリエイツかもがわ、2003年

文部科学省『盲学校、聾学校および養護学校幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導

要領、高等部学習指導要領』改訂版 国立印刷局、2004年

精神薄弱問題史研究会編『人物でつづる障害者教育史』日本文化科学社、1993年

文部科学省特別支援教育課『生きる力をはぐくむために ― 一人一人のニーズに応じた教育』、2002年

文部省『特殊教育百年史』東洋館出版、1978年

文部省『特殊教育120年のあゆみ』電算印刷、1999年

障害児就学相談研究会編集『新しい就学基準とこれからの障害児教育』中央法規出版、2003年

障害児の指導法

科目コード●050715

担当教員●阿部 芳久



4 単位 | R or SR ※1 | 2 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

特別支援教育の現場においては、個々の児童生徒を対象とした指導（身辺処理の指導、言語能力を高める指導等）と児童生徒の集団を対象とした指導（体育や音楽の指導等）が行われています。1単位めと2単位めの課題においては、児童生徒の実態に応じた個別的な指導をどのように計画したらよいかを学習します。3単位めと4単位めの課題においては、複数の児童生徒を対象とした指導、すなわち一斉指導場面での指導をどのように展開したらよいかを学習します。

教科書

阿部芳久著『障害児教育 授業の設計』日本文化科学社、1997年※1

レポート課題

1 単位め	障害児を対象とした個別的な指導の過程で留意すべき事柄を整理しなさい。
2 単位め	障害児を対象とした個別的な指導の指導事例を2つ選び、それらの指導がどのように展開されたかを要約してください。
3 単位め	集団を対象とした授業を質の高いものにするためには、指導目標を設定する際にどのようなことに留意すべきかを述べてください。
4 単位め	集団を対象とした一単位時間の授業を児童生徒にとって充実したものにするためには、学習指導案の「教師の働きかけと指導上の留意点」にどのようなことが記載されなければならないかを述べてください。

アドバイス

まずテキストを熟読してください。さらに、障害児教育関連の教師対象の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）に掲載されている指導実践例を可能な限り多く読んでください。また、可能であるならボランティア活動等を通して実際に障害児と一緒に

動をともにし、指導の対象像を具体的に描いてください。実際に障害児と日々接している方はその障害児を指導の対象とすることを想定し、レポート課題に取り組んでください。

1単位め 解説

まず、個別的な指導の基本を学習します。個別的な指導の過程のそれぞれの過程（「問題の把握」「指導目標の設定」「指導プログラムの作成」等の過程）における重要事項を抽出し、レポートとしてまとめてください。

2単位め 解説

上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）に掲載されている指導実践例から事例研究を2つ選択してください。その事例を熟読し、対象児の実態、指導目標、指導計画（指導プログラム）、指導上の留意点、対象児の変容等の項目を設定し、事例を要約してください。

3単位め 解説

3単位めと4単位めでは、集団の児童生徒を対象とした授業をどのように構成するかを学習します。テキストの第Ⅱ章「授業の設計」における「1 すぐれた授業の条件」「2 単元・題材設定の観点と指導目標の設定」「3 単元・題材の指導目標設定の観点」を熟読し、レポート課題に取り組んでください。上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『発達の遅れと教育』等）に掲載されている指導実践例等も参考にしてください。

4単位め 解説

テキストの第Ⅱ章「授業の設計」における「4 指導計画の作成」「5 学習グループの編成と授業の展開」「6 ティームティーチングの効果的運営」「7 効果的な教示の仕方」「8 一斉指導における個別的対応」「一単位時間の授業の設計」を熟読し、レポート課題に取り組んでください。上述した障害児教育関連の雑誌（『実践障害児教育』『特別支援教育研究』等）に掲載されている指導実践例等も参考にしてください。

参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社

月刊雑誌『特別支援教育研究』日本文化科学社

季刊雑誌『特別支援教育実践情報』明治図書

安藤隆男編著『自立活動における個別の指導計画の理念と実践』川島書店、2001年

※1 この科目のスクーリングは、特例で「知的障害教育」と合併授業で行います。平成20年度より、スクーリング受講時は「知的障害教育」の教科書阿部芳久著『知的障害児の特別支援教育入門』（日本文化科学社）が必要となります（自費で購入のこと）。

・ 資格科目 ・

高等学校教育課程の意義と編成

科目コード●050703

担当教員●吉井 宏



2単位

R

2年以上

社会福祉
資格

科目の内容

1999年3月、高等学校学習指導要領の全面的な改訂が行われ、専門教育の中に新たに「福祉科」が加わりました。またこれに先立って、98年には教育職員免許法が改定されました。そして改定に伴い「教職に関する科目」の中に「高等学校教育課程の意義と編成」が誕生しました。

高校福祉科の教員免許取得を希望する者にとっては基本となる科目です。そこで学習指導要領が示す教育課程とはどのようなものなのか、改訂の要点に注目しつつ、その編成について高等学校学習指導要領の総則に従って理解を深めていくことにします。

教科書

文部省『高等学校学習指導要領解説・総則編（平成16年6月一部補訂版）』東山書房、1999年

（平成16年9月以前履修登録者）平成15年の学習指導要領の一部改正、「中等教育学校」の設置等にともない、教科書の一部が補訂されました。一部改正については、文科省ホームページ等で情報を入手し、学習を進めてください。

レポート課題

1 単位め	学習指導要領上、教育課程とはどのようなものか、また教育課程編成の原則とはどのようなものか、まとめなさい。
2 単位め	学習指導要領改訂の基本方針をふまえて、改訂の要点をまとめなさい。ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい。

アドバイス

課題についてレポートを書くのに、最低、テキスト1冊があれば事足ります。ただし精読しなければいけません。

『高等学校学習指導要領解説・総則編』は、いうまでもなく1999年3月に公示された『高等学校学習指導要領』の第1章総則について、文部省（当時）が解説を加えたものです。学習指導要領そのものではありませんが、これがないと学習指導要領が理解しきれません。

学習指導要領が各学校段階ごとに編纂されるようになって、もう随分年月がたちますが、この形式のままで総則や各教科・特別活動などの細部にいたるまで記述したとすると、膨大な紙数が必要となります。そこで詳述を避け、必要最低限だけを列記したのが現行の学習指導要領ということになります。しかしそれでは読者がさまざまに解釈してしまうおそれが生じます。そうなれば教育課程の基準であるという学習指導要領の基準性が揺らぐことになりかねません。ですから問題が起きないように、旧文部省は公式注釈書を作成する必要があったのです。そのようにして、解説編は学習指導要領が改訂されるたびに文部省自身の著作として発表されてきました。

冒頭で、この1冊を精読すればレポートが書けると述べたのは、そうした事情があったからなのです。ところが実際にテキストを開くと、字面は追えるのに結局何が書いてあるのかよくわからない、という声もしばしば耳にします。確かに意味がつかみにくい文章かもしれません。しかし焦らないでください。真面目に取り組めば取り組むほど悩まされるかもしれません。しかし「読書百遍、意自ずから通ず」といいます。文章がどのような構成になっているかを把握しながら読み進んでみてください。学習指導要領はしばしば教員採用試験にも出題されます。それを意識してノートにまとめてみるのも良いでしょう。頭の中だけでは理解しにくいことも、書いてみると案外簡単にわかるということもあるかと思います。

ただ初めて教職を目指す方は、一見すると何でもないような用語にも十分気をつけてほしいものです。教科と科目の違いはおわかりですか。学校教育の目的と目標との違いについては大丈夫でしょうか。それどころではありません。肝心の「教育課程」の定義まで専門家によって見解の分かれるところです。教育課程は一般にカリキュラムの訳語として理解されますが、特別活動を教育課程には含めるがカリキュラムには含めないという考えがあります。このように厄介なものですから、気になる教育用語は、簡単な用語集などを横に置いてこまめに調べてみてください。

1単位め 解説

教育課程とはどのようなものかといっても、いわゆる教育専門書が教育課程をいかに定義づけているかをレポートせよと言っているのではありません。あくまでも1999年に発表された学習指導要領ではどのように記していますか、ということなのです。しかしそうはいってもまったくイメージが湧かないのも困りますから、まずは「教育課程」とはどのようなものか、その意味を理解してください。あまり高度な

専門書を選ぶ必要はありません。辞書的な解釈だけでもよいのです。

さて、それが理解できたらいいよテキストです。「第2章 教育課程の基準」を開いてみましょう。「第1節 教育課程の意義」では、学校がその学校の教育課程を編成するには、まず教育課程に関する法令や学習指導要領に基づく必要があると説いています。私立学校といえども公教育に携わるからには、国が示す学校教育の目的や目標を逸脱することは許されません。その範囲内で学校独自の目的や目標を定める必要があるのです。次に学校は学校独自のそれらを達成するために、その学校にふさわしい指導内容を選択し組織する必要があるのですが、これも国が示す範囲を守る必要があるということです。そうであれば「第2節 教育課程に関する法制」も、レポートを書くに当たって無視することはできないでしょう。

さあ、ここまでがおよそレポートの前半の課題「教育課程とはどのようなものか」についての解説ということになります。第2章をまとめたなら一気に第3章に読み進みましょう。第3章は「教育課程の編成及び実施」について書いてありますが、あまりここで解説しすぎてみなさんが考える余地を奪ってしまいそうですから、一言だけ触れておきます。レポート後半の課題「教育課程編成の原則とはどのようなものか」については、第3章全体をまとめるよう言っているのではありません。「第1節 教育課程編成の一般方針」の中の「1 教育課程編成の原則」に注目すればよいのです。

以上、テキストでいえば第2章および第3章第1節「1 教育課程編成の原則」をじっくり読んで、まとめてみてください。

2単位め 解説

この課題はテキストの第1章をまとめればよいのですが、要点は3～5ページに掲げられた改訂の基本方針をどのような形で実現化しようとしているのか、理念と具体的な改訂内容との関係を十分見極めてレポートしなければならない点です。1単位めの課題と異なり、おそらく理解しやすい内容だと思いますが、たとえば「総合的な学習の時間」に関する記述が何ページにもわたって分散的に書かれているように、一つのことが一箇所だけに集中して書かれているわけではないことに注意してください。

つまり、10ページの④以外に13ページの⑤にも授業時数のことが触れられていますからそれらをうまくまとめ、結局4ページの④と「総合的な学習の時間」とがどのようにつながっているのかを述べる必要があります。「学校設定教科・科目」についても同様です。1～15ページをいかに要領よくまとめるかが大切です。

レポート課題には「ただし各教科・各科目等の改訂要点の細部については触れなくてよい」と書きましたが、具体的には「第1章第3節3. 各教科・科目等の改訂の要点」(p.16～p.57)は、まとめる必要がありませんということです。ただ54ページ<福祉>はしっか

り覚えて下さい。みなさんが取得を希望している教科だからです。

参考図書

山口満・工藤文三編著『高等学校学習指導要領の展開・総則編』明治図書出版、2000年
徳重眞光・前田克彦編著『高等学校学習指導要領の解説・総則』学事出版、2000年
天野正輝編『教育課程・重要用語300の基礎知識』明治図書出版、1999年

福祉科の指導法

科目コード●050704

担当教員●佐藤 暢 芳 (左)
赤塚 俊 治 (右)



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

平成15年度から高校の改訂学習指導要領に、教科「福祉」が位置づけられました。「福祉科の指導法」は、高校福祉科の社会福祉に関する専門教科の科目ではなく、教科教育法に関する科目である以上、社会福祉の制度や歴史そのものを理解するというより、その理解のさせ方に関する教育実践上の視点、留意点、その教育方法と教材の仕方に関して学ぶ科目です。しかしながら、その内容と展開過程は当然のことながら、社会福祉の基礎知識を体系的に理解するのと同じような考え方が根底になければなりません。

本科目では、「福祉科」を学ぶことの意義、また、福祉のもつ社会的な役割について学ぶことを目的としています。しかも専門教科「福祉」の科目の構成は、教科の目標を達成するとともに、職業資格取得との関連を考慮し、7科目（社会福祉基礎・社会福祉制度・社会福祉援助技術・基礎介護・社会福祉実習・社会福祉演習・福祉情報処理）で構成されているだけに、それぞれの科目に共通した指導法をどのように展開するかが大きな課題となっています。そこで本科目では、今日の社会福祉の動向を的確に把握するとともに、いかにして学ぶ側の生徒の視点に立ちながらわかりやすい授業を展開するための教授の方法と技術、教材教具研究の方法および授業計画の作成方法、具体的な指導計画案などについての可能性を探り、将来の福祉科教員としての資質を高める内容にしたいと考えています。

高校の教科「福祉」は、現行の7科目から9科目に変更となる予定で、新しい学習指導要領は、今年中に告示される予定です。なお、新学習指導要領は、2009年度から一部前倒しで実施され、2011年度から完全導入される予定です。

教科書

大橋謙作編著『福祉科指導法入門』中央法規出版、2002年

文部省『高等学校学習指導要領解説 福祉編』実教出版、2000年

レポート課題

1 単位め	教科「福祉」の科目を具体的に教える際の教育目標を設定し、その考え方を決定する場合、何を教育上留意すべきかを論述しなさい。
2 単位め	教科「福祉」の科目における教材教具決定の技術について論述しなさい。
3 単位め	福祉科教諭の資質について論述しなさい。
4 単位め	社会福祉制度の中から一つの「単元」を取り上げ、その授業の具体的な授業展開について簡潔に論述してください。

アドバイス

「福祉科の指導法」を学習する前に教科「福祉」の創設の理由を知ることが重要です。そのためには、「高等学校学習指導要領」の改訂の背景について考察することが大切です。改訂の背景には、科学技術の発展、社会経済の国際化・情報化、人口の少子高齢化、環境問題の深刻化などの社会状況にあります。こうした社会状況から生み落とされるさまざまな生活問題に対応する人材とその育成が必要となりました。そこで新たに加えられた教科「福祉」の目標については、「社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的・体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てることを重視した」と掲げています。このことは福祉サービスに従事する人材の確保と資質の向上や福祉サービスの多様化に対応するために専門的知識と技術を取得した人材需要の増大を見込んだ改訂とも思われます。

こうした教科「福祉」の目標に沿って、どのような指導法が適切なのかは現在のところ模索の域を越えていないのが現状と思われます。いずれにしても教科「福祉」を学んだ生徒が社会福祉関連の職業に従事するにしても、基本的人権やプライバシーの尊重など自立生活を支援するための態度の必要性を習得した者が『現場』で実践的に行うことが何よりも重要なことです。そのためには「福祉科の指導法」では教育目標と教育内容の考え方を明確にし、より具体的な授業の展開方法を学ぶことが大切です。とくに、生徒の社会的経験、体験が教える側である教員からすると希薄であり、たとえ同じ生活問題を捉えるにし

でも意味内容においてもズレが生じる場合があります。したがって一つの生活問題を取り上げるにしても発問や教材の工夫によっては大きく変わってくる場合があります。そうした点を十分に留意しながら授業を展開することが大切になります。

なお、レポート作成を行う際は、常に学ぶ側の視点にたった指導法を考慮しながら仕上げてください。

1単位め 解説

レポート作成に取り掛かる前に『高等学校学習指導要領福祉編』を熟読してから、教科「福祉」の7科目の教科内容や位置づけについて理解を深めることが重要です。その際、生徒の「福祉」意識・理解の醸成・培養をも視野に入れながら考察することが大切です。その学習が終了した上で、テキストの第1章から第11章までをよく読み、「福祉科の指導法」の基本的な理解に努めてください。とにかく、冒頭にも記述したようにこの科目は社会福祉に関する専門科目ではなく、教科教育法に関する科目であることを忘れないでください。こうした科目の特徴を踏まえながら「教育者として何を生徒たちに教え、また、教えたいのか」、「福祉科の教員として、何を具体的に教え、そしてどのような福祉の内容を生徒たちに教えたいのか」、また、生徒に「福祉とは何か」を具体的に理解させる前に、教える側の教員にとって「福祉とは何か」をきちんと理解しておく必要があります。このような教科「福祉」の特徴を踏まえながら、福祉科教員として生徒たちに現代の社会福祉をどのような方法で教えるべきかを考察して、簡潔に述べてください。

2単位め 解説

授業を開始する以前にあらかじめ、どのような授業をするかについて考えておく必要があります。そのために必要なことは、授業の「計画」であり、授業の「案を練ること」です。一般にこのことは「教材研究」とよんでいます。今回の課題は教材教具決定の技術について論述しなければなりません。教材教具決定の技術とは、「何のために」「何を」教えるかを決める技術のことです。「何のために」は、教育目標であり、「何を」は教材教具にあたります。教材教具決定の技術を明らかにするためには、教育目標と教材教具ということばおよび両者の関係を明確にしておく必要があります。この課題に関する内容については、テキストの第2部を参考にしながら、可能な限り具体的な例を取り上げて書いてください。

3単位め 解説

福祉科教諭の資質を検討する前に、教科「福祉」の創設の理由を知ることが重要です。そのためには、「高等学校学習指導要領」の改訂の背景について考察することが大切です。とくに教科「福祉」の目標を十分に理解するとともに、福祉科教諭を目指す学生は、教育目標と教育内容の考え方を明確にし、より具体的な授業

の展開方法を学ぶことが大切です。前述したように、生徒の社会的経験・体験と教える側である教諭（実習生）とではズレが生じる場合があります。その際、生徒の「福祉」意識・理解の醸成・培養をも視野に入れながら考察することが大切です。そして何よりも「教育者として何を生徒たちに教え、また、教えたいのか」、「福祉科の教員として、何を具体的に教え、そしてどのような福祉の内容を生徒たちに教えたいのか」、また、生徒に「福祉とは何か」を具体的に理解させるためには、教える側である教員にとって「福祉とは何か」を理解しておく必要があります。こうした点を考察しながら福祉科教諭としての資質について論述してください。

4単位め 解説

テキスト第2部第6章の「社会福祉制度の考え方、内容および具体的展開方法」を熟読し、その中で最も関心のある制度を「社会福祉制度」から一つの「単元」として取り上げ、具体的な授業の展開を論述してください。この際、社会福祉制度の位置づけおよび教育上留意すべきポイントと教材例を考えながら、生徒に教えているつもりで論述してください。書き方は、第6章の「具体的な授業展開例」(p.127)を参考にしながら作成してください。表にして書く必要はありません。

参考図書

硯川眞旬・佐藤豊道・柿本誠編著『福祉教科教育法』ミネルヴァ書房、2002年
福祉士養成講座編集委員会編集『新版介護福祉士養成講座1 社会福祉概論』中央法規出版、2002年

特別活動の指導法

科目コード●050705

担当教員●谷津 紘



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

学校において教師と生徒との信頼関係および生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深め、生徒が自主的に判断・行動し積極的に自己を生かしていくことができるようにするにはどのようなことが必要かを考察します。内容としては、特別活動の歴史の変遷、意義・目的、実践的な4つの領域である学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事の内容と指導法を扱ったものとなります。

教科書

江川孜成編『教師養成研究会 教職課程講座 特別活動の理論と方法 [改訂版]』学芸図書、2000年

レポート課題

1 単位め	教育の今日的課題と特別活動の意義と目的についてまとめなさい。
2 単位め	学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事、それぞれの意義とその指導上の留意点について述べなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

まず、日本における現代教育の課題は何かを念頭におきながら、特別活動が教育課程上でどのように位置づけられているかを理解してください。その上で、特別活動を展開することの教育的な意義と目的についてまとめましょう。

2 単位め
解説

テキスト 3～7 章を読み、特別活動の指導原理を踏まえながら、実践的な領域における活動の意義と内容について検討し、その指導上の留意点についてもまとめましょう。

参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

教育方法論 (視聴覚教育等を含む)

科目コード●050706

担当教員●白井秀明



2 単位

R

2 年以上

社会福祉

資格

科目の内容

教育方法学は教育実践にもっとも近い学問分野のひとつであるといわれています。現代の教授理論を学ぶとともに、教育機器利用の意義と方法についても理解を深めることを目的とします。

教科書

多田俊文編『教育の方法と技術 改訂版』学芸図書、2000年

レポート課題

1 単位め	現代の教授理論にはどのようなものがあるか、その特徴について述べなさい。
2 単位め	教育においてコンピュータを利用することのメリット、および利用する上での留意点について述べなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

テキストの3章をよく読んで、日本の戦後から今日にいたるまでの代表的な教授理論を取り上げてその特徴をまとめてください。

2 単位め
解説

教育工学的な視野のもとに、教育方法の改善に寄与する教育機器利用の意義と方法について、およびその利用上の留意点について考察してください。

参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

生徒指導論（進路指導を含む）

科目コード●050707

担当教員●谷津 紘



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

教育臨床的行動問題として、校内暴力、家庭内暴力、いじめ問題、青少年の無気力化と自殺、女子非行の増加、性非行、不登校の増加、引きこもり、薬物乱用、刃物不法所持とつぎつぎと問題行動が登場し、社会問題となっています。

いま学校の中で、最も困難を極めているのが生徒指導だといわれています。そうした生徒指導に関する実態を明らかにすると共に、現実子どもたちの中で起こっている問題行動やその背景にどんな事情があるのかを検討します。

そうした検討をふまえて、生徒指導の今後のあり方を探っていききたいと思います。

教科書

江川玟成編『生徒指導の理論と方法 改訂版』学芸図書、2006年

レポート課題

1 単位め	人格形成上の発達課題と生徒指導との関連について論述せよ。
2 単位め	【説明型レポート：ただし、自分のことば、自分で考えて】 下記について各300字以上500字以内で具体的に説明せよ。 ① 生徒指導の内容と指導原理について ② 生徒理解について ③ 学校教育相談について ④ 反社会的行動と非社会的行動について ⑤ 進路指導の目的について

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より課題が一部変更となりました。『レポート課題集2007』の課題は2009年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

1単位め 解説

人間が成長発達していくためには、それぞれの年代において身につけなければならない課題があります。これは、人間として望ましい「人格」を形成するために生まれたときから成人になるまで習得しなければならない成長の道しるべのことで「発達課題」といいます。

子どもは、それぞれの発達課題に挑戦しながら、その子らしい「個性」や「能力」を伸ばし成長していきます。

生徒指導を行うにあたっては、子どもがどのような発達過程を一般にたどるのかということをも十分認識しておく必要があります。それぞれの発達課題には、普通の子どもの普通な環境下であれば達成されるはずの発達課題があるが、環境がひどく偏っている場合には、その発達課題が達成されず、それがそのときの不適応行動として現れたり、かなり後の問題行動の遠因となることもあります。

子どもの「今」だけを注視すると、しばしば現象に振り回され、対策に追われることになります。

以上のことをふまえて、人格形成上の発達課題と生徒指導との関連について具体的に考察してください。

2単位め 解説

教科書や参考図書などの文献を参照しながら、自身で整理し、まとめとして「自分のことば」で「自分の考え」を与えられた字数内で具体的に説明してください。

参考図書

- 坂本昇一著『生徒指導が機能する教科・体験・総合的学習』文教書院、1999年
松田文子・高橋超編『生き方が育つ生徒指導と進路指導』北大路書房、2006年
原田信之編『心をささえる生徒指導』ミネルヴァ書房、2006年
文部科学省『生徒指導の手引き 改訂版』財務省印刷局
文部科学省『学習指導要領』(中学校・高等学校) 財務省印刷局
文部科学省『中学校指導書 教育課程一般編』財務省印刷局

カウンセリング

科目コード●050708

担当教員●衛藤順子

2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

近年、カウンセリングの需要が高まっています。これは、日本だけではなく世界的な傾向であると言われています。そうした中、カウンセラーの専門化、資格化の動きが進む一方、「心の専門家」についての疑問も提起され始めています。カウンセリングの技法やシステムに関する論述が盛んであるのに対し、カウンセリングとは何かという本質的論議がなおざりにされているように思われます。

本科目では、カウンセリングの理論と技法の基本的な知識を学ぶにとどまらず、なぜ人はカウンセリングを必要としているか、人生におけるカウンセリングの意義、その本質を考えていくことを目的とします。

教科書

- 1) 水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編『カウンセリングを学ぶ』有斐閣選書、1987年
- 2) 追加資料 (A3両面1枚)

レポート課題

本科目のレポート課題は問題形式になっています。専用解答用紙（教科書送付の際同封、再提出分はホームページ「レポート課題一覧」より PDF ファイルで提供）を、うす桃色の表紙（英語の科目で使用するものと同じ）にはりつけて送付して下さい。または、以下の各問題番号を記入したうえでその解答を通常のレポート用紙に記入しても可です。

1 単位め

こんにちは、さまざまなカウンセリング、心理療法が行われていますが、いずれも、それぞれの創始者のきわめて個人的な体験から生み出されたものです。彼らの個人的体験が普遍的価値をもつようになったということが大切です。

カウンセリング、心理療法の創始者について、次の質問に答えて下さい。

1 単位め

問1 次の文中の①から⑮の空欄に適切な語句を入れて下さい。いずれもテキストの文中にある言葉です。(テキスト13～39頁)

- a) ジークムント・フロイトは、(①)年に、現在のチェコ共和国のモラビア地方の小都市フライベルグに生まれました。父親は(②)人で毛織物商人でした。フロイトが4歳の時に、一家はオーストリアの(③)に移住しました。(③)こそ、彼がナチス・ドイツに追われて、83歳の時、(④)に亡命するまで、ずっと住みついた土地なのです。
- b) フロイトが精神分析を創始することに、最も影響を与えたのは、先輩(⑤)でした。(⑤)が扱ったヒステリーの症例O・アンナに、(⑤)は催眠暗示療法を施していたのですが、アンナが「甘える」ことを視てとっていたのです。アンナはこのような状況で感情を吐露したのです。これを(⑥)と呼びます。(⑤)は、このやり方を催眠カタルシスと呼んでいたのです。アンナ自身は、これを(⑦)とか煙突掃除法とも呼んでいました。
- c) フロイトは、治療の方法として、カタルシス療法から(⑧)への道筋をたどるようになります。
- d) アルフレット・アドラーは(⑨)年ウィーンに生まれ、両親はユダヤ人でした。4歳までクル病のために歩行できなく、何度も路上で事故に遭いました。彼は、自分のそのような身体的虚弱の代償として、知的に優秀になることで、それを補ったのです。アドラーは、神経症や性格の形成において重要な役割を果たすものは、(⑩)を克服しようとする(⑪)への意志であると考えました。この(⑪)への意志というのは、F・ニーチェのいう権力意志のことです。
- e) (⑫)は、1875年スイスで生まれました。父親はプロテスタントの牧師でした。彼のなかに強い宗教的色彩があるのは、父親やその一族が教会の牧師であったことと無関係ではないと思われます。母親は、(⑫)にとって複雑で問題の深い人でした。
- (⑫)が3歳のとき、両親は一時別居し、その際(⑫)もひどい湿疹にかかったのです。母親は情緒障害と抑うつに悩まされていたのです。母なるものの二重性、人格には、外面と内面の両面が共存しているという(⑫)の理論は幼少期からの自らの体験を通して、打ち出されたと考えられます。

1 単位め

f)「いつの時代にも、その時代に特有のノイローゼがあります。いまは、かつてないほど多くの人たちが、生き甲斐を見失い、生きることの無意味さ、つまらなさに悩んでいます」。これこそ(13)が強調し、現代を象徴する苦悩と呼んだものです。

(13)の人間観は、人間の(14)への意志にあります。このような人間観は、自らが原体験したナチス・ドイツの強制収容所での深刻な事態を通して、より一層確実なものになりました。

g) エリクソンは、1902年ドイツに生まれました。両親はデンマーク人でした。父親はエリクソンが生まれると間もなく亡くなり、やがて母親はエリクソンを連れて再婚しました。彼は若い頃は絵描きになるよう努力し、本格的な精神分析の訓練を受けたのは、30歳直前の頃でした。こうした生い立ちの中で(15)の概念が成立したと考えられます。

問2 ロジャーズの来談者中心のカウンセリングについて、以下の問に答えてください。

- a ロジャーズが自分自身の見解を編み出すようになった、重要な経験について簡単に述べて下さい。(テキスト31～32頁)
- b カウンセリング過程での必要十分条件について説明してください。(テキスト33～34頁)
- c カウンセリングの目標はどういうことにおいでいますか。(テキスト73～76頁)

問3 分析的カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト93～110頁)

- a カウンセラーの役割は、何とされていますか。
- b 「転移」「治療的退行」について、簡単に説明してください。
- c 分析的カウンセリングの目標はどういうことにおいでいますか。

問4 行動カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト37～39頁、111～121頁)

- a 基礎にある理論は何という理論ですか。
- b その理論の代表的人物を3名あげてください。
- c 行動カウンセリングの原理について、簡単に説明してください。

2 単位め

- 課題 1. 教育現場におけるカウンセリングのあり方、意義について、述べなさい。(追加資料を参照)
- 課題 2. (提出は任意) テキストの「3 現代人の生活とカウンセリング」(第11章から第14章)の中から関心ある分野を1つ選び、あなたの経験や見解も入れて、説明してください。

アドバイス

1単位め 解説

創始者のどのような経験から、その理論、技法が導き出されたのかを知ることによってそれぞれの本質をよくつかむことができます。自伝、原典を「味わう」ことをお勧めします。

2単位め 解説

因みに、フランクフルは、「ノイローゼが治るとは、苦悩する能力を甦らせることにほかならぬ」「自由な意志と決断とをもって、苦悩に耐えながら、人生を切り拓いていく人間を健康と考える」と述べています。

フロイトは「精神分析を受けたならば、苦痛はなくなるでしょうか」という患者の質問に対し、「あなたのつまらない悩みはなくなるでしょう。しかし、人間としての悩みはますます増えるでしょう」と答えています。

レポート用紙の使い方

本科目専用の解答用紙に記入することが望ましいが、通常のレポート用紙に問題番号等を記入して解答してもよい。

参考図書

佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』東京大学出版会、1996年

カウンセリングを深く学んでみたい方は是非この本も参考にレポートをまとめてください。とくに1単位め問2については、この本のa 28～31頁、b 39～51頁、c 9～13頁が参考になります。



・ 特講科目 ・

特講科目は平成20年度より新たに開始するスクーリング受講のみで単位修得となる科目です。ここにあげた科目は20年度のみ開講予定です。平成21年度以降に同じ科目が開講されることは原則としてありませんので、今年度のスクーリング開講予定日に受講が可能な方のみ履修登録をしてください。なお、本学のやむをえない都合によりスクーリング開講予定日が変更になった場合を除き、履修登録の取消はできませんので、ご注意ください。

なお、履修登録を行い、かつスクーリング受講申込み手続きが必要となります。



特講・社会福祉学Ⅰ (介護保険と社会福祉士の課題)

科目コード●050201

担当教員●佐々木裕彦

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

私が所属する社会福祉法人は、東北で2番目、岩手で第1号の特別養護老人ホームを開設した法人です。入所施設しか存在しなかった時代に勤務し、現場実践18年目に、新たな第2施設建築担当者として事務に戻りました。その間、岩手県内第1号で在宅サービスを立ち上げながら、社会福祉援助技術の特性分類である「援助関係展開技術」「問題解決対応技術」「運営管理推進技術」を、自らの歴史とともに経験してきました。また、ライフワークの一つとして、「社会福祉援助技術（方法論）のシステム化」に取り組んできました。技術とは、「本来、相手を認識し洞察すること」を意味しており、洞察とは「事態のある部分を調べたときに、表れている関係を見抜くこと」です。それは、エビデンス（根拠）を明確にして、連携する他職種からの検証可能性を高めることであり、そのための様式と手順から成っています。また、当施設の介護保険8事業、障害者9事業の経験の中から、社会福祉士としての権利擁護を中心とするシステムの構築に取り組んできました。それは、社会福祉士としての資質向上のためには、職務分掌やシステムが深く関わるという認識と、それらをソーシャルワークと関連づけて言葉や文字にして説明できるかというエビデンスへの問いかけでもありました。

介護保険制度がスタートし、介護支援専門員という新たな職種と業務内容の誕生により、社会福祉士の業務内容も一層複雑になっています。そして、日本学術会議第18期社会福祉社会保障研究連絡委員会（2003年6月）の提言である「ソーシャルワークが展開できる地域システムづくりに向けて」、その人材育成が急務になっています。また、社会福祉士国家資格見直しの定義規定に「～福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整～」が加えられました。

私は、私と社会の30年の変遷の中で、相談員として、施設管理者として、岩手県社会福祉士会事務局として、岩手県介護支援専門員協会事務局として、どのような立場にあっても常に「生涯一ソーシャルワーカー」として、自らの業務に説明を試みる努力をしてきました。その経験から、介護保険実践現場が抱える課題を明らかにして、その中でソーシャルワークがどのように活用されているかを概観し、社会福祉士の中心的な業務である権利

擁護の実践を紹介しながら、専門性の構造「価値・知識・技術」の在り方について、皆さんと共に考えてみたいと思います。

事前学習

「社会福祉援助技術論Ⅰ（ケースワーク）」「社会福祉援助技術論Ⅱ（グループワーク）」
「社会福祉援助技術論Ⅳ（コミュニティーワーク）」の学習はすませてからの受講が望ましい。

教科書

田中元著『図解 よくわかる介護保険 しゅくみ編＋実践編』ナツメ社、2007年

資料（当日配付）

パワーポイント資料（約20～25頁）、厚労省資料等（若干）

講師紹介

佐々木裕彦（社会福祉法人岩手和敬会青山和敬荘施設長

<http://www.wakeisou.or.jp>、社会福祉士、介護支援専門員）

スクーリング開講予定

平成20年7月12日・13日

特講・社会福祉学Ⅱ (連続的ケアと地域生活モデル)

科目コード●050202

担当教員●小山 剛

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

我が国の社会構造は少子高齢社会に突入し、その結果後期高齢者の増加と総人口の減少というアンビバレンスな現象が起きている。この中で提供される社会保障は、従前のシステムでは適応できず、2000年4月の介護保険法の施行にいたった。

つまり大家族・定住型の農業を中心とした生産業をベースに行なわれてきた私的介護の時代から、救済を目的とした税を財源とする措置ではなく、全てを対象者とした社会保険方式で介護を行なう社会を目指したのである。

しかしこの過渡期において、従前の家族介護を補填してきたレベルの在宅サービスでは、本人の望む暮らしを支えることができず、その結果として従来の措置と同様に施設生活を余儀なくされている。

しかし在宅生活と自立支援を目指した介護保険は、本人の将来リスクに対する投資でもあるため、新たなサービス体系が提供できないと制度として存続しない。

そこで、この課題をクリアするための連続的なケアのあり方、またその事例を学び、従来の病院モデルといわれてきた大規模施設収容型生活支援モデルから、その人の暮らしを支えていく地域生活モデルへの方向を探ることを主題とする。

教科書

大内俊一著『福祉施設が地域へ広がる』筒井書房、2006年

講師紹介

小山 剛 (社会福祉法人長岡福祉協会、高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長)

スクーリング開講予定

平成20年11月15日・16日

特講・社会福祉学Ⅲ（地域減災論）

科目コード●050203

担当教員●小松洋吉ほか

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

地域減災とは、地域減災教育による地域福祉の推進であり、減災を切り口とした地域づくりの担い手を育成することです。

マグニチュード7.5クラスの宮城県沖地震の発生確率は世界一高いと言われており、中央防災会議においても、減災に向けての国民理解の展開を図ることが基本方針の中で述べられ、国家戦略的課題ともなっています。

しかし市民の防災意識調査では、危機意識はあるものの災害に備える具体的な行動は伴っていないのが現状であることから、災害による被害発生から復旧へと時が経つにつれて意識が低下してくるという循環を断ち切り、日常の活動として減災の定着を図る必要があります。

自らの生命は自らが守る（自助）、地域の安心、安全は地域が守る（共助）という行動が地域福祉の推進につながり、そのための人材育成を図ることが必要なのです。

これまで、本学では防災関連団体と覚書や協約を締結してパートナーシップを発揮し、具体的で実践的な学習の場を創造してきました。また、マニュアルやハンドブック等の教材の開発、阪神淡路大震災や新潟県中越地震等へ学生ボランティアを派遣する等様々な活動を展開してきたことから、平成19年には防災功労者に贈られる内閣総理大臣賞を受賞いたしました。

講義では、災害体験者から学ぶ事前の備えや災害時の心のケア、地震発生メカニズムや家屋の簡易耐震診断の方法、応急救命手当の重要性等具体的な知識、地域で既に組み込んでいる減災等について学びます。

防ぐことができない災害であっても、事前に一人ひとりが備えることで被害を減らし、地域で助け合うことのできる社会が必要です。そして地域や行政等の諸機関と協働して、地域や職域で活躍できる人材を育成するための講座がこの地域減災論です。

自分の命、大切な家族の命、地域の安全を守るため、「地域減災論」を受講してみませんか。

教科書

スクーリング申込み者に資料配布

講師紹介

小松洋吉（東北福祉大学総合福祉学部教授）ほか

スクーリング開講予定

平成20年9月6日・7日

特講・社会福祉学Ⅳ（精神保健福祉士のコミュニティワーク）

科目コード●050204

担当教員●八木原律子

1 単位

S

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

ご存知のように「障害者自立支援法」施行によって、精神に障害をもつ人たちの環境は大きく変わってきているが、とりわけ筆者は、彼らを支援する側の意識改革が必要とされている、という認識に立っている者のひとりである。「障害者自立支援法」には多くの不備が指摘され、それ故の不満はあるが、動き出した法律に従って彼らは生活をしているという現実認知をしておく必要がある。支援者はケアマネジメントの流れに見られるアセスメントを丁寧に行い、彼らがどのようなサービスを、どんな時に、どこで、どのように必要としているのかをじっくりと把握し、彼らの希望実現に向けた支援を生み出さなければならない。

そこで、この講義では、講師が厚生労働省及び国土交通省で開催された政策等の研究会や、法務省刑事施設や更生保護施設で SST（社会生活技能訓練）の指導に参加したり、社会福祉法人 JHC 板橋会で障害のある方々の就労支援を行っている実践を具体的に紹介していきながら、いま、地域で、何が必要とされているかを政策と実践を併せて伝えていきたい。そこからコミュニティワークに必要な支援法を紹介し、受講生の参加を主体とした問題解決への導入を探りたい。

ビデオや演習を多く取り入れた講義を目指す。

また、精神に障害のある方々が人権に配慮されてこなかった歴史を振り返り、遅れている彼らの人権擁護の政策を諸外国の権利擁護事業を紹介しながら比較していきたい。

受講生にお願いとして、インターネットで、わが国が2007年9月に署名した「障害者権利条約」を引き出し、是非読んでおいてください。

教科書

M・メイヤロフ 田村真・向野宣之訳『ケアの本質 生きることの意味』ゆるみ出版、1987年

参考図書

- ・「精神保健福祉論」「精神保健福祉援助技術総論」「精神保健福祉援助技術各論」の教科書
- ・厚生労働白書等政府刊行書及びハローワーク配布資料等
- ・社会生活技能訓練（SST）に関する本
八木原律子ほか著『地域生活支援のSST』医学書院、1997年
ベラック、A. S. ほか著 熊谷直樹等監訳『改定新版 わかりやすいSSTステップ
ガイド（上・下巻）』星和書店、2005年

講師紹介

八木原律子（明治学院大学社会学部教授）

スクーリング開講予定

平成20年8月9日・10日

特講・福祉心理学Ⅰ（表情の心理学）

科目コード●050601

担当教員●真 覚 健

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

科目の内容

人の顔は個人の識別に用いられるだけでなく、年齢、性別、人柄、感情状態などさまざまな情報を引き出すことができます。これらの情報は対人関係において重要な役割を果たしています。なかでも顔の表情は、相手の感情状態を知るための重要な手がかりで、表情を適切に理解することは対人関係にとって欠くことができません。また笑顔のようなポジティブな表情の表出は、良好な対人関係の形成・維持に必要です。

本講義では、顔の表情にかかわる心理学的知見について次のような観点から説明を行います。

- (1) 非言語的コミュニケーションとしての表情
- (2) 表情と感情
- (3) 表情の表出
- (4) 表出された表情の理解
- (5) 表情表出の障害

教科書

ポール・エクマン著 菅靖彦訳 『顔は口ほどに嘘をつく』 河出書房新社、2006年

講師紹介

まさめ
真 覚 健（宮城大学看護学部教授）

スクーリング開講予定

平成20年 6月21日・22日

特講・福祉心理学Ⅱ (消費者行動と広告の心理学)

科目コード●050602

担当教員●杉本 徹 雄

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

科目の内容

今日のように、企業間競争が激化するなかで、商品やサービスの買い手である消費者の心理的メカニズムや購買行動を理解することはますます重要になっています。

本講義では、まず、企業が行っている基本的なマーケティングやブランド戦略、あるいは広告コミュニケーション戦略を解説した後に、消費者の基本的な行動原理と心理について説明します。消費者のブランド選択に関する意思決定や情報処理、それにかかわる消費者の個人の心理的機能（認知、態度、動機づけ等）、さらに、消費者のライフスタイル、集団や社会（ネット上を含む）が消費者行動にどのように影響を与えるかについても検討します。授業では、データによる実証的な裏づけを重視するとともに、企業のケースも紹介する予定です。

教科書

杉本徹雄編著 『消費者理解のための心理学』 福村出版、1997年

講師紹介

杉本徹雄（上智大学経済学部教授）

スクーリング開講予定

平成20年10月18日・19日（ステーションキャンパスで開講予定）

特講・福祉心理学Ⅲ（カウンセリングの基礎）

科目コード●050603

担当教員●萩原 豪人

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

科目の内容

カウンセリングの基礎を学び、対人援助の専門的なコミュニケーション方法を体験的に身に付けることを目的とした授業です。カウンセリングとは、相手との「対話」を基本としたコミュニケーションの特別な形態です。そこでは、カウンセリングの技法の習得・熟練だけでなく、人間そのものへの洞察力が必要とされます。単なる会話の技術を磨くことだけではなく、自分自身の対人関係における特徴を理解し、また相手を理解して受けとめる力を養わなければなりません。

この授業では、ロールプレイ演習やグループワークを通して実際に人と関わる中で、体験的にカウンセリングについて理解すると共に、自分自身を見つめ、成長への気づきを得られるようにしていきたいと思います。

スクーリング講義内容

ロールプレイの演習を中心に、グループワーク、ビデオ教材鑑賞、講義等を適宜織り交ぜていきます。できるだけ無理なく楽しく学習できるように配慮するつもりでいますが、基本的にはトレーニングなので、授業へ積極的に参加する姿勢が必要です。どうしてもコミュニケーションの苦手な学生は、申し出てください。

【講義】カウンセリングについて基礎的な講義を行ないます。

【ロールプレイ演習】カウンセラー役、クライアント役を実際に演じてもらいながら、傾聴訓練をしていきます。カウンセリングの各種技法の理解と習得を目指します。

【グループワーク】自分自身の対人関係における特徴やコミュニケーションそのものについての理解を深めます。ロールプレイの感想のシェアリング等も行ないます。

【ビデオ教材鑑賞】実際のカウンセリング場面を見ながら、解説を加えていきます。

スクーリング開講予定

平成21年2月7日・8日

教科書

福島脩美『カウンセリング演習』金子書房、1997年

講師紹介

萩原豪人（慶應義塾大学学生相談室）

特講・福祉心理学Ⅳ（スクール・カウンセリング）

科目コード●050604

担当教員●中村 裕子

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

科目の内容

文部省が平成7年度に、スクールカウンセラー派遣事業を開始して以来、公立中学校を中心に、現在スクールカウンセリングは小学校や高等学校にも広がり始めています。

スクールカウンセリングでは、個人のカウンセリングに留まらず、学校コミュニティという組織全体と関わる視点を持つことが重要になります。この講義では、講師が公立小・中・高等学校のスクールカウンセラーとして経験した実践や事例を紹介しながら学校現場で起きている問題とその対策についてご紹介したいと思います。

スクーリング講義内容

講義内容は、スクールカウンセリングの概要、アプローチ、諸問題という3点で構成されます。

1. スクールカウンセリングの概要

スクールカウンセラー事業の歴史・概要について説明します。

2. スクールカウンセリングのアプローチ

スクールカウンセリングの理論的背景として、コミュニティ心理学の理論と技法を紹介します。

3. 学校における諸問題

下記のようなテーマを取り上げる予定ですが、時事的な問題を取り上げるため、一部内容を変更することがあります。

①不登校、②いじめ、③特別支援教育と発達障害、⑤児童虐待、⑥非行、⑦思春期の精神疾患、⑧緊急支援

スクーリング開講予定

平成20年10月25日・26日 川口

会場の都合により、受講定員は80名までです。定員を超えた場合は関東以西在住の福祉心理学科の方、平成20年度卒業予定の方、「心理学概論」「福祉心理学」「臨床心理学」「心理

アセスメント」の単位修得の方を優先させる場合があります。ご了承ください。

教科書

伊藤美奈子・平野直己編『学校臨床心理学・入門』有斐閣、2003年

講師紹介

中村裕子（東京大学学生相談所）

特講・福祉心理学Ⅴ（自分さがしの心理学）

科目コード●050605

担当教員●菊住 彰

1 単位

S

2 年以上

福祉心理
選択A

科目の内容

皆さんは自分がどういう人間なのか、よくご存知でしょうか。どんな性格を持ち、他者からもそれを認められているでしょうか。長所を短所と思い込んでいませんか。適性を生かした人生を送っているでしょうか。自分のことは、実はよく見えていない面がたくさんあります。本講義では心理テストを多用し、あなた自身が被験者となって、自己イメージを客観的に明らかにしてみます。自立性、責任感、外向性、対人関係の特性、家族観など、あなた自身のさまざまな心の様相が浮き彫りになってくることでしょう。自分らしさを自覚することによって、思考や行動、人間関係のパターンを確認して、生きづらさを少しでも解決し、同時に適性などを見つめ直して自己実現のためのヒントを得ることが、この講義の目的です。黒板とノートを睨みながら学ぶ座学だけではなく、グループやペアになっての共同作業やゲームなどを通じて学べるものも、たくさんあります。普段着でご参加ください。

教科書

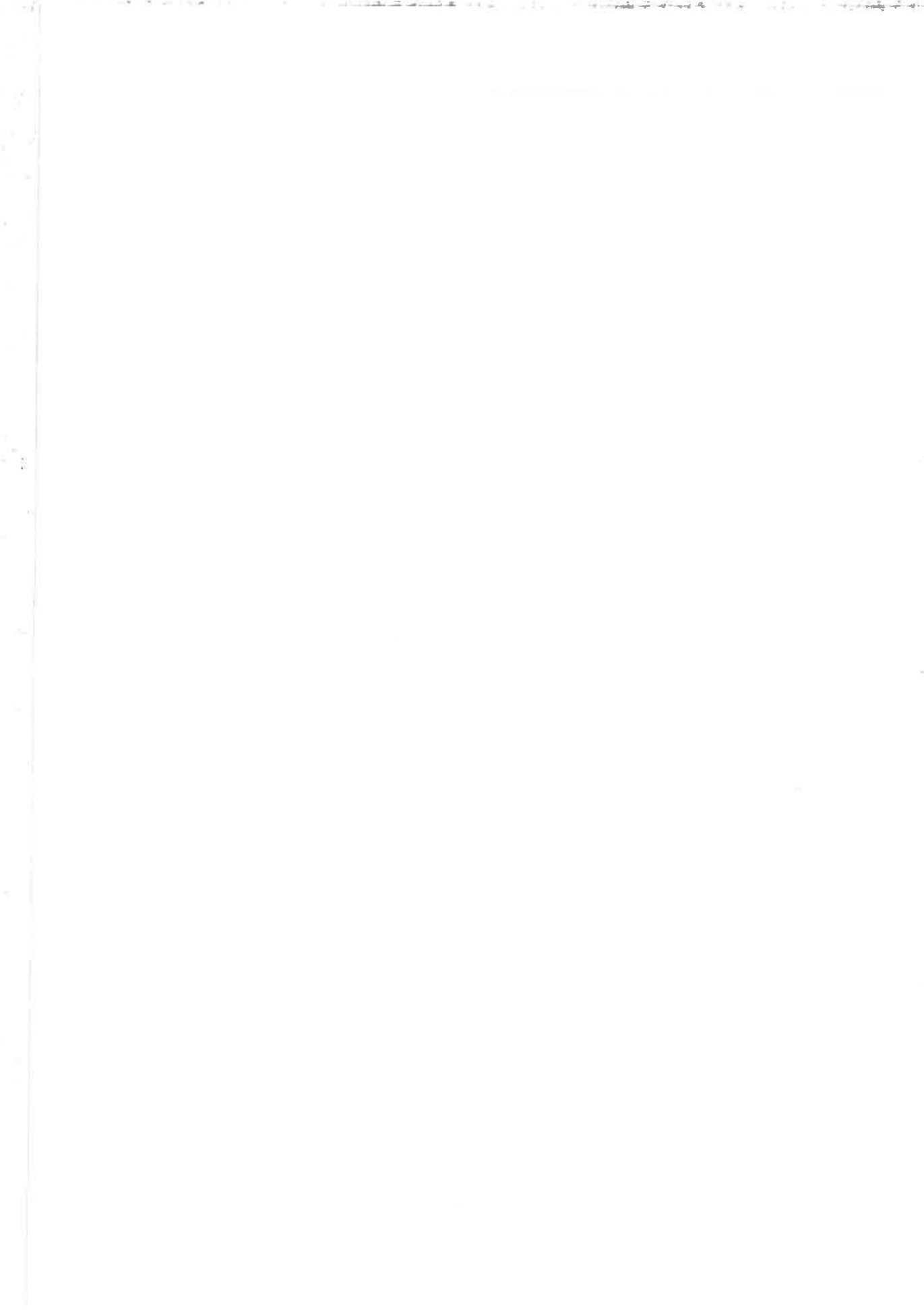
川瀬正裕・松本真理子編『新 自分さがしの心理学 ― 自己理解ワークブック』
ナカニシヤ出版、1997年

講師紹介

菊住 彰（慶應義塾大学学生相談室）

スクーリング開講予定

平成20年7月5日・6日



通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかとまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすいような課題から再び学習を始めてください。

学問って難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずですよ。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていけることを願っています。

1・2 年次配当科目
レポート課題集 [平成20年度版]

2008年4月1日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部
〒981-8522(本学専用) 仙台市青葉区国見1-8-1
電話022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp>
印刷・製本 (株)ホクトコーポレーション

©Tohoku Fukushi University 2008 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

学籍番号	
氏 名	
住 所	〒 ー

郵便はがき

50円切手を
貼付して
下さい。

9 8 1 8 5 2 2

仙台市青葉区国見 1-8-1

東北福祉大学通信教育部

スクーリング係 御中

一度折り曲げてから切り離してください

社会福祉援助技術演習Ⅰ
スクーリング受講申込みハガキ

投函日

/

申込み日控

差出人	住所	〒
	氏名	

社会福祉援助技術演習Ⅰ スクーリング申込書

学 籍 番 号

0 T

氏 名

氏名バーコード

貼 付 欄

社会福祉援助技術演習Ⅰのスクーリング受講を申込みます。受講前にスクーリング事前課題を必ず提出します。

科 目 名	コード	受講料	コマ数	S 単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	050130	10000円	6	1

開 講 日	開講場所	第 1 希望	第 2 希望
8/14・15	仙台		
8/30・31	札幌		
	東京		
9/ 6・ 7	さいたま(川口)		
	仙台		
	新潟		
9/13・14	青森		
	秋田		
12/ 6・ 7	新潟		
	盛岡		
1/24・25	仙台		
	東京		
2/21・22	仙台		

事務局記入欄

申込締切

① 5月31日(土)

② 10月25日(土)

必着

